

令和３年度

**「市民による市政評価」
結果報告書**

令和３年 10 月

大仙市 企画部 総合政策課

目 次

1 はじめに

1.1 市政評価について	1
1.2 調査の種類	1
1.3 調査の手法	2
1.4 調査票	2
1.5 調査期間	2
1.6 集計・分析上の注意事項について	2

2 市民による市政評価

2.1 調査対象	4
2.2 回収率	4
2.3 回答者の属性	4
2.4 満足度及び重要度	7
2.4.1 満足の度合い	7
2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合	9
2.4.3 満足度における属性別比較	10
2.4.4 重要の度合い	14
2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合	16
2.4.6 重要度における属性別比較	17
2.4.7 項目別要望度	21
2.4.8 満足度、重要度の総括	23
2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較	24
2.5 さらに推進すべき取り組み	26
2.5.1 産業分野に関する設問について	26
2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について	29

2.5.3 健康福祉・スポーツ分野に関する設問について	32
2.5.4 環境安全分野に関する設問について	35
2.5.5 都市基盤分野に関する設問について	38
2.5.6 教育・交流分野に関する設問について	41
2.5.7 地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について	44
2.5.8 さらに推進すべき取り組みの総括	47
2.6 あなたが思う大仙市について	51
2.6.1 市内在住の経緯に関する設問について	51
2.6.2 「住みやすさ」に関する設問について	53
2.6.3 社会活動・地域活動に関する設問について	57
2.6.4 未来のまちの姿に関する設問について	59
2.7 経年比較	60

3 市民による個別事業評価

3.1 市民全体を調査対象とした個別事業評価	74
3.1.1 健幸まちづくりプロジェクトについて	74
3.1.2 市の文化財について	86
3.1.3 市民のデジタル活用について	98
3.1.4 家庭での災害への備えについて	111
3.2 制度の利用者など特定の層を調査対象とした個別事業評価	120
3.2.1 若い世代のチャレンジについて	120

4 自由意見

5 資料（調査票）

令和3年度「市民による市政評価」調査票

令和3年度「市民による個別事業評価」調査票

1 はじめに

1.1 市政評価について

大仙市では、市民の皆さんの評価や意見を伺い、今後の市政運営や市民との協働のまちづくりを進めるため、「市民による市政評価」を平成 18 年度から継続的に実施している。

平成 28 年度からは、個別事業に関する評価や意見を調査する「市民による個別事業評価」を加え、市民目線に立った効率的で効果的な事業実施に努めている。

個別事業評価については、広く市民の皆さんを対象とする調査と、実際に制度を利用されている皆さんなど、生の声を伺うため特定の層を対象とする調査に区分し、前者を市政評価に組み込み実施している。

1.2 調査の種類

調査は、次の区分により実施した。

(1) 市民による市政評価

第 2 次大仙市総合計画基本構想に示している体系（「施策の柱」、「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目について、次の事項を調査した。

○満足度（本市の現状に対してどのくらい満足しているか。）

○重要度（本市のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えているか。）

○今後さらに推進すべき取り組み

また、「あなたが思う大仙市について」として、平成 28 年度から継続して実施してきた「住みやすさ」等の意識調査も行った。

(2) 市民による個別事業評価

施策に基づき市が実施している事業の認知度、利用度、意識等の把握や個別具体の施策を推進するための市民ニーズや意識を把握するため、次の 5 テーマについて調査した。

○分類 A：市民全体（年代・性別を問わない）を対象とする調査 4 テーマ

○分類 B：制度の利用者など特定の層を対象とする調査 1 テーマ

No.	分類	テーマ
1	A	健幸まちづくりプロジェクトについて
2	A	市の文化財について
3	A	市民のデジタル活用について
4	A	家庭での災害への備えについて
5	B	若い世代のチャレンジについて

1.3 調査の手法

令和3年度は、行政のデジタル化の一環として、個別事業評価（分類B）において、これまでの郵送方式（紙ベース）による調査とあわせてインターネットによる調査も実施した。

○市政評価・個別事業評価（分類A）：郵送方式（無記名形式）

○個別事業評価（分類B）：郵送方式及びインターネット方式（無記名形式）

※回答方法を次の①または②とし、対象者をそれぞれ半数ずつに分け調査を実施した。

①郵送またはインターネットのどちらかによる回答

②インターネットでの回答

1.4 調査票

本調査は、次の2種類の調査票により、それぞれの対象者に対して実施した。

○令和3年度「市民による市政評価」（「市民による個別事業評価（分類A）」の4テーマを含む）

○令和3年度「市民による個別事業評価」（若い世代のチャレンジについて）

1.5 調査期間

令和3年4月27日（火）～5月24日（月）

1.6 集計・分析上の注意事項について

- 本調査では、各調査の属性においては無回答を含めた回答者数を「n」とし、その他の設問においては、有効回答内での割合を求めるため、無回答を除いた有効回答者数を「n」として表記しており、各設問により母数となる回答者数「n」は異なっている。
- 属性等とのクロス集計では、属性等の不明者を除いているため、属性等の項目ごとの集計対象者の合計と、全体の集計対象者の合計は一致しないことがある。
- 市政評価での満足度、重要度及び要望度の平均値については、小数点第3位以下を、その他の設問での構成比（％）については、小数点第2位以下を四捨五入して表記している。
- 単一回答の設問における構成比（％）は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。
- 複数回答の設問における構成比（％）は、集計対象者に対する回答者数の比率を示すものであり、その合計は100%を超えることがある。

2 市民による市政評価

2 市民による市政評価

2.1 調査対象

18 歳以上、85 歳未満の市民の中から無作為に抽出した 1,000 人（性別、年齢、地域については考慮）

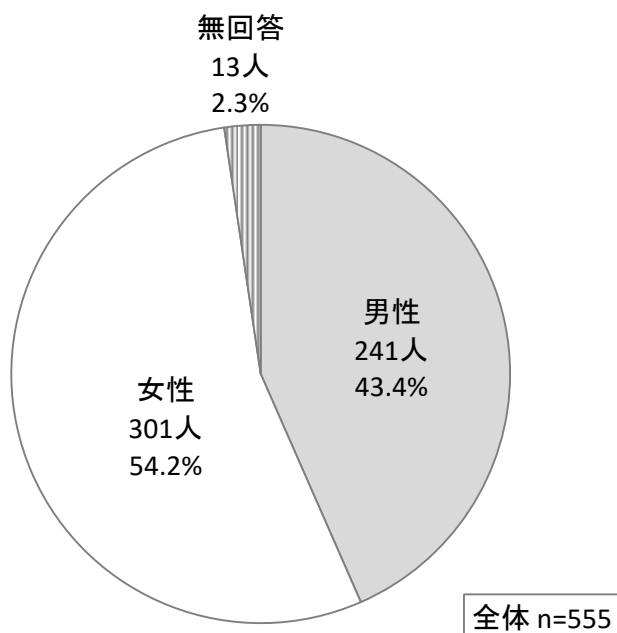
2.2 回収率

回収数・・・555

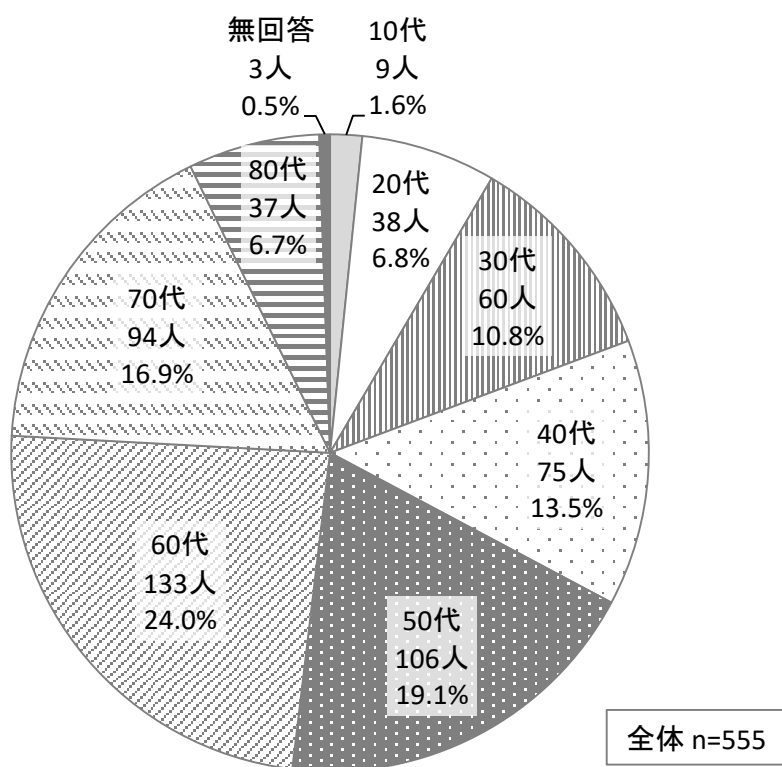
回収率・・・55.5%

2.3 回答者の属性

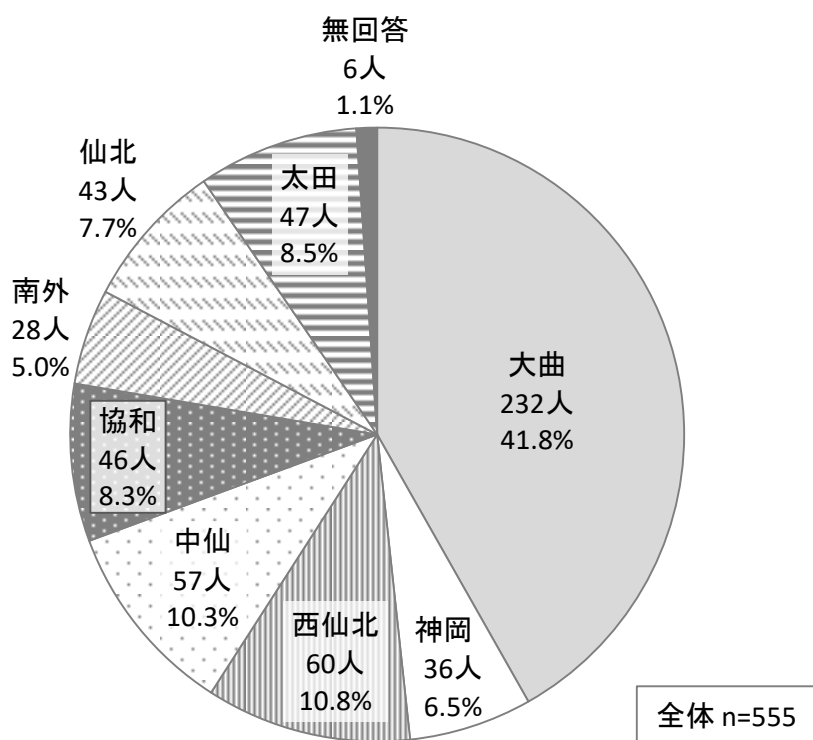
図表 1 回答者の性別の内訳



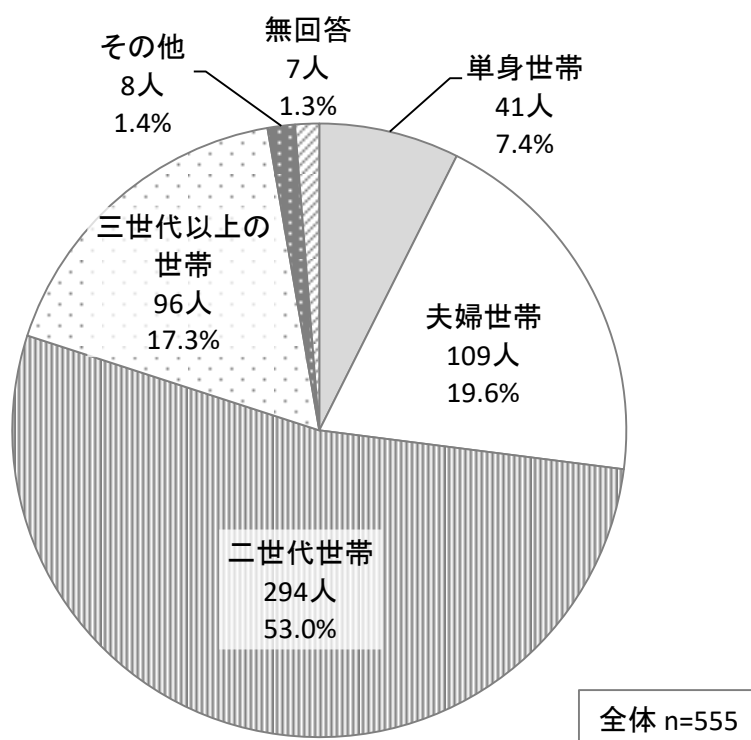
図表 2 回答者の年代の内訳



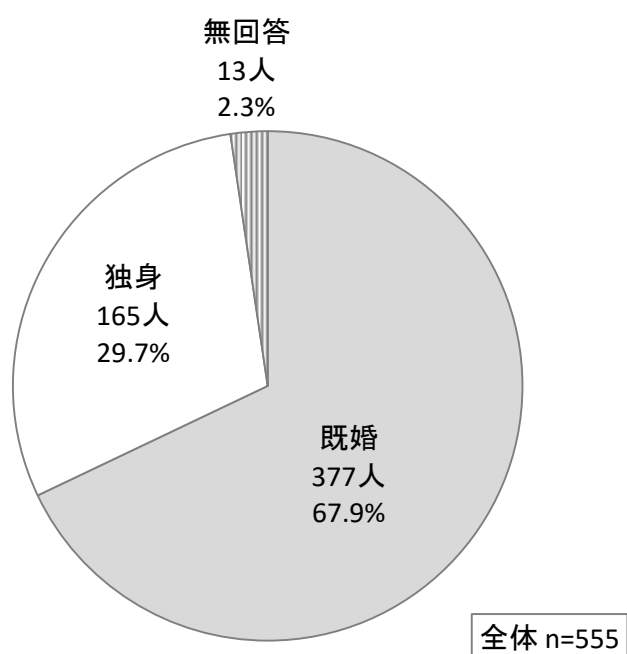
図表 3 回答者の居住地域の内訳



図表 4 回答者の家族構成の内訳



図表 5 回答者の婚姻状況の内訳



2.4 満足度及び重要度

2.4.1 満足の度合い

満足度の高い項目は、上位から「保健・医療」が3.61（昨年度3.64）、「自然・環境衛生」が3.51（昨年度3.59）、同順で「子育て」「安全・安心体制」「上・下水道」が3.46（昨年度それぞれ順に3.51、3.63、3.51）の順となっている。

一方、満足度の低い項目は、下位から「空き家対策」が2.82（昨年度2.88）、「雇用・就労」が2.84（昨年度2.93）、「商工業」が2.90（昨年度2.91）の順となっている。

昨年度と比較すると、「下降」あるいは「やや下降」となった項目が29項目中18項目と多く、全体的に満足度が低下している。これは、多くの項目で「まあ満足」の回答率が低下し、「やや不満」の回答率が上昇したことによるものと考えられる。

昨年度と比較して満足度の減少が大きかった（前年比0.15ポイント以上減）のは、満足度3.46で3位の「安全・安心体制」（前回より0.17ポイント減）、満足度3.42で6位の「スポーツ」（前回より0.15ポイント減）、満足度3.35で8位の「花火産業構想」（前回より0.15ポイント減）、満足度3.20で18位の「芸術・文化」（前回より0.15ポイント減）となっている。満足度の増加が大きかった（前年比0.15ポイント以上増）項目はないが、満足度3.26で13位の「公共交通」（前回より0.07ポイント増）のみ増加となっている。

図表 6 満足度（点数順）

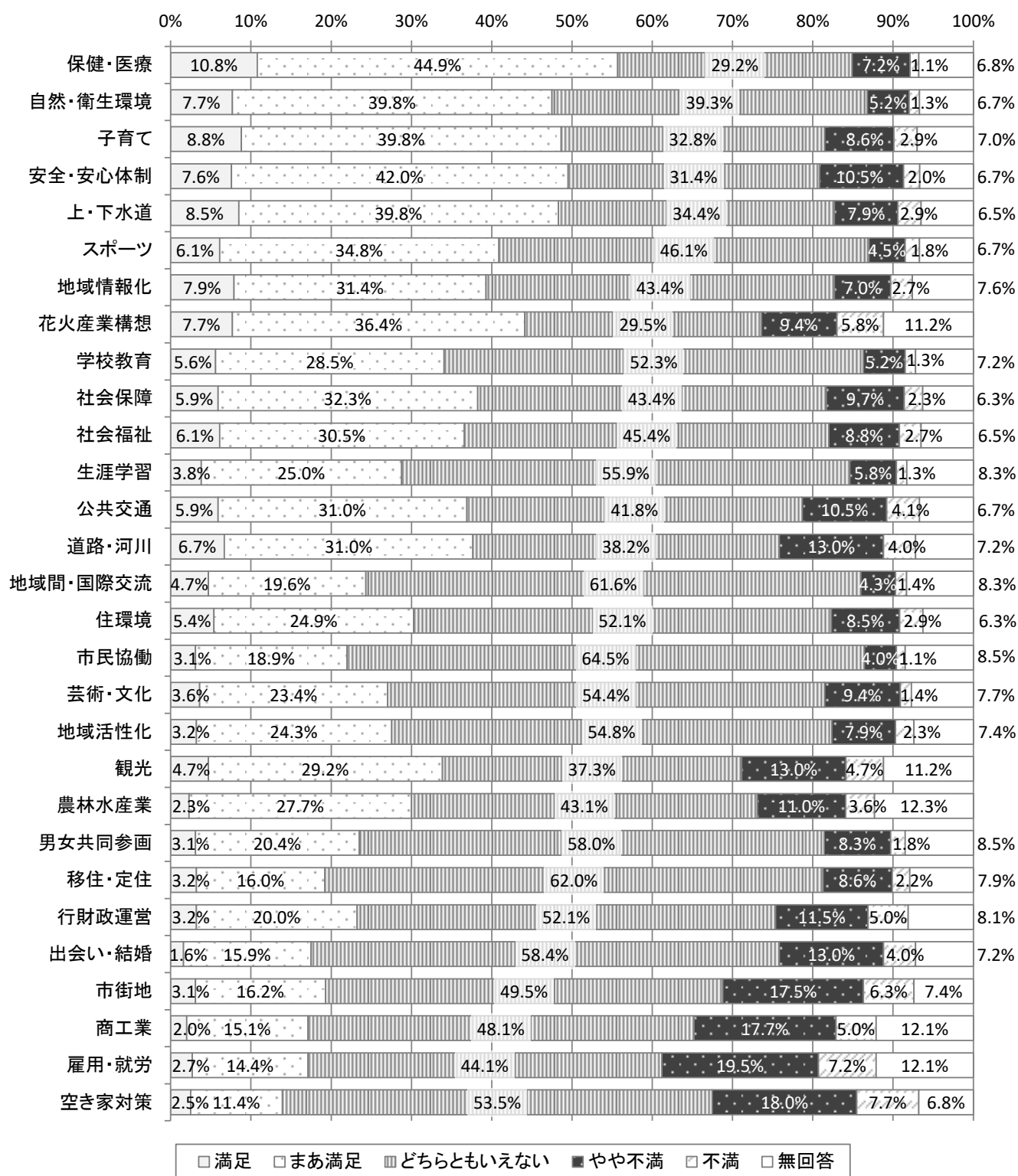
順位	R3	R2	項 目	満足度 ※		
					R3	R2 増減 (R3-R2)
1	1	1	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	←	3.61	3.64 ▲ 0.03
2	3	3	【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	✓	3.51	3.59 ▲ 0.08
3	5	5	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	←	3.46	3.51 ▲ 0.05
3	2	2	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	↓	3.46	3.63 ▲ 0.17
3	5	5	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	←	3.46	3.51 ▲ 0.05
6	4	4	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	↓	3.42	3.57 ▲ 0.15
7	8	8	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	✓	3.38	3.44 ▲ 0.06
8	7	7	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	↓	3.35	3.50 ▲ 0.15
9	9	9	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	✓	3.34	3.41 ▲ 0.07
10	10	10	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	✓	3.32	3.38 ▲ 0.06
11	11	11	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	✓	3.30	3.36 ▲ 0.06
12	12	12	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	✓	3.27	3.35 ▲ 0.08
13	22	22	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	↗	3.26	3.19 0.07
14	17	17	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	←	3.25	3.25 0.00
15	14	14	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	✓	3.24	3.31 ▲ 0.07
16	15	15	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	✓	3.23	3.30 ▲ 0.07
17	19	19	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	←	3.21	3.23 ▲ 0.02
18	12	12	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	↓	3.20	3.35 ▲ 0.15
18	18	18	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域枠予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	←	3.20	3.24 ▲ 0.04
20	16	16	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	✓	3.18	3.29 ▲ 0.11
21	21	21	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	←	3.16	3.21 ▲ 0.05
21	20	20	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	✓	3.16	3.22 ▲ 0.06
23	24	24	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	←	3.10	3.11 ▲ 0.01
24	23	23	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	✓	3.05	3.13 ▲ 0.08
25	26	26	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	←	2.98	3.00 ▲ 0.02
26	25	25	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	✓	2.92	3.01 ▲ 0.09
27	28	28	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	←	2.90	2.91 ▲ 0.01
28	27	27	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	✓	2.84	2.93 ▲ 0.09
29	29	29	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	✓	2.82	2.88 ▲ 0.06

※満足度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↗	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	←	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	✓	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合

図表 7 満足度における選択肢別の回答割合（点数順）



2. 4. 3 満足度における属性別比較

性別で見ると、全般的に満足度は女性が男性より高い。男女とも多少の差異はあるものの、概ね同様の傾向となっている。上位項目については、女性は全体の上位5位に挙げられている項目と同じだが、男性では「子育て」が上位5位から外れており（同順6位）、3位に全体で6位の「スポーツ」が挙げられている。男女とも「保健・医療」が1位となっており、全体で同順3位となっている「子育て」は、女性では2位となっている。

下位項目については、男性は全体の項目と同じ項目が挙げられているが、女性では「行財政運営」が25位となっている。

年代別で見ると、上位項目については、70代以下で「自然・衛生環境」が挙げられており、30代以下では1位となっている。また、30代以上で「保健・医療」、10代及び40代から70代までは「子育て」、30代及び50代以上では「上・下水道」が挙げられている。

下位項目については、全年代において「空き家対策」が挙げられており、20代以上で「雇用・就労」、70代以下で「商工業」が挙げられている。

地域別で見ると、上位項目については、全地域で「保健・医療」「自然・衛生環境」が挙げられており、神岡・西仙北地域以外では「安全・安心体制」が挙げられている。

下位項目については、全地域で「空き家対策」が挙げられており、神岡地域以外では「雇用・就労」、西仙北地域以外では「市街地」、仙北地域以外では「商工業」が挙げられている。

図表 8 性別による満足度

■男性 (上位)		
順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.53
2	自然・衛生環境	3.46
3	スポーツ	3.45
4	上・下水道	3.44
5	安全・安心体制	3.41

(下位)		
順位	項目	満足度
25	市街地	2.92
26	出会い・結婚	2.88
27	商工業	2.86
28	雇用・就労	2.79
29	空き家対策	2.73

■女性 (上位)		
順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.70
2	子育て	3.58
3	自然・衛生環境	3.55
4	安全・安心体制	3.51
5	上・下水道	3.49

(下位)		
順位	項目	満足度
25	行財政運営	3.04
26	商工業	2.94
27	市街地	2.92
28	雇用・就労	2.88
	空き家対策	2.88

図表 9 年代別による満足度

■10代 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.89
2	安全・安心体制	3.78
3	子育て	3.67
	スポーツ	3.67
	公共交通	3.67

(下位)

順位	項目	満足度
24	出会い・結婚	3.22
	学校教育	3.22
	地域活性化	3.22
27	農林水産業	3.11
	商工業	3.11
29	空き家対策	3.00

■20代 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.56
	安全・安心体制	3.56
3	地域情報化	3.50
4	花火産業構想	3.48
5	生涯学習	3.47

(下位)

順位	項目	満足度
25	空き家対策	2.94
	男女共同参画	2.94
27	商工業	2.91
28	雇用・就労	2.85
29	出会い・結婚	2.74

■30代 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.59
2	保健・医療	3.56
3	スポーツ	3.53
4	花火産業構想	3.48
5	上・下水道	3.42

(下位)

順位	項目	満足度
25	商工業	3.00
26	市街地	2.95
27	出会い・結婚	2.93
28	雇用・就労	2.91
29	空き家対策	2.69

■40代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.66
2	自然・衛生環境	3.49
	安全・安心体制	3.49
4	子育て	3.47
5	地域情報化	3.42

(下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	2.96
	商工業	2.96
27	市街地	2.92
28	空き家対策	2.85
29	雇用・就労	2.80

■50代 (上位)

順位	項目	満足度
1	子育て	3.50
2	保健・医療	3.48
3	自然・衛生環境	3.41
4	上・下水道	3.37
5	スポーツ	3.35

(下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	2.87
26	市街地	2.85
27	商工業	2.75
28	空き家対策	2.71
29	雇用・就労	2.68

■60代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.61
2	子育て	3.54
3	自然・衛生環境	3.50
4	上・下水道	3.43
5	スポーツ	3.42

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.96
26	市街地	2.82
27	空き家対策	2.79
28	雇用・就労	2.78
29	商工業	2.76

■70代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.86
2	安全・安心体制	3.63
3	上・下水道	3.60
4	子育て	3.58
5	自然・衛生環境	3.57

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	3.16
26	商工業	3.10
27	市街地	3.09
28	雇用・就労	3.04
29	空き家対策	2.89

■80代 (上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.86
2	保健・医療	3.68
3	社会保障	3.66
	安全・安心体制	3.66
5	道路・河川	3.55

(下位)

順位	項目	満足度
25	移住・定住	3.07
26	農林水産業	3.04
27	空き家対策	2.97
28	市街地	2.93
29	雇用・就労	2.85

図表 10 地域別による満足度

■大曲地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.62
2	自然・衛生環境	3.50
3	子育て	3.46
	安全・安心体制	3.46
5	スポーツ	3.45

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	3.01
26	市街地	2.96
27	商工業	2.91
28	空き家対策	2.88
29	雇用・就労	2.82

■神岡地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	子育て	3.79
2	保健・医療	3.70
3	スポーツ	3.67
	自然・衛生環境	3.67
5	社会福祉	3.66

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	3.09
26	行財政運営	3.06
27	市街地	3.03
28	商工業	2.88
29	空き家対策	2.82

■西仙北地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.61
2	上・下水道	3.52
3	自然・衛生環境	3.45
4	子育て	3.39
5	社会保障	3.38

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.89
	商工業	2.89
27	行財政運営	2.82
28	雇用・就労	2.81
29	空き家対策	2.71

■中仙地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.55
2	自然・衛生環境	3.53
3	子育て	3.51
4	安全・安心体制	3.47
5	社会福祉	3.45

(下位)

順位	項目	満足度
24	移住・定住	3.06
	地域活性化	3.06
26	商工業	3.04
	雇用・就労	3.04
28	空き家対策	2.92
29	市街地	2.81

■協和地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.90
2	自然・衛生環境	3.75
3	子育て	3.73
4	保健・医療	3.66
5	安全・安心体制	3.58

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.95
26	空き家対策	2.90
27	商工業	2.85
	市街地	2.85
29	雇用・就労	2.83

■南外地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.64
2	スポーツ	3.60
3	安全・安心体制	3.48
4	保健・医療	3.44
	学校教育	3.44

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.92
26	商工業	2.91
27	市街地	2.80
28	雇用・就労	2.64
29	空き家対策	2.63

■仙北地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.55
2	安全・安心体制	3.50
3	上・下水道	3.40
4	自然・衛生環境	3.39
5	花火産業構想	3.37

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	2.88
26	観光	2.85
27	出会い・結婚	2.81
28	空き家対策	2.69
29	雇用・就労	2.63

■太田地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.69
2	安全・安心体制	3.50
3	公共交通	3.41
4	地域情報化	3.40
5	自然・衛生環境	3.35

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	2.84
26	花火産業構想	2.83
	雇用・就労	2.83
28	商工業	2.80
29	空き家対策	2.60

2.4.4 重要の度合い

重要度の高い項目は、上位から「保健・医療」が4.36（昨年度4.40）、「安全・安心体制」が4.30（昨年度4.32）、「子育て」が4.27（昨年度4.38）の順となっている。

一方、重要度の低い項目は、下位から「地域間・国際交流」が3.31（昨年度3.42）、「スポーツ」が3.42（昨年度3.52）、「市民協働」が3.49（昨年度3.60）の順となっている。

昨年度と比較すると、全体的に重要度が減少しており、減少が大きかった（前年比0.15ポイント以上減）のは、重要度3.91で14位の「公共交通」（前回より0.16ポイント減）、重要度3.66で24位の「地域活性化」（前回より0.16ポイント減）となっている。重要度の増加が大きかった（前年比0.15ポイント以上増）項目はないが、重要度3.69で22位の「男女共同参画」（前回より0.03ポイント増）のみ増加となっている。

図表 11 重要度（点数順）

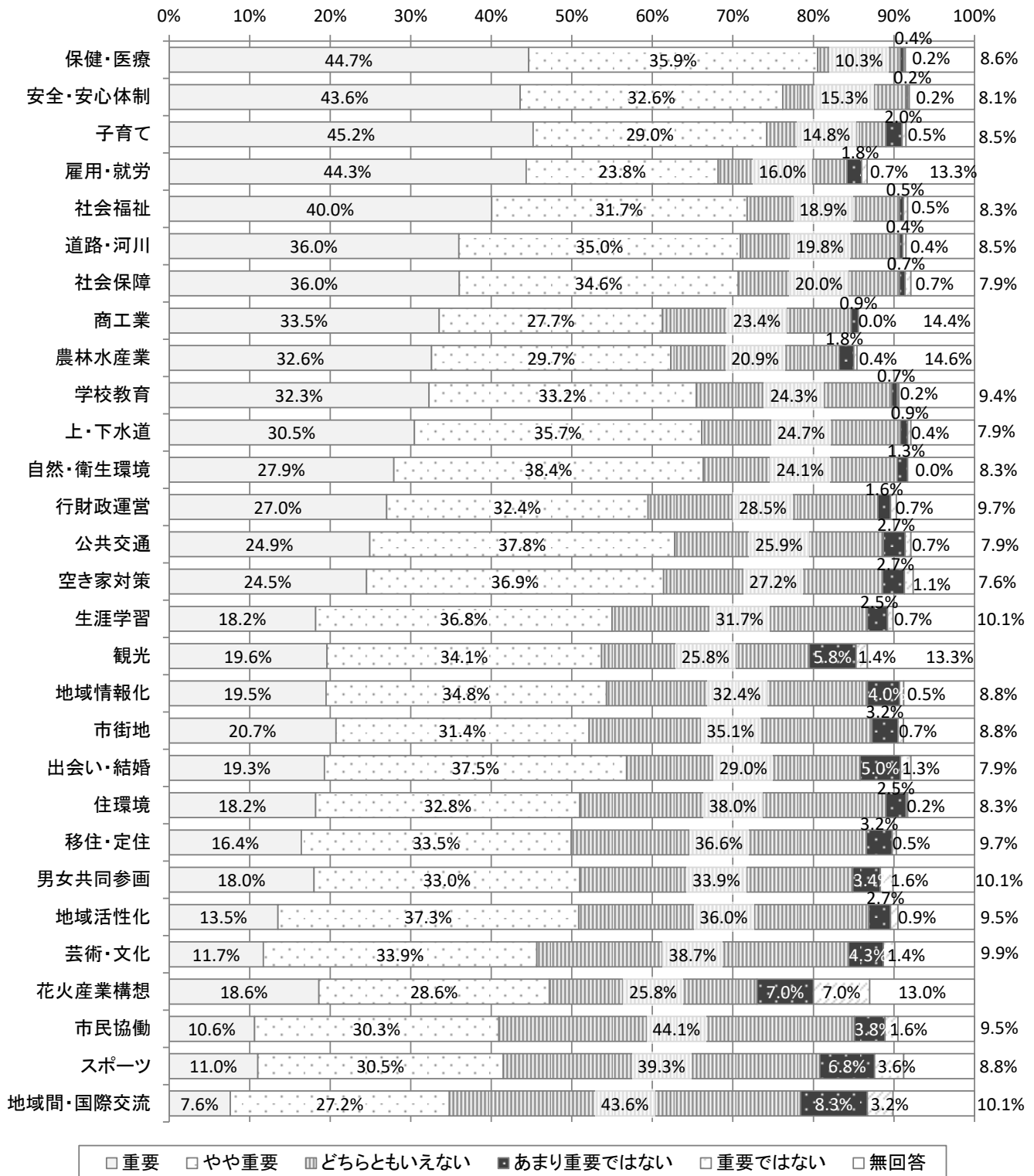
順位	R3	R2	項 目	重要度 ※		
					R3	R2 増減 (R3-R2)
1	1	1	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	←	4.36	4.40 ▲ 0.04
2	3	3	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	←	4.30	4.32 ▲ 0.02
3	2	2	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	✓	4.27	4.38 ▲ 0.11
4	4	4	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	←	4.26	4.29 ▲ 0.03
5	5	5	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	←	4.20	4.25 ▲ 0.05
6	7	7	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	✓	4.16	4.22 ▲ 0.06
7	6	6	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	✓	4.14	4.23 ▲ 0.09
8	9	9	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	✓	4.10	4.17 ▲ 0.07
9	8	8	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備などに取り組んでいます。	✓	4.08	4.20 ▲ 0.12
10	11	11	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	←	4.07	4.12 ▲ 0.05
11	10	10	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	✓	4.03	4.14 ▲ 0.11
12	11	11	【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	✓	4.01	4.12 ▲ 0.11
13	14	14	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	✓	3.92	3.97 ▲ 0.05
14	13	13	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	↓	3.91	4.07 ▲ 0.16
15	15	15	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	✓	3.88	3.94 ▲ 0.06
16	20	20	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	←	3.77	3.77 0.00
17	22	22	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	←	3.75	3.75 0.00
17	16	16	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMIはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	✓	3.75	3.82 ▲ 0.07
17	19	19	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	←	3.75	3.80 ▲ 0.05
20	16	16	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	✓	3.74	3.82 ▲ 0.08
21	20	20	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	←	3.72	3.77 ▲ 0.05
22	23	23	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	✓	3.69	3.74 ▲ 0.05
22	24	24	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	←	3.69	3.66 0.03
24	16	16	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	↓	3.66	3.82 ▲ 0.16
25	27	27	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	←	3.56	3.59 ▲ 0.03
26	25	25	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	✓	3.51	3.64 ▲ 0.13
27	26	26	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	✓	3.49	3.60 ▲ 0.11
28	28	28	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	✓	3.42	3.52 ▲ 0.10
29	29	29	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	✓	3.31	3.42 ▲ 0.11

※重要度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↗	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	←	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↘	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

2. 4. 5 重要度における選択肢別の回答割合

図表 12 重要度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.4.6 重要度における属性別比較

性別で見ると、男女とも多少の差異はあるものの、概ね同様の傾向となっている。上位項目については、女性は全体の上位5位に挙げられている項目と同じだが、男性では「社会福祉」が上位5位から外れており（6位）、5位に全体で9位の「農林水産業」が挙げられている。

下位項目については、男女とも全体の項目と同じ項目が挙げられている。

年代別で見ると、上位項目については、全年代で「保健・医療」「子育て」が挙がっており、「保健・医療」は10代及び50代から70代までで、「子育て」は30代と40代で1位となっている。20代以上では「安全・安心体制」、20代から60代までは「雇用・就労」が挙がっており、「安全・安心体制」については年代が上がるにつれて順位が高くなっている。また、10代では「商工業」「地域活性化」、40代以下では「社会福祉」も挙げられており、70代以上では「道路・河川」「上・下水道」がともに挙げられている。

下位項目については、全年代で「地域間・国際交流」「スポーツ」が挙げられており、60代以下では「市民協働」、40代以上では「花火産業構想」が挙げられている。また、20代から40代までは「地域活性化」も挙げられている。

地域別で見ると、上位項目については、全地域で「保健・医療」が挙がっており、中仙・仙北・太田地域では1位となっている。また、中仙地域では「農林水産業」「商工業」の産業に関する項目が挙がっており、西仙北・協和・南外地域では「道路・河川」または「上・下水道」のインフラに関する項目が挙がっている。

下位項目については、全地域で「地域間・国際交流」「スポーツ」が挙げられている。また、神岡・中仙・仙北・太田地域では「花火産業構想」の順位が最も低くなっている。

図表 13 性別による重要度

■男性

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.38
2	安全・安心体制	4.32
3	雇用・就労	4.30
	子育て	4.30
5	農林水産業	4.23

(下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.54
26	市民協働	3.45
27	スポーツ	3.40
	花火産業構想	3.40
29	地域間・国際交流	3.28

■女性

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.38
2	安全・安心体制	4.30
3	子育て	4.28
4	社会福祉	4.23
	雇用・就労	4.23

(下位)

順位	項目	重要度
25	花火産業構想	3.63
26	芸術・文化	3.60
27	市民協働	3.56
28	スポーツ	3.44
29	地域間・国際交流	3.34

図表 14 年代による重要度

■10代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.33
2	子育て	4.22
2	社会福祉	4.22
4	商工業	4.11
4	地域活性化	4.11

(下位)

順位	項目	重要度
22	自然・衛生環境	3.67
22	公共交通	3.67
22	地域情報化	3.67
22	住環境	3.67
22	地域間・国際交流	3.67
22	市民協働	3.67
28	スポーツ	3.56
29	芸術・文化	3.44

■20代 (上位)

順位	項目	重要度
1	社会福祉	4.34
2	保健・医療	4.32
3	雇用・就労	4.31
4	子育て	4.26
4	社会保障	4.26
4	安全・安心体制	4.26

(下位)

順位	項目	重要度
24	芸術・文化	3.68
24	地域活性化	3.68
26	移住・定住	3.60
27	市民協働	3.40
28	スポーツ	3.27
29	地域間・国際交流	3.24

■30代 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.48
2	保健・医療	4.47
3	雇用・就労	4.42
4	社会福祉	4.31
5	安全・安心体制	4.29

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域活性化	3.59
26	スポーツ	3.55
27	芸術・文化	3.53
28	市民協働	3.48
29	地域間・国際交流	3.39

■40代 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.51
1	子育て	4.51
3	保健・医療	4.49
4	安全・安心体制	4.46
5	社会福祉	4.33

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域活性化	3.58
26	花火産業構想	3.50
27	市民協働	3.32
28	スポーツ	3.29
29	地域間・国際交流	3.08

■50代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.29
2	安全・安心体制	4.26
3	道路・河川	4.16
4	子育て	4.15
5	雇用・就労	4.13

(下位)

順位	項目	重要度
25	男女共同参画	3.43
26	市民協働	3.39
27	スポーツ	3.29
28	花火産業構想	3.28
29	地域間・国際交流	3.16

■60代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.33
2	安全・安心体制	4.31
3	雇用・就労	4.27
4	農林水産業	4.23
	子育て	4.23

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.55
26	芸術・文化	3.50
27	花火産業構想	3.47
28	スポーツ	3.44
29	地域間・国際交流	3.33

■70代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.39
2	安全・安心体制	4.25
3	道路・河川	4.23
4	子育て	4.22
5	上・下水道	4.18

(下位)

順位	項目	重要度
25	住環境	3.70
26	芸術・文化	3.61
27	スポーツ	3.56
28	地域間・国際交流	3.54
29	花火産業構想	3.53

■80代 (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.25
2	道路・河川	4.21
	上・下水道	4.21
4	保健・医療	4.18
5	子育て	4.10

(下位)

順位	項目	重要度
24	芸術・文化	3.56
	地域情報化	3.56
26	スポーツ	3.55
27	地域間・国際交流	3.54
28	花火産業構想	3.52
29	市街地	3.36

図表 15 地域による重要度

■大曲地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.43
2	保健・医療	4.42
3	子育て	4.34
4	雇用・就労	4.33
	社会福祉	4.33

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域活性化	3.67
26	芸術・文化	3.65
27	市民協働	3.53
28	スポーツ	3.46
29	地域間・国際交流	3.38

■神岡地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.32
2	子育て	4.31
3	保健・医療	4.28
4	雇用・就労	4.25
5	学校教育	4.19

(下位)

順位	項目	重要度
	スポーツ	3.38
25	地域間・国際交流	3.38
	市民協働	3.38
28	芸術・文化	3.35
29	花火産業構想	3.32

■西仙北地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.26
2	保健・医療	4.25
3	雇用・就労	4.18
4	道路・河川	4.12
5	社会保障	4.07

(下位)

順位	項目	重要度
24	地域情報化	3.44
	芸術・文化	3.44
26	男女共同参画	3.38
27	花火産業構想	3.34
28	スポーツ	3.22
29	地域間・国際交流	3.04

■中仙地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.35
2	雇用・就労	4.31
3	農林水産業	4.26
4	安全・安心体制	4.21
5	商工業	4.19

(下位)

順位	項目	重要度
25	市街地	3.61
26	スポーツ	3.56
27	市民協働	3.53
28	花火産業構想	3.38
	地域間・国際交流	3.38

■協和地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.24
2	子育て	4.23
3	保健・医療	4.20
4	雇用・就労	4.15
	上・下水道	4.15

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域活性化	3.49
26	スポーツ	3.45
	地域間・国際交流	3.45
28	住環境	3.44
29	市民協働	3.38

■南外地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	社会福祉	4.44
2	子育て	4.38
3	安全・安心体制	4.36
	道路・河川	4.36
5	保健・医療	4.28

(下位)

順位	項目	重要度
25	スポーツ	3.64
	市街地	3.64
27	花火産業構想	3.55
28	芸術・文化	3.44
29	地域間・国際交流	3.08

■仙北地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.54
2	雇用・就労	4.30
3	社会保障	4.24
	安全・安心体制	4.24
5	子育て	4.22

(下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.41
	市民協働	3.41
27	スポーツ	3.27
28	地域間・国際交流	3.18
	花火産業構想	3.18

■太田地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.33
2	子育て	4.16
3	安全・安心体制	4.14
4	雇用・就労	4.10
5	社会福祉	4.07

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.45
26	芸術・文化	3.42
27	スポーツ	3.28
28	地域間・国際交流	3.23
29	花火産業構想	3.15

2.4.7 項目別要望度

要望度とは、重要度から満足度を引いた数値としている。

要望度の高い項目は、上位から「雇用・就労」が1.42（昨年度1.36）、「商工業」が1.20（昨年度1.26）、「空き家対策」が1.06（昨年度1.06）の順となっており、上位6項目の順位は昨年度と同じであった。

一方、要望度が低い項目は、下位から「スポーツ」が0.00（昨年度-0.05）、「地域間・国際交流」が0.07（昨年度0.11）、「花火産業構想」が0.16（昨年度0.14）の順となっており、下位3項目の順位は昨年度と同じであった。

昨年度と比較すると、満足度と重要度のどちらも全体的に減少したことから、要望度に大きな変化は見られなかった。

その中でも、昨年度と比較して変化が大きかった項目は、要望度0.84の「安全・安心体制」で昨年度（0.69、15位）より0.15ポイント増加し、8位に大きく順位を上げ、要望度0.65の「公共交通」が昨年度（0.88、7位）より0.23ポイント減少し、15位に大きく順位を下げた。

図表 16 項目別要望度 (重要度－満足度) (点数順)

順位		項 目	要望度 ※			
R3	R2			R3	R2	増減 (R3-R2)
1	1	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	↗	1.42	1.36	0.06
2	2	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	↗	1.20	1.26	▲ 0.06
3	3	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	←	1.06	1.06	0.00
4	4	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	↗	0.92	0.99	▲ 0.07
5	5	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	↗	0.91	0.97	▲ 0.06
6	6	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	←	0.90	0.89	0.01
7	10	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に取り組んでいます。	←	0.87	0.84	0.03
8	15	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	↑	0.84	0.69	0.15
9	12	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	←	0.83	0.79	0.04
10	9	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	←	0.82	0.85	▲ 0.03
11	8	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	↗	0.81	0.87	▲ 0.06
12	11	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	↗	0.76	0.82	▲ 0.06
13	13	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	←	0.75	0.76	▲ 0.01
14	14	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	←	0.73	0.71	0.02
15	7	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	↓	0.65	0.88	▲ 0.23
16	16	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	←	0.59	0.63	▲ 0.04
17	16	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	↗	0.57	0.63	▲ 0.06
17	21	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	↗	0.57	0.46	0.11
19	22	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	↗	0.53	0.44	0.09
20	19	【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	←	0.50	0.53	▲ 0.03
20	23	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	↗	0.50	0.42	0.08
22	20	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	←	0.49	0.47	0.02
23	18	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	↗	0.46	0.58	▲ 0.12
24	24	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMIはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	←	0.37	0.38	▲ 0.01
25	26	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	↗	0.36	0.24	0.12
26	25	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	↗	0.28	0.37	▲ 0.09
27	27	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	←	0.16	0.14	0.02
28	28	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	←	0.07	0.11	▲ 0.04
29	29	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	↗	0.00	-0.05	0.05

※要望度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↗	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	←	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↘	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

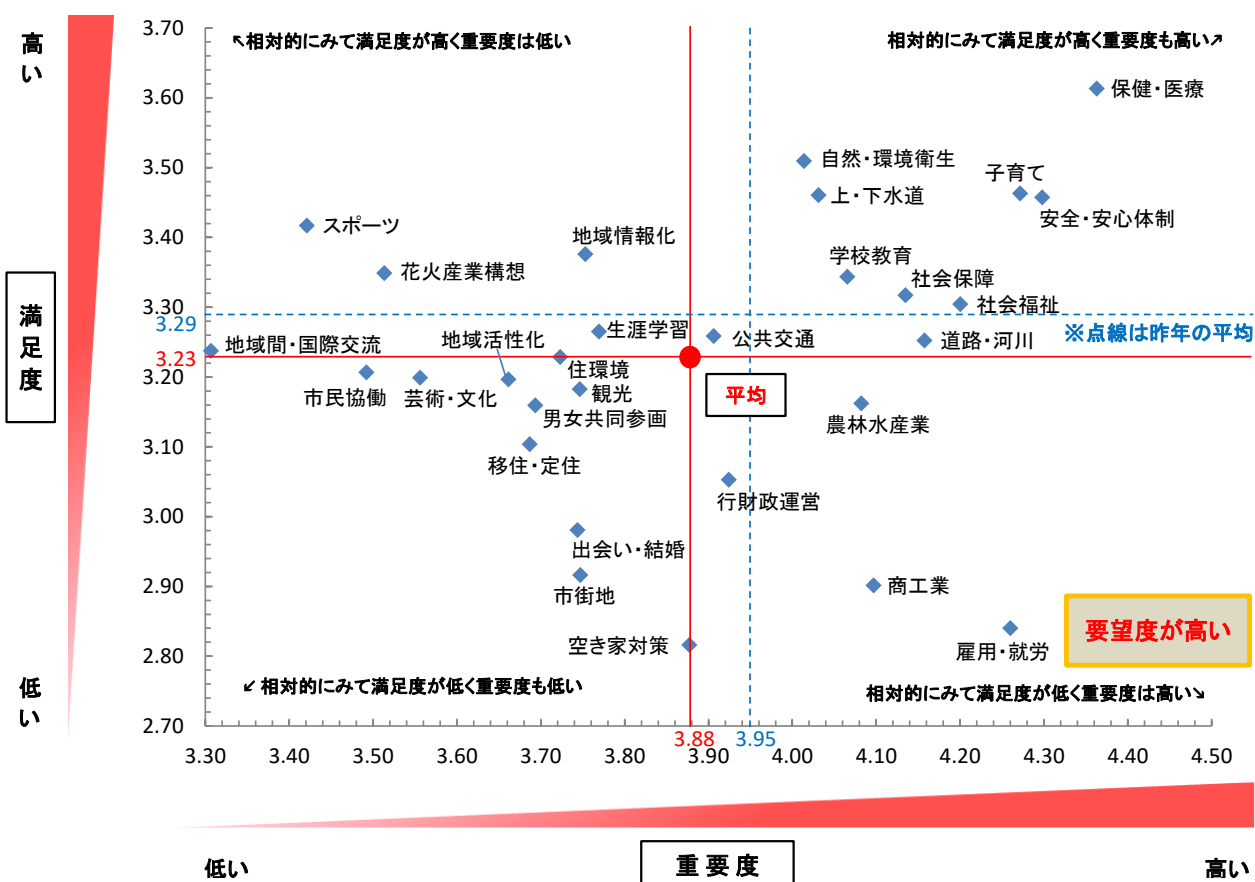
2.4.8 満足度、重要度の総括

満足度、重要度の総括として、満足度を縦軸、重要度を横軸として要望度の高さを示した散布図を作成した。図表 17 は、29 項目の満足度と重要度のそれぞれの位置を示したものである。

図の右上に位置するほど満足度と重要度が高い項目となり、逆に図の左下に位置するほど満足度と重要度が低い項目となっている。満足度が低く重要度が高い項目（図の右下にある項目）ほど相対的に要望が高い項目となっている。

今回の満足度と重要度の結果から相対的に要望が高い項目は、昨年度同様「雇用・就労」「商工業」となっている。

図表 17 満足度・重要度の項目別比較



2. 4. 9 満足度、重要度の年齢層別比較

18 歳から 39 歳まで(図表 18)、40 歳から 64 歳まで(図表 19)、65 歳以上(図表 20) の 3 つの年齢層別に散布図を作成し比較した。

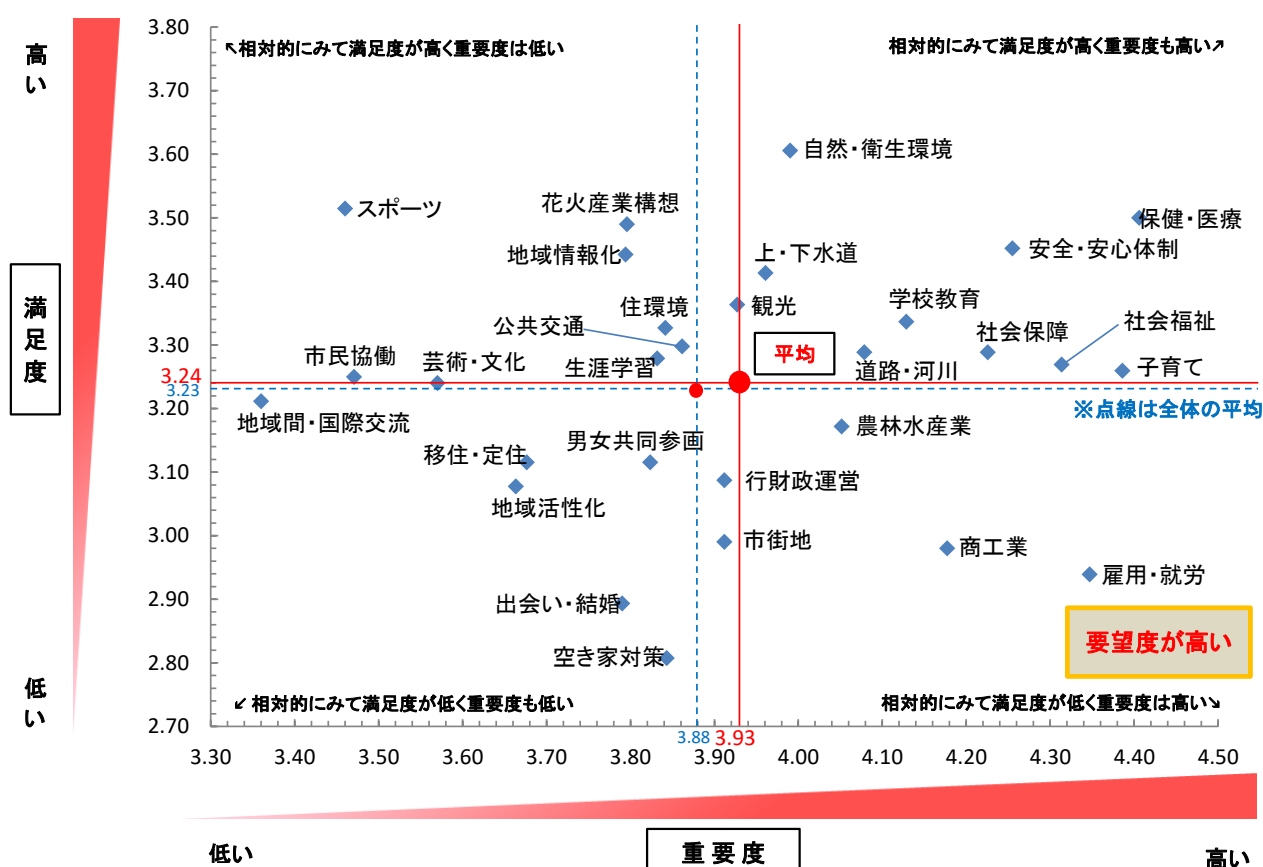
18 歳から 39 歳までの年齢層では、全般的に重要度が高くなっており、相対的に要望が高い項目は「雇用・就労」「商工業」となっている。満足度は、他の年齢層では「保健・医療」が最も高いのに対し、「自然・衛生環境」が最も高くなっている。

40 歳から 64 歳までの年齢層では、全般的に満足度と重要度のどちらも低くなっており、相対的に要望が高い項目は「雇用・就労」「商工業」となっている。満足度は、他の年齢層では「空き家対策」が最も低いのに対し、「雇用・就労」が最も低くなっている。

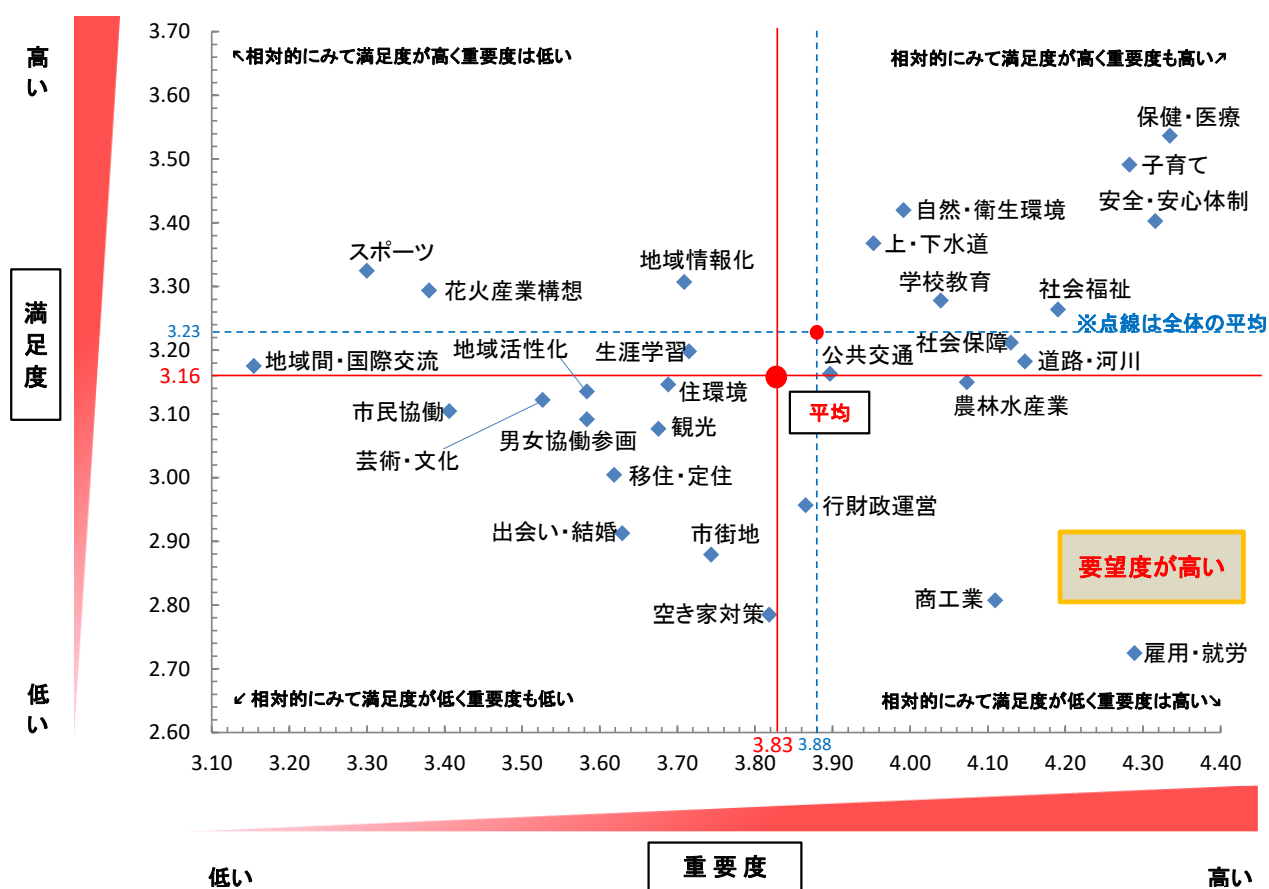
65 歳以上の年齢層では、全般的に満足度が高くなっており、相対的に要望が高い項目は、他の年齢層に共通する「雇用・就労」「商工業」に加え、「空き家対策」も高くなっている。

重要度は、全ての年齢層で「保健・医療」が最も高く、「地域間・国際交流」が最も低くなっている。また、18 歳から 39 歳までと 65 歳以上の年齢層では、散布図左上の「相対的にみて満足度が高く重要度は低い」にあたる位置に分布する項目が多く、40 歳から 64 歳までの年齢層では、散布図左下の「相対的にみて満足度が低く重要度も低い」にあたる位置に分布する項目が多くなっている。

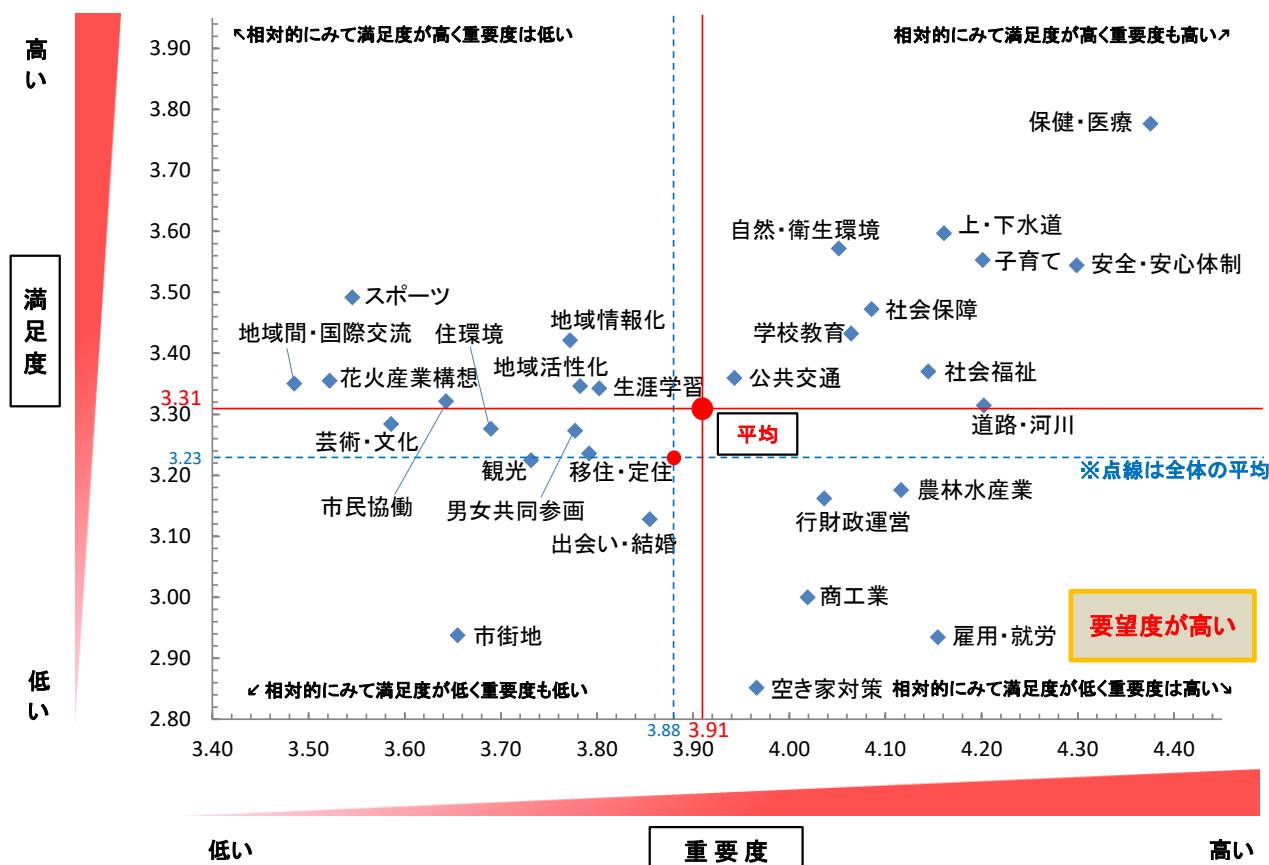
図表 18 満足度・重要度の項目別比較（18 歳から 39 歳）



図表 19 満足度・重要度の項目別比較（40 歳から 64 歳）



図表 20 満足度・重要度の項目別比較（65 歳以上）



2.5 さらに推進すべき取り組み

2.5.1 産業分野に関する設問について

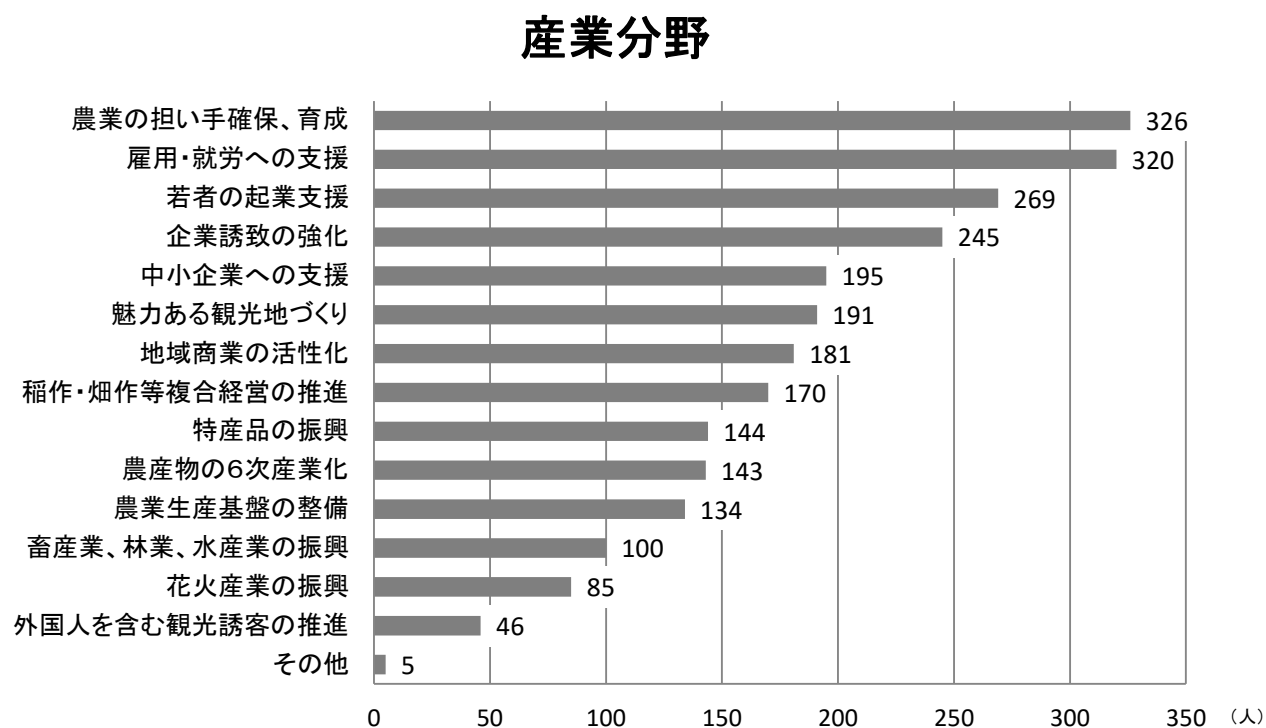
さらに推進すべき取り組みの上位は、「農業の担い手確保、育成」「雇用・就労への支援」「若者の起業支援」の順となっている。

一方、下位は、「外国人を含む観光誘客の推進」「花火産業の振興」「畜産業、林業、水産業の振興」の順となっている。

年代別で見ると、10代では「若者の起業支援」が最も多くなっており、30代以下及び80代では「地域商業の活性化」、40代以上では「企業誘致の強化」が上位に入っている。

地域別で見ると、上位の項目に大きな差異は見られないが、神岡地域では「若者の起業支援」が最も多くなっており、中仙地域では全体の上位5項目に入っていない「魅力ある観光地づくり」「地域商業の活性化」の2項目が上位に入っている。

図表 21 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 22 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	若者の起業支援	6
2	雇用・就労への支援	5
	農業の担い手確保、育成	5
	魅力ある観光地づくり	5
5	地域商業の活性化	3
	特産品の振興	3
	農産物の6次産業化	3

■20代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	23
2	若者の起業支援	22
3	農業の担い手確保、育成	17
4	地域商業の活性化	15
5	中小企業への支援	13

■30代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	41
2	農業の担い手確保、育成	34
3	若者の起業支援	28
	中小企業への支援	28
5	地域商業の活性化	26

■40代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	50
2	若者の起業支援	44
3	雇用・就労への支援	43
4	中小企業への支援	32
	企業誘致の強化	32

■50代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	66
2	農業の担い手確保、育成	55
3	企業誘致の強化	49
4	若者の起業支援	41
5	魅力ある観光地づくり	31

■60代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	78
2	雇用・就労への支援	72
3	企業誘致の強化	55
	若者の起業支援	55
5	魅力ある観光地づくり	45
	中小企業への支援	45

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	62
2	企業誘致の強化	55
3	若者の起業支援	50
4	雇用・就労への支援	48
5	魅力ある観光地づくり	39

■80代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	24
2	若者の起業支援	23
3	雇用・就労への支援	20
4	地域商業の活性化	17
5	企業誘致の強化	16
	稲作・畑作等複合経営の推進	16

図表 23 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	140
2	農業の担い手確保、育成	132
3	企業誘致の強化	113
4	若者の起業支援	108
5	魅力ある観光地づくり	94

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	若者の起業支援	22
2	雇用・就労への支援	20
3	農業の担い手確保、育成	19
4	企業誘致の強化	12
5	中小企業への支援	11

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	37
2	雇用・就労への支援	32
3	若者の起業支援	31
4	企業誘致の強化	26
5	稲作・畑作等複合経営の推進	24

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	34
2	雇用・就労への支援	29
3	若者の起業支援	22
4	魅力ある観光地づくり	21
5	地域商業の活性化	20

■協和地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	26
2	農業の担い手確保、育成	25
3	企業誘致の強化	24
4	若者の起業支援	19
5	魅力ある観光地づくり	19

■南外地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	18
2	農業の担い手確保、育成	18
3	若者の起業支援	16
4	中小企業への支援	13
5	魅力ある観光地づくり	12

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	29
2	雇用・就労への支援	25
3	若者の起業支援	23
4	企業誘致の強化	23
5	中小企業への支援	17
	地域商業の活性化	17

■太田地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	29
2	雇用・就労への支援	25
3	若者の起業支援	25
4	稲作・畑作等複合経営の推進	20
5	中小企業への支援	18

2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について

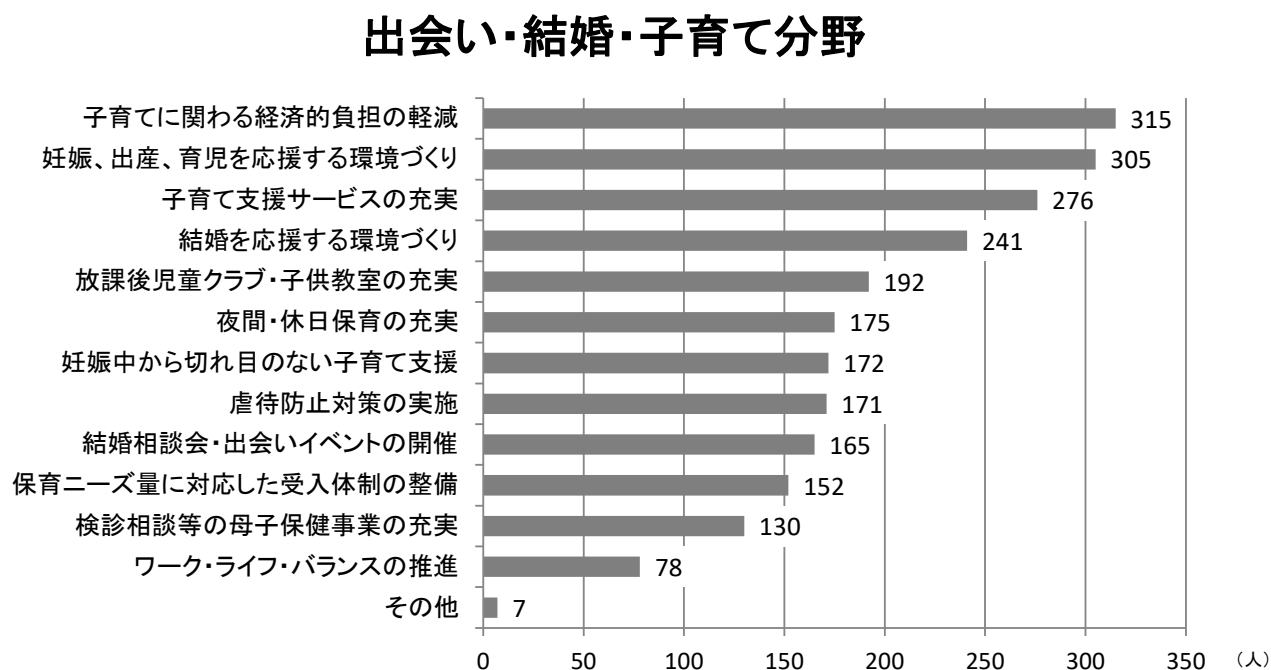
さらに推進すべき取り組みの上位は、「子育てに関わる経済的負担の軽減」「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」「子育て支援サービスの充実」の順となっている。

一方、下位は、「ワーク・ライフ・バランスの推進」「検診相談等の母子保健事業の充実」「保育ニーズ量に対応した受入体制の整備」の順となっている。

年代別で見ると、20代から40代までは「妊娠中から切れ目のない子育て支援」が他の年代にはなく上位に入っている。また、70代以上では「結婚を応援する環境づくり」が最も多くなっており、他の年代にはない「結婚相談会・出会いイベントの開催」が上位に入るなど、結婚に関する取り組みが上位になっている。

地域別で見ると、南外地域以外では子育てに関する内容が最も多くなっているが、南外地域では「結婚を応援する環境づくり」が最も多くなっている。また、大曲・西仙北・仙北地域では「放課後児童クラブ・子供教室の充実」が他の地域にはなく上位に入っている。

図表 24 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 25 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	6
2	結婚を応援する環境づくり	5
	夜間・休日保育の充実	5
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	4
	虐待防止対策の実施	4

■20代

順位	項目	回答数
1	子育て支援サービスの充実	27
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	25
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	23
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	18
5	夜間・休日保育の充実	16

■30代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	44
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	40
3	子育て支援サービスの充実	31
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	29
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	28

■40代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	52
2	子育て支援サービスの充実	50
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	49
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	33
5	妊娠中から切れ目のない子育て支援	31

■50代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	57
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	49
	子育て支援サービスの充実	49
4	結婚を応援する環境づくり	35
5	夜間・休日保育の充実	33

■60代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	73
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	69
3	子育て支援サービスの充実	59
4	結婚を応援する環境づくり	56
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	44

■70代

順位	項目	回答数
1	結婚を応援する環境づくり	60
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	48
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	45
4	子育て支援サービスの充実	43
	結婚相談会・出会いイベントの開催	43

■80代

順位	項目	回答数
1	結婚を応援する環境づくり	25
2	結婚相談会・出会いイベントの開催	21
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	18
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	18
5	虐待防止対策の実施	17

図表 26 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	142
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	133
3	子育て支援サービスの充実	117
4	結婚を応援する環境づくり	96
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	89

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	23
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	20
3	子育て支援サービスの充実	18
4	結婚を応援する環境づくり	15
5	保育ニーズ量に対応した受入体制の整備 夜間・休日保育の充実	12

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	36
2	子育て支援サービスの充実	32
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	28
4	結婚を応援する環境づくり	27
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	20

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	子育て支援サービスの充実	31
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	30
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	29
4	結婚を応援する環境づくり	25
5	妊娠中から切れ目のない子育て支援	19

■協和地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	25
2	結婚を応援する環境づくり	24
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
4	子育て支援サービスの充実	19
5	結婚相談会・出会いイベントの開催	14

■南外地域

順位	項目	回答数
1	結婚を応援する環境づくり	17
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり 子育て支援サービスの充実	15
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	13
5	夜間・休日保育の充実 虐待防止対策の実施	12

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	27
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり 子育て支援サービスの充実	22
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	19
5	結婚を応援する環境づくり	16

■太田地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	26
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	25
3	子育て支援サービスの充実	20
4	結婚を応援する環境づくり 夜間・休日保育の充実	19

2. 5. 3 健康福祉・スポーツ分野に関する設問について

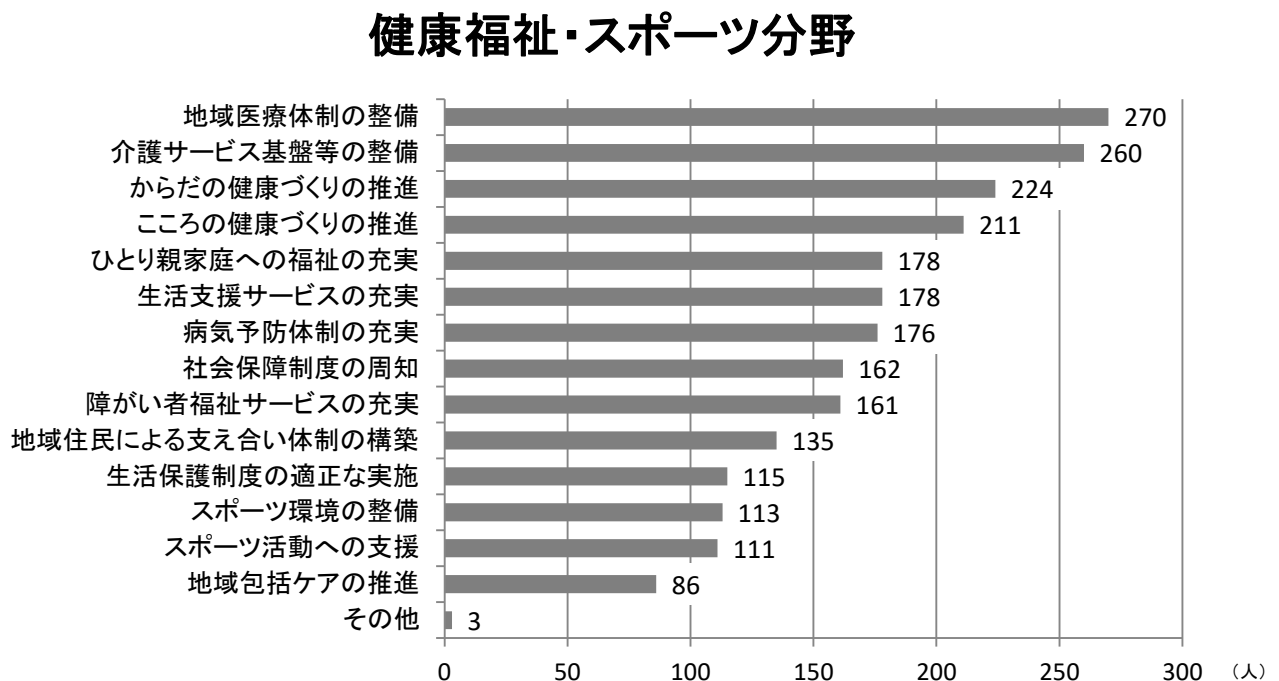
さらに推進すべき取り組みの上位は、「地域医療体制の整備」「介護サービス基盤等の整備」「からだの健康づくりの推進」の順となっている。

一方、下位は、「地域包括ケアの推進」「スポーツ活動への支援」「スポーツ環境の整備」の順となっている。

年代別で見ると、20代から60代までは「地域医療体制の整備」が最も多くなっている。また、30代以下では「ひとり親家庭への福祉の充実」、30代では全体で下位に入っている「スポーツ環境の整備」が他の年代にはなく上位に入っている。

地域別で見ると、最も多い回答として「地域医療体制の整備」を挙げている地域が多くなっている。また、全体の上位5項目に入っていない項目として「病気予防体制の充実」「社会保障制度の周知」が多く挙げられている。

図表 27 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 28 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくりの推進	6
2	からだの健康づくりの推進	5
	地域医療体制の整備	5
	病気予防体制の充実	3
	ひとり親家庭への福祉の充実	3
4	生活支援サービスの充実	3
	介護サービス基盤等の整備	3
	社会保障制度の周知	3
	生活保護制度の適正な実施	3

■20代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	23
2	生活支援サービスの充実	18
	介護サービス基盤等の整備	18
4	ひとり親家庭への福祉の充実	17
5	こころの健康づくりの推進	15

■30代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	31
2	介護サービス基盤等の整備	29
3	ひとり親家庭への福祉の充実	25
4	障がい者福祉サービスの充実	23
5	スポーツ環境の整備	22

■40代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	38
2	からだの健康づくりの推進	33
	介護サービス基盤等の整備	33
4	こころの健康づくりの推進	28
5	病気予防体制の充実	27
	社会保障制度の周知	27

■50代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	52
2	介護サービス基盤等の整備	50
3	こころの健康づくりの推進	35
	生活支援サービスの充実	35
5	からだの健康づくりの推進	32

■60代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	61
2	介護サービス基盤等の整備	59
3	からだの健康づくりの推進	54
4	こころの健康づくりの推進	47
	病気予防体制の充実	47

■70代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	48
2	からだの健康づくりの推進	47
3	こころの健康づくりの推進	41
4	地域医療体制の整備	40
5	生活支援サービスの充実	36

■80代

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくりの推進	20
	こころの健康づくりの推進	19
2	介護サービス基盤等の整備	19
	障がい者福祉サービスの充実	19
5	地域医療体制の整備	17

図表 29 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	121
2	介護サービス基盤等の整備	111
3	こころの健康づくりの推進	91
4	からだの健康づくりの推進	90
5	病気予防体制の充実	87

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	16
	介護サービス基盤等の整備	16
3	からだの健康づくりの推進	14
	こころの健康づくりの推進	13
4	ひとり親家庭への福祉の充実	13
	社会保障制度の周知	13

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	28
2	からだの健康づくりの推進	24
	介護サービス基盤等の整備	24
4	社会保障制度の周知	22
5	こころの健康づくりの推進	21

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	28
2	介護サービス基盤等の整備	26
3	からだの健康づくりの推進	24
4	こころの健康づくりの推進	20
5	ひとり親家庭への福祉の充実	19
	生活支援サービスの充実	19

■協和地域

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくりの推進	19
	介護サービス基盤等の整備	19
3	地域医療体制の整備	18
4	からだの健康づくりの推進	16
5	ひとり親家庭への福祉の充実	15

■南外地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	20
2	からだの健康づくりの推進	16
	こころの健康づくりの推進	12
3	地域医療体制の整備	12
	障がい者福祉サービスの充実	12

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	22
2	からだの健康づくりの推進	20
3	介護サービス基盤等の整備	18
4	こころの健康づくりの推進	16
5	病気予防体制の充実	14
	社会保障制度の周知	14

■太田地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	22
2	地域医療体制の整備	20
	病気予防体制の充実	20
4	こころの健康づくりの推進	19
5	からだの健康づくりの推進	18
	ひとり親家庭への福祉の充実	18

2.5.4 環境安全分野に関する設問について

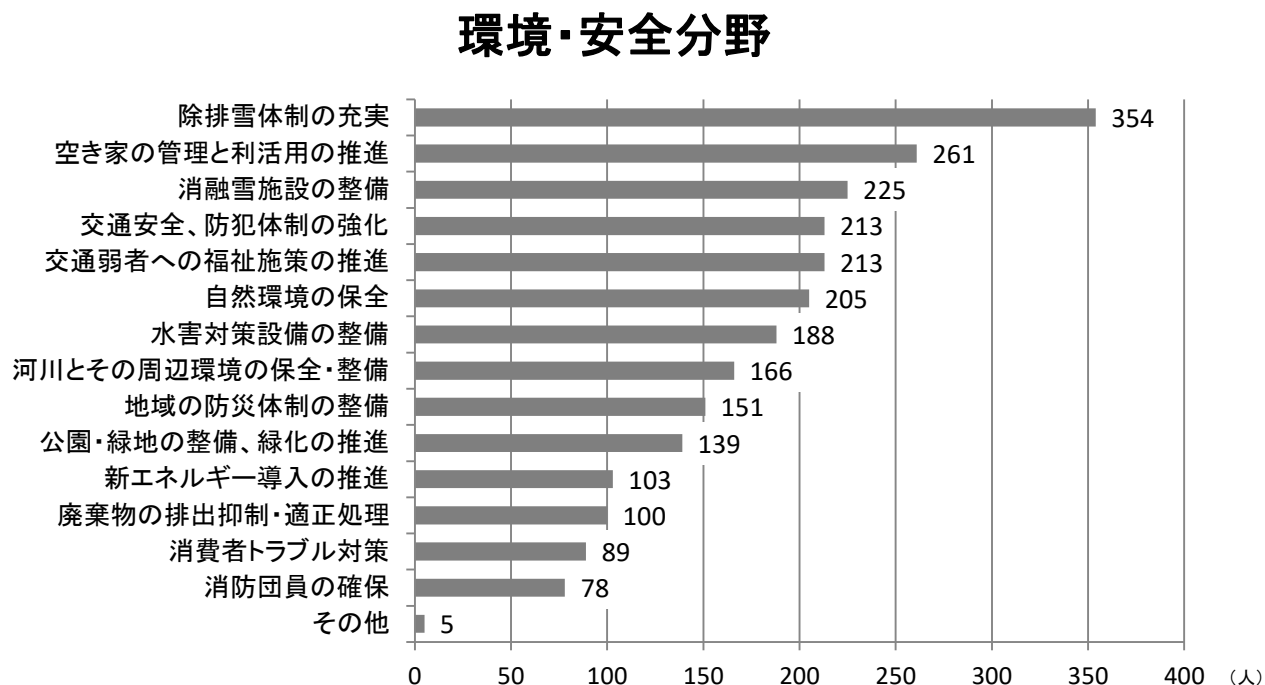
さらに推進すべき取り組みの上位は、「除排雪体制の充実」「空き家の管理と利活用の推進」「消融雪施設の整備」の順となっている。

一方、下位は、「消防団員の確保」「消費者トラブル対策」「廃棄物の排出抑制・適正処理」の順となっている。

年代別で見ると、70代以下では「除排雪体制の充実」が最も多くなっている。また、40代と50代以外では「自然環境の保全」が上位に入っており、10代では同数で最も多くなっている。

地域別で見ると、全ての地域で「除排雪体制の充実」が最も多くなっており、大曲・西仙北地域では「消融雪施設の整備」が他の地域にはなく上位に入っている。また、全体の上位5項目に入っていない項目として「自然環境の保全」が多く挙げられている。

図表 30 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 31 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	自然環境の保全	5
	除排雪体制の充実	5
	空き家の管理と利活用の推進	5
4	交通安全、防犯体制の強化	4
5	交通弱者への福祉施策の推進	3
	消融雪施設の整備	3
	廃棄物の排出抑制・適正処理	3
	公園・緑地の整備、緑化の推進	3

■20代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	24
2	交通弱者への福祉施策の推進	16
3	消融雪施設の整備	14
4	空き家の管理と利活用の推進	12
5	自然環境の保全	11
	消費者トラブル対策	11
	地域の防災体制の整備	11
	水害対策設備の整備	11

■30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	45
2	消融雪施設の整備	34
3	空き家の管理と利活用の推進	28
4	自然環境の保全	23
5	水害対策設備の整備	22
	河川とその周辺環境の保全・整備	22
	公園・緑地の整備、緑化の推進	22

■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	55
2	消融雪施設の整備	41
3	交通安全、防犯体制の強化	36
4	空き家の管理と利活用の推進	33
5	水害対策設備の整備	31

■50代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	68
2	交通弱者への福祉施策の推進	39
3	交通安全、防犯体制の強化	38
4	消融雪施設の整備	37
	空き家の管理と利活用の推進	37

■60代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	76
2	空き家の管理と利活用の推進	70
3	交通安全、防犯体制の強化	48
	交通弱者への福祉施策の推進	48
5	自然環境の保全	45

■70代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	57
2	空き家の管理と利活用の推進	51
3	自然環境の保全	45
4	交通弱者への福祉施策の推進	44
5	消融雪施設の整備	41

■80代

順位	項目	回答数
1	空き家の管理と利活用の推進	24
2	除排雪体制の充実	23
3	交通弱者への福祉施策の推進	19
4	交通安全、防犯体制の強化	18
5	自然環境の保全	16

図表 32 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	153
2	消融雪施設の整備	121
3	空き家の管理と利活用の推進	105
4	交通弱者への福祉施策の推進	93
5	自然環境の保全	91

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	25
2	自然環境の保全	13
	交通安全、防犯体制の強化	13
	交通弱者への福祉施策の推進	13
	空き家の管理と利活用の推進	13

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	43
2	空き家の管理と利活用の推進	29
3	消融雪施設の整備	28
4	水害対策設備の整備	25
5	交通安全、防犯体制の強化	23
	交通弱者への福祉施策の推進	23

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	29
2	交通弱者への福祉施策の推進	27
3	交通安全、防犯体制の強化	26
	空き家の管理と利活用の推進	26
5	自然環境の保全	22
	地域の防災体制の整備	22

■協和地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	24
2	空き家の管理と利活用の推進	22
3	交通安全、防犯体制の強化	18
4	自然環境の保全	16
5	交通弱者への福祉施策の推進	14

■南外地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	20
2	交通弱者への福祉施策の推進	17
3	空き家の管理と利活用の推進	15
4	交通安全、防犯体制の強化	14
	水害対策設備の整備	14

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	31
2	空き家の管理と利活用の推進	25
3	交通安全、防犯体制の強化	18
	河川とその周辺環境の保全・整備	18
5	地域の防災体制の整備	17

■太田地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	26
2	空き家の管理と利活用の推進	24
3	自然環境の保全	18
	交通安全、防犯体制の強化	18
5	廃棄物の排出抑制・適正処理	12

2. 5. 5 都市基盤分野に関する設問について

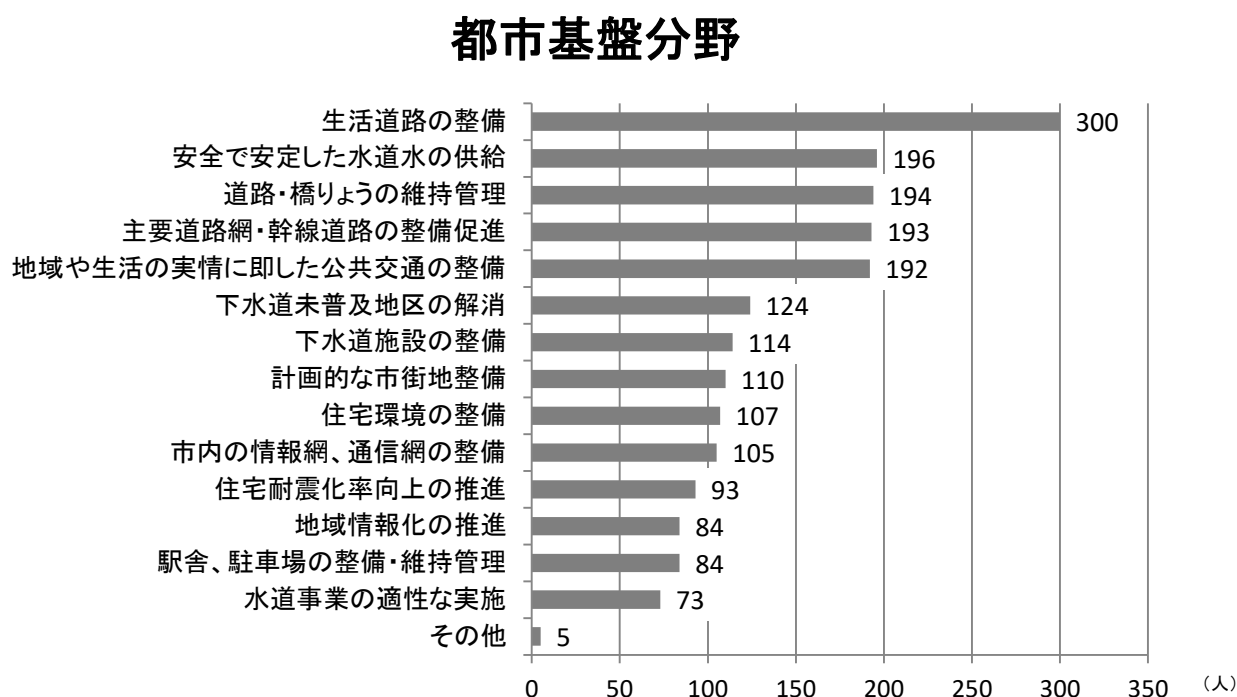
さらに推進すべき取り組みの上位は、「生活道路の整備」「安全で安定した水道水の供給」「道路・橋りょうの維持管理」の順となっている。

一方、下位は、「水道事業の適性な実施」「駅舎、駐車場の整備・維持管理」「地域情報化の推進」の順となっている。

年代別で見ると、20代以上では「生活道路の整備」が最も多くなっており、20代以下では「駅舎、駐車場の整備・維持管理」、20代と30代では「住宅環境の整備」が他の年代にはなく上位に入っている。また、40代以上では「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」が上位に入っており、80代では下水道に関する項目が2つとも上位に入っている。

地域別で見ると、全ての地域で「生活道路の整備」が最も多くなっている。また、南外地域以外では全体の上位5項目が全て挙げられているが、南外地域では「住宅環境の整備」が他の地域にはなく上位に入っている。

図表 33 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 34 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	道路・橋りょうの維持管理	6
2	生活道路の整備	4
	駅舎、駐車場の整備・維持管理	4
	主要道路網・幹線道路の整備促進	3
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	3
	住宅耐震化率向上の推進	3
	下水道未普及地区の解消	3

■20代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	22
	主要道路網・幹線道路の整備促進	14
2	駅舎、駐車場の整備・維持管理	14
	住宅環境の整備	14
	安全で安定した水道水の供給	14

■30代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	33
2	道路・橋りょうの維持管理	24
	安全で安定した水道水の供給	24
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	21
5	住宅環境の整備	19

■40代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	42
2	安全で安定した水道水の供給	34
3	道路・橋りょうの維持管理	33
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	25
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	25

■50代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	57
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	39
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	38
4	道路・橋りょうの維持管理	31
5	安全で安定した水道水の供給	29

■60代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	67
2	道路・橋りょうの維持管理	50
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	45
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	40
5	安全で安定した水道水の供給	36

■70代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	55
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	45
3	安全で安定した水道水の供給	38
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	35
5	道路・橋りょうの維持管理	32

■80代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	19
	安全で安定した水道水の供給	19
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	16
4	住宅耐震化率向上の推進	14
	主要道路網・幹線道路の整備促進	11
5	下水道施設の整備	11
	下水道未普及地区の解消	11

図表 35 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	122
2	道路・橋りょうの維持管理	88
3	安全で安定した水道水の供給	87
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	83
5	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	81

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	17
2	道路・橋りょうの維持管理	14
3	安全で安定した水道水の供給	11
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	9
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	9

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	39
2	道路・橋りょうの維持管理	22
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	22
4	安全で安定した水道水の供給	19
5	主要道路網・幹線道路の整備促進	17

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	32
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	24
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	22
4	安全で安定した水道水の供給	19
5	道路・橋りょうの維持管理	18

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	22
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	19
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	17
4	安全で安定した水道水の供給	15
	道路・橋りょうの維持管理	9
5	駅舎、駐車場の整備・維持管理	9
	計画的な市街地整備	9

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	16
2	道路・橋りょうの維持管理	13
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	10
	安全で安定した水道水の供給	10
5	住宅環境の整備	9

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	26
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	18
	安全で安定した水道水の供給	18
4	道路・橋りょうの維持管理	15
5	主要道路網・幹線道路の整備促進	14

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	23
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	17
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	15
	安全で安定した水道水の供給	15
5	道路・橋りょうの維持管理	14

2.5.6 教育・交流分野に関する設問について

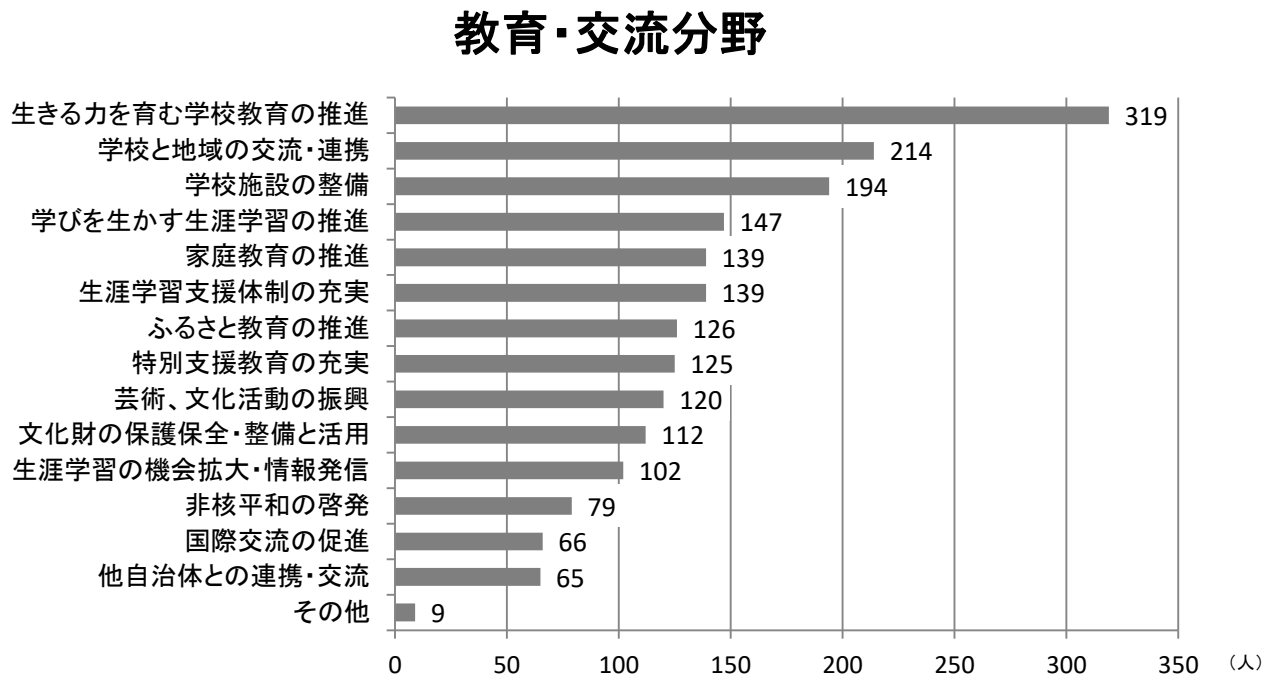
さらに推進すべき取り組みの上位は、「生きる力を育む学校教育の推進」「学校と地域の交流・連携」「学校施設の整備」の順となっている。

一方、下位は、「他自治体との連携・交流」「国際交流の促進」「非核平和の啓発」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「生きる力を育む学校教育の推進」が最も多くなっている。次いで多い項目は、50代以下では「学校施設の整備」、60代以上では「学校と地域の交流・連携」となっている。

地域別で見ると、全ての地域で「生きる力を育む学校教育の推進」が最も多くなっている。また、大曲・南外・太田地域では「家庭教育の推進」、中仙・協和・仙北地域では「文化財の保護保全・整備と活用」が他の地域にはなく上位に入っている。

図表 36 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 37 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	6
2	学校施設の整備	5
3	学びを生かす生涯学習の推進	4
4	学校と地域の交流・連携	3
5	特別支援教育の充実	2
	生涯学習支援体制の充実	2
	生涯学習の機会拡大・情報発信	2
	芸術、文化活動の振興	2
	文化財の保護保全・整備と活用	2
	非核平和の啓発	2
	国際交流の促進	2

■20代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	21
2	学校施設の整備	20
3	学校と地域の交流・連携	15
4	家庭教育の推進	12
5	芸術、文化活動の振興	11

■30代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	33
2	学校施設の整備	30
3	学校と地域の交流・連携	21
4	文化財の保護保全・整備と活用	17
5	家庭教育の推進	16
	学びを生かす生涯学習の推進	16

■40代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	46
2	学校施設の整備	37
3	学校と地域の交流・連携	30
4	特別支援教育の充実	25
5	学びを生かす生涯学習の推進	23

■50代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	58
2	学校施設の整備	32
3	学校と地域の交流・連携	30
4	学びを生かす生涯学習の推進	27
5	ふるさと教育の推進	23

■60代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	74
2	学校と地域の交流・連携	57
3	生涯学習支援体制の充実	37
4	家庭教育の推進	33
5	学校施設の整備	31
	特別支援教育の充実	31

■70代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	62
2	学校と地域の交流・連携	43
3	家庭教育の推進	28
	学校施設の整備	28
5	生涯学習支援体制の充実	27

■80代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	19
2	学校と地域の交流・連携	14
3	家庭教育の推進	13
	学びを生かす生涯学習の推進	13
5	学校施設の整備	11

図表 38 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	138
2	学校と地域の交流・連携	88
3	学校施設の整備	87
4	学びを生かす生涯学習の推進	74
5	家庭教育の推進	68

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	17
2	学校施設の整備	16
3	学校と地域の交流・連携	11
4	生涯学習支援体制の充実 学びを生かす生涯学習の推進	9

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	28
2	学校施設の整備	18
3	学校と地域の交流・連携	17
4	生涯学習支援体制の充実	16
5	学びを生かす生涯学習の推進	15

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	39
2	学校と地域の交流・連携	28
3	学校施設の整備 特別支援教育の充実	19
5	文化財の保護保全・整備と活用	17

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	28
2	学校と地域の交流・連携	18
3	学校施設の整備	13
4	生涯学習支援体制の充実	10
5	ふるさと教育の推進 文化財の保護保全・整備と活用	9

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	16
2	学校と地域の交流・連携	12
3	ふるさと教育の推進	11
4	特別支援教育の充実	9
5	家庭教育の推進	8

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	22
2	学校と地域の交流・連携	15
3	学校施設の整備 文化財の保護保全・整備と活用	14
5	生涯学習支援体制の充実	11

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	30
2	学校と地域の交流・連携	22
3	学校施設の整備	18
4	学びを生かす生涯学習の推進	16
5	家庭教育の推進	15

2.5.7 地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について

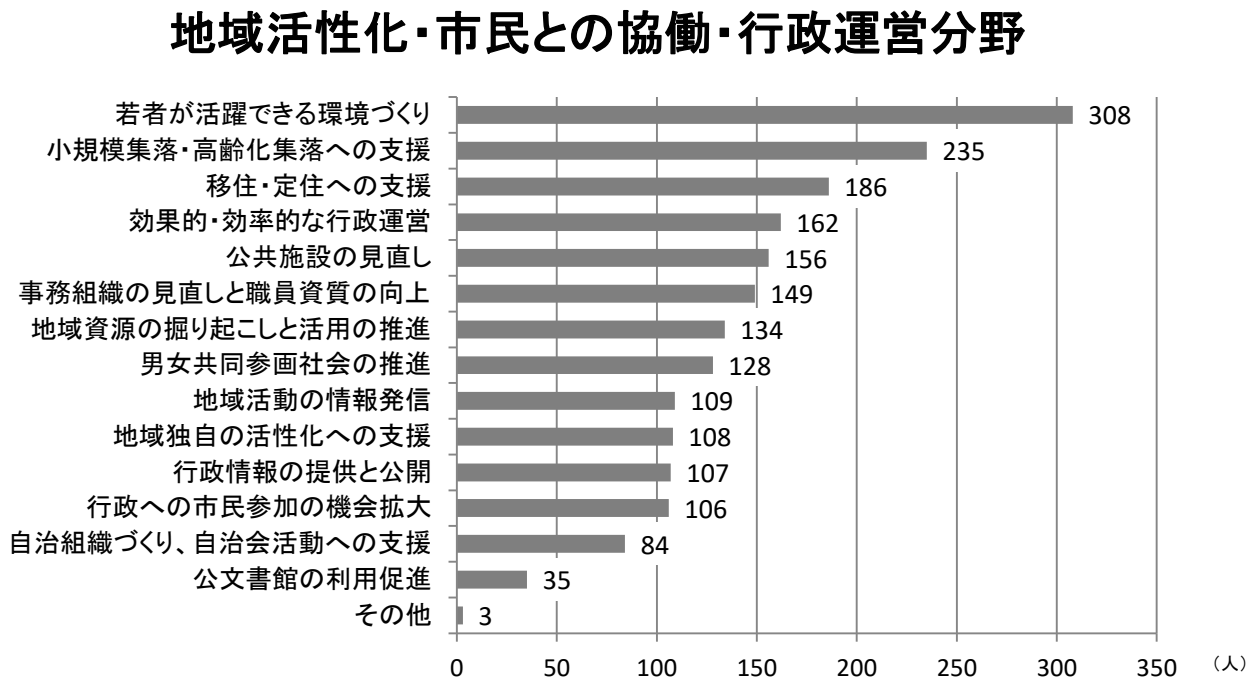
さらに推進すべき取り組みの上位は、「若者が活躍できる環境づくり」「小規模集落・高齢化集落への支援」「移住・定住への支援」の順となっている。

一方、下位は、「公文書館の利用促進」「自治組織づくり、自治会活動への支援」「行政への市民参加の機会拡大」の順となっている。

年代別で見ると、70代以外では「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっている。また、20代以下では「男女共同参画社会の推進」、40代と50代では「事務組織の見直しと職員資質の向上」、80代では「自治組織づくり、自治会活動への支援」が他の年代にはなく上位に入っている。

地域別で見ると、南外地域以外では「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっているが、南外地域では「小規模集落・高齢化集落への支援」が最も多くなっている。また、全体的上位5項目に入っていない項目として「事務組織の見直しと職員資質の向上」「地域資源の掘り起こしと活用の推進」が多く挙げられている。

図表 39 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 40 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	7
2	地域資源の掘り起こしと活用の推進	4
	男女共同参画社会の推進	4
4	小規模集落・高齢化集落への支援	3
	効果的・効率的な行政運営	3

■20代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	29
2	移住・定住への支援	15
3	男女共同参画社会の推進	13
	地域独自の活性化への支援	11
4	小規模集落・高齢化集落への支援	11
	公共施設の見直し	11

■30代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	33
2	移住・定住への支援	24
3	小規模集落・高齢化集落への支援	20
	効果的・効率的な行政運営	20
5	公共施設の見直し	19

■40代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	41
2	事務組織の見直しと職員資質の向上	26
3	効果的・効率的な行政運営	24
4	移住・定住への支援	23
5	小規模集落・高齢化集落への支援	22

■50代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	53
2	効果的・効率的な行政運営	39
3	小規模集落・高齢化集落への支援	37
	事務組織の見直しと職員資質の向上	37
5	公共施設の見直し	29

■60代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	70
2	小規模集落・高齢化集落への支援	69
3	移住・定住への支援	53
4	地域資源の掘り起こしと活用の推進	39
5	公共施設の見直し	38

■70代

順位	項目	回答数
1	小規模集落・高齢化集落への支援	56
2	若者が活躍できる環境づくり	53
3	移住・定住への支援	28
4	効果的・効率的な行政運営	27
5	公共施設の見直し	26

■80代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	21
2	小規模集落・高齢化集落への支援	16
3	行政への市民参加の機会拡大	15
4	自治組織づくり、自治会活動への支援	13
	移住・定住への支援	13

図表 41 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	131
2	小規模集落・高齢化集落への支援	92
3	移住・定住への支援	87
4	効果的・効率的な行政運営	77
5	公共施設の見直し	75

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	17
2	小規模集落・高齢化集落への支援	12
3	移住・定住への支援	11
4	地域資源の掘り起こしと活用の推進	9
	地域独自の活性化への支援	9
	事務組織の見直しと職員資質の向上	9
	公共施設の見直し	9

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	34
2	小規模集落・高齢化集落への支援	27
3	事務組織の見直しと職員資質の向上	19
4	効果的・効率的な行政運営	18
5	公共施設の見直し	16

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	34
2	小規模集落・高齢化集落への支援	30
3	効果的・効率的な行政運営	18
4	移住・定住への支援	17
	公共施設の見直し	17

■協和地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	21
2	小規模集落・高齢化集落への支援	20
3	移住・定住への支援	14
4	男女共同参画社会の推進	11
5	地域資源の掘り起こしと活用の推進	10

■南外地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落・高齢化集落への支援	18
2	若者が活躍できる環境づくり	16
3	移住・定住への支援	12
4	事務組織の見直しと職員資質の向上	11
5	地域資源の掘り起こしと活用の推進	8
	自治組織づくり、自治会活動への支援	8
	効果的・効率的な行政運営	8
	公共施設の見直し	8

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	24
2	小規模集落・高齢化集落への支援	17
3	移住・定住への支援	16
4	地域独自の活性化への支援	12
	男女共同参画社会の推進	12
	事務組織の見直しと職員資質の向上	12

■太田地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	27
2	小規模集落・高齢化集落への支援	18
3	移住・定住への支援	15
4	地域資源の掘り起こしと活用の推進	14
	効果的・効率的な行政運営	14

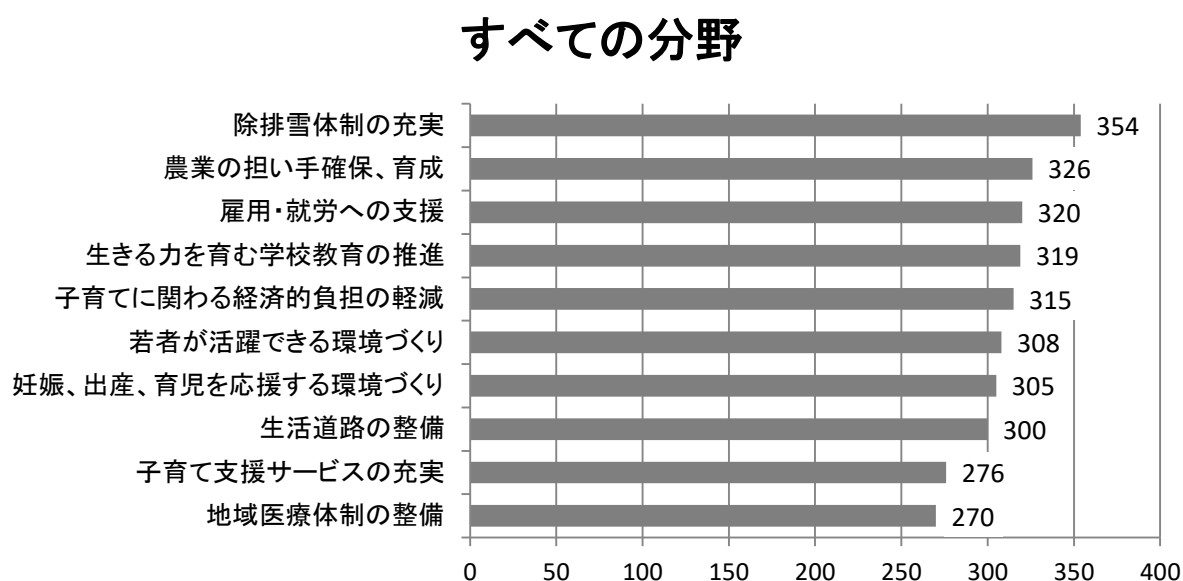
2.5.8 さらに推進すべき取り組みの総括

分野を分けずに全ての項目において比較すると、さらに推進すべき取り組みの上位となっているのは、「除排雪体制の充実」「農業の担い手確保、育成」「雇用・就労への支援」「生きる力を育む学校教育の推進」「子育てに関わる経済的負担の軽減」の順となっている。

年代別で見ると、10代と20代では「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっており、10代と80代では「若者の起業支援」も上位に挙がるなど、若者への支援に関する項目が上位となっている。20代から50代までは子育てに関する項目が多く挙がっており、20代から40代までは50代よりも上位に挙がっている。30代から50代までは「除排雪体制の充実」が最も多くなっており、60代では2番目に多くなっている。60代と70代では「農業の担い手確保、育成」が最も多くなっており、また、他の年代にはない「小規模集落・高齢化集落への支援」が上位に挙がっている。80代では「結婚を応援する環境づくり」が最も多くなっており、また、他の年代にはない「結婚相談会・出会いイベントの開催」も上位に挙げられ、結婚支援に関する内容が上位となっている。

地域別で見ると、最も多い回答として「除排雪体制の充実」を挙げている地域が多くなっている。大曲・神岡地域以外では「農業の担い手確保、育成」が2、3番目に多くなっており、大曲・神岡地域では子育てに関する項目が他の地域と比べて上位となっている。南外地域では「介護サービス基盤等の整備」が最も多くなっており、「交通弱者への福祉施策の推進」「からだの健康づくりの推進」も含め、他の地域にはない項目が多く挙がっている。また、中仙・南外地域で挙げられている「小規模集落・高齢化集落への支援」も南外地域では上位となっている。

図表 42 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 43 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	7
2	若者の起業支援	6
	子育てに関わる経済的負担の軽減	6
2	こころの健康づくりの推進	6
	道路・橋りょうの維持管理	6
6	生きる力を育む学校教育の推進	6
	農業の担い手確保、育成	5
8	魅力ある観光地づくり	5
	雇用・就労への支援	5
8	結婚を応援する環境づくり	5
	夜間・休日保育の充実	5
7	からだの健康づくりの推進	5
	地域医療体制の整備	5
10	自然環境の保全	5
	除排雪体制の充実	5
10	空き家の管理と利活用の推進	5
	学校施設の整備	5

■20代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	29
2	子育て支援サービスの充実	27
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	25
4	除排雪体制の充実	24
5	雇用・就労への支援	23
	子育てに関わる経済的負担の軽減	23
8	地域医療体制の整備	23
	若者の起業支援	22
10	生活道路の整備	22
	生きる力を育む学校教育の推進	21

■30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	45
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	44
3	雇用・就労への支援	41
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	40
5	農業の担い手確保、育成	34
	消融雪施設の整備	34
7	生活道路の整備	33
	生きる力を育む学校教育の推進	33
10	若者が活躍できる環境づくり	33
	子育て支援サービスの充実	31
10	地域医療体制の整備	31

■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	55
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	52
3	農業の担い手確保、育成	50
	子育て支援サービスの充実	50
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	49
6	生きる力を育む学校教育の推進	46
7	若者の起業支援	44
8	雇用・就労への支援	43
9	生活道路の整備	42
10	消融雪施設の整備	41
	若者が活躍できる環境づくり	41

■50代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	68
2	雇用・就労への支援	66
3	生きる力を育む学校教育の推進	58
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	57
	生活道路の整備	57
6	農業の担い手確保、育成	55
7	若者が活躍できる環境づくり	53
8	地域医療体制の整備	52
9	介護サービス基盤等の整備	50
10	企業誘致の強化	49
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	49
10	子育て支援サービスの充実	49

■60代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	78
2	除排雪体制の充実	76
3	生きる力を育む学校教育の推進	74
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	73
5	雇用・就労への支援	72
6	空き家の管理と利活用の推進	70
	若者が活躍できる環境づくり	70
8	子育てに関わる経済的負担の軽減	69
	小規模集落・高齢化集落への支援	69
10	生活道路の整備	67

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	62
	生きる力を育む学校教育の推進	62
3	結婚を応援する環境づくり	60
4	除排雪体制の充実	57
5	小規模集落・高齢化集落への支援	56
6	企業誘致の強化	55
	生活道路の整備	55
8	若者が活躍できる環境づくり	53
9	空き家の管理と利活用の推進	51
10	若者の起業支援	50

■80代

順位	項目	回答数
1	結婚を応援する環境づくり	25
2	農業の担い手確保、育成	24
	空き家の管理と利活用の推進	24
4	若者の起業支援	23
	除排雪体制の充実	23
6	結婚相談会・出会いイベントの開催	21
	若者が活躍できる環境づくり	21
8	雇用・就労への支援	20
	からだの健康づくりの推進	20
	こころの健康づくりの推進	19
	介護サービス基盤等の整備	19
	障がい者福祉サービスの充実	19
10	交通弱者への福祉施策の推進	19
	生活道路の整備	19
	安全で安定した水道水の供給	19
	生きる力を育む学校教育の推進	19

図表 44 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	153
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	142
3	雇用・就労への支援	140
4	生きる力を育む学校教育の推進	138
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	133
6	農業の担い手確保、育成	132
7	若者が活躍できる環境づくり	131
8	生活道路の整備	122
9	地域医療体制の整備	121
	消融雪施設の整備	121

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	25
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	23
3	若者の起業支援	22
4	雇用・就労への支援	20
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	20
6	農業の担い手確保、育成	19
7	子育て支援サービスの充実	18
	生活道路の整備	17
8	生きる力を育む学校教育の推進	17
	若者が活躍できる環境づくり	17

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	43
2	生活道路の整備	39
3	農業の担い手確保、育成	37
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	36
5	若者が活躍できる環境づくり	34
6	雇用・就労への支援	32
	子育て支援サービスの充実	32
8	若者の起業支援	31
9	空き家の管理と利活用の推進	29
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	28
10	地域医療体制の整備	28
	消融雪施設の整備	28
	生きる力を育む学校教育の推進	28

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	39
2	農業の担い手確保、育成	34
	若者が活躍できる環境づくり	34
4	生活道路の整備	32
5	子育て支援サービスの充実	31
6	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	30
	小規模集落・高齢化集落への支援	30
	雇用・就労への支援	29
8	子育てに関わる経済的負担の軽減	29
	除排雪体制の充実	29

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	28
2	雇用・就労への支援	26
3	農業の担い手確保、育成	25
	子育てに関わる経済的負担の軽減	25
	企業誘致の強化	24
5	結婚を応援する環境づくり	24
	除排雪体制の充実	24
8	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
9	空き家の管理と利活用の推進	22
	生活道路の整備	22

■南外地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	20
	除排雪体制の充実	20
	農業の担い手確保、育成	18
3	雇用・就労への支援	18
	小規模集落・高齢化集落への支援	18
6	結婚を応援する環境づくり	17
	交通弱者への福祉施策の推進	17
	若者の起業支援	16
	からだの健康づくりの推進	16
8	生活道路の整備	16
	生きる力を育む学校教育の推進	16
	若者が活躍できる環境づくり	16

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	31
2	農業の担い手確保、育成	29
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	27
4	生活道路の整備	26
5	雇用・就労への支援	25
	空き家の管理と利活用の推進	25
7	若者が活躍できる環境づくり	24
8	企業誘致の強化	23
	若者の起業支援	23
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	22
10	子育て支援サービスの充実	22
	地域医療体制の整備	22
	生きる力を育む学校教育の推進	22

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	30
2	農業の担い手確保、育成	29
3	若者が活躍できる環境づくり	27
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	26
	除排雪体制の充実	26
	若者の起業支援	25
6	雇用・就労への支援	25
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	25
9	空き家の管理と利活用の推進	24
10	生活道路の整備	23

2.6 あなたが思う大仙市について

2.6.1 市内在住の経緯に関する設問について

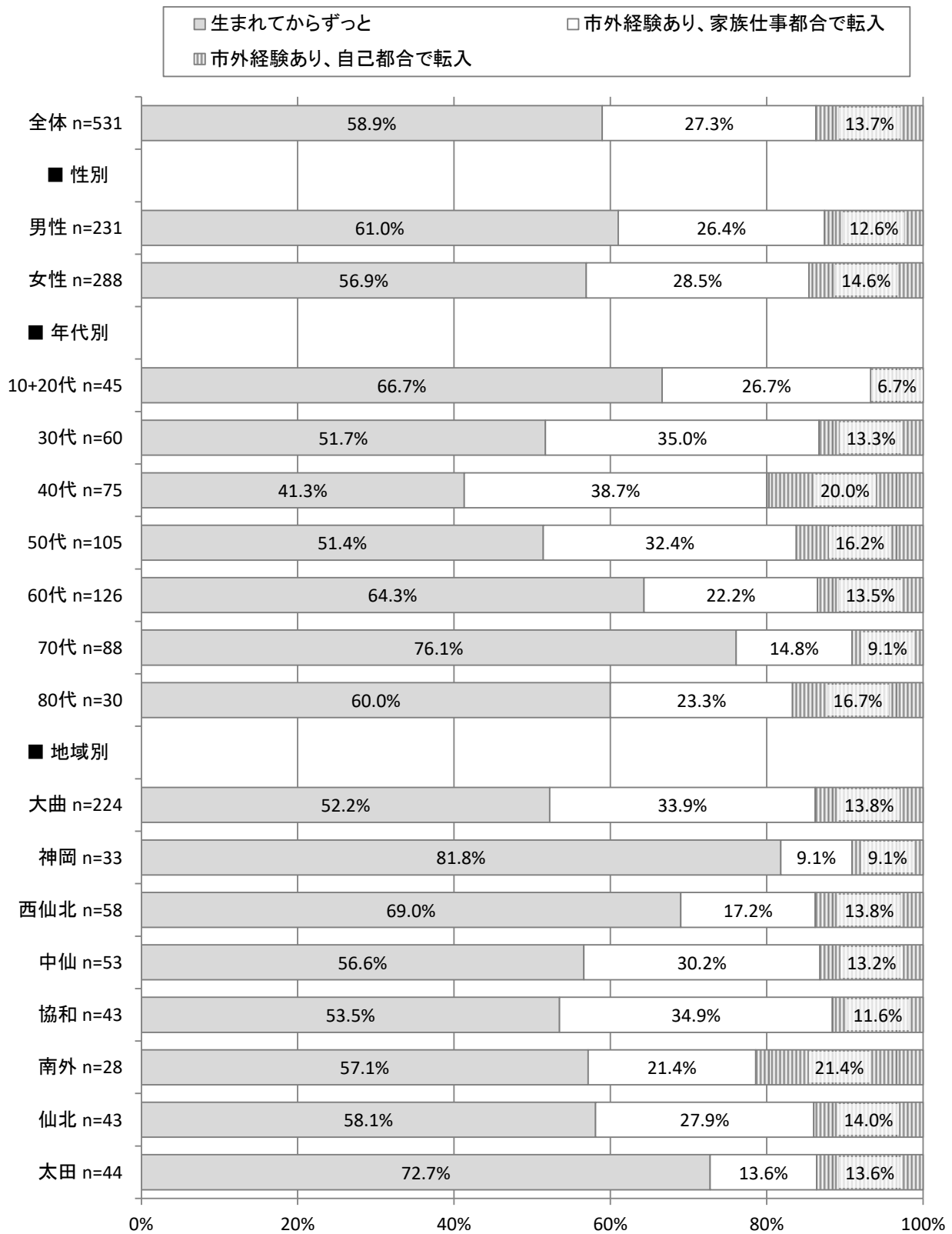
現在、大仙市に住んでいる経緯については、「生まれてからずっと住んでいる（以下、「生まれてからずっと」）」の割合が58.9%で最も高く、次いで「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た（以下、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」）」が27.3%、「市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た（以下、「市外経験あり、自己都合で転入」）」が13.7%となっている。

性別で見ると、大きな差異は見られないが、「生まれてからずっと」の割合は男性が61.0%、女性が56.9%となっており、男性の方が4.1ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「生まれてからずっと」の割合が最も高いのは70代で76.1%となっている。一方、最も低いのは40代で41.3%となっており、40代を境に年代が増加または減少するにつれて高くなっている。ただし、80代については、70代から大きく減少し、「市外経験あり、自己都合で転入」の割合が比較的高くなっている。また、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」「市外経験あり、自己都合で転入」の割合が最も高いのは、どちらも40代となっており、80代を除き、40代を境に年代が増加または減少するにつれてどちらも低くなっている。

地域別で見ると、「生まれてからずっと」の割合が最も高いのは神岡地域で81.8%となっており、最も低いのは大曲地域で52.2%となっている。「市外経験あり、家族仕事都合で転入」の割合が最も高いのは協和地域で34.9%、「市外経験あり、自己都合で転入」の割合が最も高いのは南外地域で21.4%となっている。

図表 45 大仙市に住んでいる経緯



2.6.2 「住みやすさ」に関する設問について

■住みやすいか

大仙市は住みやすいまちだと思うか、という設問については、「どちらかといえば住みやすい」の割合が55.0%で最も高く、次いで「住みやすい」が27.7%となっている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の割合を合わせると、82.7%となっており、8割を超えている。

性別で見ると、大きな差異は見られないが、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、女性が3.8ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、10代と20代を合わせた年代が70.4%で最も低く、70代が87.5%で最も高くなっている。年代が上がるにつれて増加する傾向となっているが、30代では前後の年代から大きく増加し、80代では減少している。

地域別で見ると、「住みやすい」の割合は大曲地域が31.6%で最も高くなっているが、さらに「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は神岡地域が94.1%で最も高くなっている。「住みにくい」の割合と、さらに「どちらかといえば住みにくい」を合わせた割合は、どちらも南外地域が最も高くなっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「住みやすい」の割合と、さらに「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、どちらも「生まれてからずっと」と回答した方が最も高くなっている。また、「住みにくい」の割合と、さらに「どちらかといえば住みにくい」を合わせた割合は、どちらも「市外経験あり、自己都合で転入」と回答した方が最も高くなっている。

■住み続けたいか

これからも大仙市に住み続けたいと思うか、という設問については、「今の場所に住み続けたい」の割合が71.9%で最も高くなっており、7割を超えている。

性別で見ると、大きな差異は見られないが、男性では「住み続けたいが、移らざるを得ない」の割合が比較的高くなっている。

年代別で見ると、「今の場所に住み続けたい」の割合は、年代が上がるにつれて増加する傾向となっており、60代以上では8割を超えている。「市外に移りたい」の割合は、逆に年

代が下がるにつれて増加する傾向となっており、10代と20代を合わせた年代では、24.4%となっている。また、「市内の別の場所へ移りたい」の割合は、30代から50代で比較的高くなっている。

地域別で見ると、「今の場所に住み続けたい」の割合は神岡地域が88.2%、「市内の別の場所へ移りたい」の割合は南外地域が32.1%で最も高くなっている。また、「市外に移りたい」の割合は、大曲・西仙北・協和・南外地域で比較的高くなっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「今の場所に住み続けたい」の割合は「生まれてからずっと」と回答した方が77.3%で最も高くなっている。「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方は、「今の場所に住み続けたい」の割合が最も低く、「市外に移りたい」の割合は最も高くなっている。

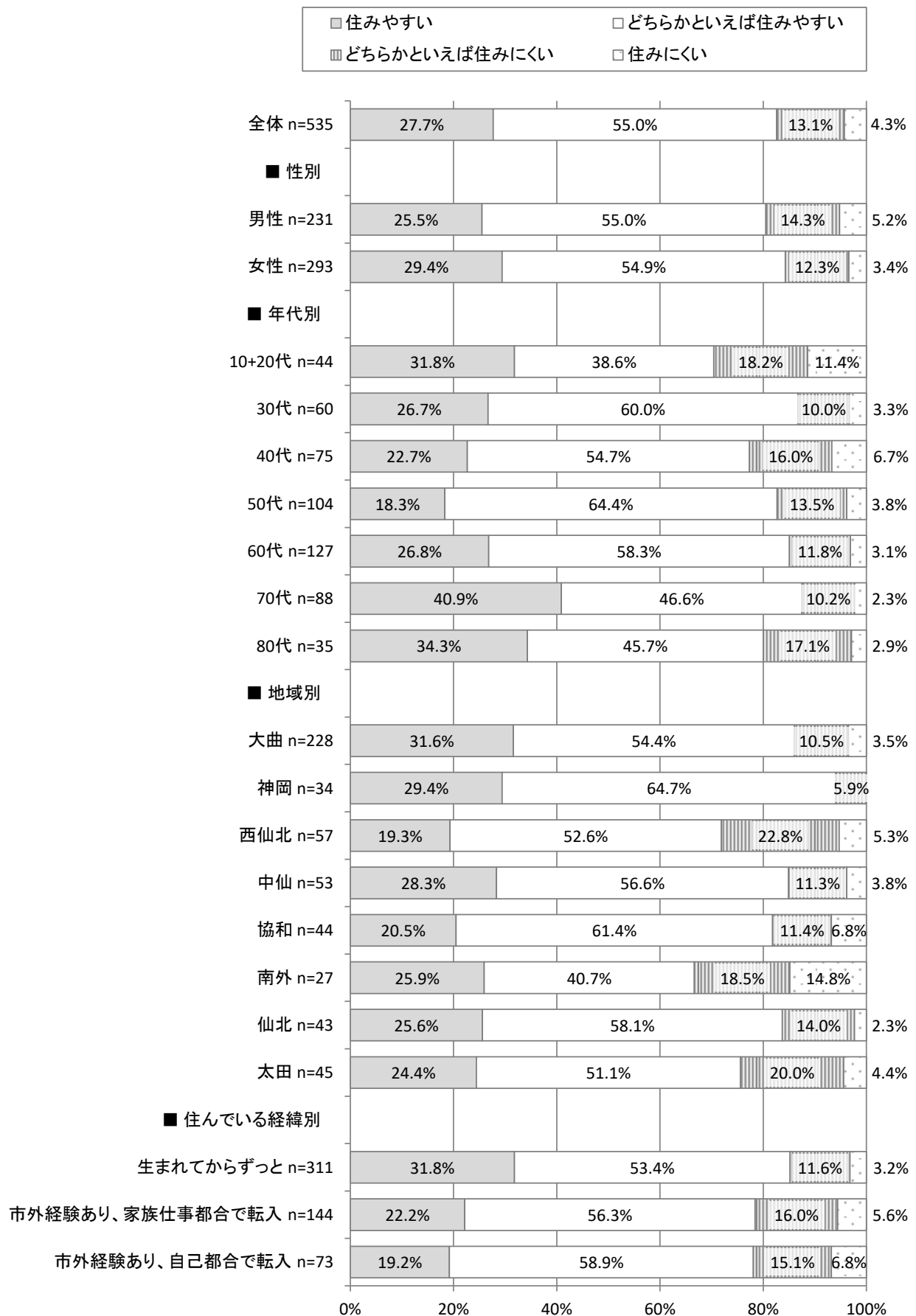
■「住みやすいか」と「住み続けたいか」の比較

性別で見ると、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、女性が高くなっているが、「今の場所に住み続けたい」「市内の別の場所へ移りたい」「住み続けたいが、移らざるを得ない」を合わせた、市内に住み続けたいと思っている方の割合は、男性がやや高くなっている。

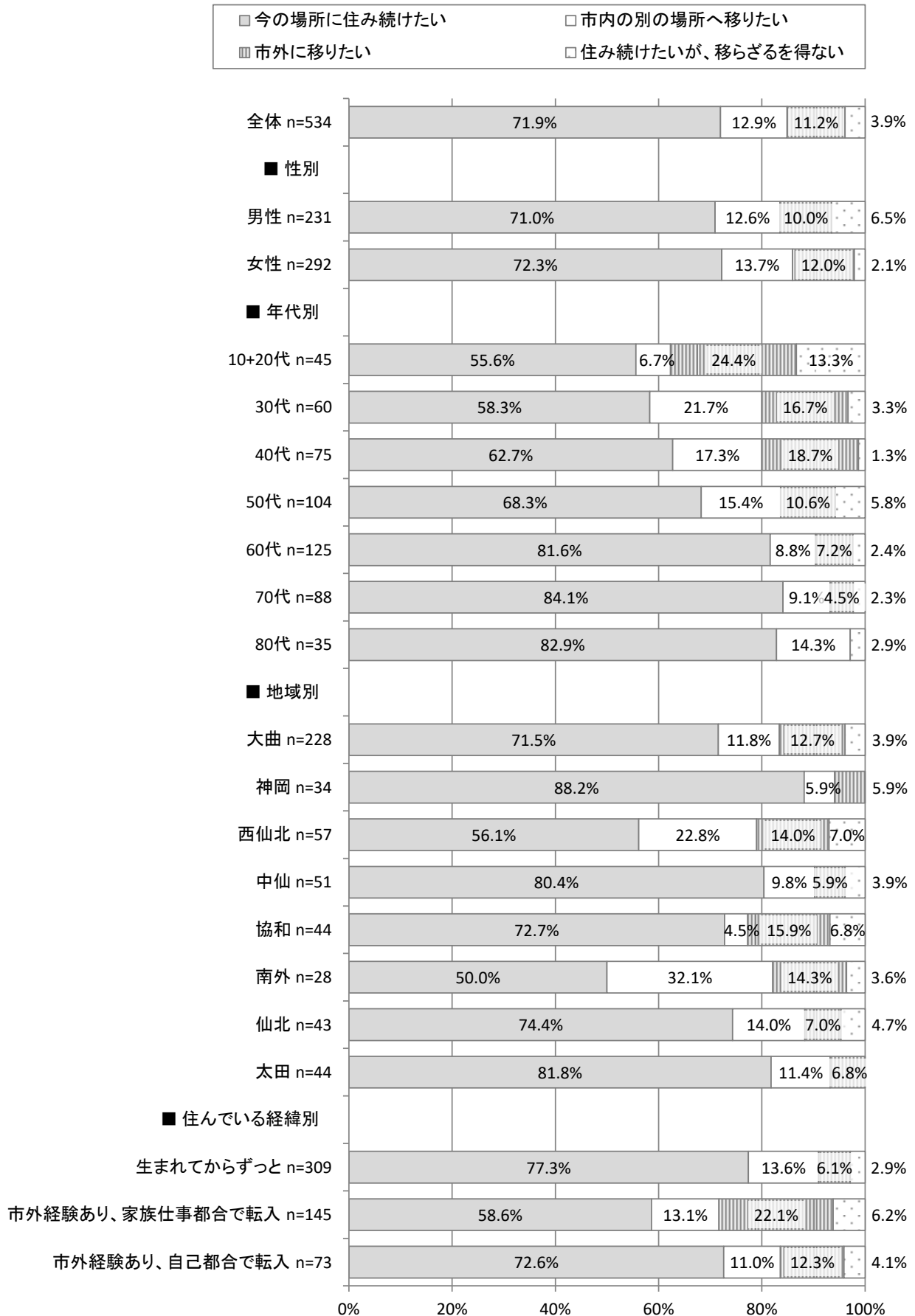
年代別で見ると、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合と「今の場所に住み続けたい」の割合は、概ね同様の傾向となっており、年代が上がるにつれて増加する傾向となっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、大きな差異は見られなかったのに対し、「今の場所に住み続けたい」の割合は、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方が低くなっており、「市外に移りたい」の割合は高くなっている。

図表 46 大仙市は住みやすいか



図表 47 大仙市に住み続けたいか



2.6.3 社会活動・地域活動に関する設問について

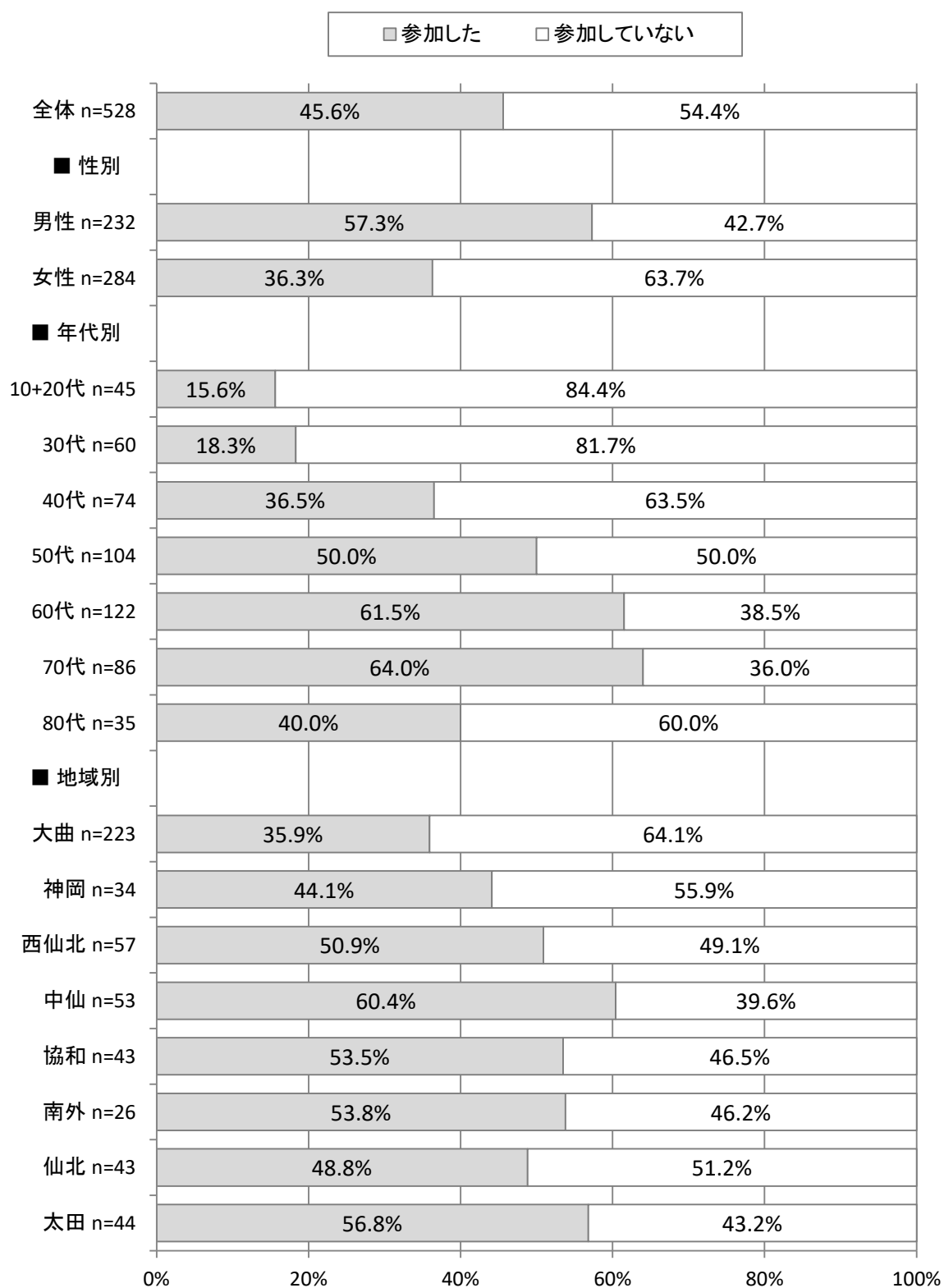
ここ1年間で、仕事以外で社会活動や地域活動（自治会、PTA、環境保全、見守り活動など）に参加したか、という設問については、「参加した」の割合が45.6%となっており、「参加していない」の割合より8.8ポイント低くなっている。

性別で見ると、「参加した」の割合は、男性が57.3%、女性が36.3%となっており、男性が21.0ポイント高く、大きく差が開いている。

年代別で見ると、「参加した」の割合は、70代までは年代が上がるにつれて増加しているが、80代では減少している。また、50代から70代では半数以上を占め、さらに60代と70代では6割を超えているが、30代以下では2割を下回っている。

地域別で見ると、「参加した」の割合は大曲地域が35.9%で最も低くなっており、大曲・神岡・仙北地域以外では半数を超え、中仙地域が60.4%で最も高くなっている。

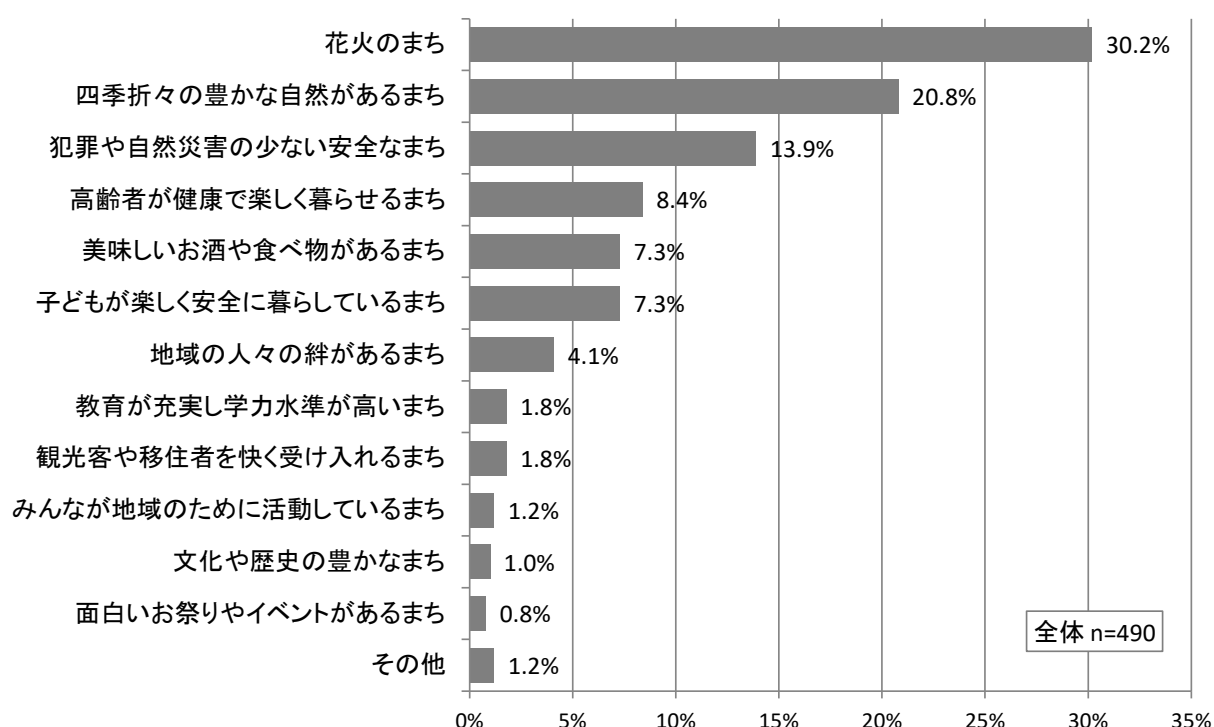
図表 48 社会活動、地域活動に参加したか



2.6.4 未来のまちの姿に関する設問について

10年後、大仙市を市外の知人に紹介する場合、どのようなまちとして紹介していきたいか（回答は一つ）という設問に対して、「花火のまち」が30.2%で突出しており、次いで「四季折々の豊かな自然があるまち」が20.8%、「犯罪や自然災害の少ない安全なまち」が13.9%となっている。

図表 49 10年後、「大仙市」を知人へどのように紹介するか



■その他の回答

- 子どもの医療が整っている（40代／女性／大曲）
- 10年後は人口も激減していると思うので、今は答えられない。あまり希望は持てないです。花火の街だけはあってほしいです。（60代／女性／大曲）
- 最先端技術にポジティブな町（30代／男性／大曲）
- 子育て世代への援助がしっかりとしたまち（20代／女性／南外）

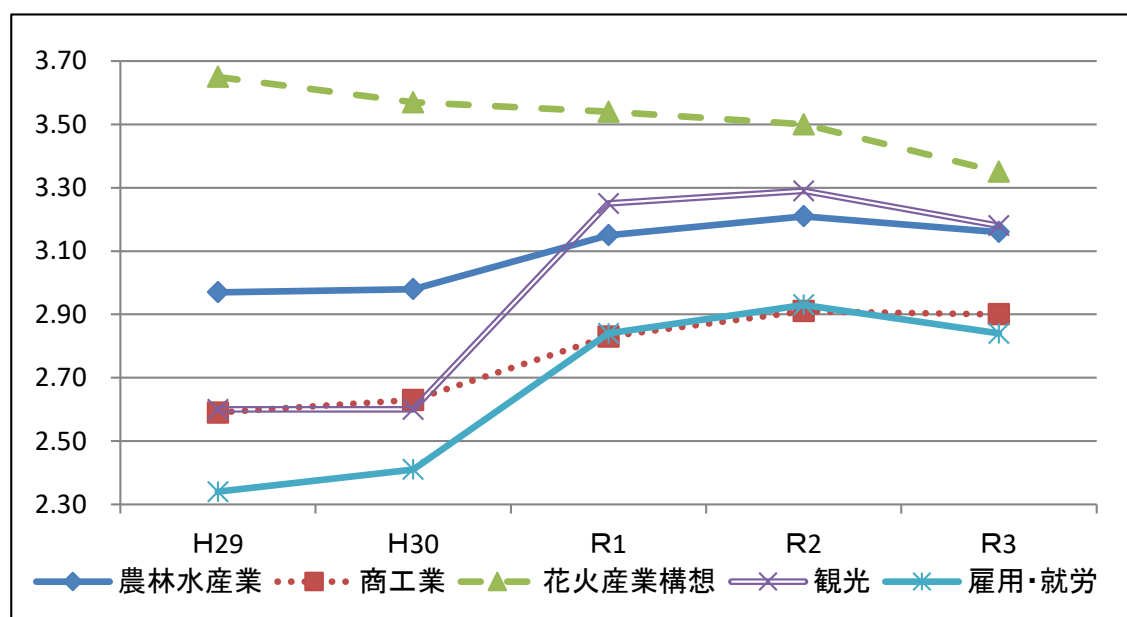
2.7 経年比較

平成29年度から令和3年度までの5年間における満足度、重要度及び要望度の推移と、平成28年度から調査を行っている本市の住みやすさについての6年間の推移をまとめた。

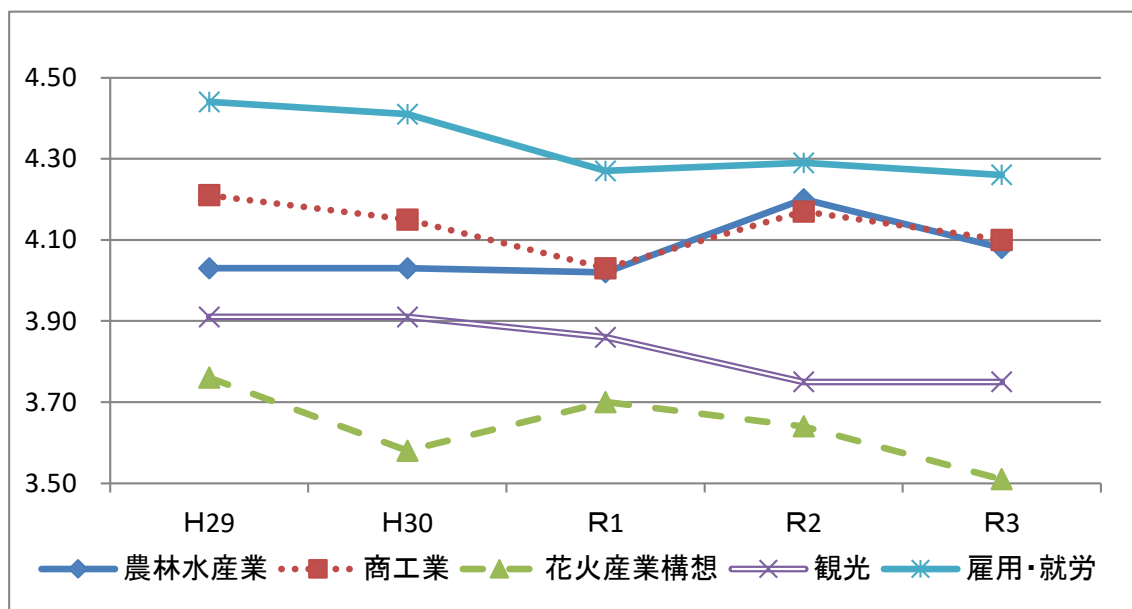
I 魅力ある産業のまちを創ります！～産業振興・雇用など～

満足度は「花火産業構想」のみ減少傾向で、それ以外は増加傾向となっていたが、今年度は全体的に横ばいまたは減少している。重要度は、全体的に横ばいまたは減少傾向となっている。要望度については、「花火産業構想」以外は減少傾向であったが、令和元年度からは、全体的に横ばいとなっている。

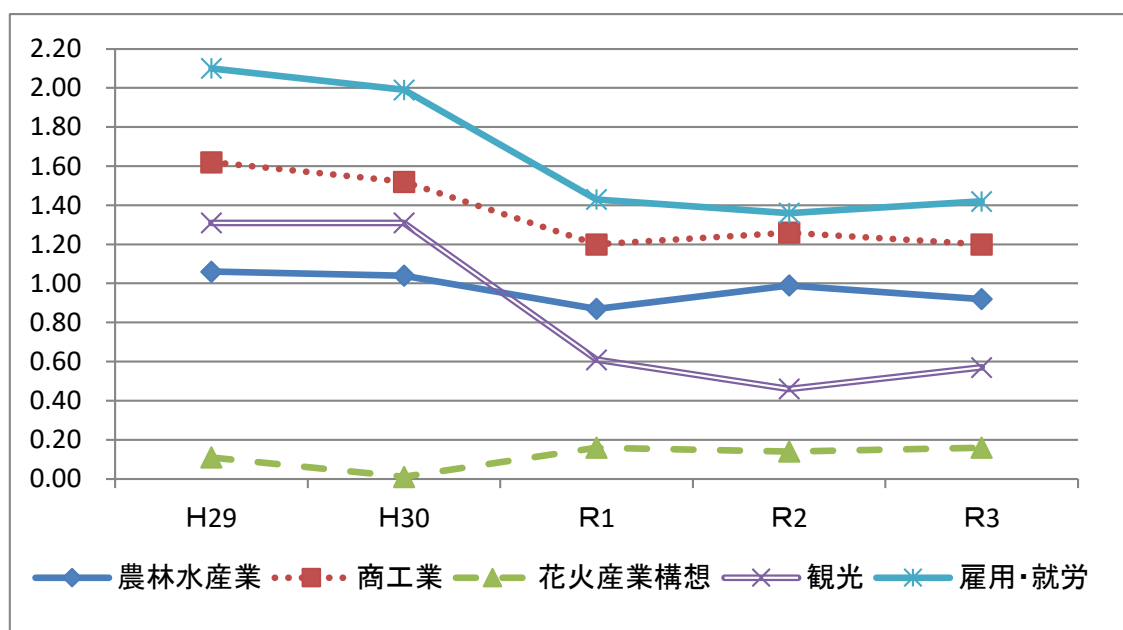
満足度	H29	H30	R1	R2	R3
農林水産業	2.97	2.98	3.15	3.21	3.16
商工業	2.59	2.63	2.83	2.91	2.90
花火産業構想	3.65	3.57	3.54	3.50	3.35
観光	2.60	2.60	3.25	3.29	3.18
雇用・就労	2.34	2.41	2.84	2.93	2.84



重要度	H29	H30	R1	R2	R3
農林水産業	4.03	4.03	4.02	4.20	4.08
商工業	4.21	4.15	4.03	4.17	4.10
花火産業構想	3.76	3.58	3.70	3.64	3.51
観光	3.91	3.91	3.86	3.75	3.75
雇用・就労	4.44	4.41	4.27	4.29	4.26



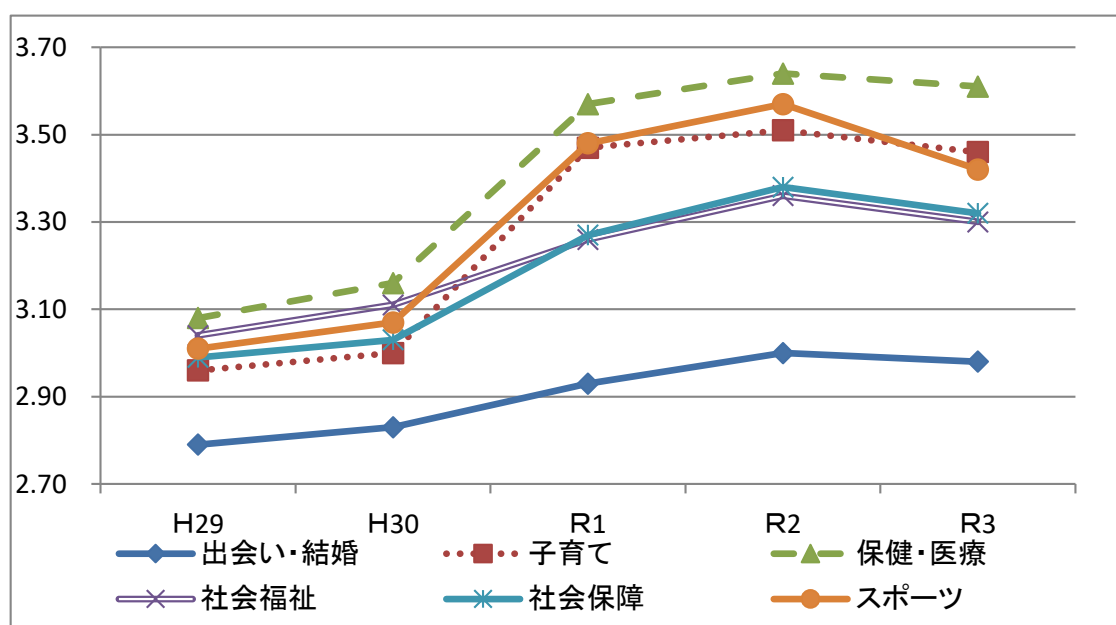
要望度	H29	H30	R1	R2	R3
農林水産業	1.06	1.04	0.87	0.99	0.92
商工業	1.62	1.52	1.20	1.26	1.20
花火産業構想	0.11	0.01	0.16	0.14	0.16
観光	1.31	1.31	0.61	0.46	0.57
雇用・就労	2.10	1.99	1.43	1.36	1.42



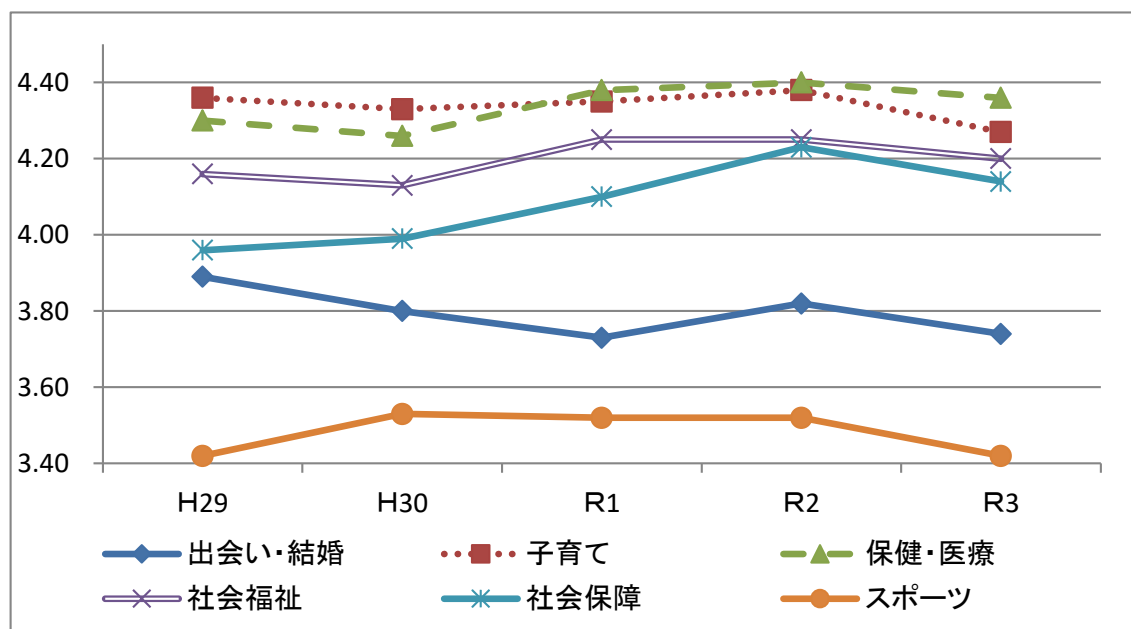
Ⅱ みんなの元気を応援します！～出会い・結婚・子育て、健康・福祉など～

満足度は、昨年度までは全ての項目で増加していたが、今年度は全て減少している。重要度も今年度は全て減少しており、全体的に横ばいとなっている。要望度は減少傾向となっていたが、令和元年度からは横ばいとなっている。また、満足度については「出会い・結婚」、重要度・要望度については「スポーツ」が他の項目に比べて低い値を推移している。

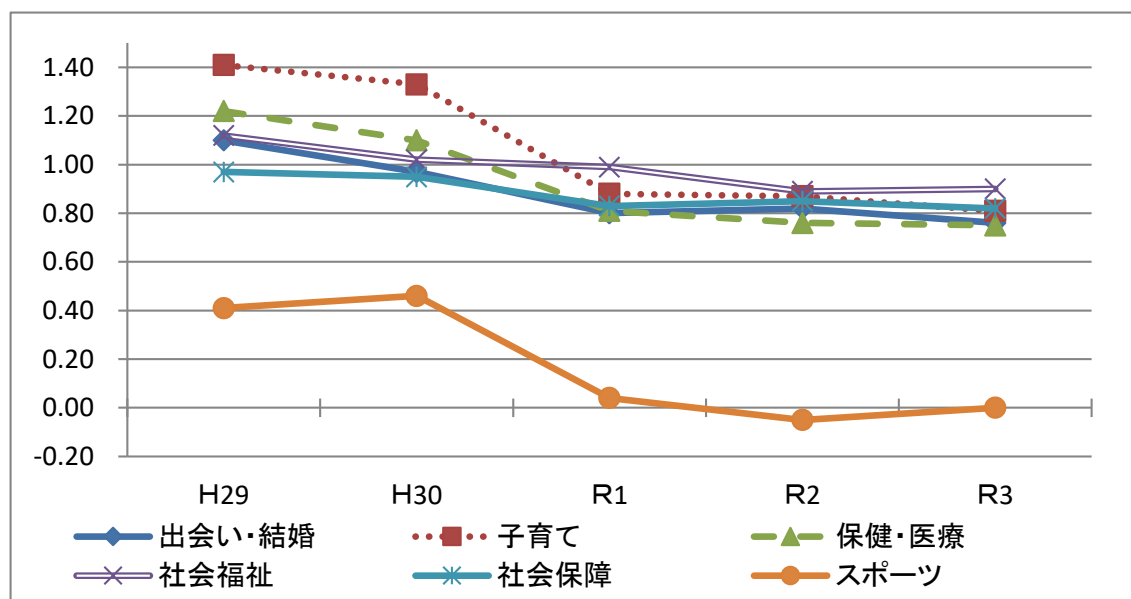
満足度	H29	H30	R1	R2	R3
出会い・結婚	2.79	2.83	2.93	3.00	2.98
子育て	2.96	3.00	3.47	3.51	3.46
保健・医療	3.08	3.16	3.57	3.64	3.61
社会福祉	3.04	3.11	3.26	3.36	3.30
社会保障	2.99	3.03	3.27	3.38	3.32
スポーツ	3.01	3.07	3.48	3.57	3.42



重要度	H29	H30	R1	R2	R3
出会い・結婚	3.89	3.80	3.73	3.82	3.74
子育て	4.36	4.33	4.35	4.38	4.27
保健・医療	4.30	4.26	4.38	4.40	4.36
社会福祉	4.16	4.13	4.25	4.25	4.20
社会保障	3.96	3.99	4.10	4.23	4.14
スポーツ	3.42	3.53	3.52	3.52	3.42



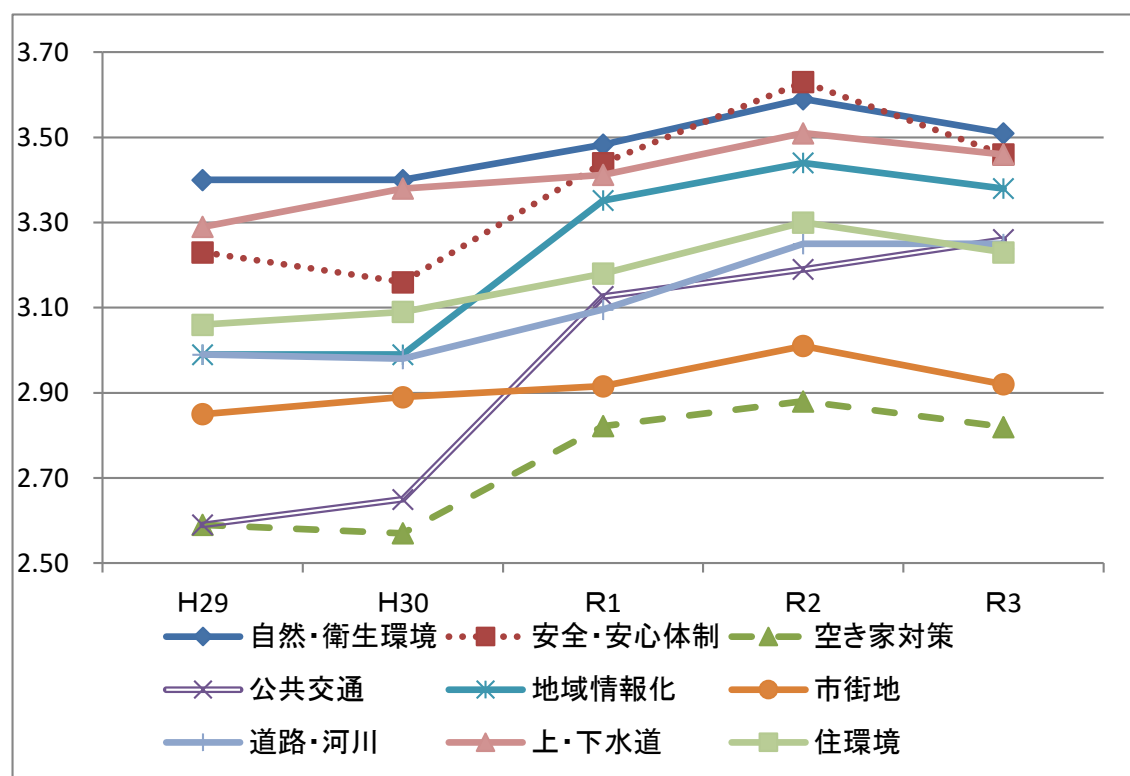
要望度	H29	H30	R1	R2	R3
出会い・結婚	1.10	0.97	0.80	0.82	0.76
子育て	1.41	1.33	0.88	0.87	0.81
保健・医療	1.22	1.10	0.81	0.76	0.75
社会福祉	1.12	1.02	0.99	0.89	0.90
社会保障	0.97	0.95	0.83	0.85	0.82
スポーツ	0.41	0.46	0.04	-0.05	0.00



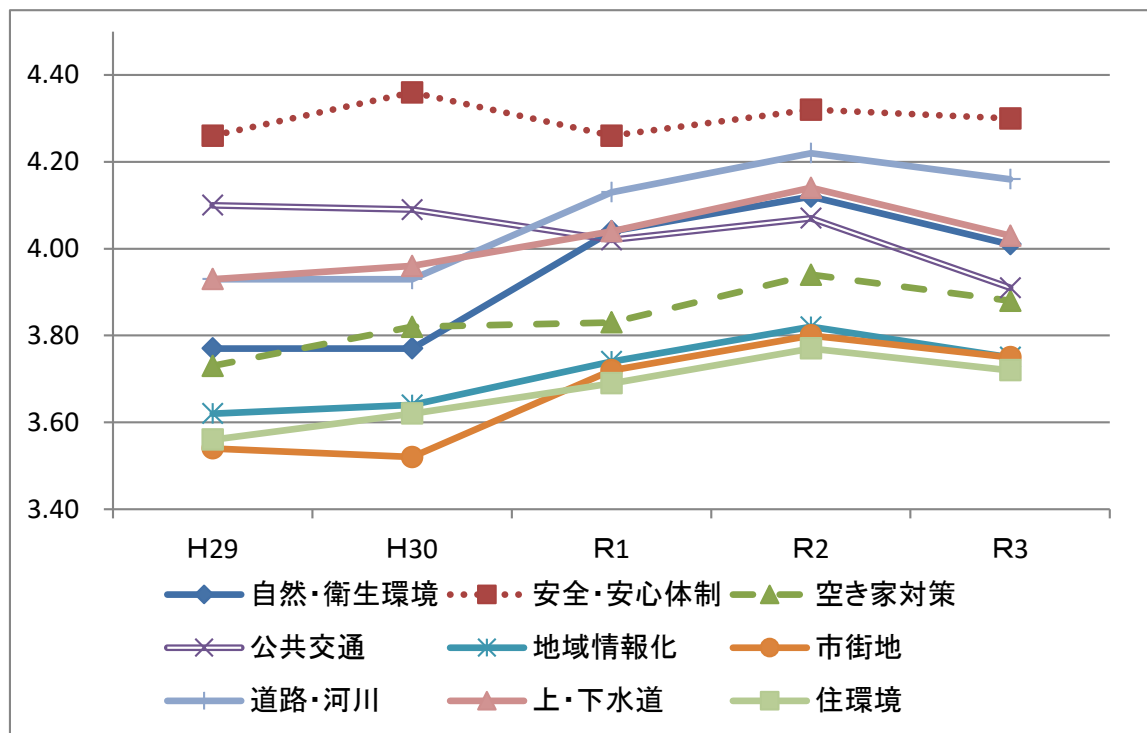
Ⅲ 住みよいまちを築きます！～安全・安心、都市整備など～

満足度は、昨年度までは全ての項目で増加傾向となっていたが、今年度は「公共交通」「道路・河川」以外は全て減少し、「公共交通」のみ増加している。重要度も増加傾向の項目が多くあったが、今年度は全ての項目で減少している。要望度は、令和元年度からは全体的に横ばいとなっているが、「公共交通」については、満足度が唯一増加していることもあり、減少で推移している。

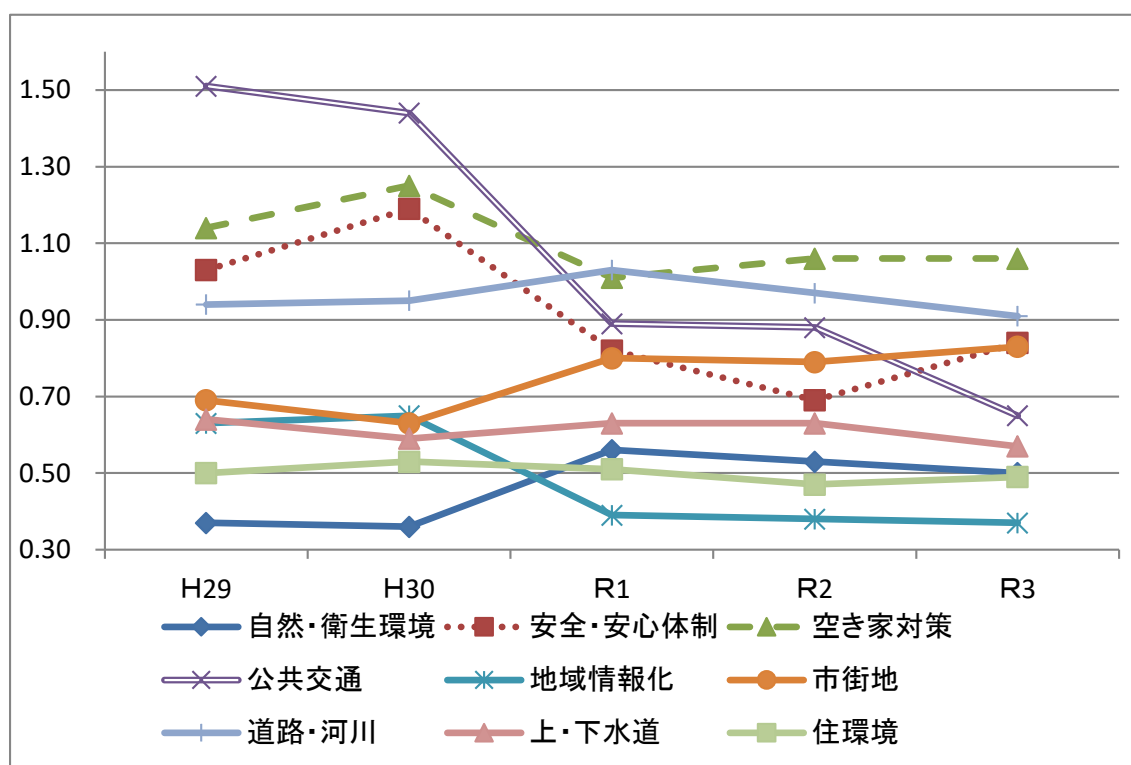
満足度	H29	H30	R1	R2	R3
自然・衛生環境	3.40	3.40	3.48	3.59	3.51
安全・安心体制	3.23	3.16	3.44	3.63	3.46
空き家対策	2.59	2.57	2.82	2.88	2.82
公共交通	2.59	2.65	3.13	3.19	3.26
地域情報化	2.99	2.99	3.35	3.44	3.38
市街地	2.85	2.89	2.92	3.01	2.92
道路・河川	2.99	2.98	3.10	3.25	3.25
上・下水道	3.29	3.38	3.41	3.51	3.46
住環境	3.06	3.09	3.18	3.30	3.23



重要度	H29	H30	R1	R2	R3
自然・衛生環境	3.77	3.77	4.04	4.12	4.01
安全・安心体制	4.26	4.36	4.26	4.32	4.30
空き家対策	3.73	3.82	3.83	3.94	3.88
公共交通	4.10	4.09	4.02	4.07	3.91
地域情報化	3.62	3.64	3.74	3.82	3.75
市街地	3.54	3.52	3.72	3.80	3.75
道路・河川	3.93	3.93	4.13	4.22	4.16
上・下水道	3.93	3.96	4.04	4.14	4.03
住環境	3.56	3.62	3.69	3.77	3.72



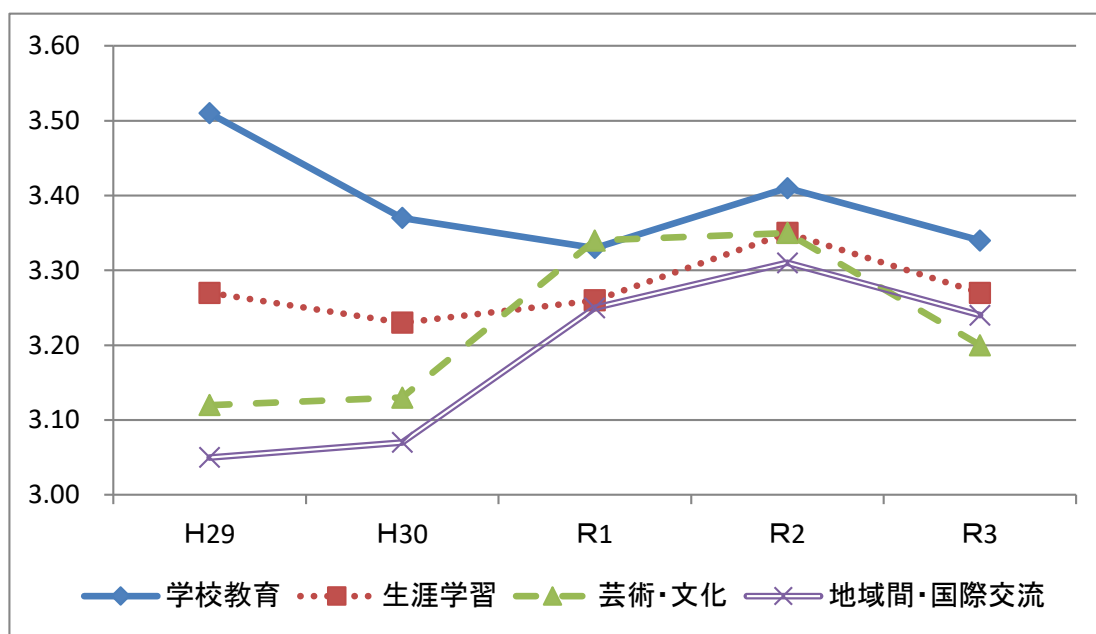
要望度	H29	H30	R1	R2	R3
自然・衛生環境	0.37	0.36	0.56	0.53	0.50
安全・安心体制	1.03	1.19	0.82	0.69	0.84
空き家対策	1.14	1.25	1.01	1.06	1.06
公共交通	1.51	1.44	0.89	0.88	0.65
地域情報化	0.63	0.65	0.39	0.38	0.37
市街地	0.69	0.63	0.80	0.79	0.83
道路・河川	0.94	0.95	1.03	0.97	0.91
上・下水道	0.64	0.59	0.63	0.63	0.57
住環境	0.50	0.53	0.51	0.47	0.49



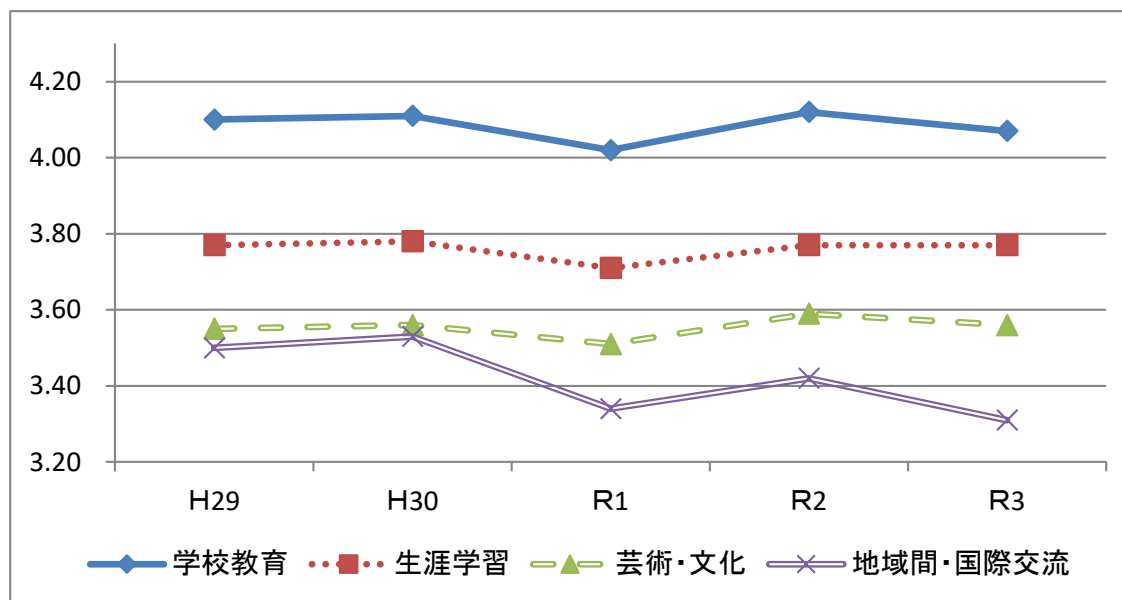
Ⅳ 豊かな心と創造力を育みます！～教育、生涯学習、芸術・文化など～

満足度は、昨年度は全ての項目で増加したが、今年度は減少している。令和元年度から見ると、「芸術・文化」は減少しているが、その他の項目は同程度の値となっている。重要度は、「地域間・国際交流」は減少傾向となっているが、その他の項目は横ばいとなっている。要望度は、令和元年度以降、「芸術・文化」は増加傾向となっているが、その他の項目は横ばいとなっている。

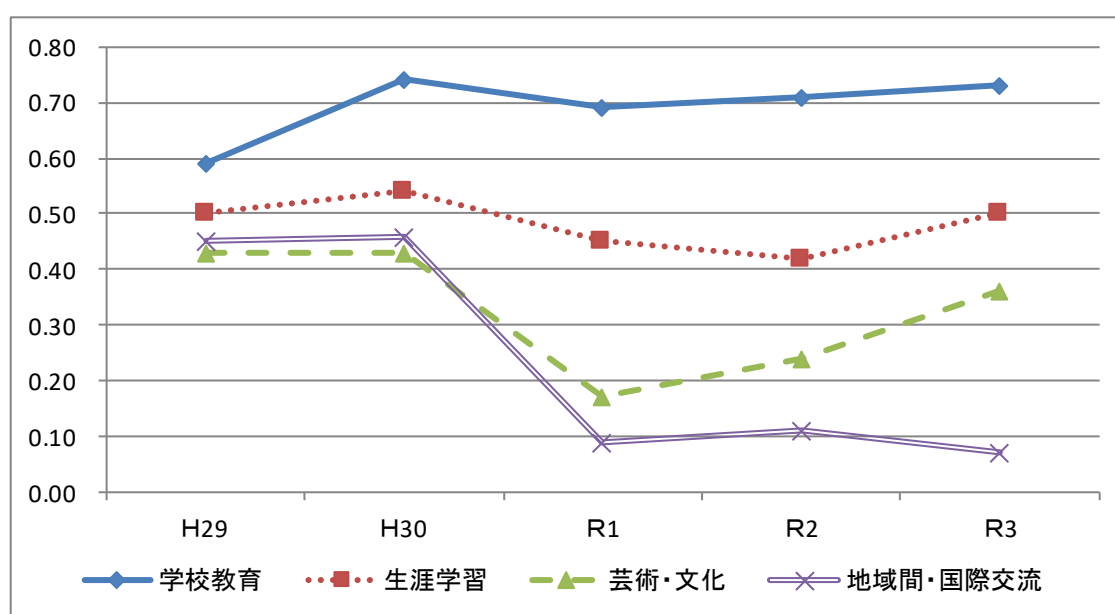
満足度	H29	H30	R1	R2	R3
学校教育	3.51	3.37	3.33	3.41	3.34
生涯学習	3.27	3.23	3.26	3.35	3.27
芸術・文化	3.12	3.13	3.34	3.35	3.20
地域間・国際交流	3.05	3.07	3.25	3.31	3.24



重要度	H29	H30	R1	R2	R3
学校教育	4.10	4.11	4.02	4.12	4.07
生涯学習	3.77	3.78	3.71	3.77	3.77
芸術・文化	3.55	3.56	3.51	3.59	3.56
地域間・国際交流	3.50	3.53	3.34	3.42	3.31



要望度	H29	H30	R1	R2	R3
学校教育	0.59	0.74	0.69	0.71	0.73
生涯学習	0.50	0.54	0.45	0.42	0.50
芸術・文化	0.43	0.43	0.17	0.24	0.36
地域間・国際交流	0.45	0.46	0.09	0.11	0.07

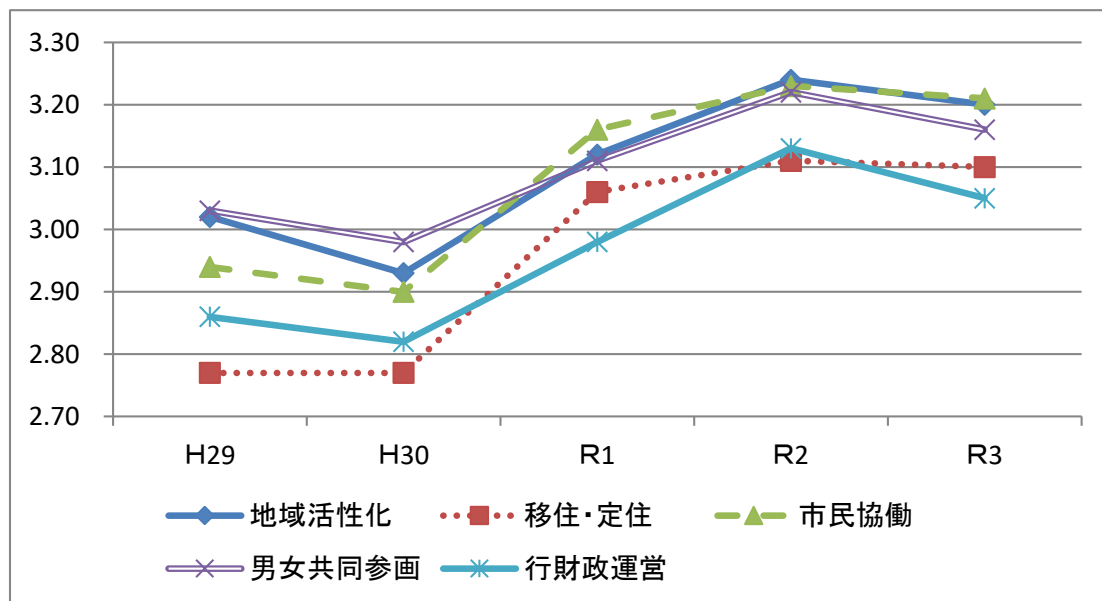


V 時代に合った地域を創ります！

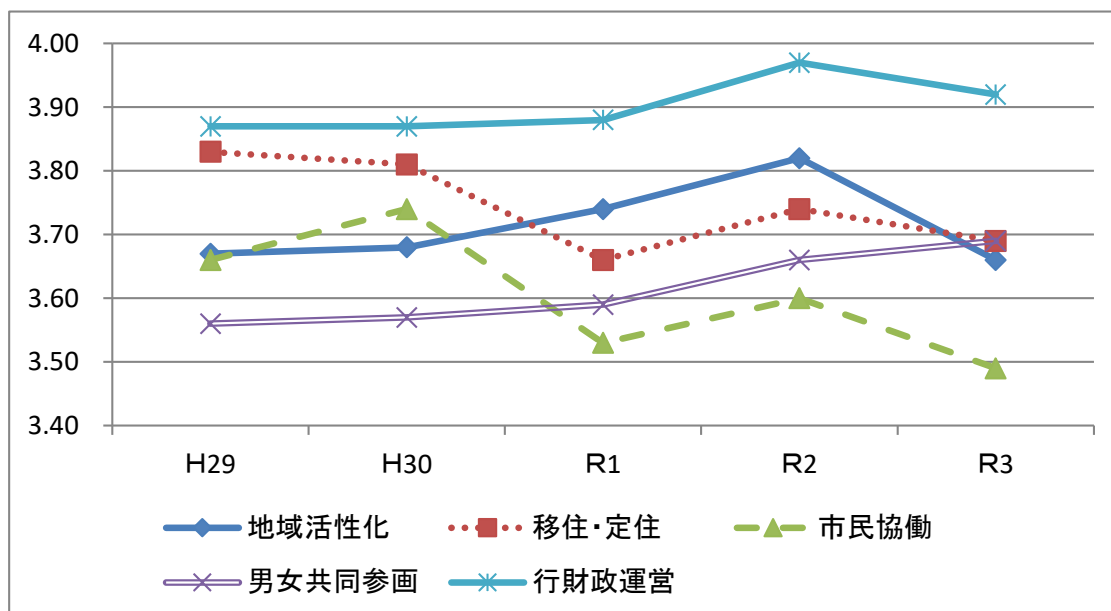
～地域社会の維持・活性化、市民との協働、行財政運営など～

満足度は、平成30年度以降、全ての項目で増加していたが、今年度は減少している。重要度は、「地域活性化」「行財政運営」は増加傾向であったが、今年度は減少している。「男女共同参画」は増加傾向、「市民協働」は減少傾向で推移している。要望度は、「男女共同参画」は今年度、他の項目より比較的大きく増加しているが、経年的に見ると横ばいとなっている。その他の項目については、令和元年度以降、横ばいまたは減少傾向となっている。

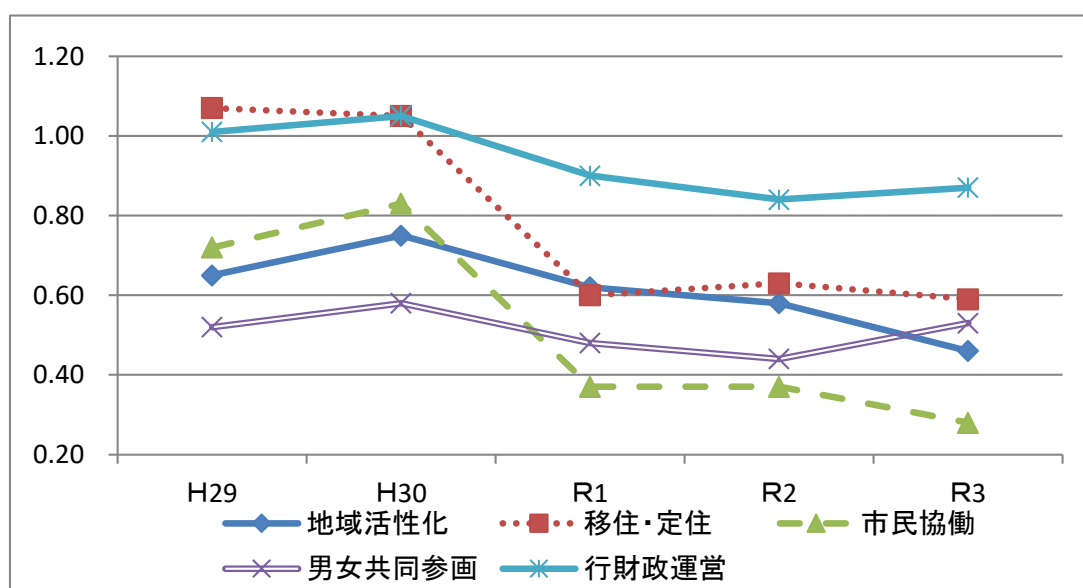
満足度	H29	H30	R1	R2	R3
地域活性化	3.02	2.93	3.12	3.24	3.20
移住・定住	2.77	2.77	3.06	3.11	3.10
市民協働	2.94	2.90	3.16	3.23	3.21
男女共同参画	3.03	2.98	3.11	3.22	3.16
行財政運営	2.86	2.82	2.98	3.13	3.05



重要度	H29	H30	R1	R2	R3
地域活性化	3.67	3.68	3.74	3.82	3.66
移住・定住	3.83	3.81	3.66	3.74	3.69
市民協働	3.66	3.74	3.53	3.60	3.49
男女共同参画	3.56	3.57	3.59	3.66	3.69
行財政運営	3.87	3.87	3.88	3.97	3.92



要望度	H29	H30	R1	R2	R3
地域活性化	0.65	0.75	0.62	0.58	0.46
移住・定住	1.07	1.05	0.60	0.63	0.59
市民協働	0.72	0.83	0.37	0.37	0.28
男女共同参画	0.52	0.58	0.48	0.44	0.53
行財政運営	1.01	1.05	0.90	0.84	0.87



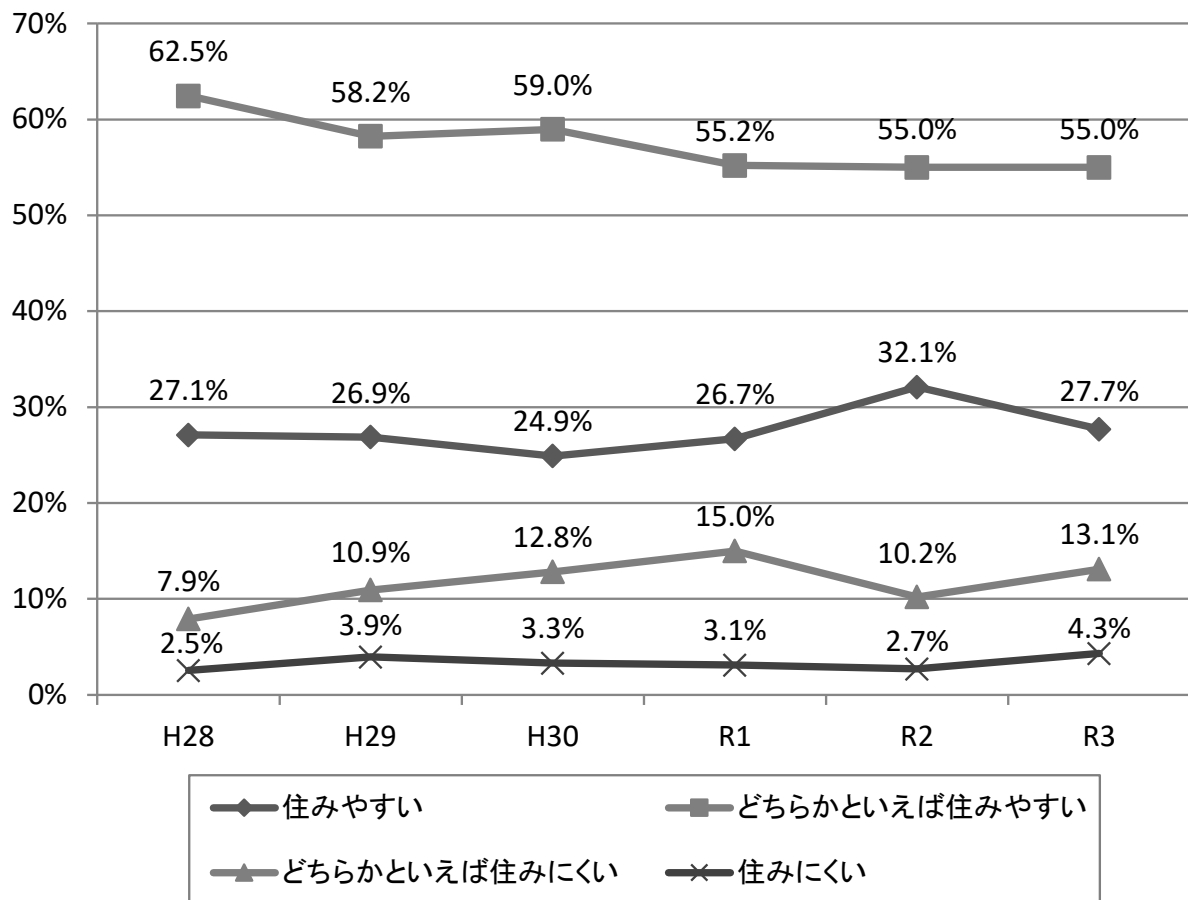
大仙市の住みやすさについて

「大仙市は住みやすいか」について

「住みやすい」は昨年度から減少したが、過去6年間で見て比較的高い数値となっている。「どちらかといえば住みやすい」は減少傾向であったが、令和元年度からは横ばいとなっている。「住みやすい」が減少したことに伴い、住みにくいに関する項目が増加したが、「住みにくい」よりも「どちらかといえば住みにくい」が大きく増加している。

大仙市は住みやすいか	H28	H29	H30	R1	R2	R3
住みやすい	27.1%	26.9%	24.9%	26.7%	32.1%	27.7%
どちらかといえば住みやすい	62.5%	58.2%	59.0%	55.2%	55.0%	55.0%
どちらかといえば住みにくい	7.9%	10.9%	12.8%	15.0%	10.2%	13.1%
住みにくい	2.5%	3.9%	3.3%	3.1%	2.7%	4.3%

※経年比較のため、H28, H29 調査における割合は無回答を除いた数で求め直した

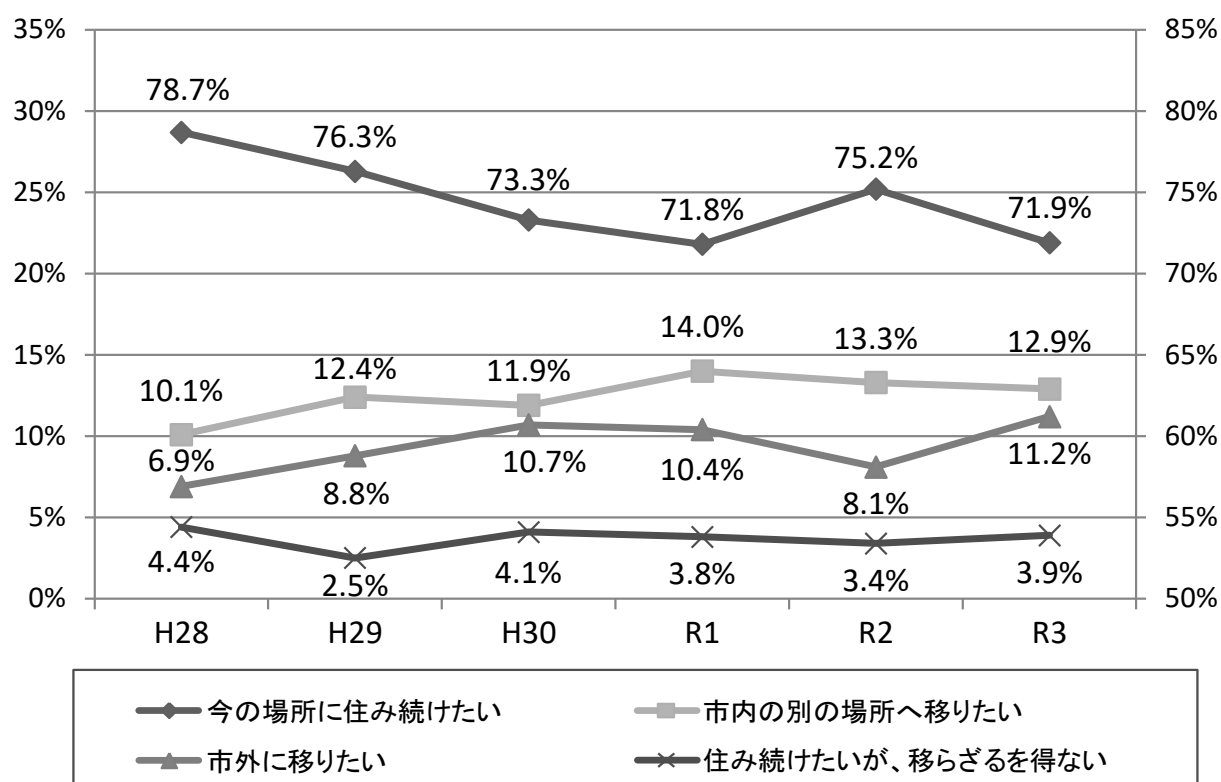


「大仙市に住み続けたいか」について

「今の場所に住み続けたい」は減少傾向で推移し、昨年度増加したが、今年度は減少している。「市内の別の場所へ移りたい」は、増加傾向であったが、令和元年度からはやや減少している。「市外に移りたい」は、増加傾向で推移しており、昨年度は大きく減少したものの、今年度は大きく増加している。「住み続けたいが、移らざるを得ない」は横ばいで推移している。

大仙市に住み続けたいか	H28	H29	H30	R1	R2	R3
今の場所に住み続けたい	78.7%	76.3%	73.3%	71.8%	75.2%	71.9%
市内の別の場所へ移りたい	10.1%	12.4%	11.9%	14.0%	13.3%	12.9%
市外に移りたい	6.9%	8.8%	10.7%	10.4%	8.1%	11.2%
住み続けたいが、移らざるを得ない	4.4%	2.5%	4.1%	3.8%	3.4%	3.9%

※経年比較のため、H28, H29 調査における割合は無回答を除いた数で求め直した



3 市民による個別事業評価

3 市民による個別事業評価

3.1 市民全体を調査対象とした個別事業評価

調査対象を市民全体（年代・性別を問わない）とした個別事業評価については、「2 市民による市政評価」の調査票に合冊し、併せて実施した。

従って、調査対象、回答率、回答者の属性については、市民による市政評価の結果と同じ（p 4～6を参照）になっている。

3.1.1 健幸まちづくりプロジェクトについて（健康福祉部健幸まちづくり推進室）

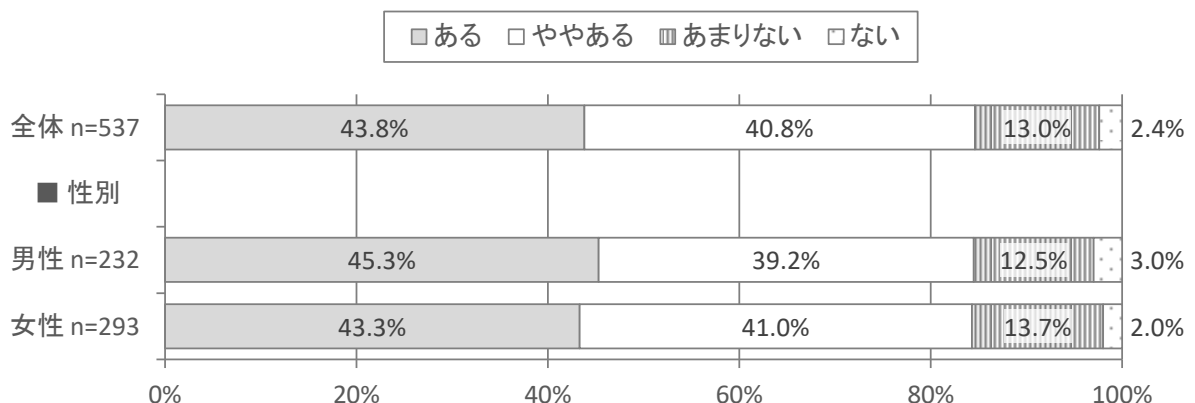
◆ 調査目的： 市では、人生100年時代を迎えた今、市民の皆さんが自分らしくいきいきと活躍し、人と地域が元気になる新たな取組として、令和2年10月1日にタニタグループとの連携による「健幸まちづくりプロジェクト」をスタートした。

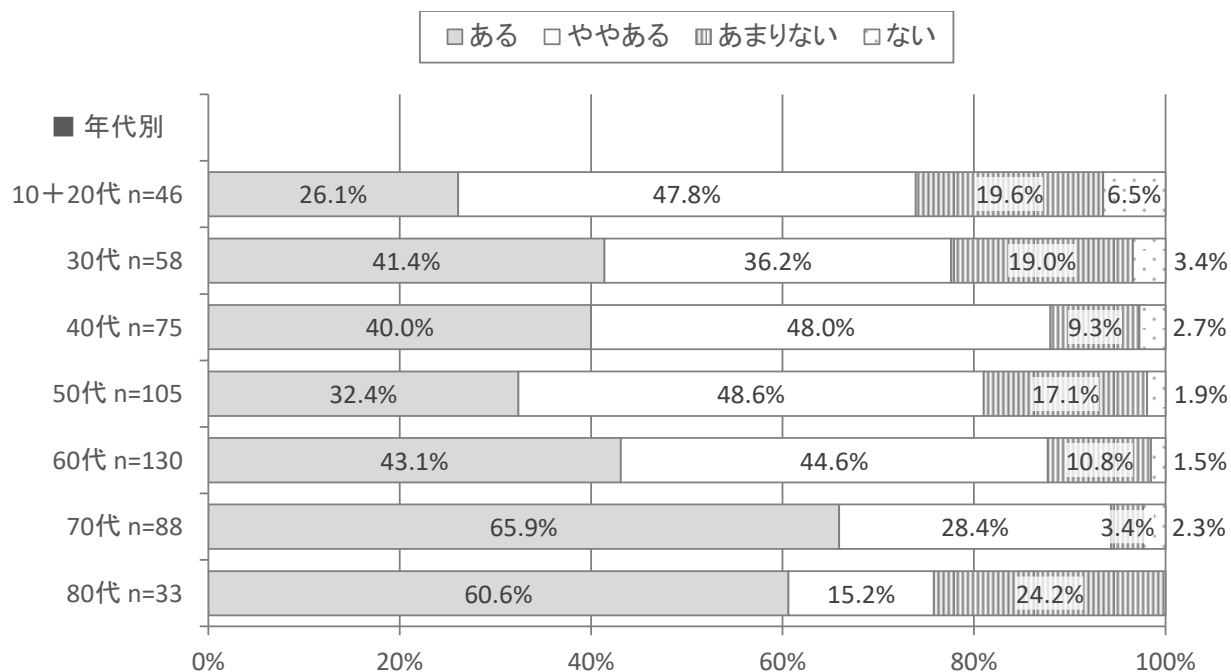
このプロジェクトは、全市民及び市内に通勤する方を対象として、歩くことを基本に、無理なく楽しみながら取り組むことができるプログラムを通じ、市民の皆さんの健康づくりを応援するものである。

本調査では、プロジェクトの参加・活動状況やご意見を伺い、より多くの方からご参加いただけるよう、参加の拡大と継続に資する取組を推進していくための参考とする。

【問1】あなたは、健康づくりに関心がありますか。

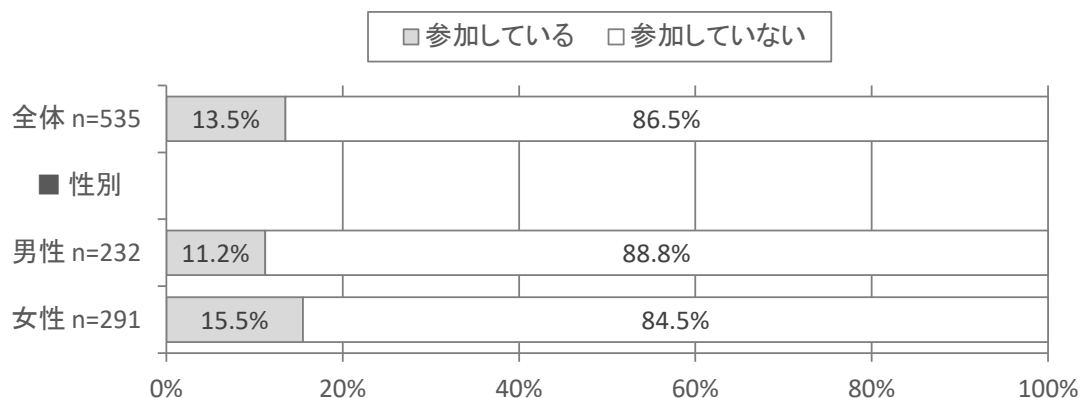
- 全体では、「ある」の割合が43.8%で最も高く、「ある」と「ややある」を合わせた割合は84.6%となっており、程度を問わず関心があると回答している方は8割を超えている。
- 性別で見ると、男女とも「ある」と「ややある」を合わせた割合が8割を超えており、大きな差異は見られない。
- 年代別で見ると、「ある」と「ややある」を合わせた割合は、70代までは年代が上がるにつれて増加する傾向となっており、70代以上では「ある」の割合が突出している。一方で、80代では関心がないに関する回答の割合が比較的高くなっている。

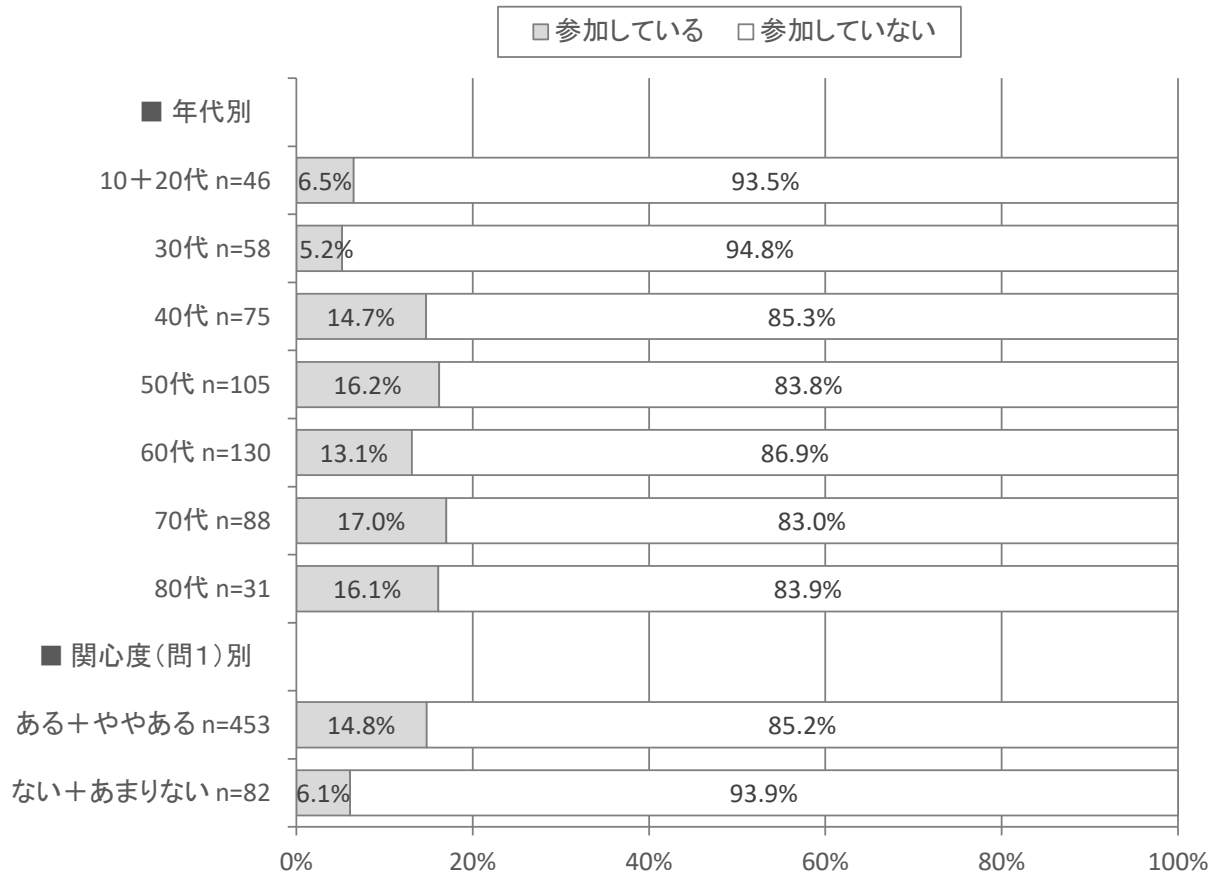




【問2】あなたは、「健幸まちづくりプロジェクト」に参加していますか。

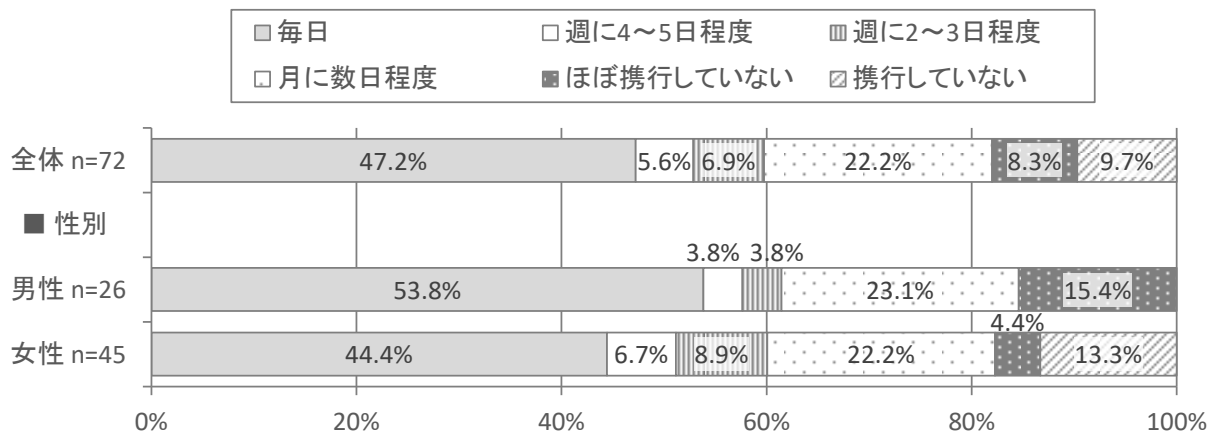
- 全体では、「参加していない」の割合が86.5%となっており、8割を超えている。
- 性別で見ると、大きな差異は見られないが、女性の参加率が男性よりやや高くなっている。
- 年代別で見ると、「参加していない」の割合は30代以下で9割を超えており、若い世代の参加率が低くなっている。
- 問1の関心度別に「参加している」の回答割合を見ると、関心が「ある」または「ややある」（ある+ややある）と回答した方は、「ない」または「あまりない」（ない+あまりない）と回答した方より高くなっているが、14.8%で全体と大きな差はない。一方で、関心が「ない」または「あまりない」（ない+あまりない）と回答した方の割合は6.1%となっており、大きな差が生じている。





【問3】活動量計（愛称：うおーくん）を継続的に携帯していますか（携帯時間は問いません）。
（問2で「1. 参加している」と回答した方）

- 全体では、「毎日」の割合が47.2%で最も高く、「週に2～3日程度」以上の比較的携帯頻度が高い項目の割合を合わせると59.7%となっており、約6割を占めている。一方で、「ほぼ携帯していない」と「携帯していない」の割合を合わせると18.0%となっており、プロジェクトに参加している方でも2割近くの方はあまり携帯していない結果となっている。
- 性別で見ると、男女とも「週に2～3日程度」以上の比較的携帯頻度が高い項目の割合を合わせると6割以上となっているが、「毎日」と回答した方の割合は男性が女性より9.4ポイント高くなっている。

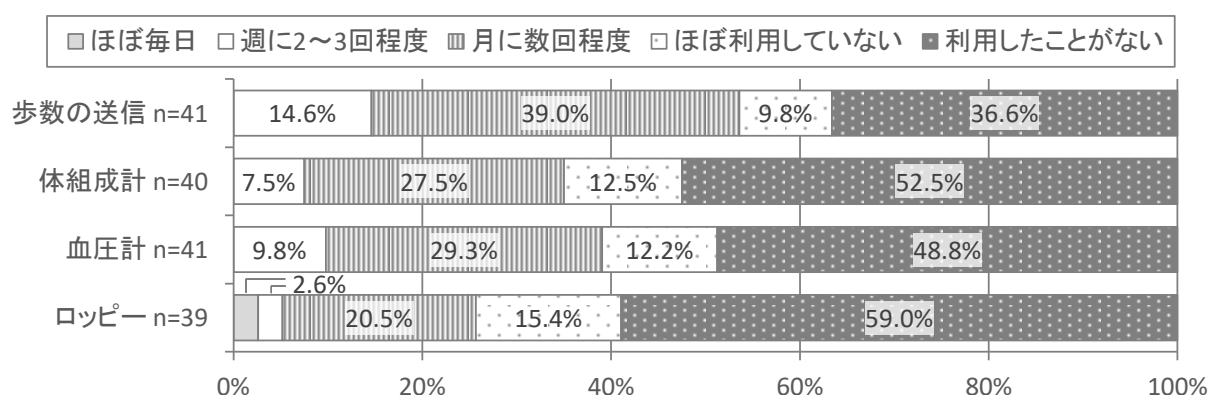


【問4】「健幸スポット」と「ロッピー」をどのくらい利用していますか。

(問3で「1. 毎日」～「3. 週に2～3日程度」と回答した方)

- 歩数の送信は、「月に数回程度」の割合が39.0%で最も高くなっているが、「ほぼ利用していない」と「利用したことがない」の割合を合わせると46.4%となっており、利用していないに関する回答が半数近くを占めている。
- 体組成計と血圧計は、ほぼ同様の傾向となっており、「ほぼ利用していない」と「利用したことがない」を合わせた割合はどちらも6割を超えている。
- ロッピーは、「ほぼ利用していない」と「利用したことがない」の割合を合わせると74.4%となっており、項目の中で一番利用頻度が低くなっている。

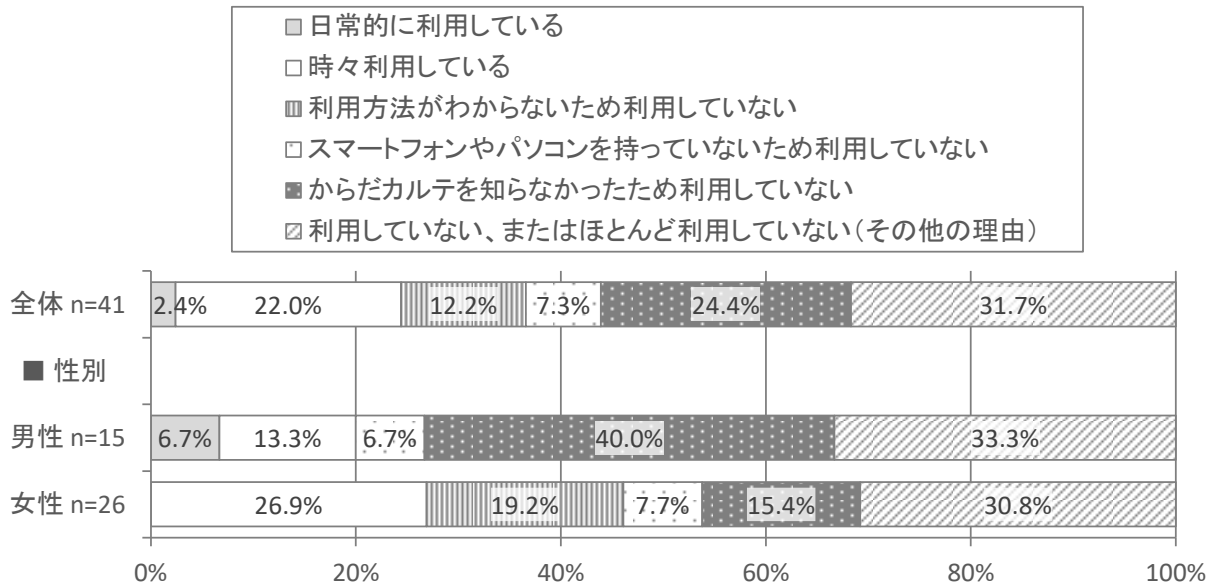
■全体



【問5】「からだカルテ」を利用していますか。

(問3で「1. 毎日」～「3. 週に2～3日程度」と回答した方)

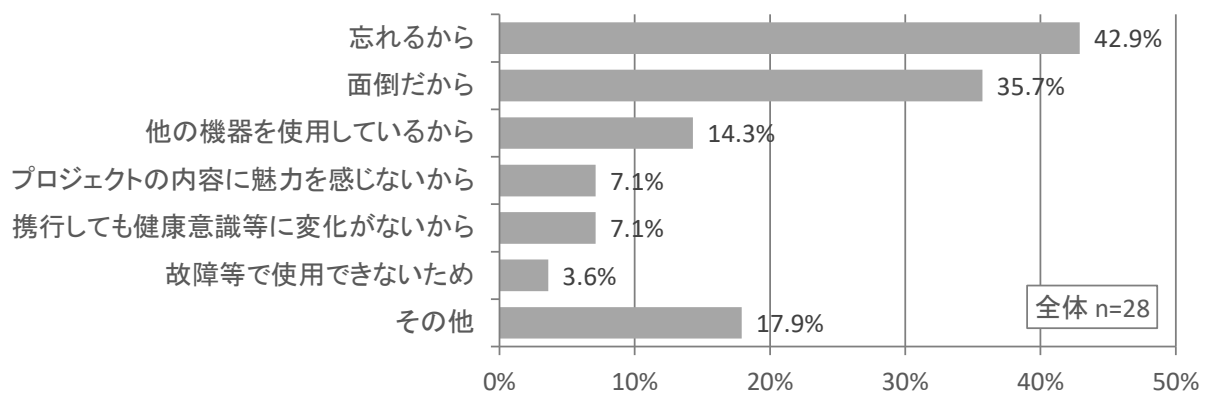
- 全体では、利用していないに関する回答の割合を合わせると75.6%となっており7割を超えている。利用していない理由としては、「その他の理由」の割合が31.7%で最も高くなっており、次いで「からだカルテを知らなかったため」が24.4%となっている。
- 性別で見ると、利用していないに関する回答の割合を合わせると男性が女性より高く、8割を占めている。利用していない理由としては、男性では「からだカルテを知らなかったため」、女性では「その他の理由」の割合が最も高くなっている。また、男性では「からだカルテを知らなかったため」、女性では「利用方法がわからないため」の割合が、異性よりも高くなっている。



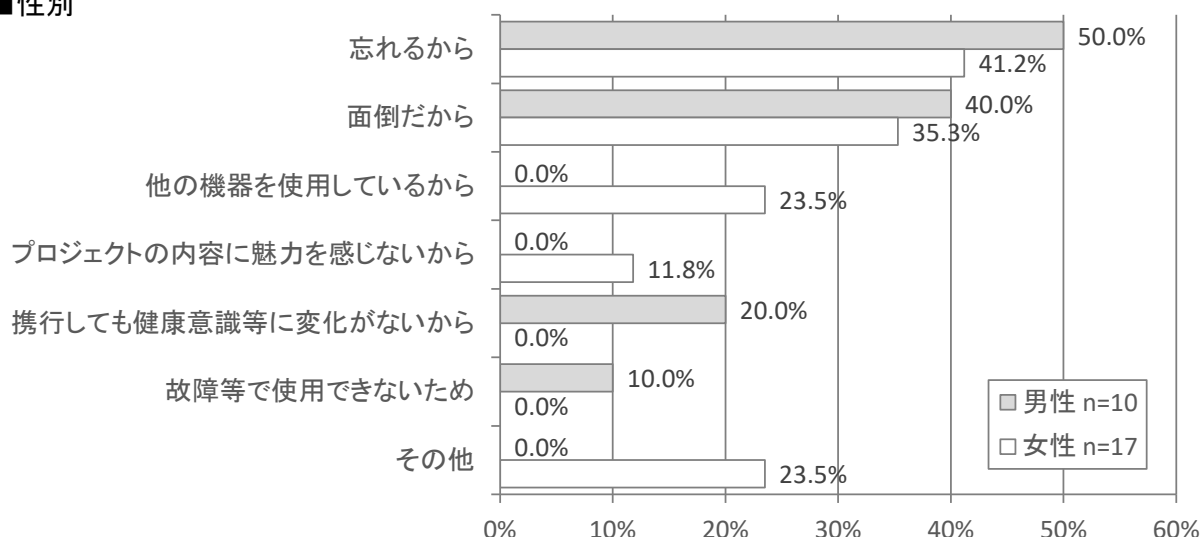
【問6】活動量計（愛称：うおーくん）の携行頻度が低い理由は何ですか。（複数回答可）
（問3で「4. 月に数日程度」～「6. 携行していない」と回答した方）

- 全体では、「忘れるから」の割合が42.9%で最も高く、次いで「面倒だから」が35.7%となっており、上位2項目の回答が突出している。
- 性別で見ると、男女とも「忘れるから」の割合が最も高くなっている。また、異性にはない回答として、男性では「携行しても健康意識等に変化がないから」「故障等で使用できないため」、女性では「他の機器を使用しているから」「プロジェクトの内容に魅力を感じないから」が挙げられている。

■全体



■性別



■その他の回答

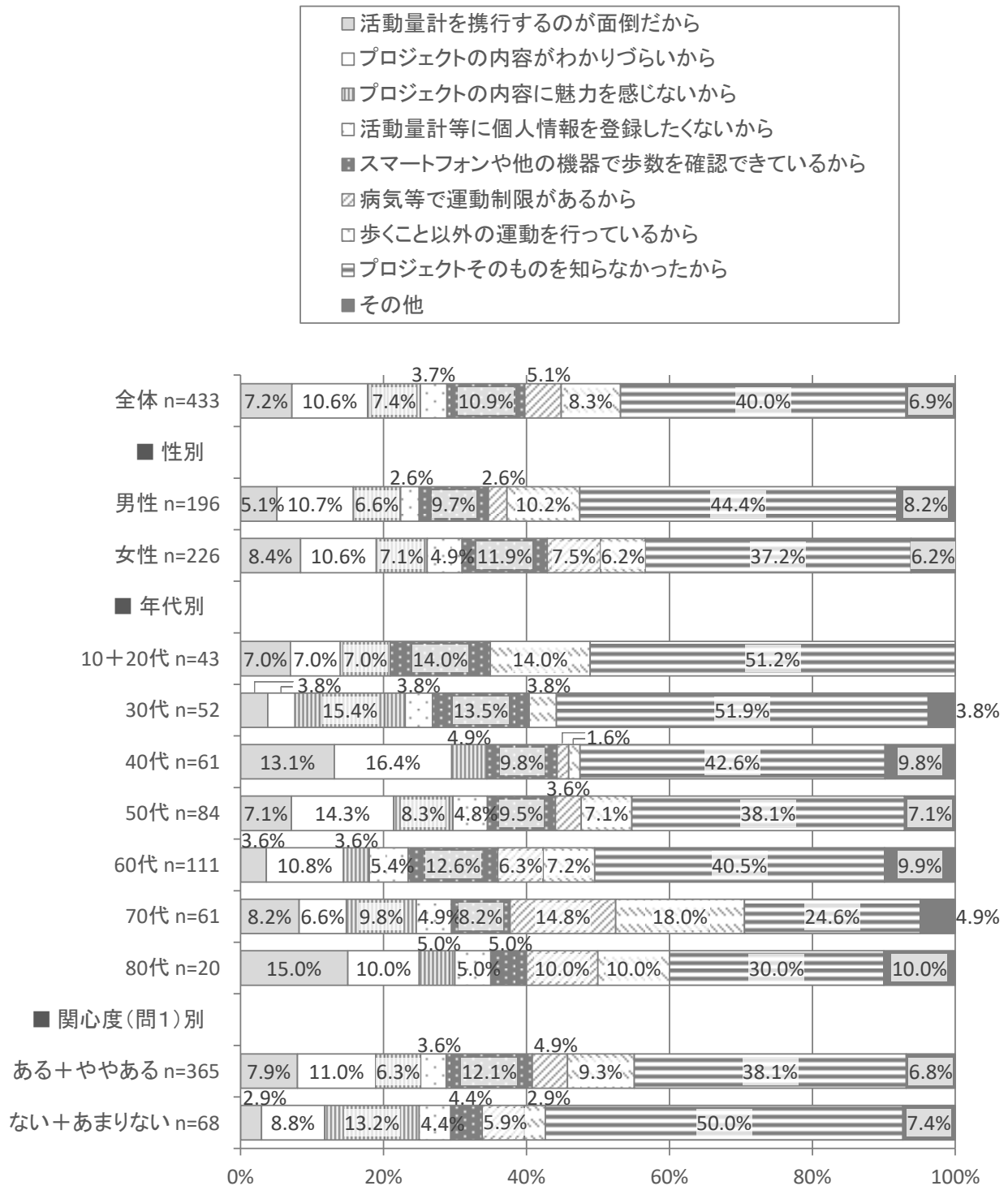
- 足を痛めたため（女性／60代／神岡）
- 仕事日以外に携行している。仕事内容により携行が難しい為。（女性／60代／南外）
- 電池の交換が必要だが、交換していない（女性／70代／中仙）

【問7】健幸まちづくりプロジェクトに参加していない理由は何ですか。

（問2で「2. 参加していない」と回答した方）

- 全体では、「プロジェクトそのものを知らなかったから」の割合が40.0%で最も高く、次いで「スマートフォンや他の機器で歩数を確認できているから」が10.9%、「プロジェクトの内容がわかりづらいから」が10.6%となっている。
- 性別で見ると、男女とも概ね全体と同様の傾向となっており、大きな差異は見られないが、男性では「歩くこと以外の運動を行っているから」、女性では「病気等で運動制限があるから」の割合が、異性よりも比較的高くなっている。
- 年代別で見ると、「スマートフォンや他の機器で歩数を確認できているから」の割合は年代が下がるにつれて増加する傾向となっている。「病気等で運動制限があるから」と「歩くこと以外の運動を行っているから」の割合は70代以上で比較的高く、「プロジェクトそのものを知らなかったから」の割合は低い年代で比較的高くなっている。
- 問1の関心度別で見ると、関心が「ある」または「ややある」（ある＋ややある）と回答した方は、「ない」または「あまりない」（ない＋あまりない）と回答した方と比べて「プロジェクトの内容に魅力を感じないから」「プロジェクトそのものを知らなかったから」の割合が比較的低く、「活動量計を携行するのが面倒だから」「スマートフォンや他の機器で歩数を確認できているから」「歩くこと以外の運動を行っているから」の割合は比較的高くなっている。

3. 1. 1 個別事業評価「健幸まちづくりプロジェクトについて」



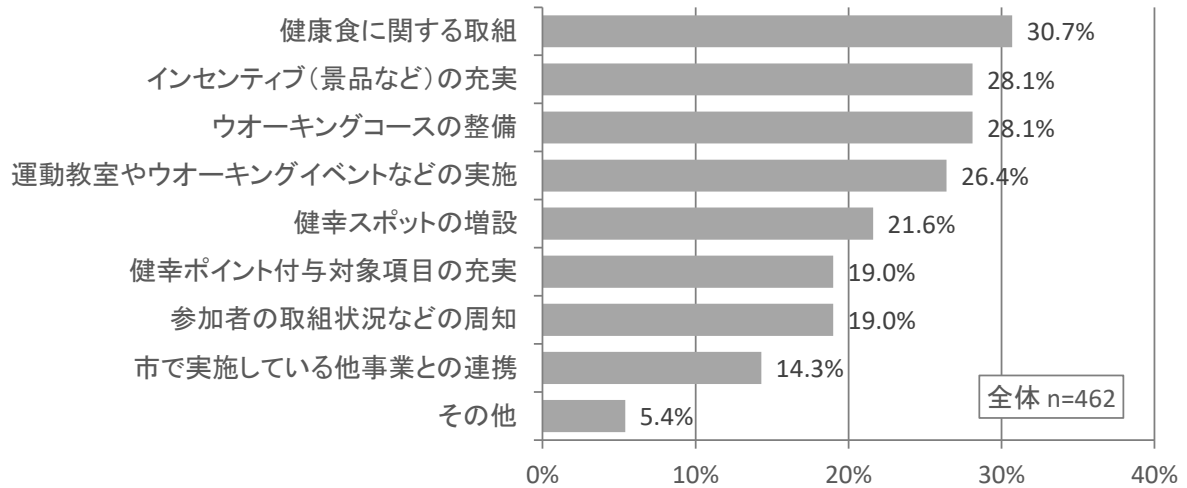
■その他の回答

- 仕事などで忙しく、時間がない（【男性】30代／太田、40代／大曲、50代／中仙、60代／大曲・西仙北、【女性】30代・60代／太田、40代／南外）
- 仕事で体を動かしているから（女性／60代／大曲、男性／60代／大曲、男性／70代／西仙北）
- 活動量計を使いこなせないから（女性／50代／西仙北）
- プロジェクトの内容を良く分かっていない。情報収集不足だと思っている。今後参加してみたい。（女性／50代／中仙）
- 自分の健康は自分で守り、維持・増進している（男性／80代以上／大曲）
- プロジェクトの手続きが面倒。無料配布していただければ利用した（女性／40代／大曲）
- 申込みなどが面倒だから（女性／30代／中仙）
- 心に余裕がない（男性／40代／大曲）
- コロナ禍のため（女性／60代／大曲）

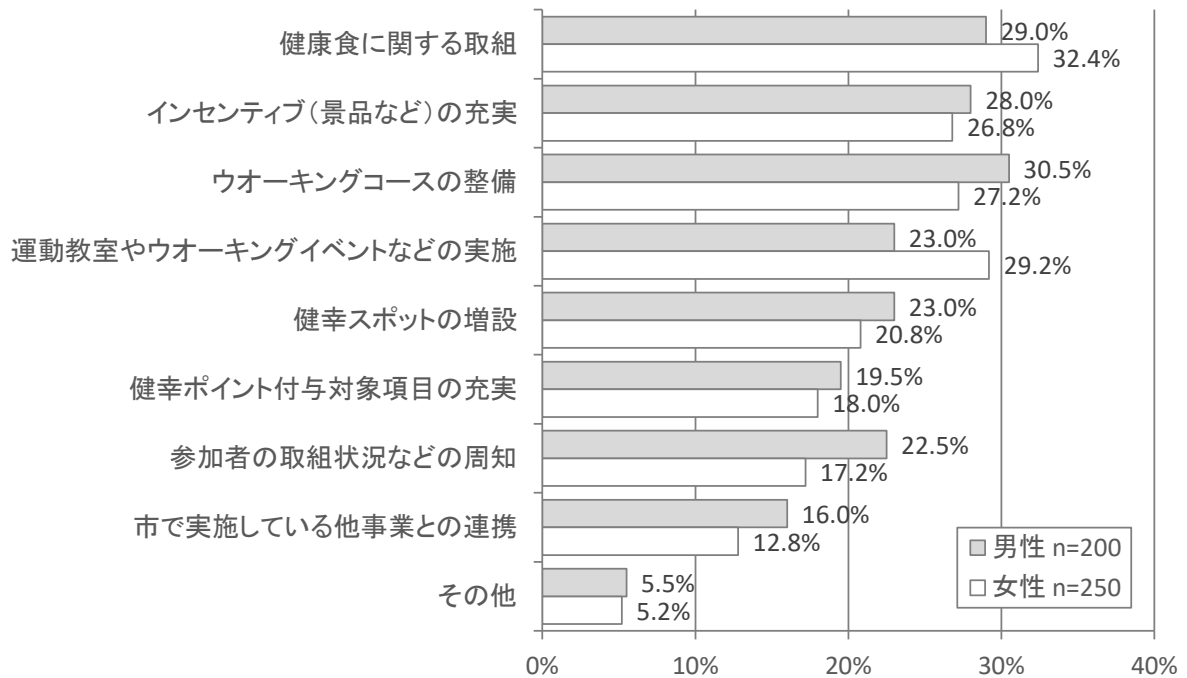
【問8】どのような取組があれば参加したいと思いますか。また、継続して参加したいと思いますか。（3つまで）

- 全体では、「健康食に関する取組」の割合が30.7%で最も高く、次いで「インセンティブ（景品など）の充実」「ウオーキングコースの整備」が同率で28.1%となっている。
- 性別で見ると、男性では「ウオーキングコースの整備」、女性では「健康食に関する取組」の割合が最も高くなっている。また、女性では「運動教室やウオーキングイベントなどの実施」の割合が2番目に高くなっており、男性との差も比較的大きくなっている。
- 年代別で見ると、「健康食に関する取組」と「運動教室やウオーキングイベントなどの実施」の割合は年代が上がるにつれて高くなる傾向となっており、「インセンティブ（景品など）の充実」と「健幸ポイント付与対象項目の充実」の割合は逆に年代が下がるにつれて高くなる傾向となっている。
- 問1の関心度別で見ると、関心が「ある」または「ややある」（ある＋ややある）と回答した方では、「健康食に関する取組」を最上位に、全体とほぼ同様の傾向となっている。関心が「ない」または「あまりない」（ない＋あまりない）と回答した方では、「インセンティブ（景品など）の充実」が突出しており、全体では6番目に高い「健幸ポイント付与対象項目の充実」の割合が3番目に高くなっている。また、関心のある方では、「ウオーキングコースの整備」「運動教室やウオーキングイベントなどの実施」「健幸スポットの増設」の割合が比較的高く、「インセンティブ（景品など）の充実」の割合は比較的低くなっている。
- 問2の参加別で見ると、参加している方では「インセンティブ（景品など）の充実」が突出しているが、全体で最も高い「健康食に関する取組」の割合は比較的低くなっている。参加していない方では「健康食に関する取組」の割合が最も高く、「参加者の取組状況などの周知」「市で実施している他事業との連携」も含めた3項目では、参加している方より割合が高くなっている

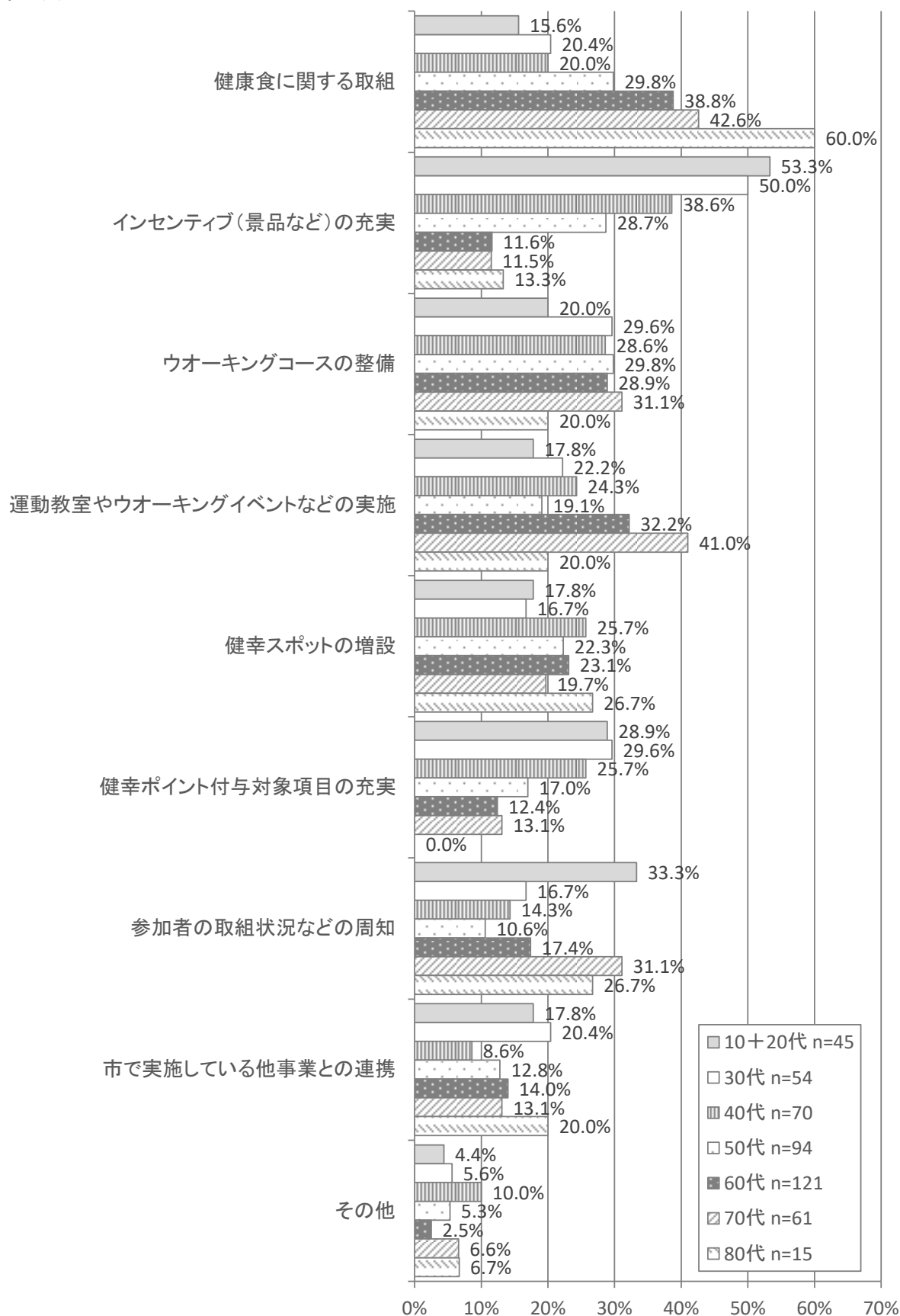
■全体



■性別

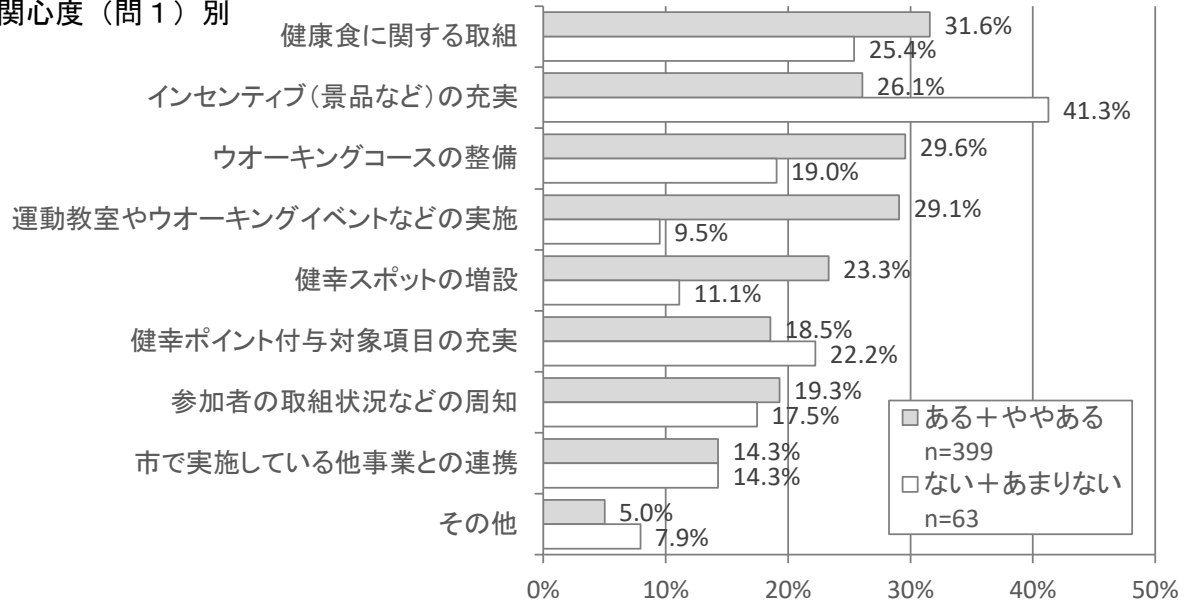


■年代別

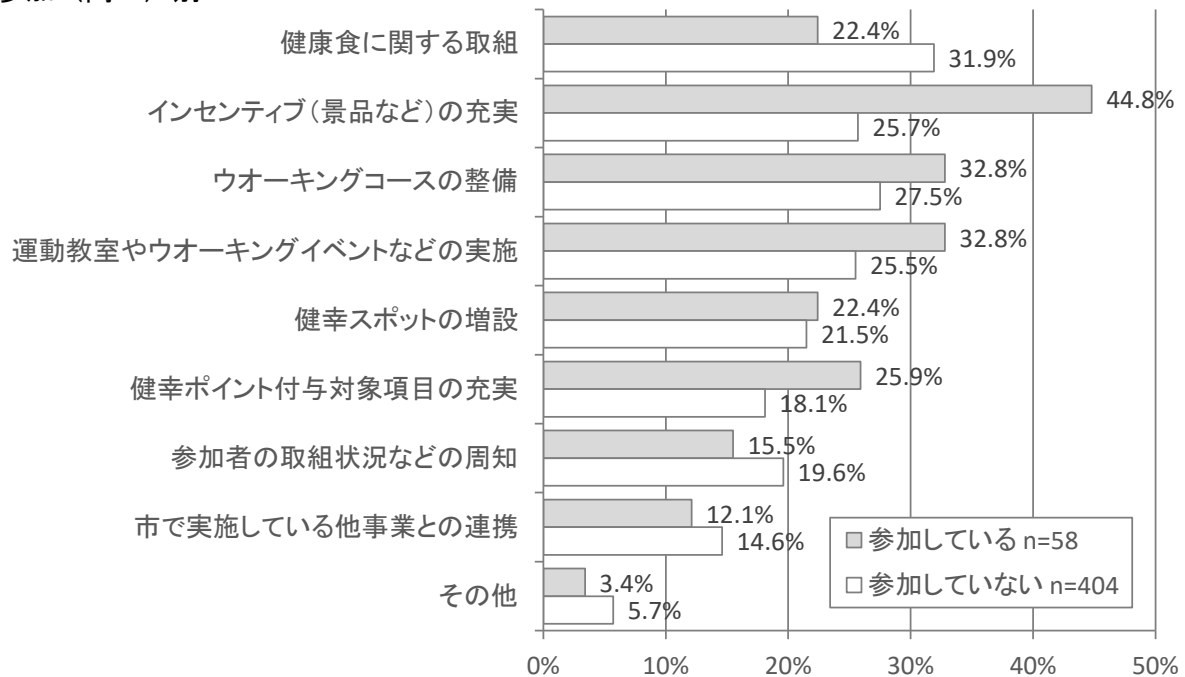


3. 1. 1 個別事業評価「健幸まちづくりプロジェクトについて」

■関心度（問1）別



■参加（問2）別



■その他の回答

- 個人情報の管理が不十分だと思うからそこがクリアしているのであれば、参加してみたい。（女性／30代／大曲）
- 健康である人を表彰、目標づくりにする（男性／40代／大曲）
- インセンティブや健康ポイントは、各人の生活環境もあるので、月単位、年単位で歩数増加や血圧、体組成の正常値への変化等を対象とした他人の取り組みを努力評価にしたらどうでしょうか。（女性／50代／大曲）
- ウォーキングコースを整備し、農道や夜道に反射シール等なしに歩く人を減らしていただけたら、賛同できると思います。（女性／50代／大曲）
- 靴を履いたまま計測できる方がいいです。（女性／70代／仙北）
- 腰痛・肩こり改善メニュー、ストレッチ等を職場で行ってもらえると毎日続けられそう。個人だと億劫になってしまう。（女性／40代／大曲）

- スマホと連携してデータを転送可能なら（女性／40代／中仙）
- 冬でも歩ける消雪道路をたくさん作ってほしい（男性／80代以上／大曲）
- 内容を知ることができて自身に必要とした場合（男性／50代／西仙北）

◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

- 問1の健康づくりへの関心について、「ある」と「ややある」を合わせた割合は84.6%となっており、性別では男性が84.5%、女性が84.3%で性差はなかった。年代別では、最も高い70代の94.3%までは年代が上がるにつれて増加する傾向となっており、全ての年代で7割を超えている。このことから、属性に関わらず健康づくりへの関心が高いことが伺える。

- 一方で、問2の健幸まちづくりプロジェクトの参加状況については、「参加していない」と回答した方が86.5%であった。

健康づくりへの関心度別で見ると、関心度が高いと参加率も高くなる傾向にあるが、関心が「ある」または「ややある」と回答した方でも8割以上の方が参加していない状況であった。

- 問7の健幸まちづくりプロジェクトに参加していない理由については、「プロジェクトそのものを知らなかったから」の割合が40.0%で最も高く、3番目が「プロジェクトの内容がわかりづらいから」の10.6%であった。

年代別でみると、40～60代で「プロジェクトの内容がわかりづらいから」の割合が高く、40代以下では「プロジェクトそのものを知らなかったから」の割合が高かった。

また、「プロジェクトそのものを知らなかったから」について、健康づくりへの関心度別で見ると、「ない」または「あまりない」と回答した方より、「ある」または「ややある」と回答した方が低くなっているが、それでも38.1%と4割近くを占めている。

内容がわかりづらいとの回答については、プロジェクトそのものは認知されているものの、プロジェクトの具体的な内容が周知不足であったと考えられ、それが参加に至らない要因の一つになっていると考えられる。

今後は、本プロジェクトの周知とその方法をより一層強化・工夫していく必要があり、例えば、チラシに限らず、年代に合わせた媒体で周知するなど、効果的な周知方法を検討していく。

- 問8のどのような取組があると参加したいと思うかについては、「健康食に関する取組」が30.7%で最も多く、次いで、「インセンティブ(景品など)の充実」「ウォーキングコースの整備」が28.1%、「運動教室やウォーキングイベントなどの実施」が26.4%であった。

健康づくりへの関心度別で関心が「ある」または「ややある」と回答した方、プロジェクトへの参加別で参加していない方は、どちらも「健康食に関する取組」の割合が最も高くなっていることから、健康への関心の高い層及び未参加者の参加促進を図る上でも、体を動かすイベントなどに加えて、健康食に関する取組についても検討していく。

また、関心が「ない」または「あまりない」と回答した方、既に参加している方は「インセンティブ(景品など)の充実」の割合が突出して高くなっていることから、健康無関心層へのアプローチ及び継続参加を図る取組として、インセンティブの充実についても検討していく。

さらに、「参加者の取組状況などの周知」が19.0%となっていることから、現在実施している市広報を通じた取組状況の周知について、内容のさらなる充実を図るとともに、他の媒体も活用しながら強化していく。

3. 1. 2 市の文化財について

(観光文化スポーツ部文化財課)

- ◆ **調査目的：** 市には、県内唯一の国宝である「線刻千手観音等鏡像」や国指定重要文化財「古四王神社本殿」、国指定史跡「払田柵跡」、国指定名勝「旧池田氏庭園」など、数多くの指定文化財や貴重な文化遺産が伝承されており、一部は教育や観光などの分野で活用されている。

一方で、こうした文化財(※)は、担い手不足や価値の理解不足などにより散逸や消失の危機にさらされており、保護・保存の取組に加え、観光や地域活性化へのさらなる活用による価値や魅力の発信を通じ、伝承につなげていくサイクルの形成が重要となっている。

本調査では、文化財への関心などについてご意見を伺い、今後の文化財の維持や保存、さらなる活用に向けた取組の参考とする。

※文化財には、有形・無形のほか国などから指定されている文化財に加え、指定はされていないものの、歴史的に価値のあるものも多数ある。ここでは、こうした歴史的資産をまとめて「文化財」と表記する。

【問 1】 あなたは、次の指定文化財を知っていますか。また、過去 3 年以内に見学したことがありますか。

■ **知っているか**

- 全体的に「知っている」と「知らない」の差が大きく、文化財別の認知度も対照的となっている。
- 文化財別で見ると、「知っている」の割合は「刈和野の大綱引き」が 97.9%で最も高く、次いで「旧池田氏庭園」「払田柵跡」「旧池田家住宅洋館」と、いずれも 9 割以上を占めている。

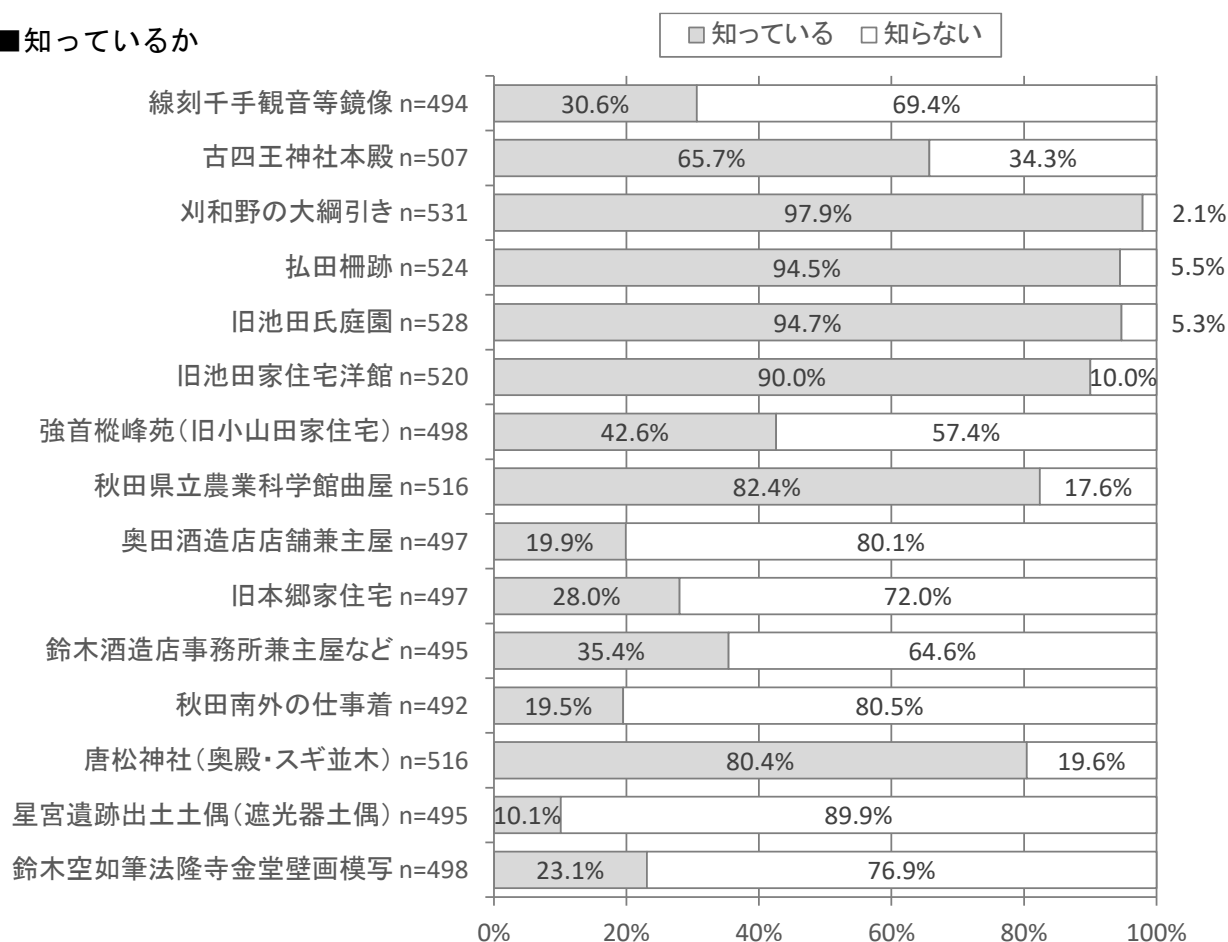
■ **見学したことがあるか**

- 全体的に「見学したことがない」の割合が高くなっており、認知度が高い文化財でも実際に見学したことがある方は少ない結果となっている。
- 文化財別で見ると、「見学したことがある」の割合は「払田柵跡」が 55.0%で最も高くなっているが、半数程度に留まっている。次いで、「秋田県立農業科学館曲屋」が 53.9%となっており、「見学したことがある」が「見学したことがない」を上回っているのはこの 2 項目のみとなっている。

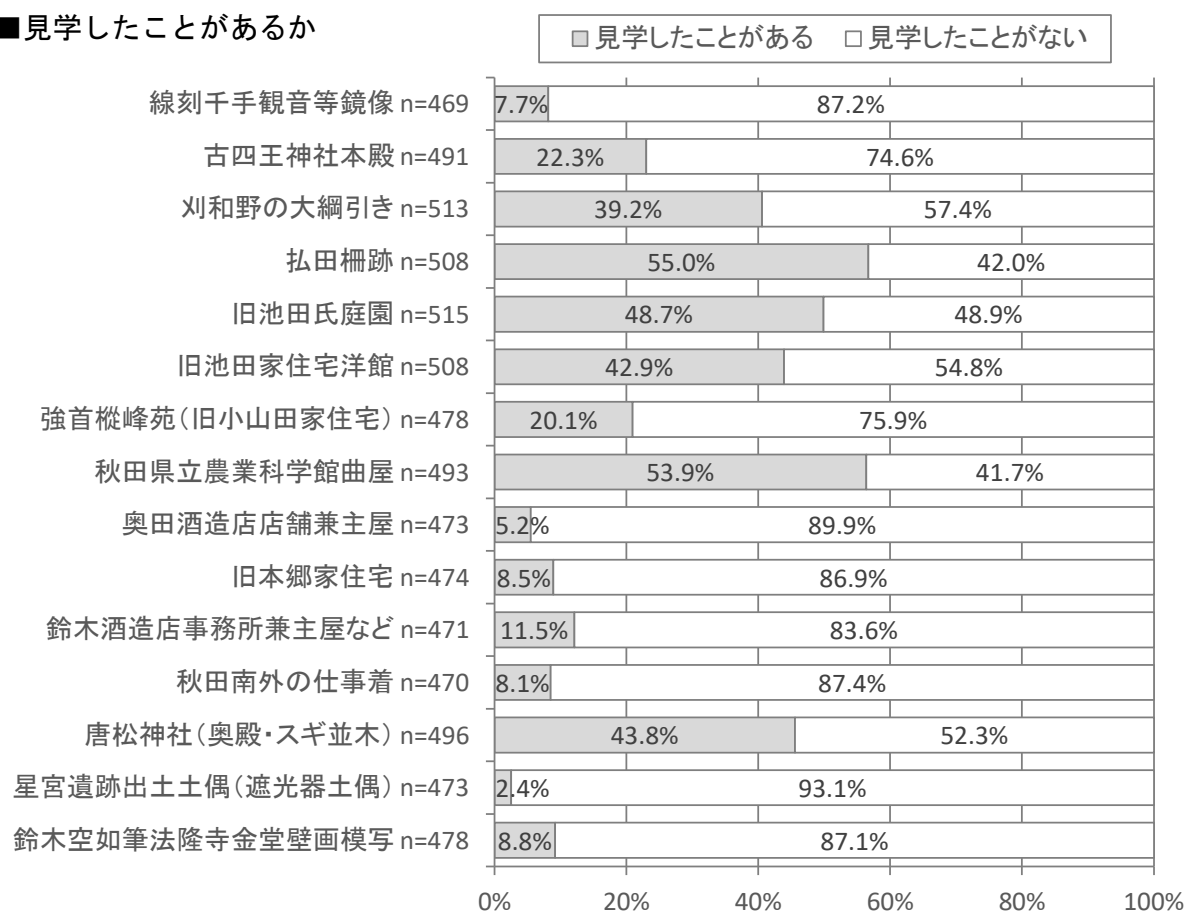
■ **「知っているか」と「見学したことがあるか」の比較**

- 「知っている」と「見学したことがある」の割合の差が大きい文化財は、「古四王神社本殿」「刈和野の大綱引き」「旧池田氏庭園」「旧池田家住宅洋館」で、いずれも差が 40 ポイントを超えており、「刈和野の大綱引き」に関しては 58.7 ポイントの差が生じている。

■知っているか

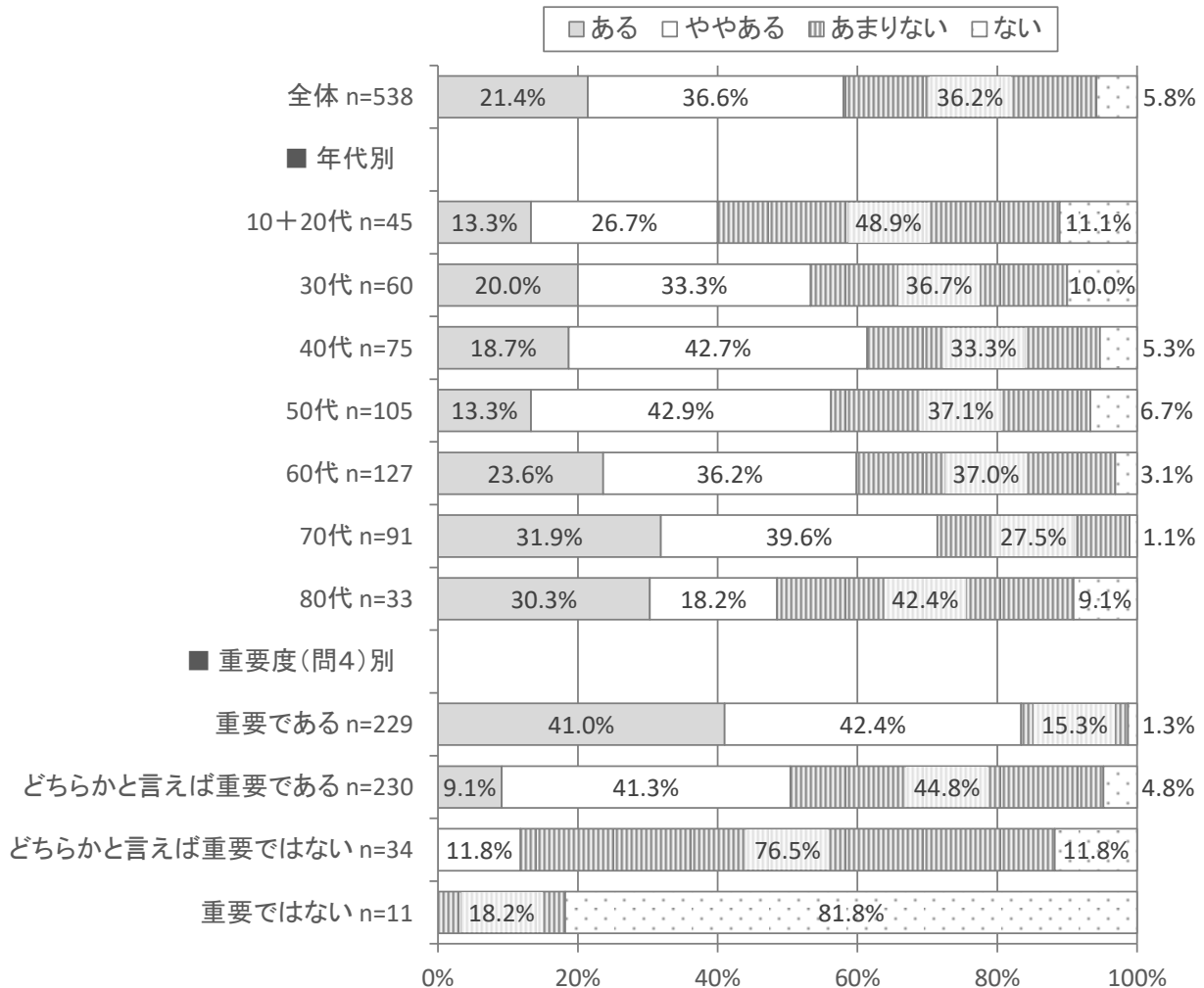


■見学したことがあるか



【問2】あなたは、文化財に関心がありますか。

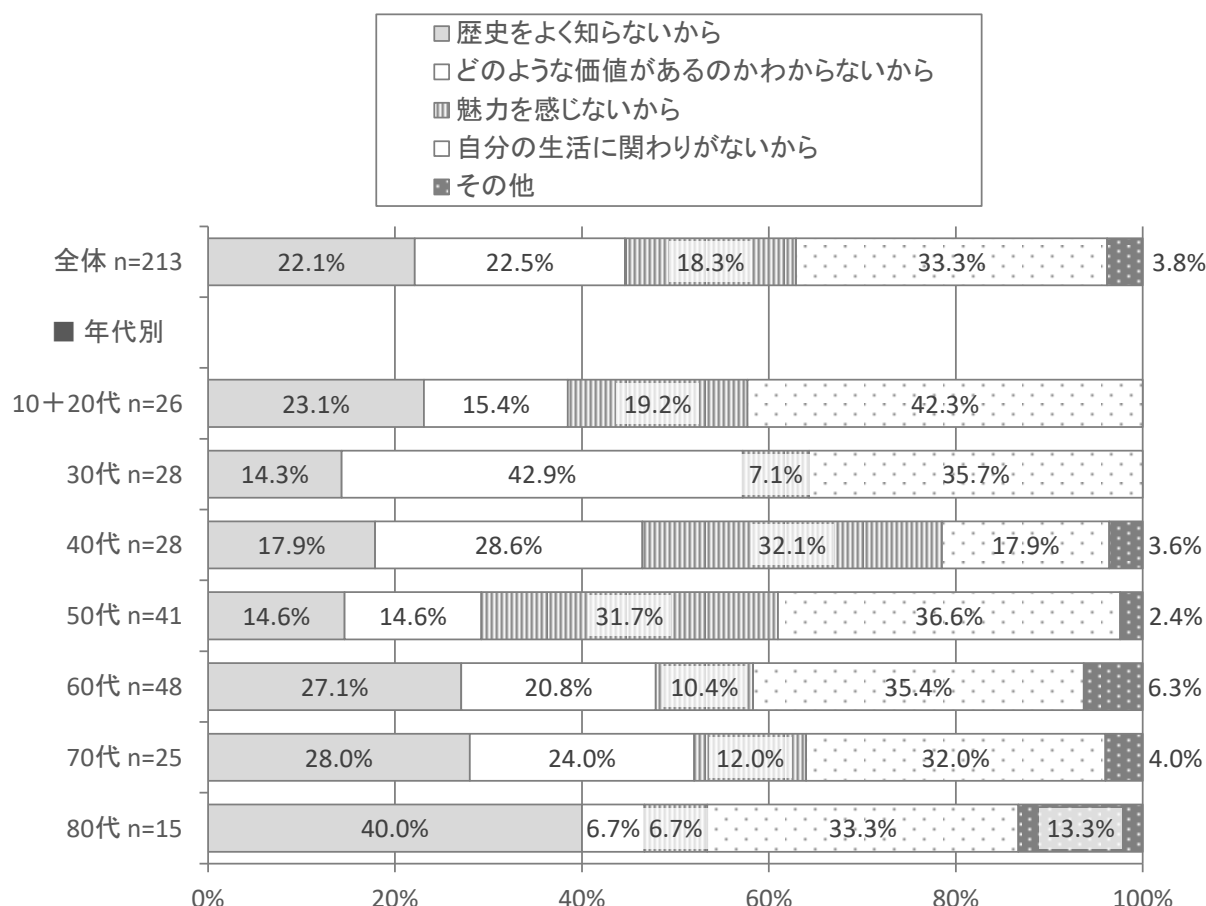
- 全体では、「ある」と「ややある」を合わせた割合は58.0%となっており、6割近くの方が程度を問わず関心があると回答している。
- 年代別で見ると、「ある」と「ややある」を合わせた割合は、80代では減少しているが、年代が上がるにつれて増加する傾向となっている。
- 問4の重要度別で見ると、重要度が減少するにつれて、関心度も減少している。



【問3】関心がない理由は何ですか。

(問2で「3. あまりない」、「4. ない」と回答した方)

- 全体では、「自分の生活に関わりがないから」の割合が33.3%で最も高く、他の理由については、「その他」を除きほぼ同程度の割合となっている。
- 年代別で見ると、「歴史をよく知らないから」の割合は、60代以上の高い年代で高くなっている。30代では「どのような価値があるのかわからないから」、40～50代では「魅力を感じないから」の割合が他の年代よりも比較的高くなっている。

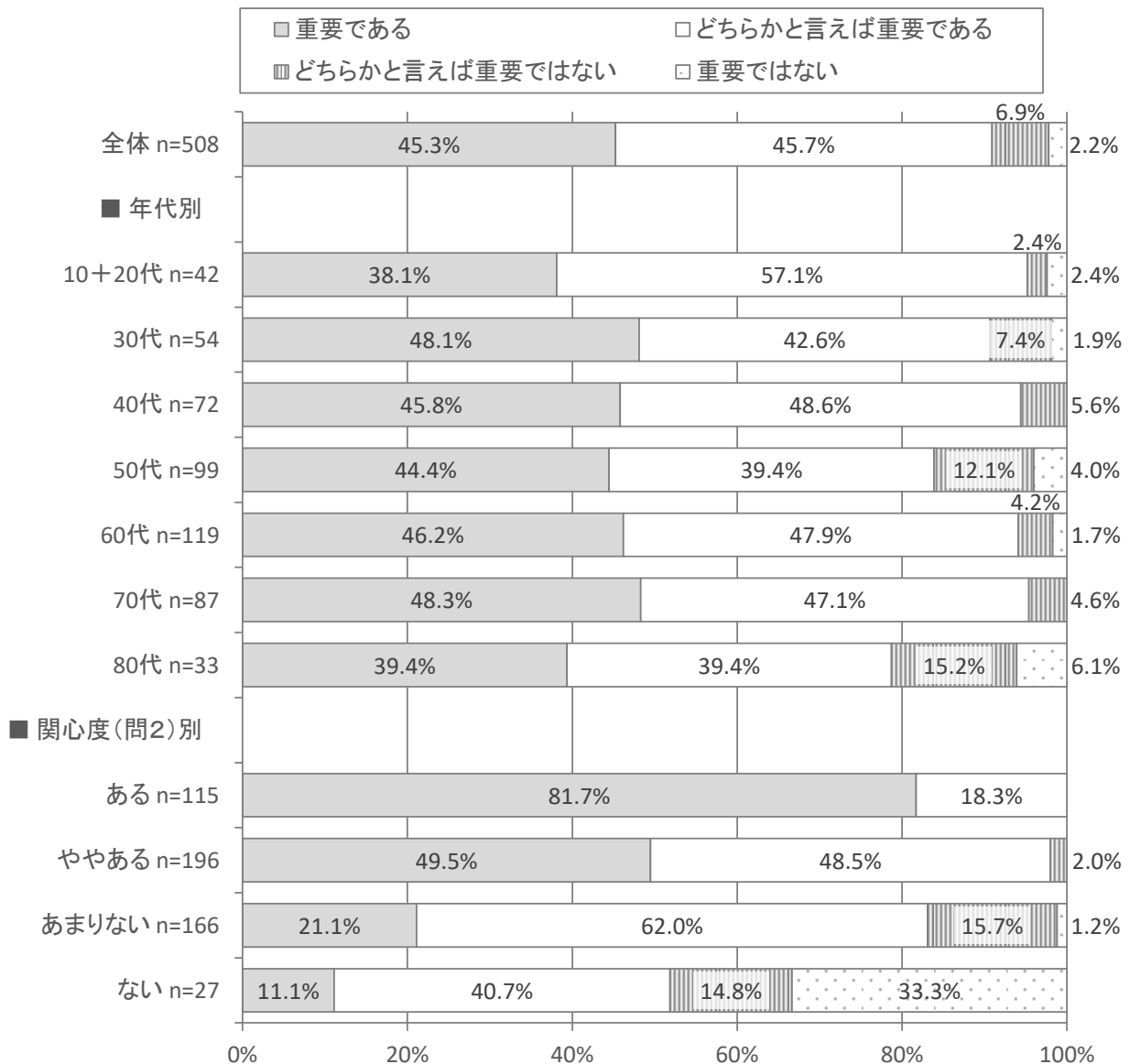


■その他の回答

- 忙しく時間がないため（女性／40代／南外、女性／60代／協和・太田）
- PR不足（男性／70代／大曲）
- 趣味がない（男性／80代以上／大曲）
- 勉強不足（男性／80代以上／中仙）
- 見学可能なのか分からない（男性／60代／大曲）

【問4】文化財を保存し、活用する取り組みについてどう思いますか。

- 全体では、「重要である」と「どちらかと言えば重要である」を合わせた割合は91.0%となっており、程度を問わず重要であると回答の方が9割を超えている。
- 年代別で見ると、「重要である」と「どちらかと言えば重要である」を合わせた割合は、50代と80代でやや低くなっているが、他の年代ではいずれも9割を超えており、全ての年代で重要度が高い結果となっている。
- 問2の関心度別で見ると、関心度が減少するにつれて、重要度も減少している。「重要である」と「どちらかと言えば重要である」を合わせた割合は、関心が「あまりない」と回答した方でも8割を超えているが、関心が「ない」と回答した方では大幅に減少し、半数程度となっている。

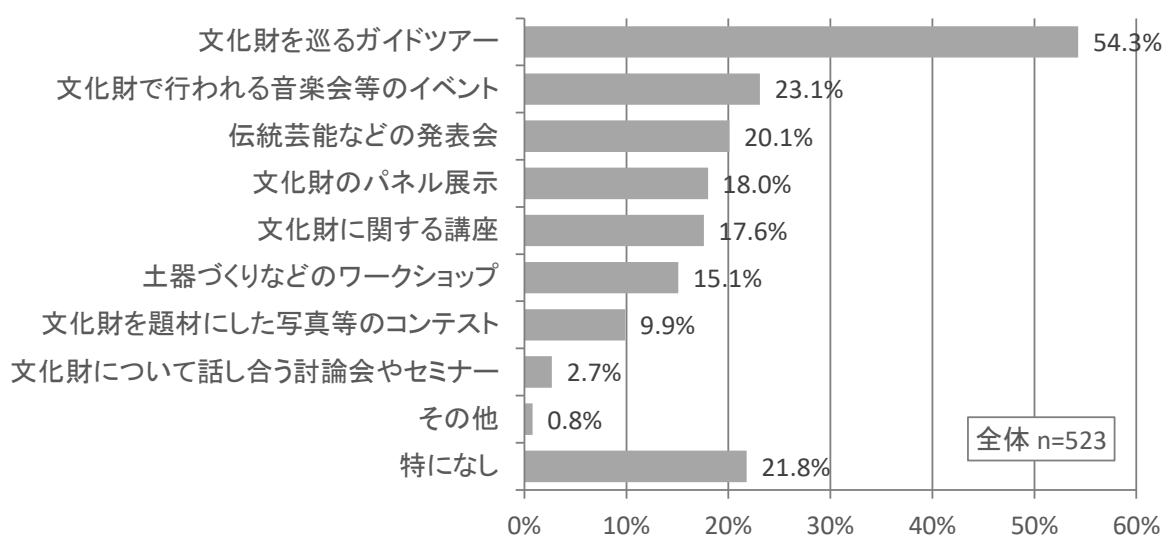


【問5】文化財に関連するイベント等の中で、参加してみたいと思うものは何ですか。

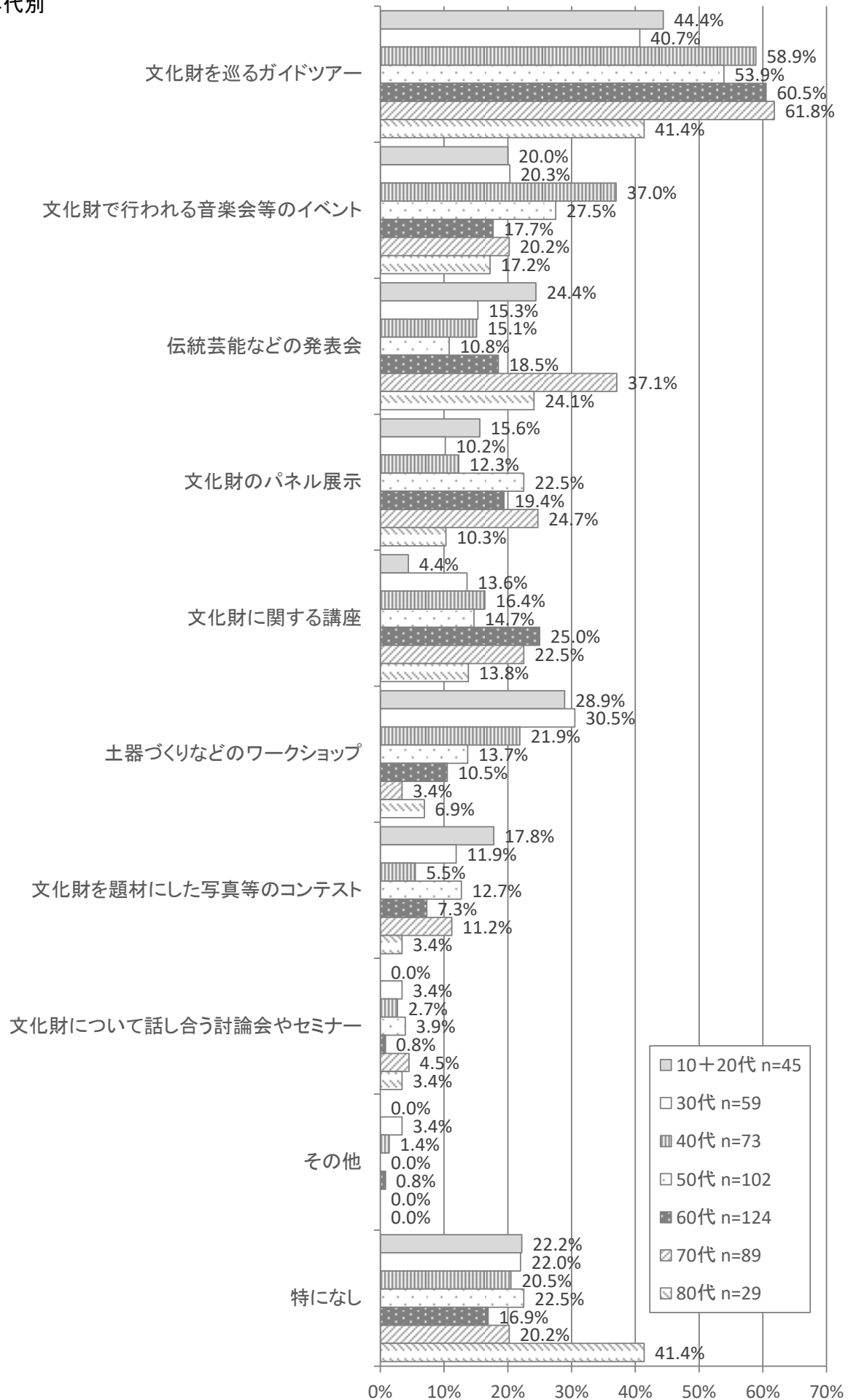
(3つまで)

- 全体では、「文化財を巡るガイドツアー」の割合が54.3%で突出しており、次いで「文化財で行われる音楽会等のイベント」が23.1%、「伝統芸能などの発表会」が20.1%となっている。
- 年代別で見ると、全ての年代で「文化財を巡るガイドツアー」の割合が最も高くなっている。また、「文化財を巡るツアー」「文化財に関する講座」の割合は年代が上がるにつれて増加する傾向となっており、逆に「土器づくりなどのワークショップ」の割合は年代が下がるにつれて増加する傾向となっている。
- 問2の関心度別、問4の重要度別で見ると、どちらも同様の傾向となっており、関心度・重要度が増加するにつれて回答の割合も増加する傾向となっている。ただし、「特になし」に関しては、逆に関心度・重要度が減少するにつれて回答の割合は増加している。

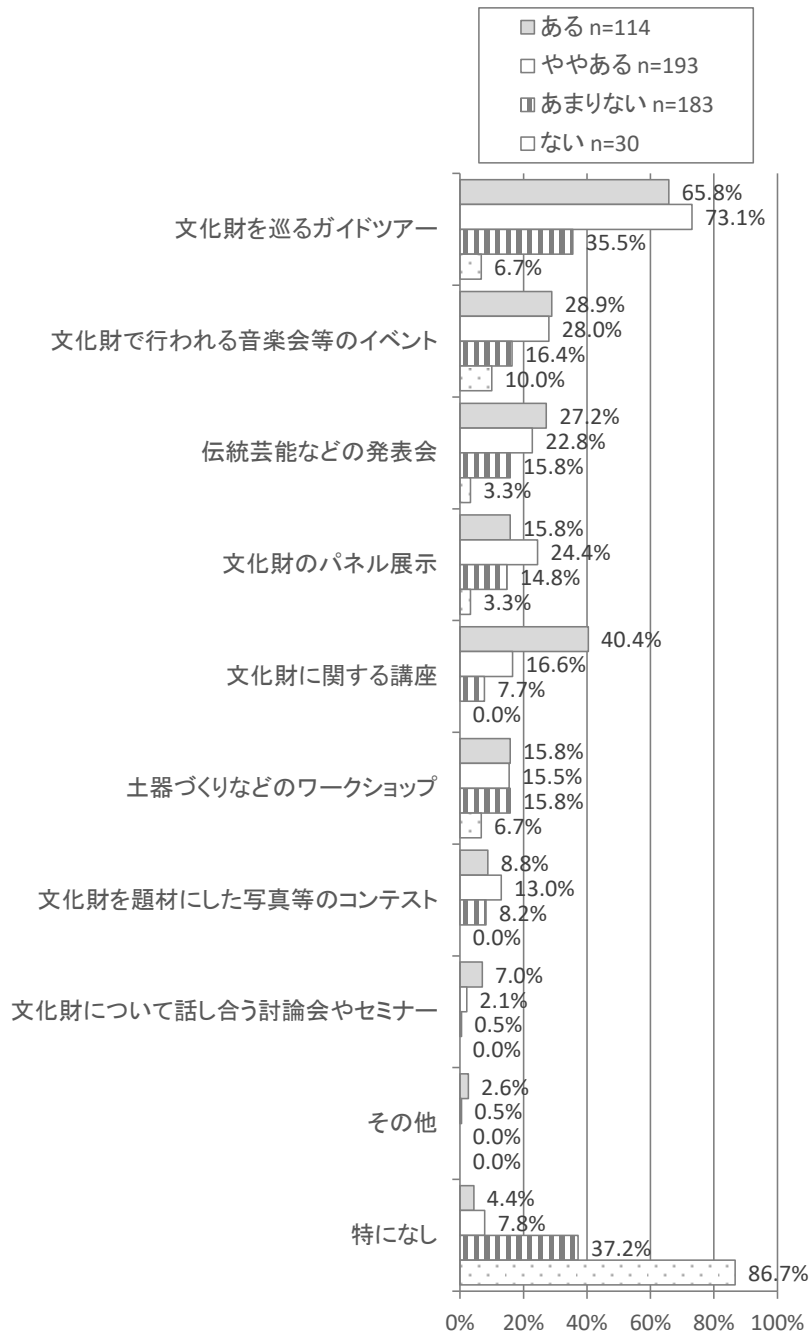
■全体



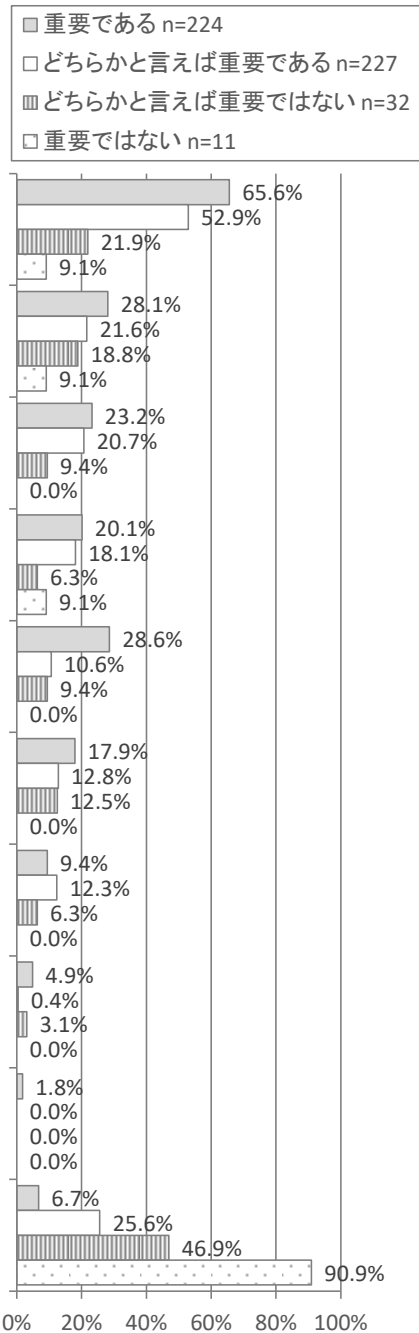
■年代別



■関心度（問２）別



■重要度（問４）別



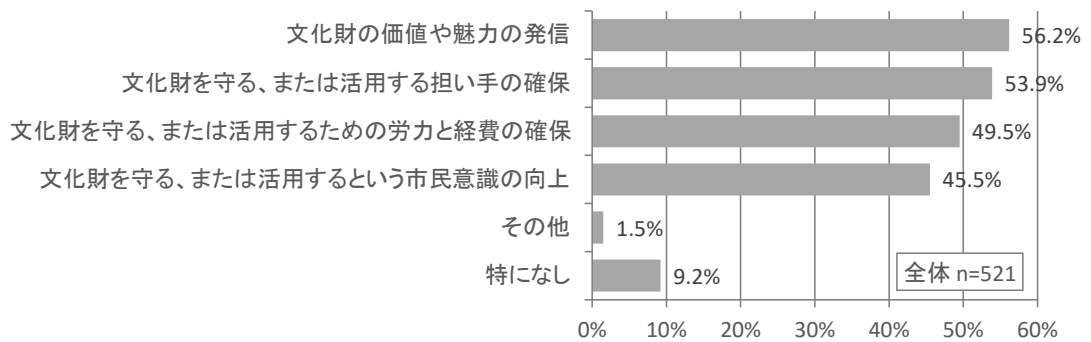
■その他の回答

- 文化財プロモーション（男性／40代／大曲）
- ガイドツアーの動画配信サービス（女性／60代／仙北）
- 文化財についてのパンフレットがあれば自分で行く（男性／30代／太田）
- 旧池田氏庭園ライトアップの様な写真に撮って後からも楽しめるようなイベント（女性／30代／南外）

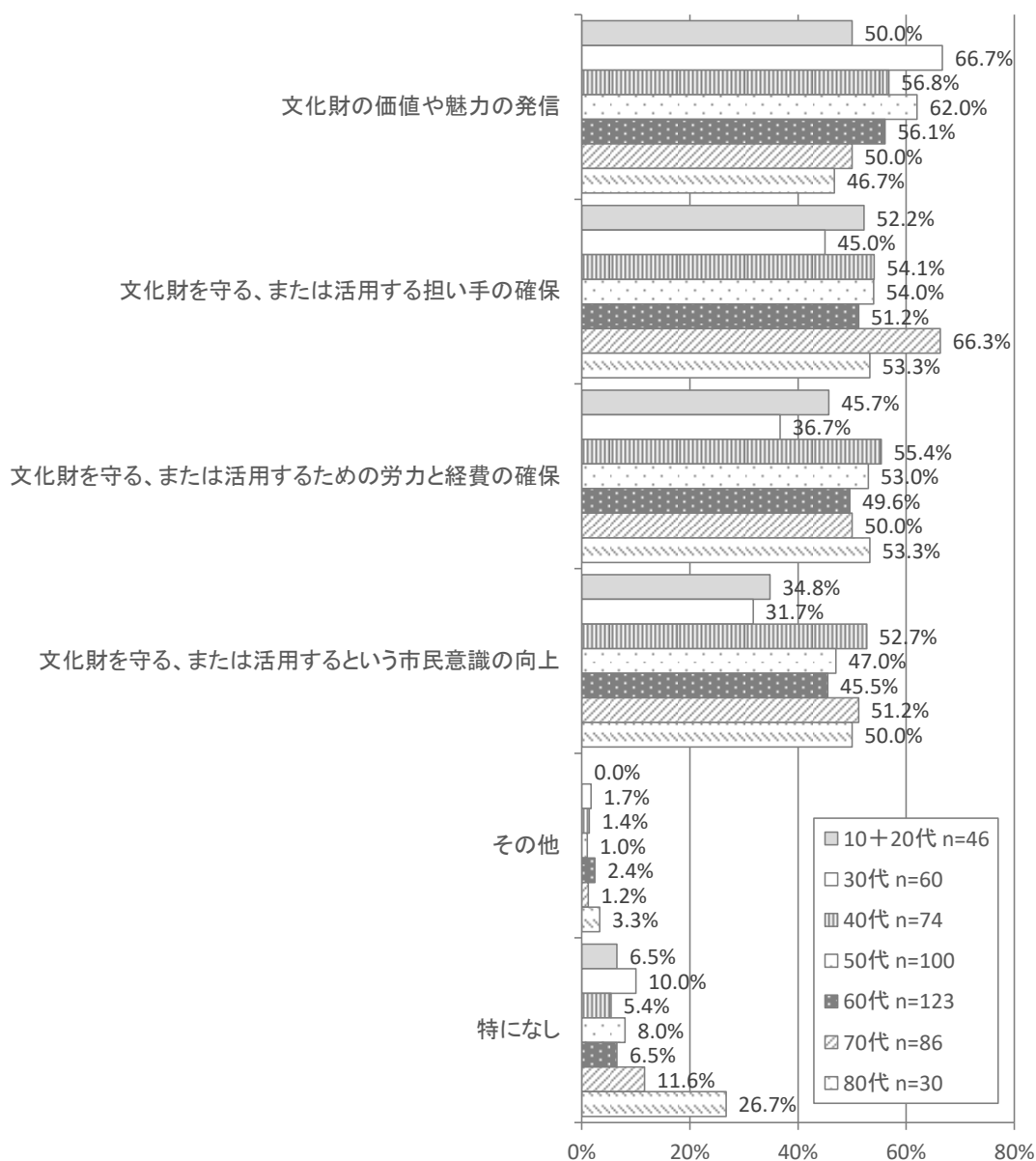
【問6】文化財を保存・活用することについて、課題だと思うことは何ですか。（複数回答可）
--

- 全体では、「文化財の価値や魅力の発信」の割合が56.2%で最も高くなっているが、4番目に割合の高い回答である「文化財を守る、または活用するという市民意識の向上」の45.5%と10.7ポイントの差となっており、突出して高い項目は見られなかった。
- 年代別で見ると、「文化財の価値や魅力の発信」は年代が上がるにつれて減少する傾向となっており、これ以外の項目では40代以上でやや割合が高くなっている。
- 問2の関心度別、問4の重要度別で見ると、どちらも同様の傾向となっており、関心度・重要度が増加するにつれて回答の割合も増加している。ただし、「特になし」に関しては、逆に関心度・重要度が減少するにつれて回答の割合は増加している。

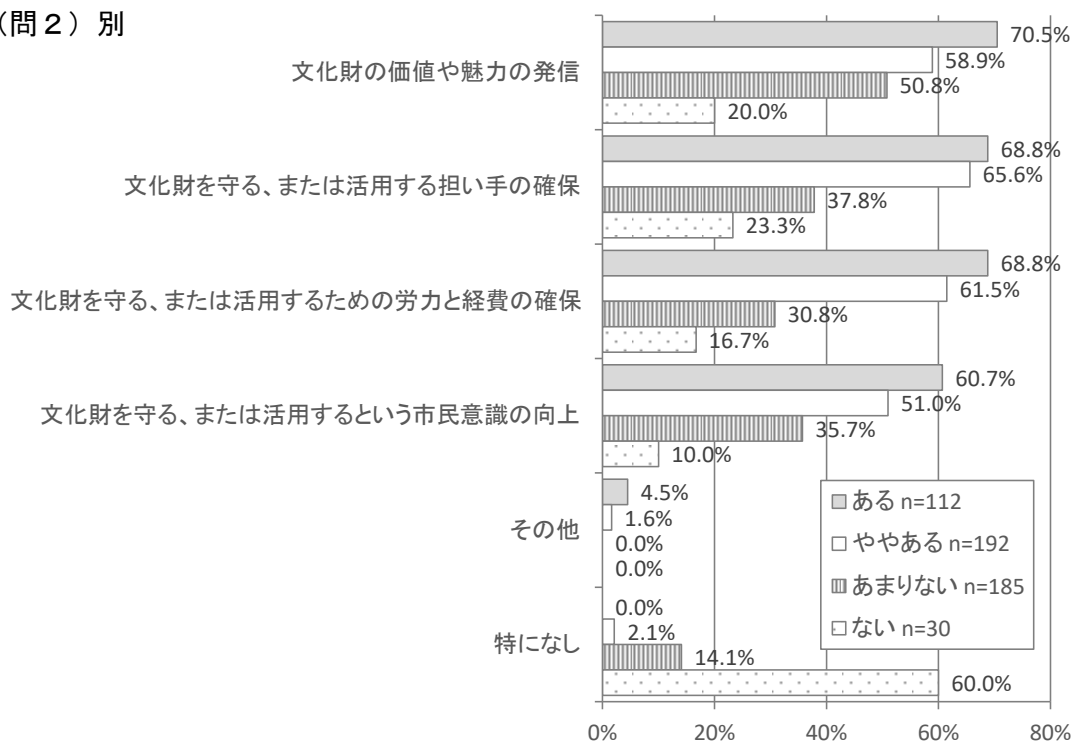
■全体



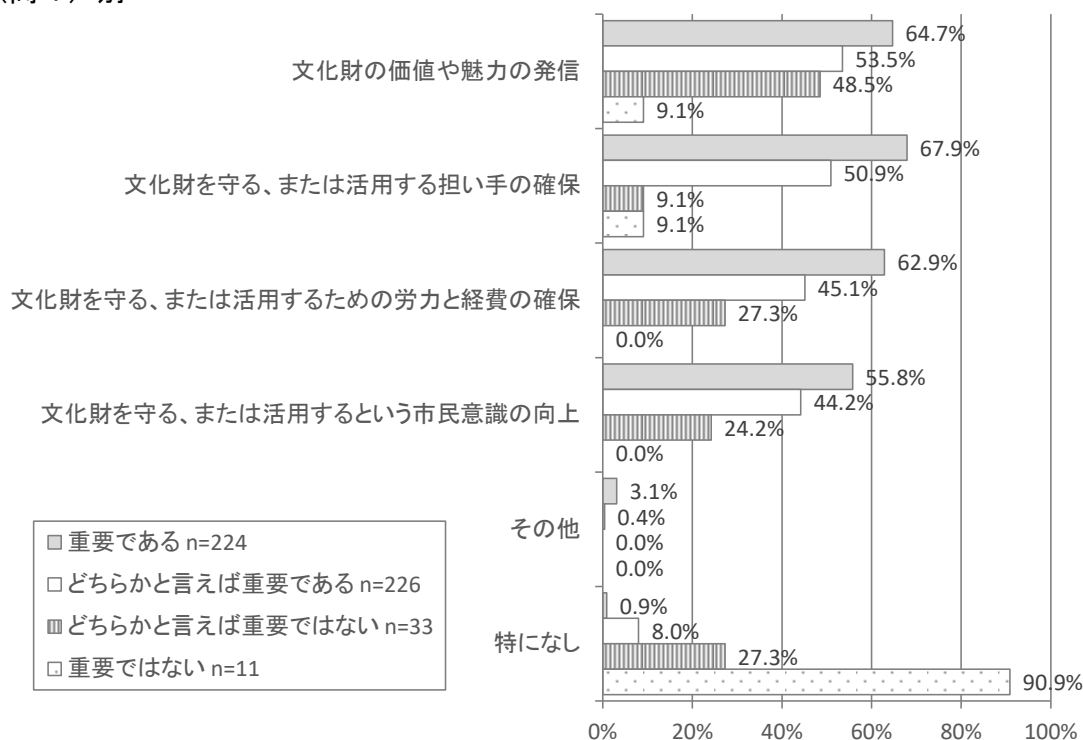
■年代別



■関心度（問2）別



■重要度（問4）別



■その他の回答

- 大仙地域の歴史を見つめなおすところから（男性／40代／大曲）
- 指定文化財が多すぎる。絞り込みが必要（女性／60代／大曲）
- 施設にたどり着くまでの道が地味。文化財について義務教育期間中に授業で教える。一か所に集めたパネル展示をして周知する。（女性／50代／大曲）
- おもしろさの周知。文化財を保護する価値があるのかをわかり易く伝えるべき。（女性／30代／西仙北）
- 若い人が文化財の存在を知ること（女性／60代／大曲）
- 地域に住む若い世代への周知、学校教育の場での学習機会（女性／60代／南外）

◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

- 問1の文化財の認知度では、「旧池田氏庭園」や「払田柵跡」など、認知度が9割を超える文化財がある一方、「旧本郷家住宅」や「秋田南外の仕事着」など、認知度が3割を下回る文化財も多くある。また、見学したことがあるかについては、認知度が8割を超える文化財でも「見学したことがある」の割合は5割程度またはそれ以下となっており、認知度に比べ全体的に割合が低くなっていることから、文化財を知ってはいるが、見学したことはないと回答した方が多くいる結果となっている。

文化財を保存・活用する上で課題となっている担い手の確保、市民意識の向上を図る上で、文化財へ関心を持っていただくことは、その解決に向けた第一歩と言えることから、文化財へ関心を持ってもらうためには、まずはどのような文化財があり、どのような歴史などがあるのか、文化財そのものの認知度向上と、さらに、実際に訪れていただくことで文化財を身近に感じていただくことが重要であると考えます。そのためには、文化財に関する情報などの魅力発信に加え、より多くの方から見学していただくため、見学に関する情報発信の強化や様々な媒体を活用した情報発信が必要である。

- 問2の文化財への関心度では、「ある」または「ややある」と回答した方の割合は58.0%となっており、関心のある方が6割近くを占めている。また、問4の文化財を保存し活用する取組の重要度では、「重要である」または「どちらかと言えば重要である」と回答した方の割合は91.0%となっている。さらに、問2の文化財への関心度別で「ない」または「あまりない」と回答した方が、「重要である」または「どちらかと言えば重要である」と回答した割合は78.8%となっており、文化財に関心のない方でも、文化財の保存・活用に関する取組は重要であるとの認識を持っていただいているものと推察する。
- 問3の関心がない理由については、「自分の生活に関わりがないから」の割合が33.3%で最も高くなっているが、これ以外の「歴史をよく知らないから」「どのような価値があるのかわからないから」「魅力を感じないから」は、2割前後で同程度となっている。また、問6の文化財を保存・活用することについて課題だと思うことに対する回答では、突出している項目は見られないものの、「文化財の価値や魅力の発信」の割合が最も高い結果となっており、関心の有無に関わらず、文化財に対してより関心を持っていただくためには、文化財の価値や魅力、歴史などの情報を発信していくことが重要となっている。
- 問5の参加してみたいと思う文化財に関連するイベント等については、「文化財を巡るガイドツアー」が54.3%で突出しているが、年代別で違いが見られることから、文化財の魅力などを発信する手法の一つとしても、この結果を参考とし、年代に応じたイベント等の開催などにより、文化財に関心がない方でも見学に足を運んでいただけるようなきっかけづくりについて検討していきたい。
- 問6の文化財を保存・活用することについて課題だと思うことに対する回答では、突出した回答は見られなかったことから、全ての項目が重要であると認識されているものと推察するが、前述のとおり、まずは文化財に関心を持っていただくことが重要と考えることから、問5のイベント等を通じて文化財を身近に感じていただくなど、担い手の確保や市民意識の向上につながる効果的な取組について検討していく。

3. 1. 3 市民のデジタル活用について

(総務部 D X 推進課)

- ◆ 調査目的： スマートフォンの普及や情報通信技術の向上、インターネットサービスの充実などによる近年のデジタル化の進展に加え、このたびの新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、移動しなくても会議を行えるオンライン会議や、自宅に居ても働けるテレワークなど、デジタルを活用した新しい生活スタイルが急速に普及している。

こうした中、市では、人口減少社会にあっても質の高い行政サービスを継続するため、「行かなくて済む『市役所』」の実現を目指し、行政事務の効率化を図りながら、行政手続きのデジタル化など I C T（情報通信技術）の効果的な導入を推進・検討している。

一方で、パソコンやインターネット等の利用の有無により発生する情報格差が課題となっており、全ての市民の皆さんが等しくデジタル化の恩恵を受けられる「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」の実現に向けた対策が必要となっている。

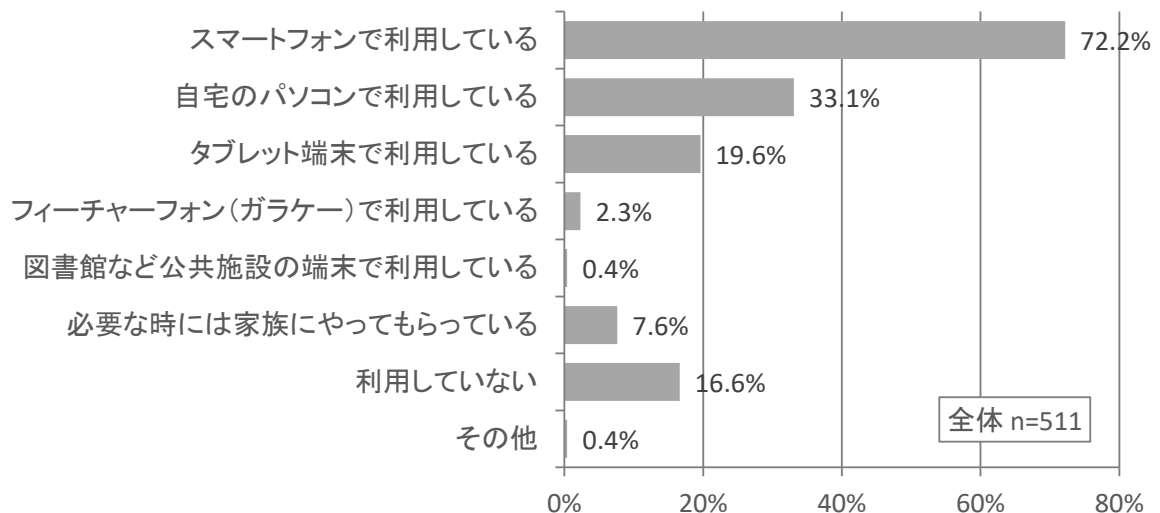
本調査では、インターネットの活用状況や今後の利用の意向を伺い、市のデジタル化を推進していく上での参考とする。

【問 1】あなたは、仕事以外の生活の中でインターネットを利用していますか。（複数回答可）

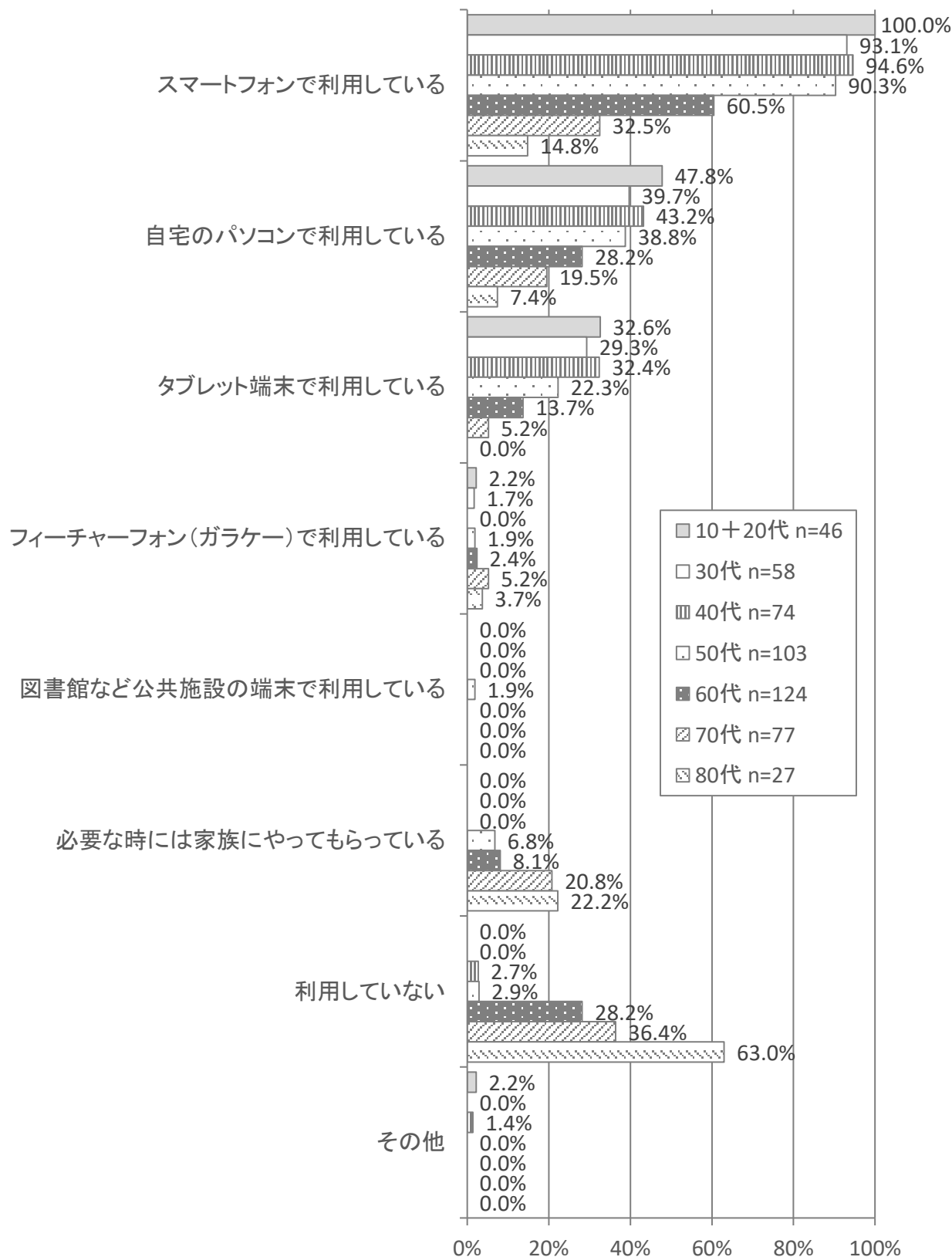
- 全体では、「スマートフォンで利用している」の割合が 72.2% で突出しており、7 割を超えている。「必要な時には家族にやってもらっている」は 7.6%、「利用していない」は 16.6% となっている。
- 年代別で見ると、60 代以下では「スマートフォンで利用している」の割合が最も高くなっており、50 代以下では 9 割を超え、10 代と 20 代を合わせた年代では 100% となっている。70 代以上では「利用していない」の割合が最も高くなっており、80 代では 6 割を超えている。

「スマートフォンで利用している」「自宅のパソコンで利用している」「タブレット端末で利用している」の割合はいずれも年代が上がるにつれて減少する傾向となっており、「必要な時には家族にやってもらっている」「利用していない」の割合は逆に年代が上がるにつれて増加している。

■全体



■年代別



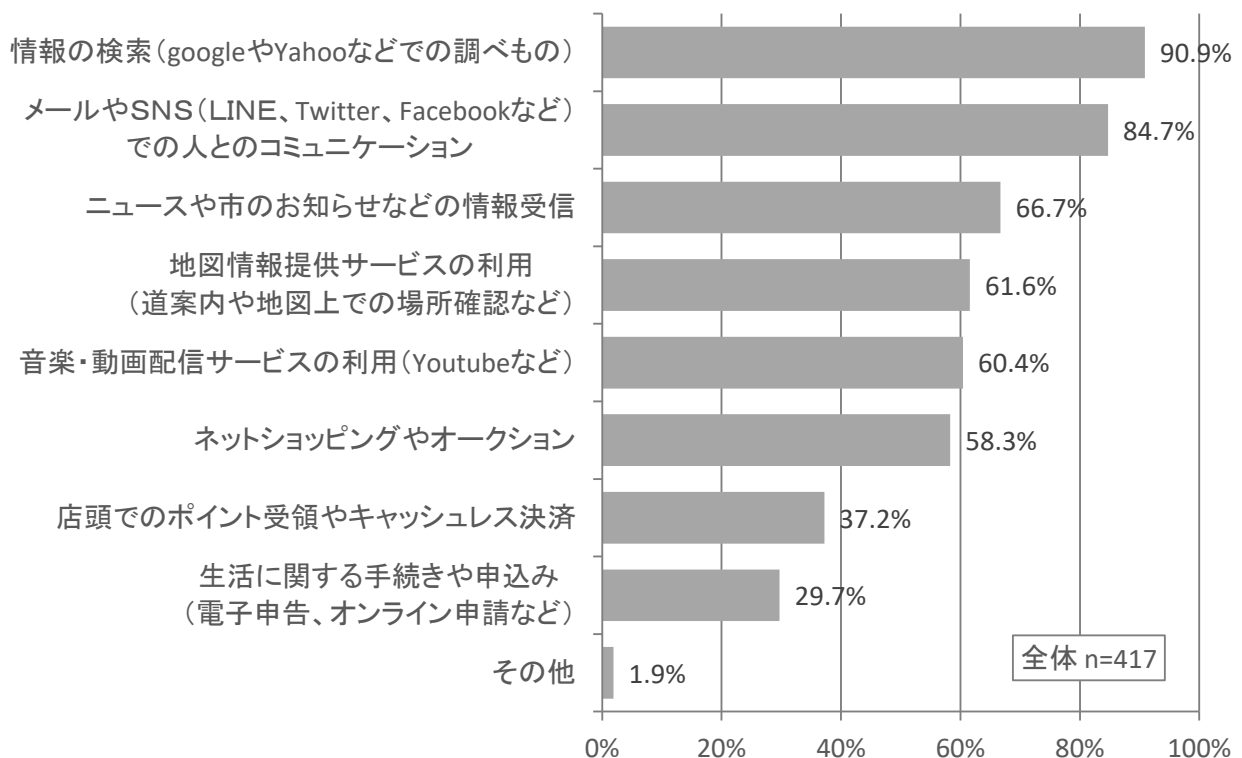
■その他の回答

- PS4 (男性/20代/西仙北)

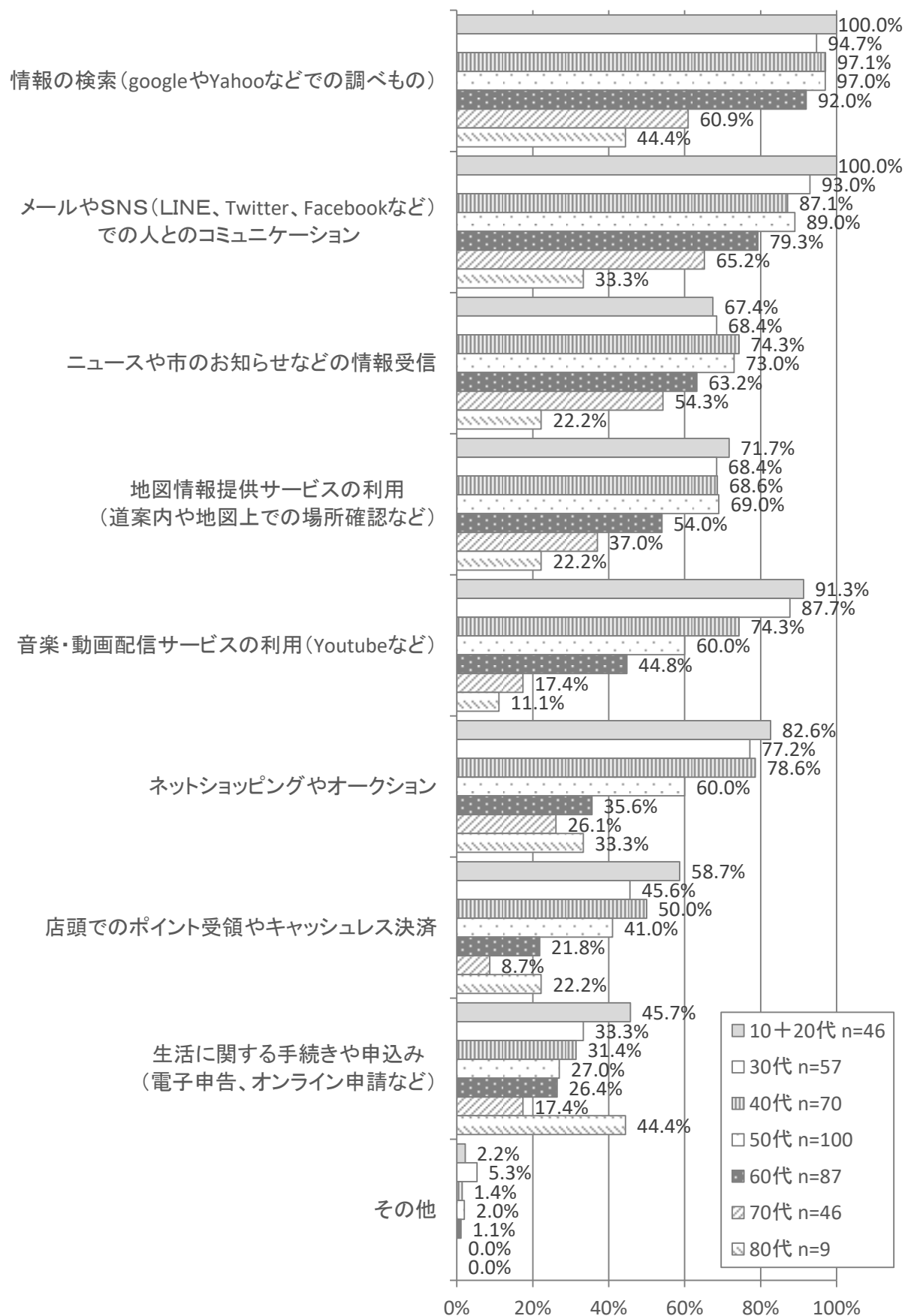
【問2-1】現在、どのような目的で利用していますか。（複数回答可）
（問1で「1」～「6」を1つでも選択した方）

- 全体では、「情報の検索（googleやYahooなどでの調べもの）」の割合が90.9%で最も高く、次いで「メールやSNS（LINE、Twitter、Facebookなど）での人とのコミュニケーション」が84.7%となっており、上位2項目の回答が突出している。
- 年代別で見ると、概ね全ての項目で年代が上がるにつれて割合は減少する傾向となっている。

■全体



■年代別



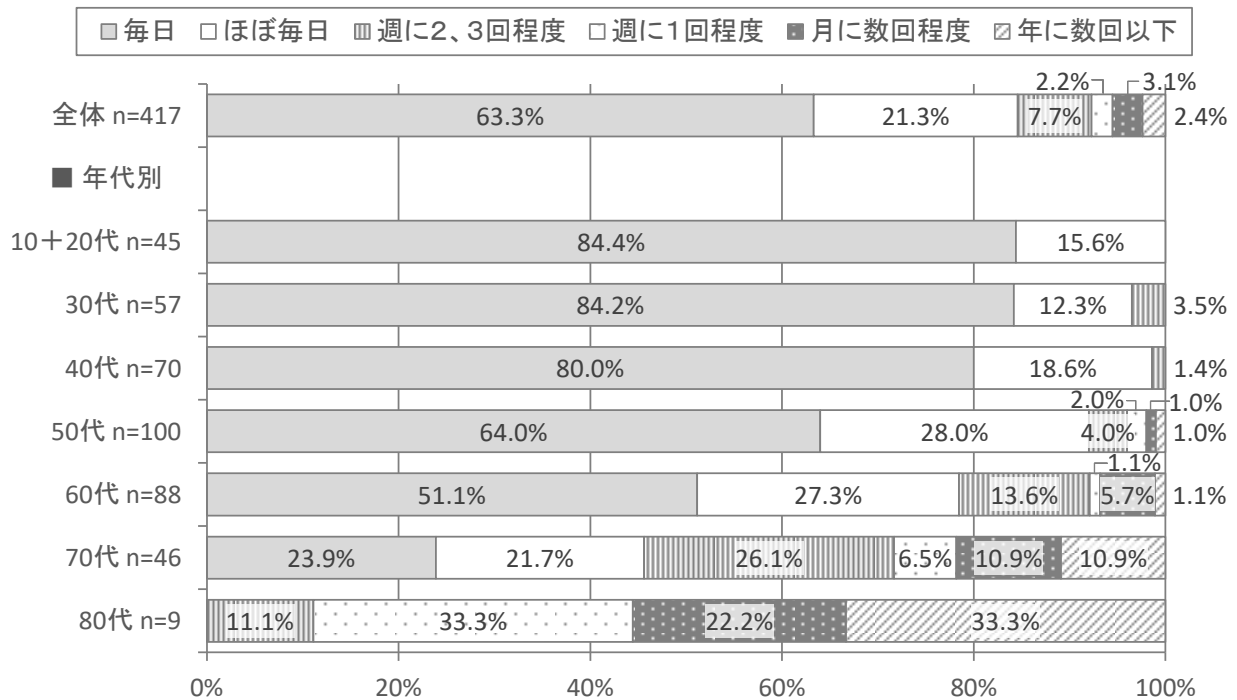
■その他の回答

- 電子書籍（女性／30代／大曲）
- ネットバンキング（女性／40代／大曲）
- ゲーム（男性／30代／協和、性別不明／20代／中仙）

【問2-2】どの程度の頻度で利用していますか。

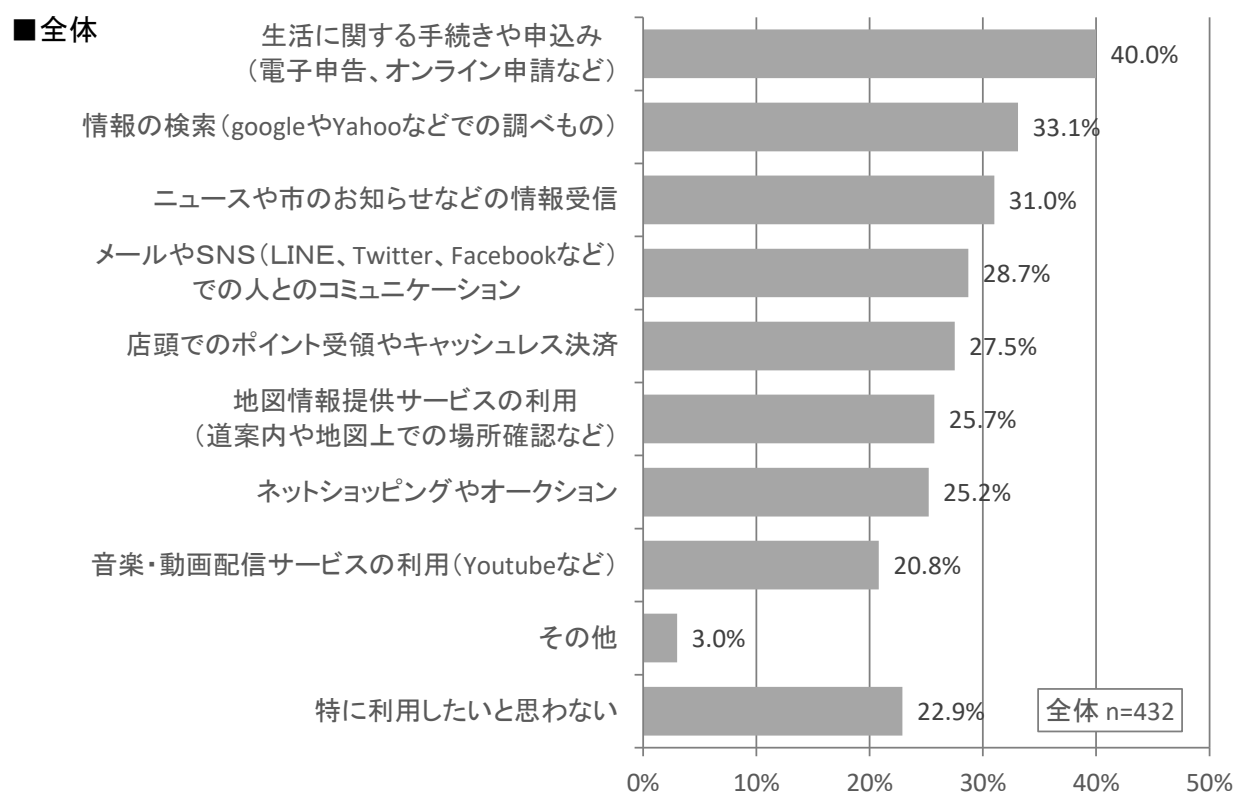
（問1で「1」～「6」を1つでも選択した方）

- 全体では、「毎日」の割合が63.3%で最も高く、「ほぼ毎日」を合わせると84.6%、「週に1回程度」まで合わせると94.5%となっている。
- 年代別で見ると、年代が上がるにつれて、利用頻度が低くなっている。「毎日」と「ほぼ毎日」を合わせた割合は、50代以下で9割を超えているが、70代では45.6%で半数を下回っており、80代では0%となっている。「週に1回程度」以上の利用頻度を見ると、70代では78.2%で8割近くを占めているが、80代では44.4%となっており、半数を下回っている。

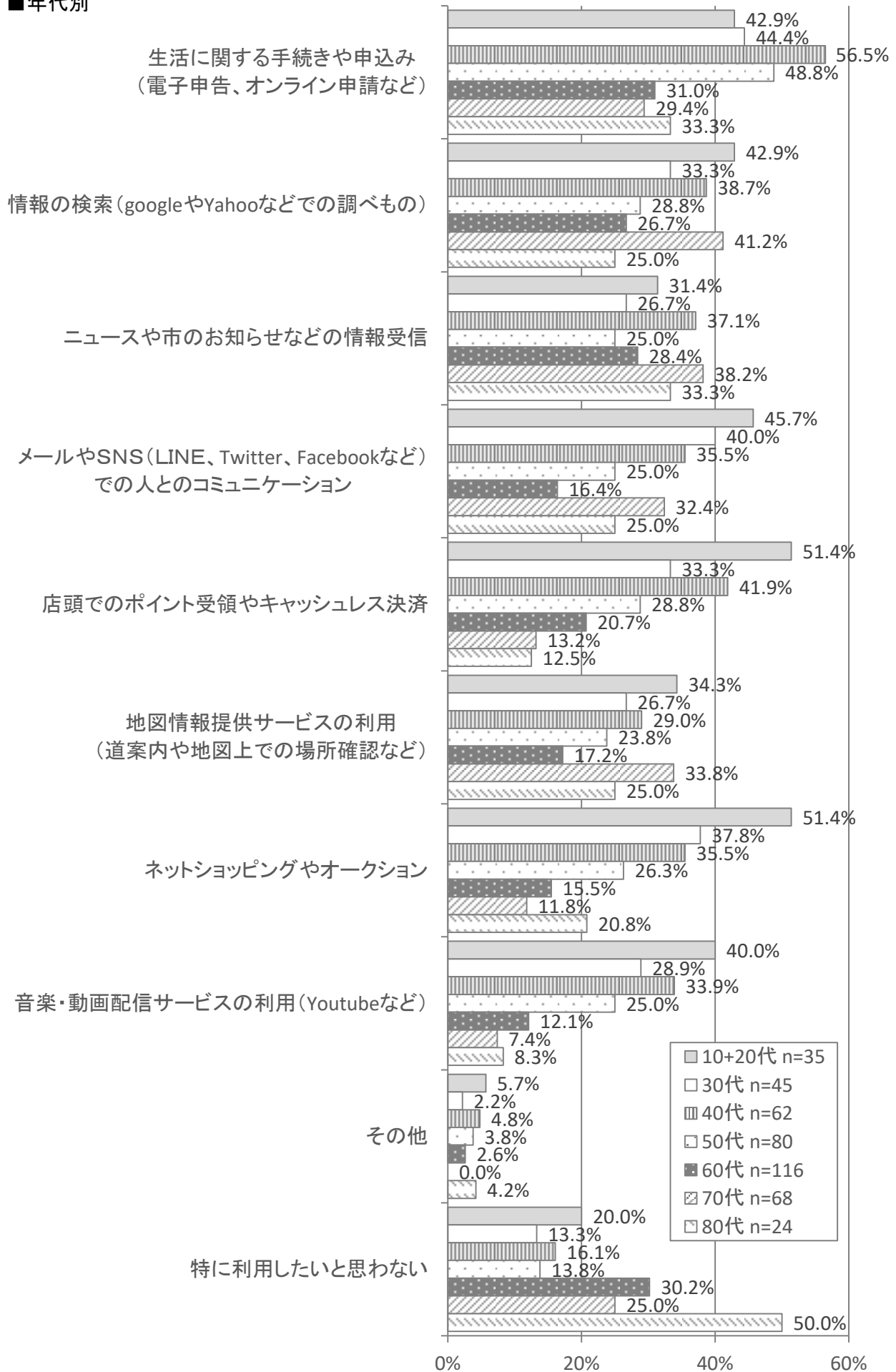


【問3】インターネットを「利用している方」は今後新たに利用してみたいことは何ですか。
「利用していない方」は今後どのようなことに利用してみたいですか。（複数回答可）

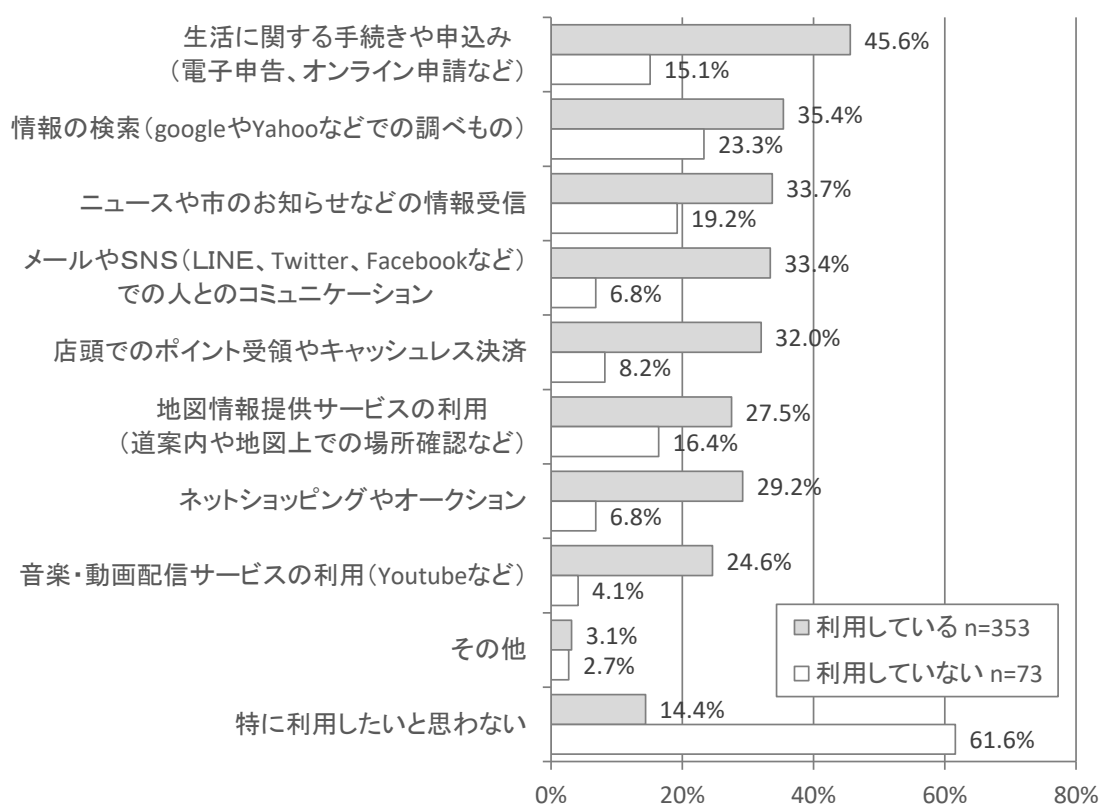
- 全体では、「生活に関する手続きや申込み（電子申請、オンライン申請など）」の割合が40.0%で最も高く、次いで「情報の検索（google や Yahoo などでの調べもの）」が33.1%、「ニュースや市のお知らせなどの情報受信」が31.0%となっている。
- 年代別で見ると、10代と20代を合わせた年代では「店頭でのポイント受領やキャッシュレス決済」と「ネットショッピングやオークション」の割合が同率で最も高くなっており、30～60代は「生活に関する手続きや申込み（電子申請、オンライン申請など）」、70代は「情報の検索（google や Yahoo などでの調べもの）」の割合が最も高くなっている。80代では「特に利用したいと思わない」の割合が最も高くなっている。
また、「店頭でのポイント受領やキャッシュレス決済」「ネットショッピングやオークション」「音楽・動画配信サービスの利用（Youtube など）」の割合は、年代が上がるにつれて減少する傾向となっており、特に10代と20代を合わせた年代で突出しており、60代以上で大きく減少している。
60代以上は、他の年代に比べ回答割合が低い傾向にあるが、「ニュースや市のお知らせなどの情報受信」については、年代を問わず3割前後となっている。「特に利用したいと思わない」については60代以上で大きく増加しており、80代では50.0%となっている。
- インターネットの利用の有無別で見ると、利用している方は全体と同様の傾向となっており、「生活に関する手続きや申込み（電子申請、オンライン申請など）」の割合が45.6%で最も高くなっている。利用していない方は「特に利用したいと思わない」の割合が61.6%で最も高くなっており、次いで「情報の検索（google や Yahoo などでの調べもの）」が23.3%となっている。



■年代別



■インターネットの利用の有無別



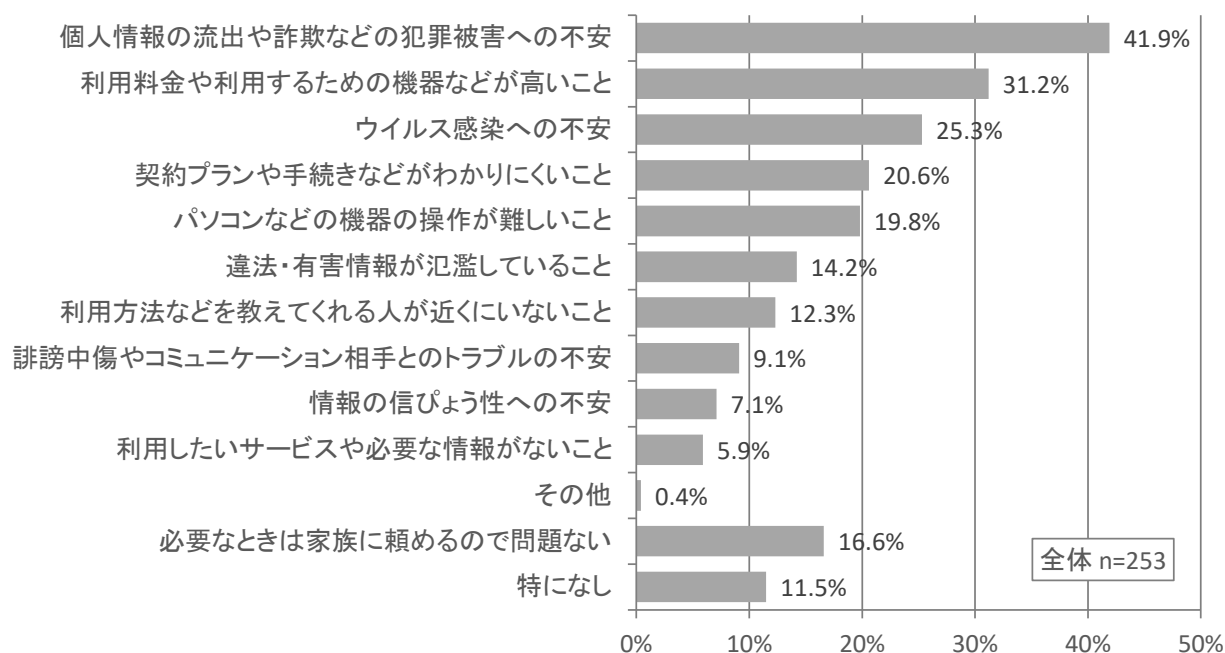
■その他の回答

- 大仙市の若い人達が紹介する地元おすすめ情報などの動画配信サービス (女性/60代/仙北)
- 学ぶことに利用したい (女性/40代/中仙)

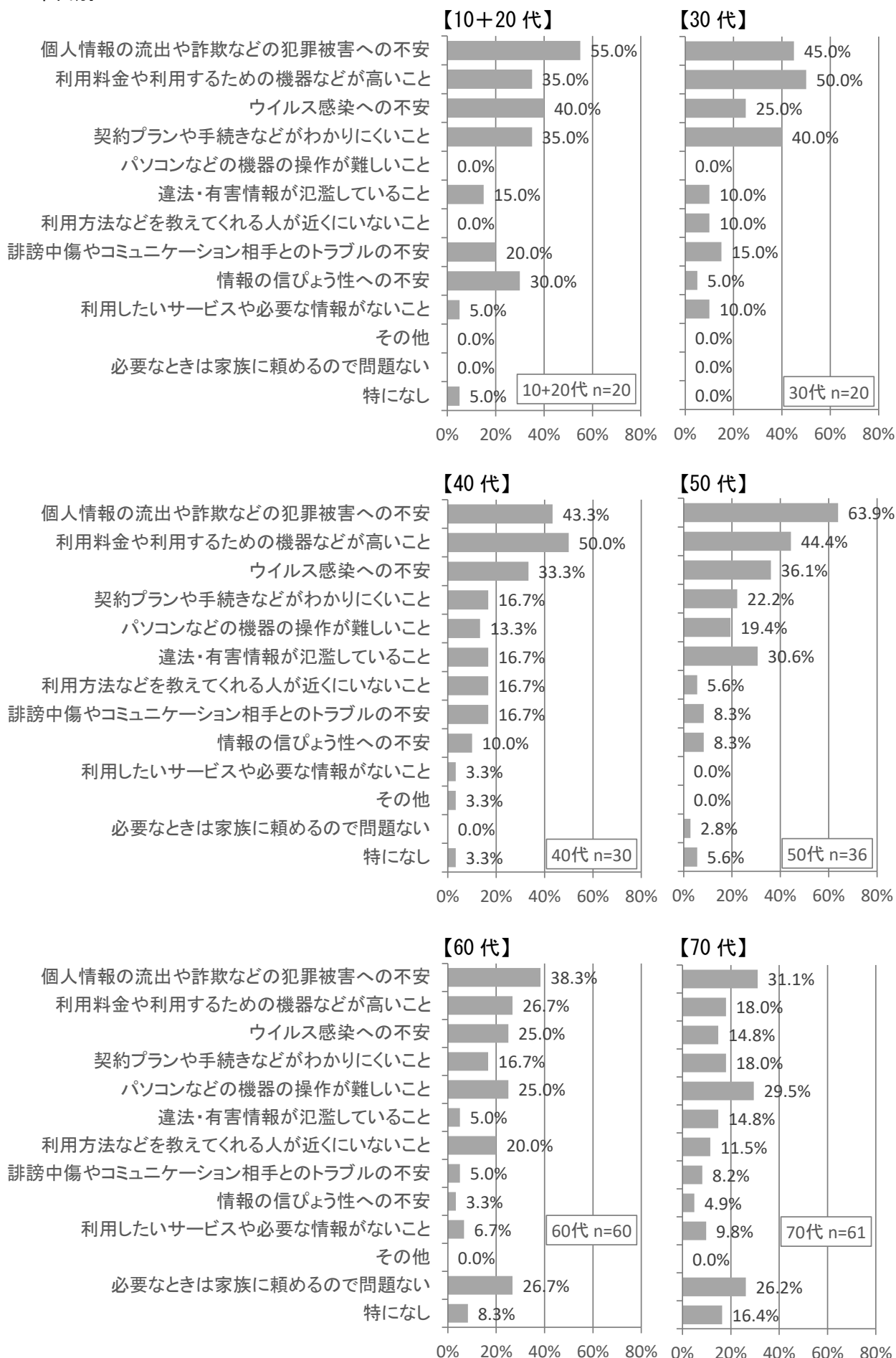
【問4】インターネットを「利用していない方」はその理由は何ですか。
「利用している方」は利用していて不安や不満なことはありますか。（3つまで）

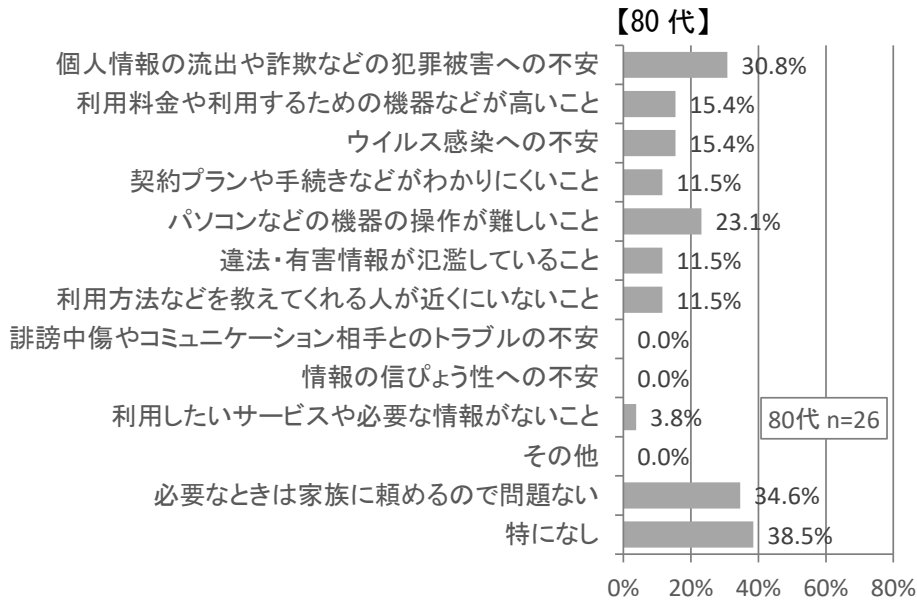
- 全体では、「個人情報の流出や詐欺などの犯罪被害への不安」の割合が41.9%で最も高く、次いで「利用料金や利用するための機器などが高いこと」が31.2%、「ウイルス感染への不安」が25.3%となっている。
- 年代別で見ると、30～40代は「利用料金や利用するための機器などが高いこと」、80代は「特になし」、それ以外の年代では「個人情報の流出や詐欺などの犯罪被害への不安」の割合が最も高くなっている。
- インターネットの利用の有無別で見ると、利用している方は「個人情報の流出や詐欺などの犯罪被害への不安」の割合が52.1%で最も高くなっている。
利用していない方は「パソコンなどの機器の操作が難しいこと」の割合が30.8%で最も高く、次いで「必要なときは家族に頼めるので問題ない」が29.5%、「特になし」が24.4%となっている。
- 65歳以上でインターネットを利用していない方を見ると、「パソコンなどの機器の操作が難しいこと」の割合が29.7%で最も高くなっており、次いで「必要なときは家族に頼めるので問題ない」と「特になし」が同率で高くなっている。また、「利用方法などを教えてくれる人が近くにいないこと」や「利用したいサービスや必要な情報がないこと」の割合も全体の傾向と比べると比較的高くなっている。
さらに、65歳以上の方の家族構成別に分類した回答数を見ると、二世帯以上の世帯では「必要なときは家族に頼めるので問題ない」の回答数が多くっており、単身世帯では「利用方法などを教えてくれる人が近くにいないこと」の回答数が多くになっている。一方で、単身世帯と夫婦世帯では「特になし」の回答数も多くなっているが、「パソコンなどの機器の操作が難しいこと」は家族構成を問わず回答数が多くなっている。

■全体

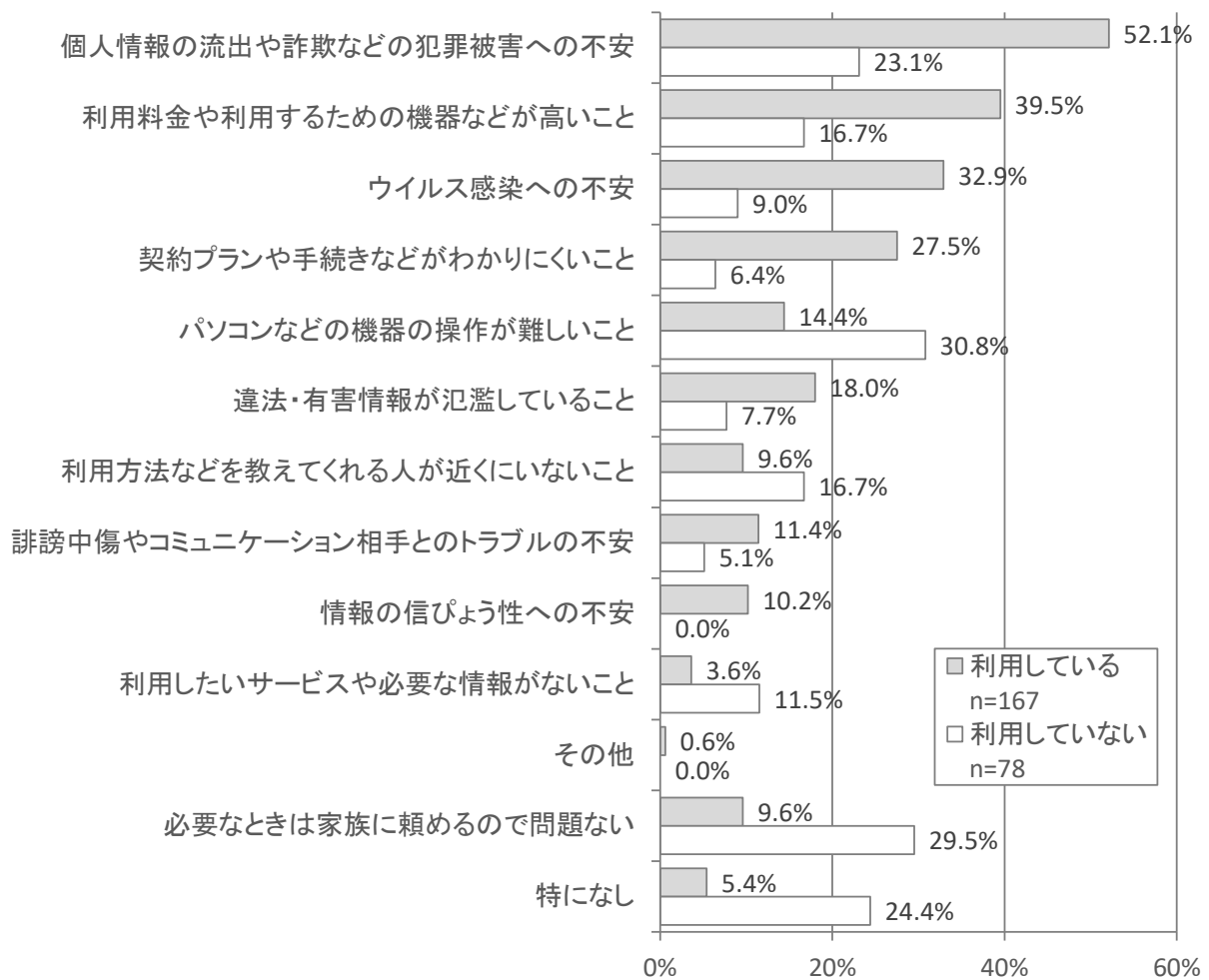


■年代別

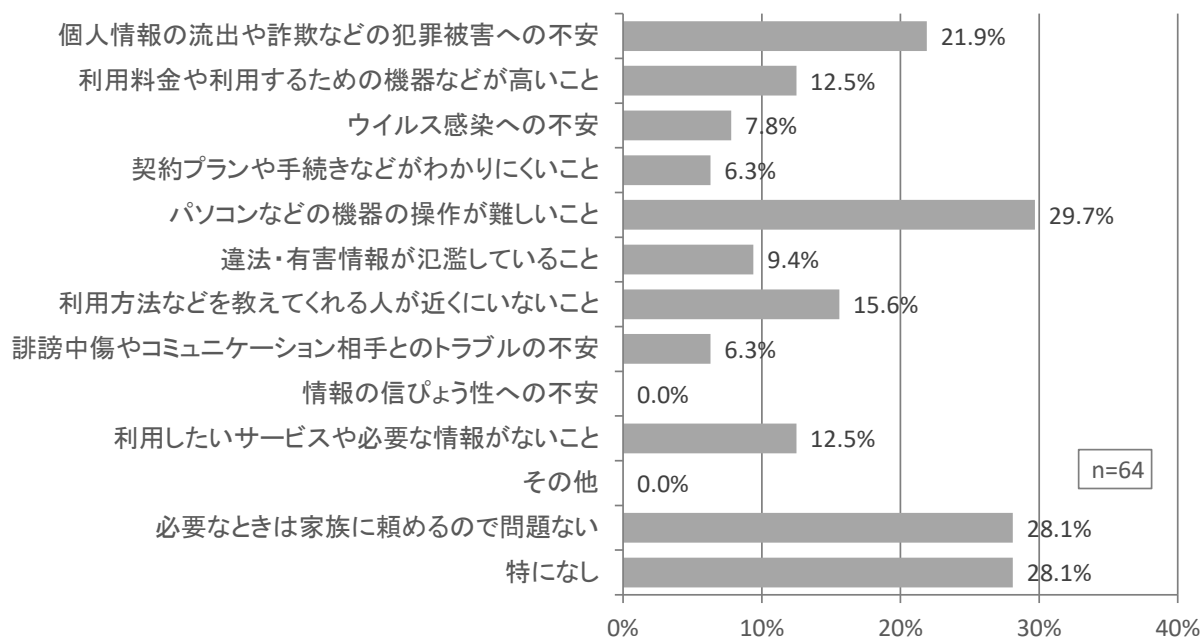




■インターネットの利用の有無別



■65 歳以上でインターネットを利用していない方



家族構成別（65 歳以上でインターネットを利用していない方）の回答数

	単身世帯 n=9	夫婦世帯 n=24	二世世代世帯 (親と同居) n=6	二世世代世帯 (子と同居) n=19	三世代以上の世帯 n=6
個人情報の流出や詐欺などの犯罪被害への不安	3	5	1	4	1
利用料金や利用するための機器などが高いこと	1	3	1	3	
ウイルス感染への不安	1	2	1	1	
契約プランや手続きなどがわかりにくいこと			1	3	
パソコンなどの機器の操作が難しいこと	1	9	1	6	2
違法・有害情報が氾濫していること	1	2	1	1	1
利用方法などを教えてくれる人が近くにいないこと	4	4	1	1	
誹謗中傷やコミュニケーション相手とのトラブルの不安		1		3	
情報の信ぴょう性への不安					
利用したいサービスや必要な情報がないこと	1	5		1	1
その他					
必要なときは家族に頼めるので問題ない	1	2	3	7	5
特になし	4	8	1	4	1

■その他の回答

- 通信速度が遅いこと。光回線でも遅い。（男性／40代／太田）

◆調査結果まとめ及び今後の方針

- 問1の仕事以外の生活におけるインターネットの利用状況については、「スマートフォンで利用している」の割合が72.2%で最も高くなっている。「利用していない」の割合は16.6%となっているため、何らかの方法で利用している方の割合は83.4%となっており、8割を超える方が生活の中でインターネットを利用していると回答している。年代別で見ると、「利用していない」の割合は、30代以下では0%、40代と50代では3%を下回っていることから、50代以下ではほとんどの方が利用している結果となっている。さらに、問2-2のインターネットの利用頻度においては、50代以下の「毎日」と「ほぼ毎日」を合わせた割合が9割を超えており、50代以下ではインターネットが生活に密着した形で利用されていることが伺える。

一方、60代以上では、「利用していない」の割合が年代が上がるにつれて高くなっており、逆に利用頻度は年代が上がるにつれて低くなっている。特に、80代では6割を超える方がインターネットを利用していないと回答している。

- 問3のインターネットを使って今後利用してみたいことについては、「生活に関する手続きや申込み」の割合が最も高いことから、問1、問2の結果を踏まえ、特に50代以下の方が多く利用したいと考えている行政手続きや申込みについて、積極的なオンライン化を検討する。
- 問4のインターネットを利用していない理由について、65歳以上でインターネットを利用していない方では、「必要なときは家族に頼めるので問題ない」の割合が28.1%となっており、行政手続き等についても、若い世代の家族に頼むことが想定される。そのため、若い世代が家族を支援しやすい環境を整えるためにも、紙での手続きや申込みに加え、オンライン化を検討していく。

そのほか、「パソコンなどの機器の操作が難しいこと」「個人情報の流出や詐欺などの犯罪被害への不安」「利用方法などを教えてくれる人が近くにいないこと」を不安要素として選択している方が多くいる。「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」の推進にあたり、インターネットの利用手段として最も多い「スマートフォン」の利用について、気軽に相談できる環境の整備や、利用する際の詐欺被害防止対策などの啓発を検討していく。また、行政手続きや申込みのオンライン化については、利用者目線で「わかりやすさ」に配慮しながら進めていく。

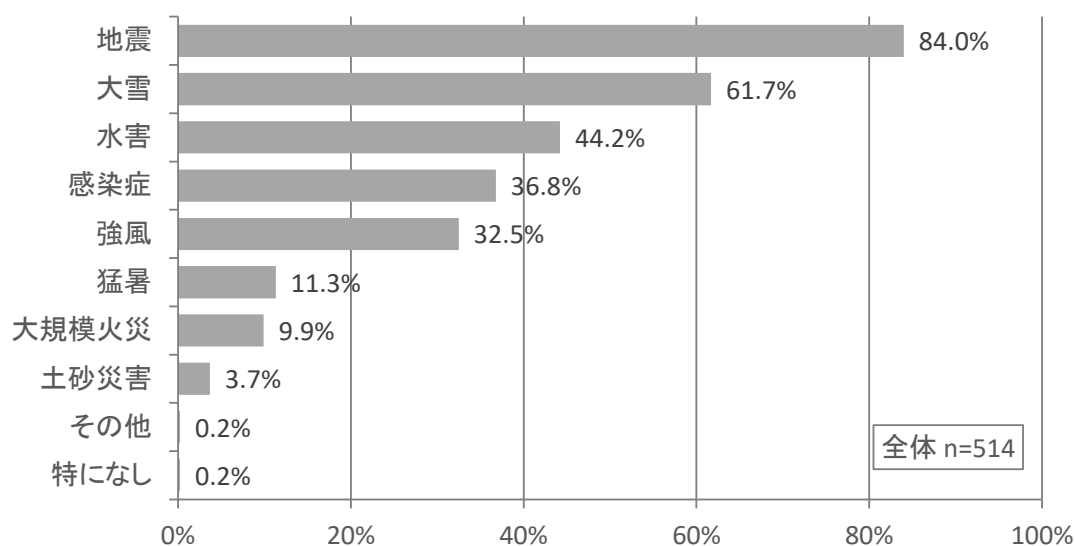
◆ 調査目的： 未曾有の被害をもたらした東日本大震災から10年が経過し、市民の皆さんの防災意識は、震災当時と比べると大きく高まってきているが、一方で、時の経過とともに記憶が風化し、防災意識が低下していくことが懸念されている。

また、大震災以降も全国各地で自然災害が頻発しており、いつ発生するかわからない災害に対して、自身や家族の身を守っていくためには、日頃の各家庭や地域における防災対策の重要性が認識されている。

本調査では、各家庭で行っている防災対策や備蓄の状況等について伺い、防災意識の向上を図っていくための参考とする。

【問1】生活の中で心配に思う災害は何ですか。（3つまで）

○ 「地震」の割合が84.0%で最も高く、次いで「大雪」が61.7%、「水害」が44.2%となっており、「感染症」「強風」と続いている。上位2項目の回答が突出しており、さらに「地震」が突出している。

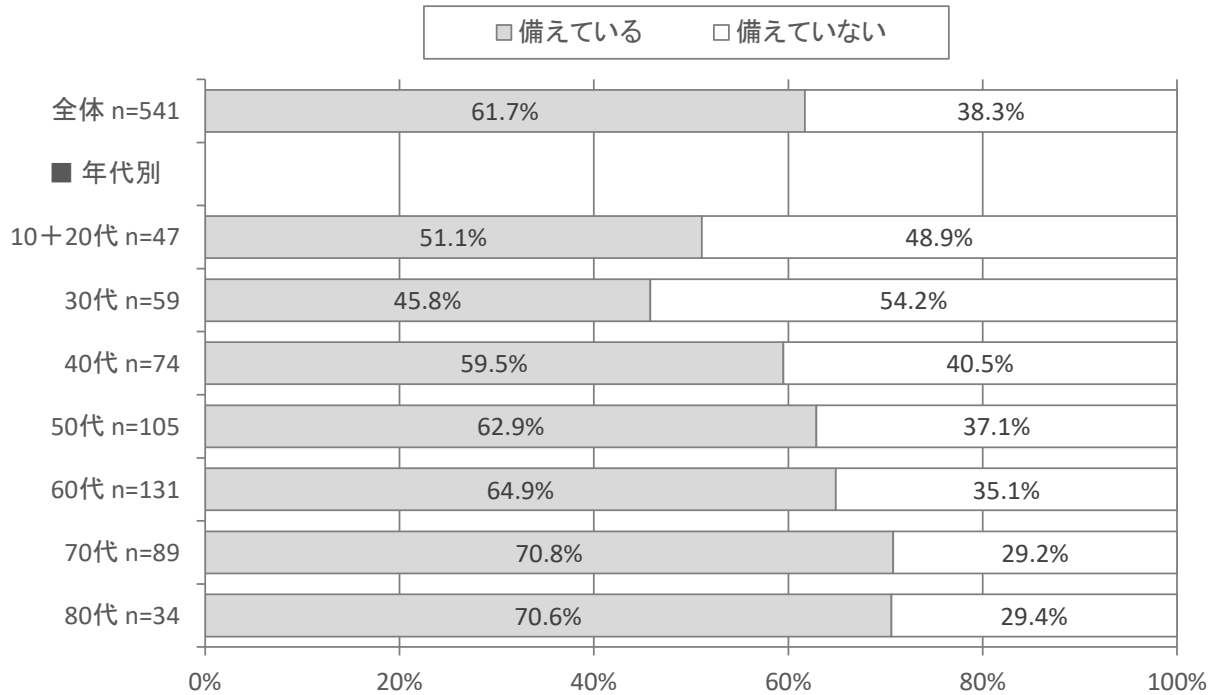


■ その他の回答

- 停電（男性／70代／大曲）

【問2】災害に対して各家庭で何か備えていることはありますか。

- 全体では、「備えている」の割合が61.7%となっており、6割を超えている。
- 年代別で見ると、「備えている」の割合は、年代が上がるにつれて増加する傾向となっており、70代以上では7割を超えている。

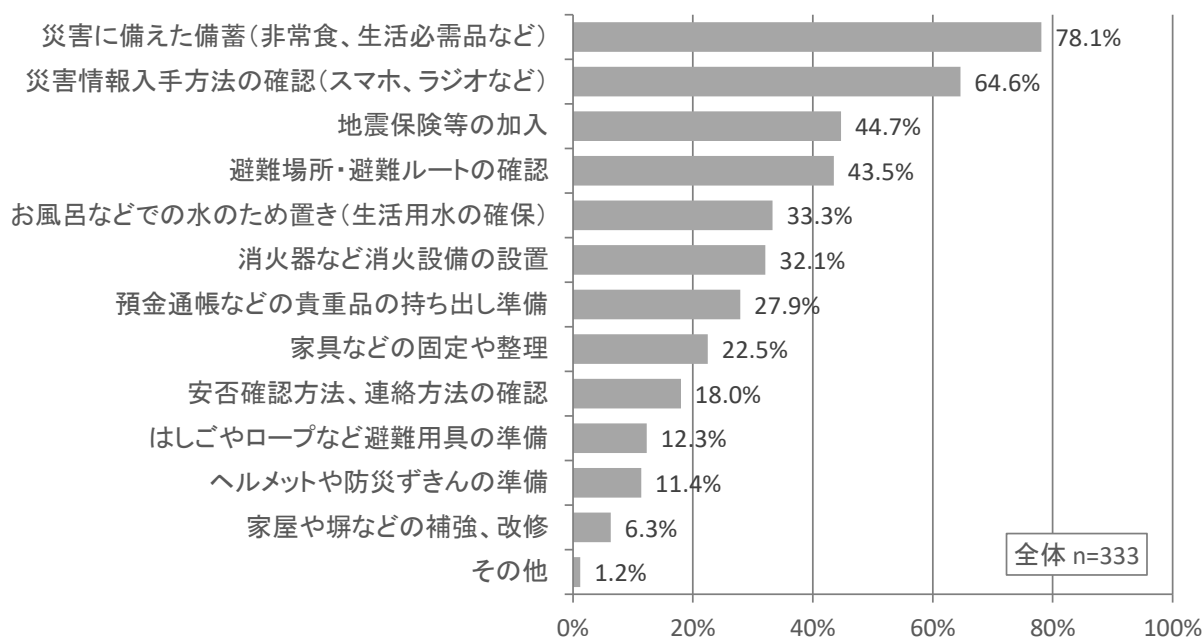


【問3】具体的にどのような備えをしていますか。（複数回答可）

（問2で「1. 備えている」と回答した方）

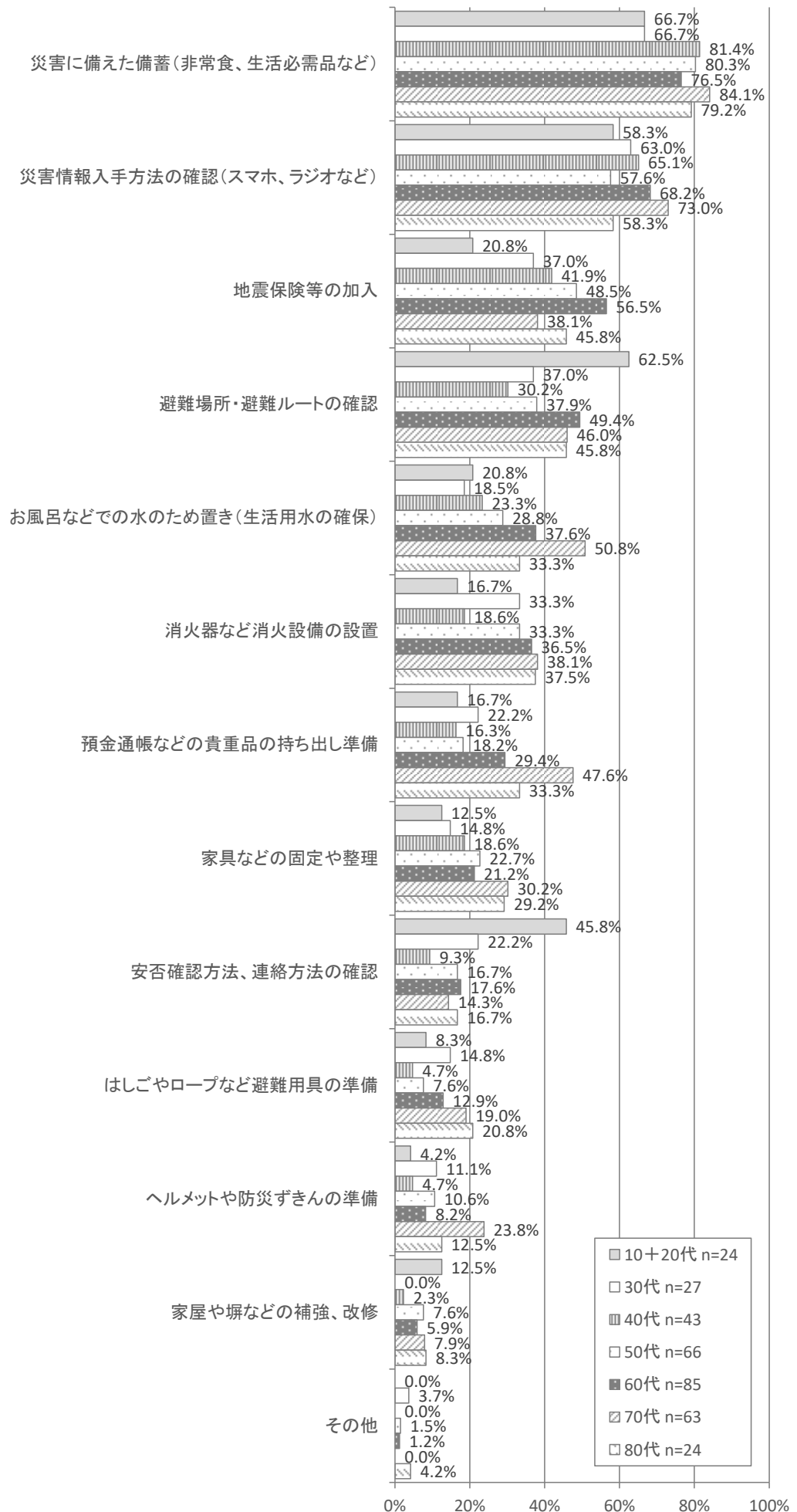
- 全体では、「災害に備えた備蓄（非常食、生活必需品など）」の割合が78.1%で最も高く、次いで「災害情報入手方法の確認（スマホ、ラジオなど）」が64.6%となっており、「地震保険等の加入」「避難場所・避難ルートの確認」と続いている。上位2項目の回答が突出しており、さらに「災害に備えた備蓄（非常食、生活必需品など）」が突出している。
- 年代別で見ると、「災害に備えた備蓄（非常食、生活必需品など）」の割合は40代以上で高くなっており、「お風呂などでの水のため置き（生活用水の確保）」「消火器など消火設備の設置」「預金通帳などの貴重品の持ち出し準備」「家具などの固定や整理」「はしごやロープなど避難用具の準備」の割合は50代または60代以上の高い年代で高くなっている。また、「避難場所・避難ルートの確認」「安否確認方法、連絡方法の確認」の割合は、10代と20代を合わせた年代で突出している。

■全体



3. 1. 4 個別事業評価「家庭での災害への備えについて」

■年代別



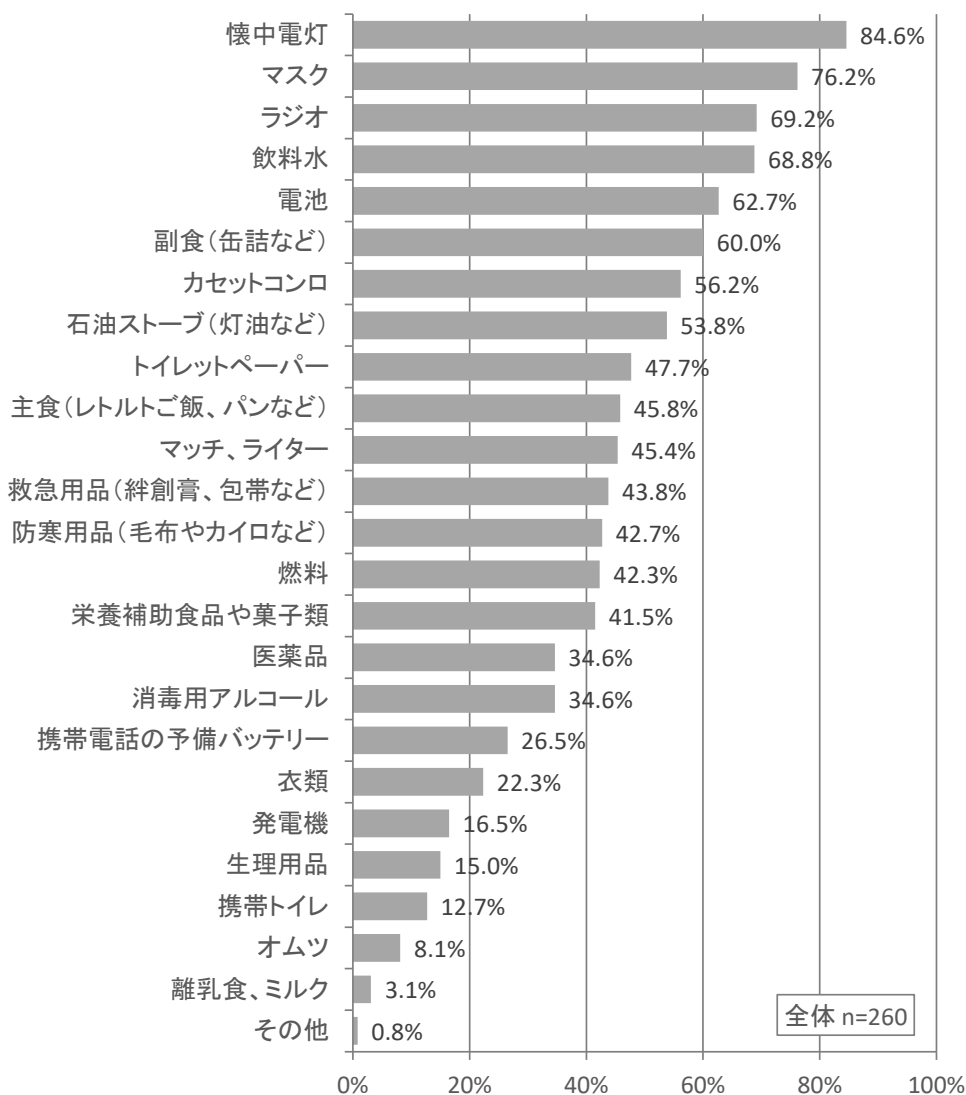
■その他の回答

- 消雪用地下水くみ上げポンプ（男性／80代以上／大曲）
- 太陽光発電、蓄電器（男性／50代／大曲）
- 焚火用の薪などの火の確保（男性／30代／太田）

【問4】 備蓄品はどのような品目を準備していますか。（複数回答可）

（問3で「1. 災害に備えた備蓄」を選択した方）

- 「懐中電灯」の割合が84.6%で最も高く、次いで「マスク」が76.2%、「ラジオ」が69.2%となっており、「飲料水」「電池」と続いている。
- 食料品類については、「飲料水」の割合が68.8%で最も高く、次いで「副食（缶詰など）」が60.0%、「主食（レトルトご飯、パンなど）」が45.8%となっている。

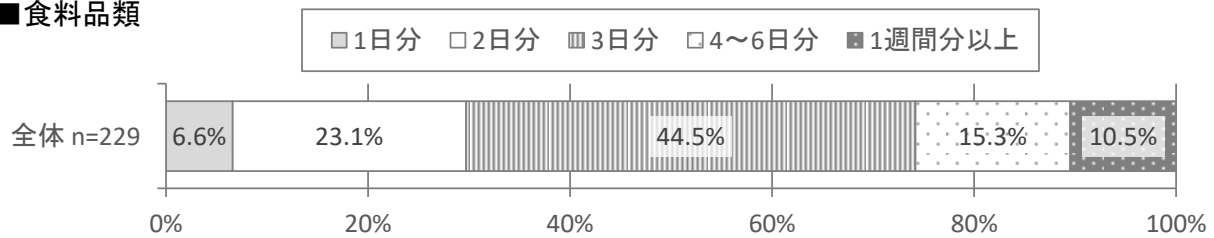
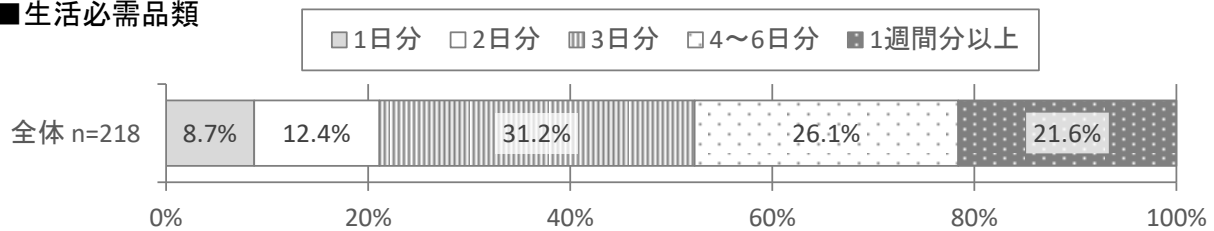


■その他の回答

- ペット用品（女性／60代／神岡）

【問5】 備蓄品は何日分準備していますか。（問3で「1. 災害に備えた備蓄」を選択した方）

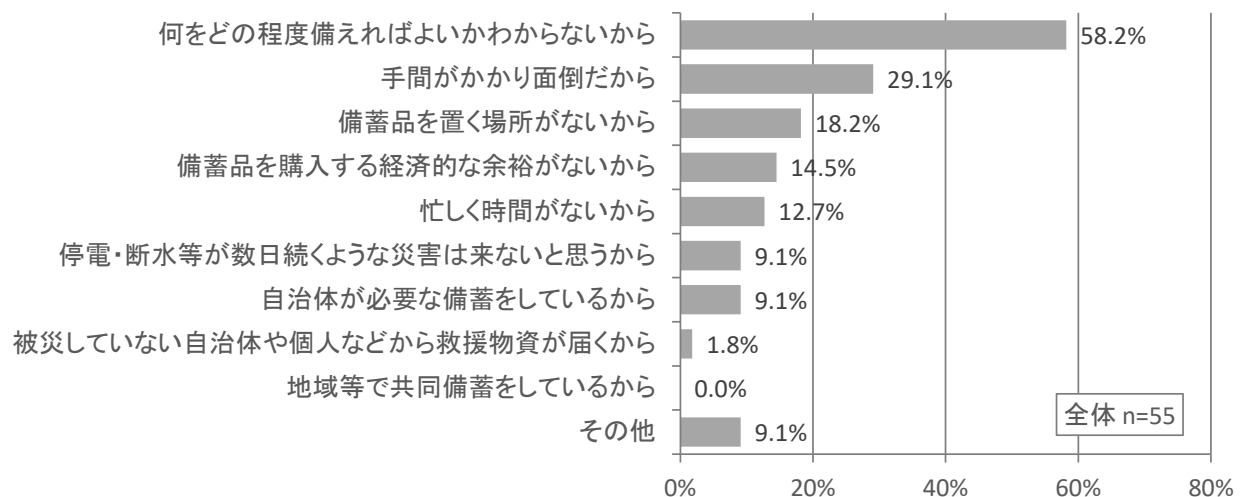
- 食料品類では、「3日分」の割合が44.5%で最も高く、推奨日数である「3日分」以上の日数の割合を合わせると70.3%となっており、7割を超えている。
- 生活必需品類では、食料品類と同様に「3日分」の割合が31.2%で最も高く、推奨日数である「3日分」以上の日数の割合を合わせると78.9%となっており、8割近くを占めている。食料品類よりも割合が高くなっており、さらに、「4～6日分」「1週間分以上」の割合もそれぞれ高くなっている。

■食料品類

■生活必需品類

【問6】 災害に備えた備蓄をしていない理由は何ですか。（複数回答可）

（問3で「1. 災害に備えた備蓄」を選択しなかった方）

- 「何をどの程度備えればよいかわからないから」の割合が58.2%で突出しており、次いで「手間がかかり面倒だから」が29.1%となっている。

さらに、「備蓄品を置く場所がないから」「備蓄品を購入する経済的な余裕がないから」と続いており、物理的・経済的な理由により備蓄できない方も一定数いる結果となっている。



■その他の回答

- 日常のものでなんとかなる（男性／60代／仙北）
- 米、野菜等は自宅にあるから（男性／70代／協和）
- 自身の意識が低いから（男性／40代／大曲）
- なんとなく安直に考えている（男性／60代／南外）
- 非常食を備蓄していたが、賞味期限切れになり、補充していなかった（女性／40代／大曲）

【問7】災害への備えをしていない理由は何ですか。（複数回答可）

（問2で「2. 備えていない」と回答した方）

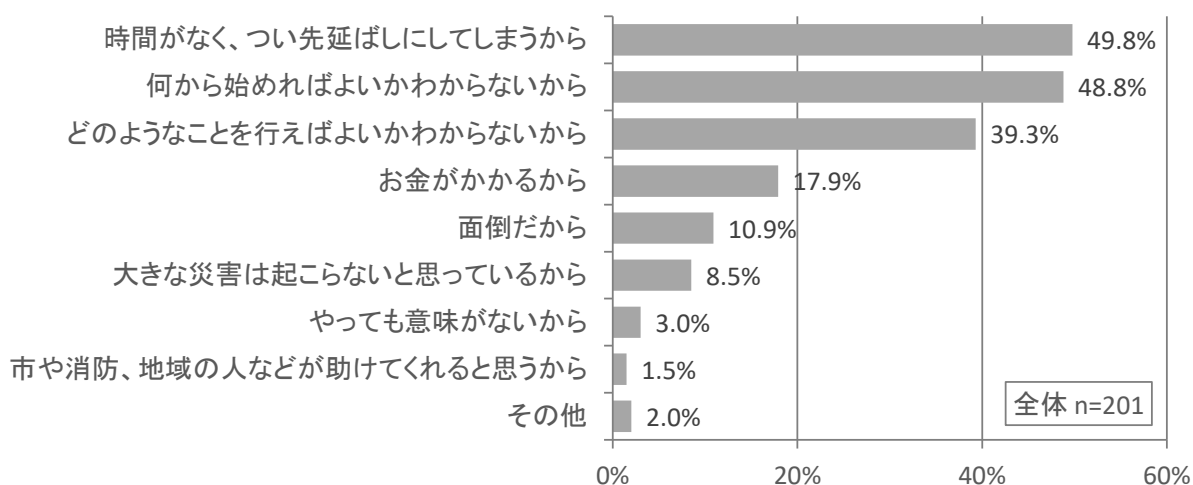
○ 全体では、「時間がなく、つい先延ばしにしてしまうから」の割合が49.8%で最も高く、次いで「何から始めればよいかわからないから」が48.8%、「どのようなことを行えばよいかわからないから」が39.3%となっており、上位3項目の回答が突出している。

○ 年代別で見ると、50代以下では「時間がなく、つい先延ばしにしてしまうから」、60～70代では「何から始めればよいかわからないから」、80代では「どのようなことを行えばよいかわからないから」の割合が最も高くなっている。

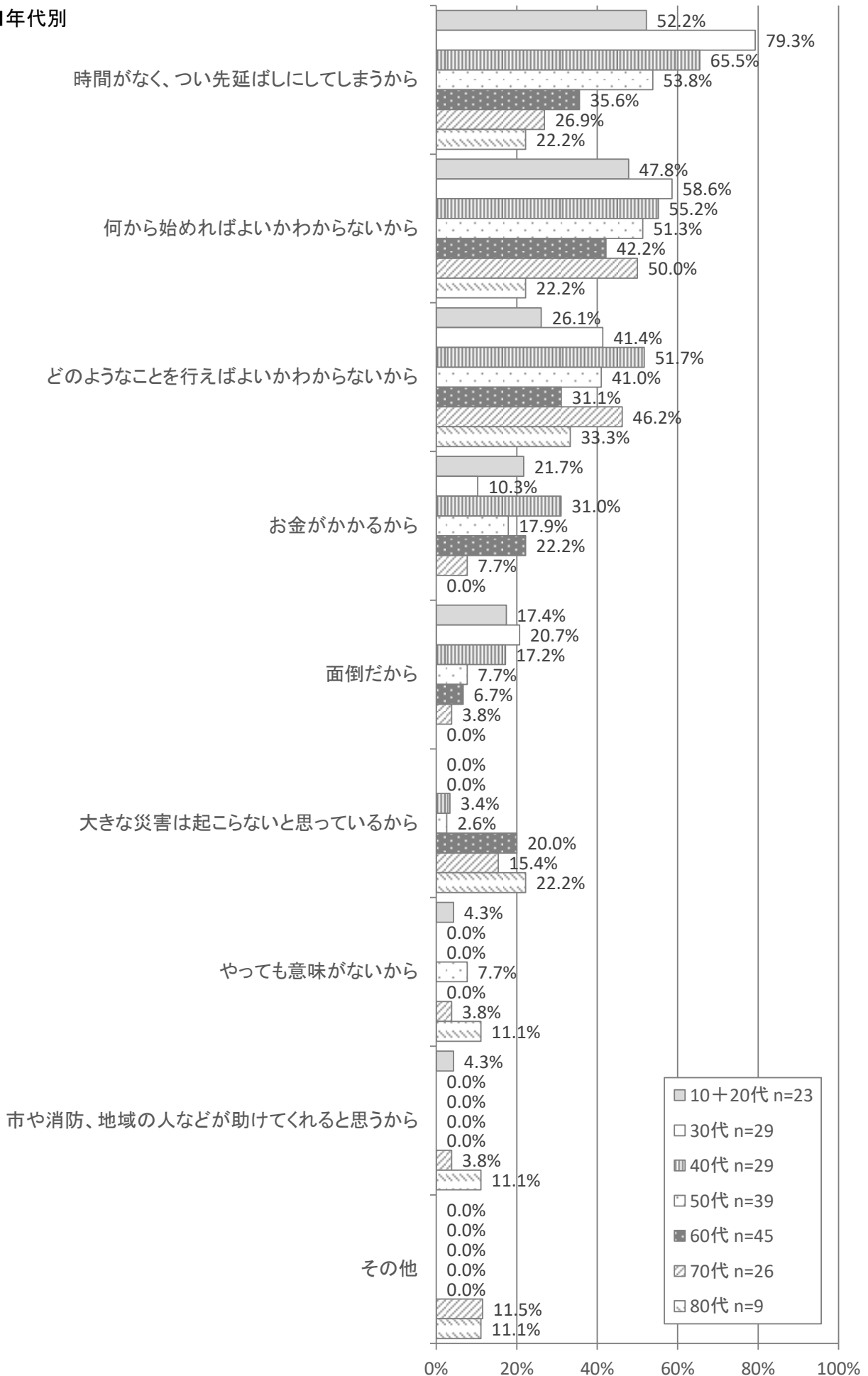
また、「時間がなく、つい先延ばしにしてしまうから」「何から始めればよいかわからないから」「面倒だから」の割合は、30代以上で年代が上がるにつれて減少する傾向となっている。

さらに、「大きな災害は起こらないと思っているから」の割合は60代以上で高くなっている。

■全体



■年代別



■その他の回答

- 準備しておいても地震などどこで起こるかわからないから（女性／80代以上／仙北）
- 水害も山崩れもない場所だと思っているから（女性／70代／大曲）
- 備えなければと思いつつ、この現状です。（女性／70代／大曲）

◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

○ 問2で災害に対して各家庭で備えていると回答した方が6割を超えている一方で、4割近い方が災害に対する備えをしていないという結果となった。年代が上がるにつれて備えていると回答した割合が高くなる傾向にあり、若い世代の防災意識の向上を図る方法を検討する必要がある。

○ 問2で災害に対して各家庭で備えていると回答した方のうち、具体的な備えとして回答した割合が最も高かった項目は、問3の結果のとおり「災害に備えた備蓄（非常食、生活必需品など）」で78.1%となっており、これまで市が実施してきた広報やホームページ等での呼びかけが成果として現れていると推測される。

しかしながら、問6の結果のとおり、災害に備えた備蓄をしていない方の理由として、「何をどの程度備えればよいかわからないから」の割合が58.2%で最も高いことから、情報が不足しているために備蓄を行っていない方が多くいることがわかる。具体的にどのような備蓄をすればよいのか、何日分の備蓄を準備すればよいのかなど、今後も様々な手段で周知を行っていく必要がある。

○ 市では3日以上以上の災害時に備えた備蓄を推奨しており、これまで広報やホームページ等で周知を行っている。問3で「災害に備えた備蓄（非常食、生活必需品など）」と回答した方のうち、3日以上準備していると回答した割合は、問5の結果のとおり食料品類で70.3%、生活必需品類で78.9%となっており、すでに備蓄している方にとっては3日以上以上の準備が必要という意識がある程度浸透しているものと思われる。

○ 今後、災害に対して各家庭で備えを行っていない方への意識付けが重要であり、より市民の目に触れやすい周知方法の検討や、自主防災組織や防災士を通じた市民への呼びかけ、今年度更新する新規ハザードマップの情報の充実等に取り組んでいく。

3. 2 制度の利用者など特定の層を調査対象とした個別事業評価

制度の利用者など特定の層を調査対象とした個別事業評価については、テーマごとの調査票で調査を実施した。調査対象、回収率、回答者の属性については、各テーマの調査結果に記載する。

3. 2. 1 若い世代のチャレンジについて

(企画部総合政策課)

- ◆ **調査目的：** 大仙市の人口は、昭和 30 年の約 12 万 3 千人をピークに年間約 1 千人のペースで減少している。国立社会保障・人口問題研究所が行った将来人口の推計では、令和 27 年には 4 万 8 千人になるものと推計されており、人口減少に伴い産業や地域経済の衰退、地域コミュニティの維持が困難となるなど、多方面への影響が懸念されている。

こうした状況を踏まえ、市では令和 2 年 3 月に「第 2 期大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「人口減少の抑制」と「地方創生の実現」に向け様々な施策に取り組んでいる。その施策のひとつとして、「若者がチャレンジできる環境づくり」を進めており、若い世代の夢を叶える創業支援の推進や新規就農者の育成、雇用促進等を図るとともに、地域の課題解決や活性化に向けた市民活動を応援する地域枠予算の確保、出会い・結婚・出産・子育てまで切れ目のない一貫した支援体制の構築などに取り組んでいる。

本調査では、若い世代の皆さんからご意見を伺い、夢や希望の実現に向けてチャレンジする若い世代の皆さんを応援する具体的な方法を検討するための参考とする。

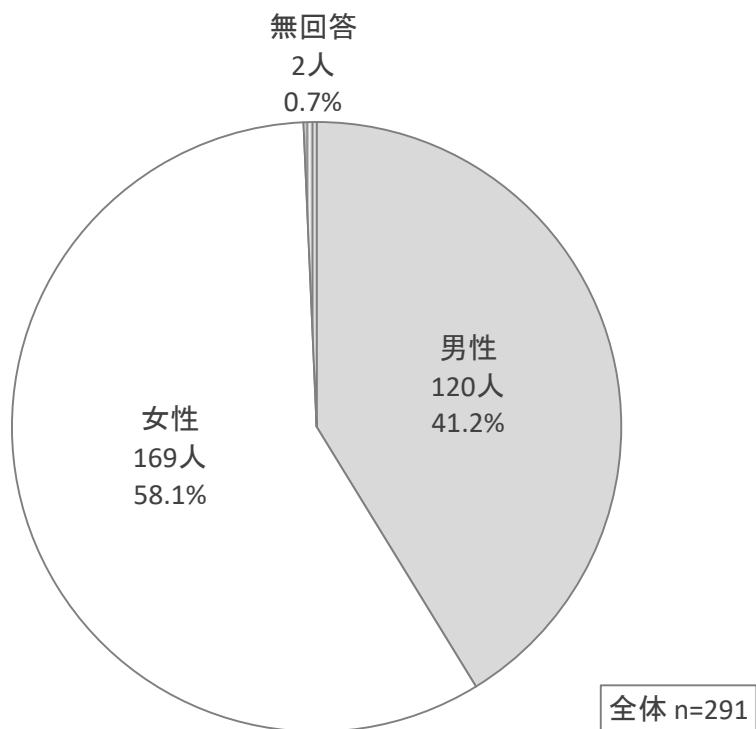
- ◆ **調査対象：** 市内在住で 18 歳以上 40 歳未満の市民の中から無作為に抽出した 800 人（性別、年齢、地域については考慮）

◆ 回収数・回収率

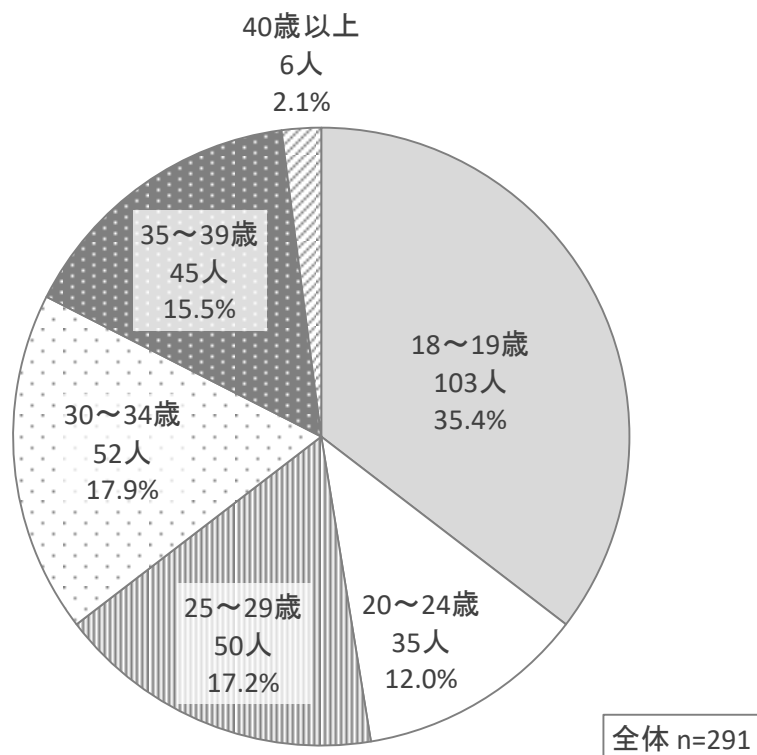
調査票		送付数	回収数			回収率	
個別事業評価（分類B）		800 人	291 人			36.4%	
内 訳	①郵送または インターネット	400 人	176 人			44.0%	
			内 訳	回答方法	回収数		割合
				郵送	102 人		58.0%
		ネット	74 人	42.0%			
	②インターネットのみ	400 人	115 人			28.8%	

回答者の属性

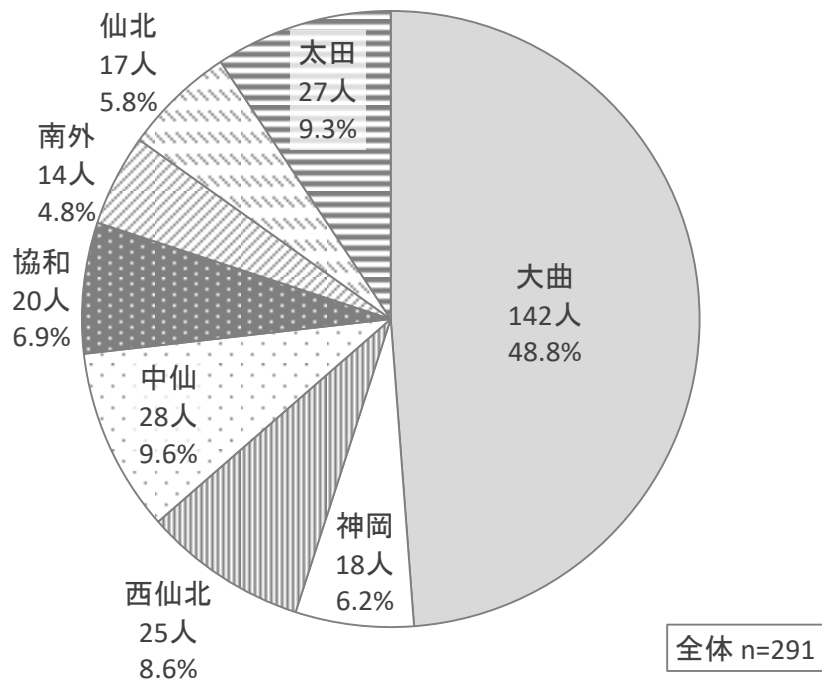
■性別



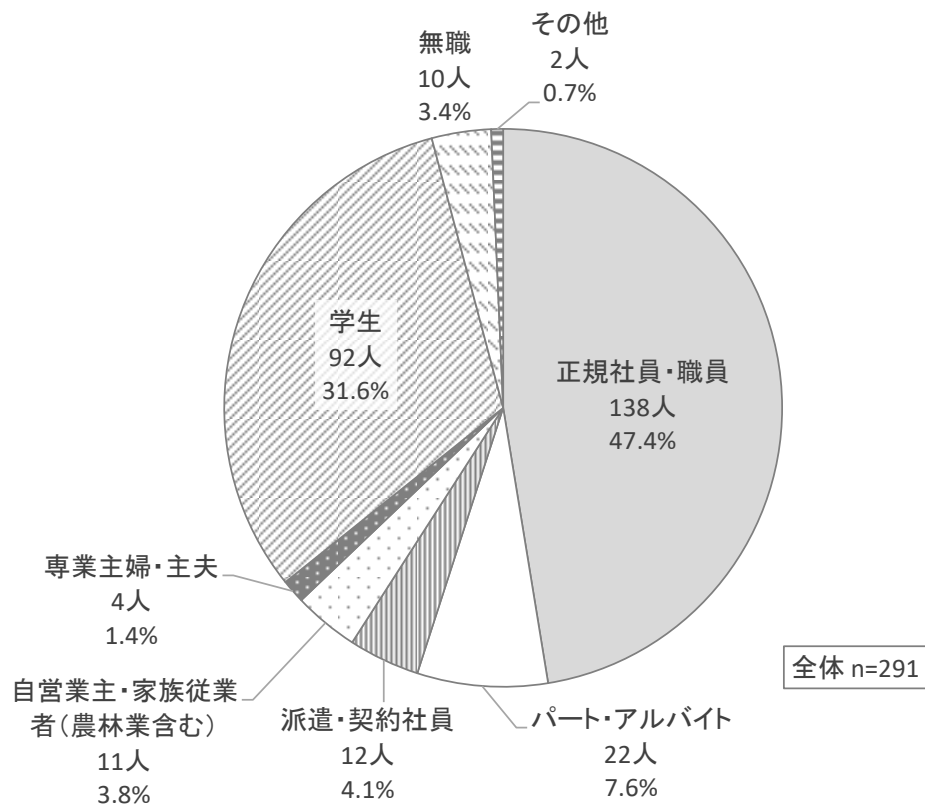
■年齢層



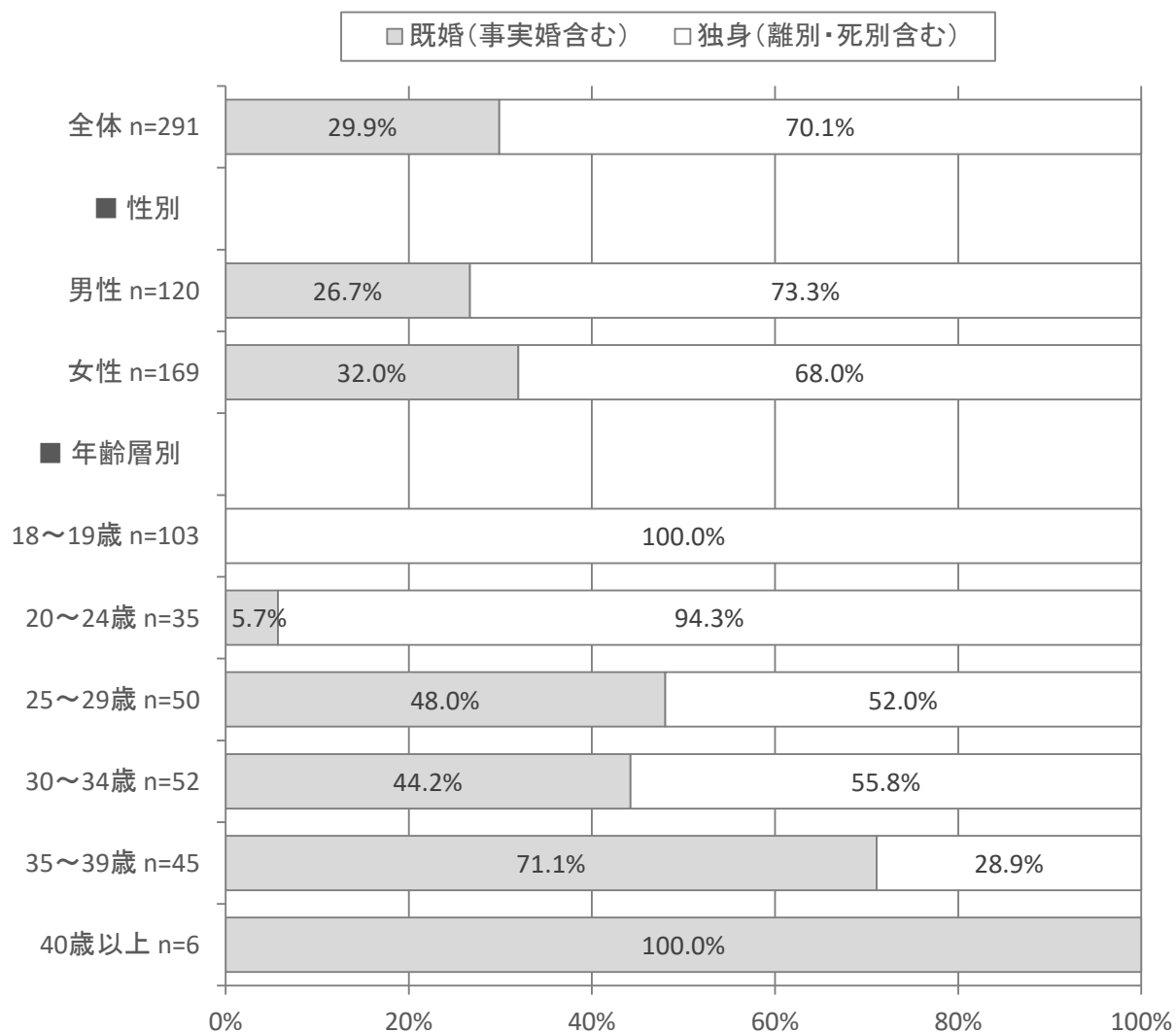
■地域



■職業



■結婚



【問6】あなたは、次の項目について、日常生活でどのくらい満足していますか。

また、どのくらい大切（重要）であるとお考えですか。

【満足度】

- 全体では、満足度の高い項目は、上位から「夢や目標の実現」が3.02、「経済的な豊かさ」が3.01、「趣味などの余暇の時間」が2.97の順となっている。
一方、満足度の低い項目は、下位から「家族とのふれあい」が2.65、「身近な人との付き合い」が2.78、「社会的地位や評価」が2.84の順となっている。
- 性別で見ると、満足度は男性が女性より高くなっており、男性では「経済的な豊かさ」「スポーツ・健康づくり」「仕事や勉強」「社会的地位や評価」、女性では「趣味などの余暇の時間」「社会（地域）貢献活動」「身近な人との付き合い」が異性よりも上位に挙がっている。
- 年齢層別で見ると、満足度は18～19歳が他の年齢層より低くなっている。「社会（地域）貢献活動」は年齢層が下がるにつれて順位が高くなっており、18～19歳では最も高くなっている。20～24歳以下では「スポーツ・健康づくり」、25～29歳以上では「経済的な豊かさ」「趣味などの余暇の時間」が上位に挙がっている。また、「家族とのふれあい」は、全ての年齢層で下位に挙がっており、20～24歳以上では、全ての年齢層で最も低くなっている。
- 結婚別で見ると、満足度は既婚者が独身者より高くなっている。既婚者では「経済的な豊かさ」「趣味などの余暇の時間」、独身者では「夢や目標の実現」「社会（地域）貢献活動」が上位となっている。

■全体

順位	項目	満足度
1	夢や目標の実現	3.02
2	経済的な豊かさ	3.01
3	趣味などの余暇の時間	2.97
4	スポーツ・健康づくり	2.92
5	社会（地域）貢献活動	2.91
6	仕事や勉強	2.88
7	社会的地位や評価	2.84
8	身近な人との付き合い	2.78
9	家族とのふれあい	2.65

■性別

男性

順位	項目	満足度
1	経済的な豊かさ	3.07
2	夢や目標の実現	3.05
3	スポーツ・健康づくり	3.04
	仕事や勉強	3.04
5	社会的地位や評価	2.89
6	趣味などの余暇の時間	2.88
7	社会（地域）貢献活動	2.87
8	身近な人との付き合い	2.77
9	家族とのふれあい	2.68

女性

順位	項目	満足度
1	趣味などの余暇の時間	3.02
2	夢や目標の実現	3.00
3	経済的な豊かさ	2.98
4	社会（地域）貢献活動	2.93
5	スポーツ・健康づくり	2.84
6	社会的地位や評価	2.81
7	身近な人との付き合い	2.79
8	仕事や勉強	2.76
9	家族とのふれあい	2.62

■年齢層別

18～19歳

順位	項目	満足度
1	社会(地域)貢献活動	2.88
2	夢や目標の実現	2.86
3	スポーツ・健康づくり	2.80
4	経済的な豊かさ	2.74
5	趣味などの余暇の時間	2.68
6	社会的地位や評価	2.67
	仕事や勉強	2.67
8	家族とのふれあい	2.54
9	身近な人との付き合い	2.52

20～24歳

順位	項目	満足度
1	スポーツ・健康づくり	3.21
2	夢や目標の実現	3.09
	仕事や勉強	3.09
4	趣味などの余暇の時間	3.00
	社会(地域)貢献活動	3.00
6	経済的な豊かさ	2.94
7	身近な人との付き合い	2.91
8	社会的地位や評価	2.89
9	家族とのふれあい	2.86

25～29歳

順位	項目	満足度
1	経済的な豊かさ	3.20
2	夢や目標の実現	3.06
3	趣味などの余暇の時間	3.02
4	身近な人との付き合い	2.88
5	社会(地域)貢献活動	2.86
6	スポーツ・健康づくり	2.82
7	社会的地位や評価	2.80
	仕事や勉強	2.80
9	家族とのふれあい	2.70

30～34歳

順位	項目	満足度
1	趣味などの余暇の時間	3.31
2	経済的な豊かさ	3.29
3	夢や目標の実現	3.21
4	仕事や勉強	3.08
5	スポーツ・健康づくり	3.02
	身近な人との付き合い	3.02
7	社会(地域)貢献活動	3.00
	社会的地位や評価	3.00
9	家族とのふれあい	2.59

35～39歳

順位	項目	満足度
1	経済的な豊かさ	3.16
2	夢や目標の実現	3.07
3	趣味などの余暇の時間	3.02
4	社会的地位や評価	3.00
	仕事や勉強	3.00
6	スポーツ・健康づくり	2.95
7	社会(地域)貢献活動	2.82
8	身近な人との付き合い	2.71
9	家族とのふれあい	2.58

■結婚別

既婚

順位	項目	満足度
1	経済的な豊かさ	3.25
2	趣味などの余暇の時間	3.22
3	夢や目標の実現	3.08
4	スポーツ・健康づくり	3.05
5	仕事や勉強	2.98
6	社会的地位や評価	2.94
7	身近な人との付き合い	2.86
8	社会(地域)貢献活動	2.84
9	家族とのふれあい	2.62

独身

順位	項目	満足度
1	夢や目標の実現	3.00
2	社会(地域)貢献活動	2.94
3	経済的な豊かさ	2.91
4	スポーツ・健康づくり	2.87
5	趣味などの余暇の時間	2.86
6	仕事や勉強	2.84
7	社会的地位や評価	2.80
8	身近な人との付き合い	2.74
9	家族とのふれあい	2.66

【重要度】

- 全体では、重要度の高い項目は、上位から「社会的地位や評価」が2.94、「社会（地域）貢献活動」が2.87、「スポーツ・健康づくり」が2.69の順となっている。
- 一方、重要度の低い項目は、下位から「趣味などの余暇の時間」が2.38、「経済的な豊かさ」が2.53、「家族とのふれあい」が2.57の順となっている。
- 性別で見ると、重要度は女性が男性より高くなっており、男性では「社会（地域）貢献活動」「仕事や勉強」「家族とのふれあい」、女性では「社会的地位や評価」「スポーツ・健康づくり」「夢や目標の実現」が異性よりも上位に挙がっている。
- 年齢層別で見ると、全ての年齢層で「社会的地位や評価」「社会（地域）貢献活動」が1，2番目に高くなっている。また、「経済的な豊かさ」は18～19歳、「家族とのふれあい」は25～29歳以下、「身近な人との付き合い」「夢や目標の実現」は25～29歳以上で他の年齢層よりも上位に挙がっている。
- 結婚別で見ると、重要度は独身者が既婚者より高く、順位は概ね同様の傾向となっているが、既婚者では「身近な人との付き合い」、独身者では「家族とのふれあい」が、それぞれ独身者または既婚者よりも比較的高い順位となっている。

■全体

順位	項目	重要度
1	社会的地位や評価	2.94
2	社会(地域)貢献活動	2.87
3	スポーツ・健康づくり	2.69
4	身近な人との付き合い	2.67
5	仕事や勉強	2.64
6	夢や目標の実現	2.60
7	家族とのふれあい	2.57
8	経済的な豊かさ	2.53
9	趣味などの余暇の時間	2.38

■性別

男性

順位	項目	重要度
1	社会(地域)貢献活動	2.89
2	社会的地位や評価	2.88
3	仕事や勉強	2.68
4	身近な人との付き合い	2.64
5	家族とのふれあい	2.60
6	夢や目標の実現	2.57
7	スポーツ・健康づくり	2.56
8	経済的な豊かさ	2.55
9	趣味などの余暇の時間	2.31

女性

順位	項目	重要度
1	社会的地位や評価	2.99
2	社会(地域)貢献活動	2.86
3	スポーツ・健康づくり	2.79
4	身近な人との付き合い	2.70
5	夢や目標の実現	2.62
	仕事や勉強	2.62
7	家族とのふれあい	2.54
8	経済的な豊かさ	2.52
9	趣味などの余暇の時間	2.43

■年齢層別

18～19歳

順位	項目	重要度
1	社会的地位や評価	2.96
2	社会(地域)貢献活動	2.79
3	経済的な豊かさ	2.66
4	スポーツ・健康づくり	2.64
5	家族とのふれあい	2.57
6	仕事や勉強	2.54
7	身近な人との付き合い	2.53
8	夢や目標の実現	2.50
9	趣味などの余暇の時間	2.41

20～24歳

順位	項目	重要度
1	社会的地位や評価	3.15
2	社会(地域)貢献活動	3.03
3	仕事や勉強	2.94
4	スポーツ・健康づくり	2.91
5	家族とのふれあい	2.85
	経済的な豊かさ	2.85
7	趣味などの余暇の時間	2.82
8	身近な人との付き合い	2.79
9	夢や目標の実現	2.73

25～29歳

順位	項目	重要度
1	社会的地位や評価	3.02
2	社会(地域)貢献活動	2.86
3	身近な人との付き合い	2.68
4	スポーツ・健康づくり	2.62
	夢や目標の実現	2.62
6	家族とのふれあい	2.54
7	仕事や勉強	2.52
8	趣味などの余暇の時間	2.24
9	経済的な豊かさ	2.22

30～34歳

順位	項目	重要度
1	社会(地域)貢献活動	2.96
2	社会的地位や評価	2.78
3	スポーツ・健康づくり	2.71
	身近な人との付き合い	2.71
5	夢や目標の実現	2.63
6	仕事や勉強	2.57
7	経済的な豊かさ	2.35
8	家族とのふれあい	2.31
9	趣味などの余暇の時間	2.20

35～39歳

順位	項目	重要度
1	社会(地域)貢献活動	2.82
	社会的地位や評価	2.82
3	仕事や勉強	2.80
4	身近な人との付き合い	2.73
5	スポーツ・健康づくり	2.67
6	夢や目標の実現	2.59
7	家族とのふれあい	2.56
8	経済的な豊かさ	2.40
9	趣味などの余暇の時間	2.38

■結婚別

既婚

順位	項目	重要度
1	社会的地位や評価	2.83
2	身近な人との付き合い	2.76
	社会(地域)貢献活動	2.76
4	スポーツ・健康づくり	2.70
5	仕事や勉強	2.66
6	夢や目標の実現	2.53
7	経済的な豊かさ	2.42
8	家族とのふれあい	2.40
9	趣味などの余暇の時間	2.25

独身

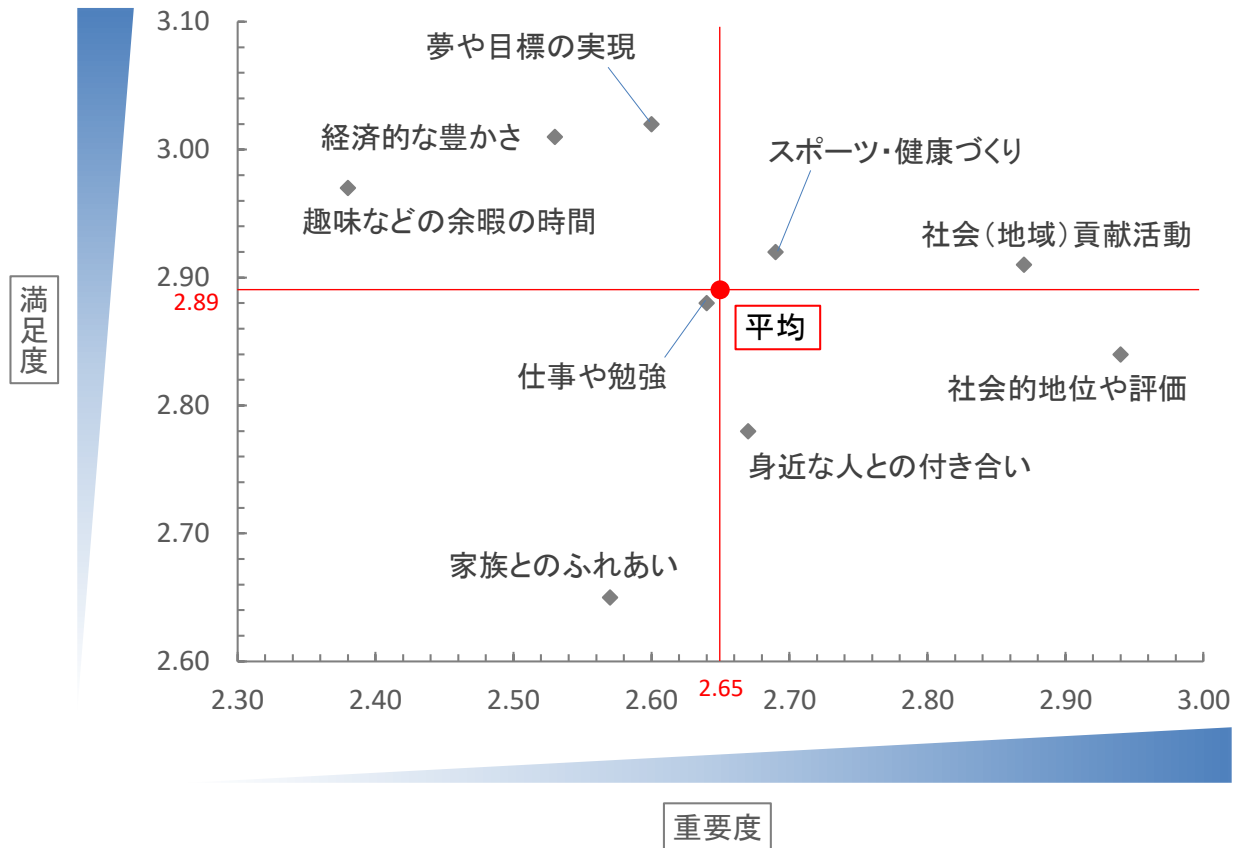
順位	項目	重要度
1	社会的地位や評価	2.99
2	社会(地域)貢献活動	2.91
3	スポーツ・健康づくり	2.69
4	家族とのふれあい	2.64
	身近な人との付き合い	2.64
	仕事や勉強	2.64
7	夢や目標の実現	2.63
8	経済的な豊かさ	2.58
9	趣味などの余暇の時間	2.44

【満足度と重要度】

満足度、重要度の総括として、満足度を縦軸、重要度を横軸とした散布図を作成した。

図の右下にある項目ほど、重要度が高く満足度が低い項目となっており、今の日常生活でより必要としている項目と考えられる。

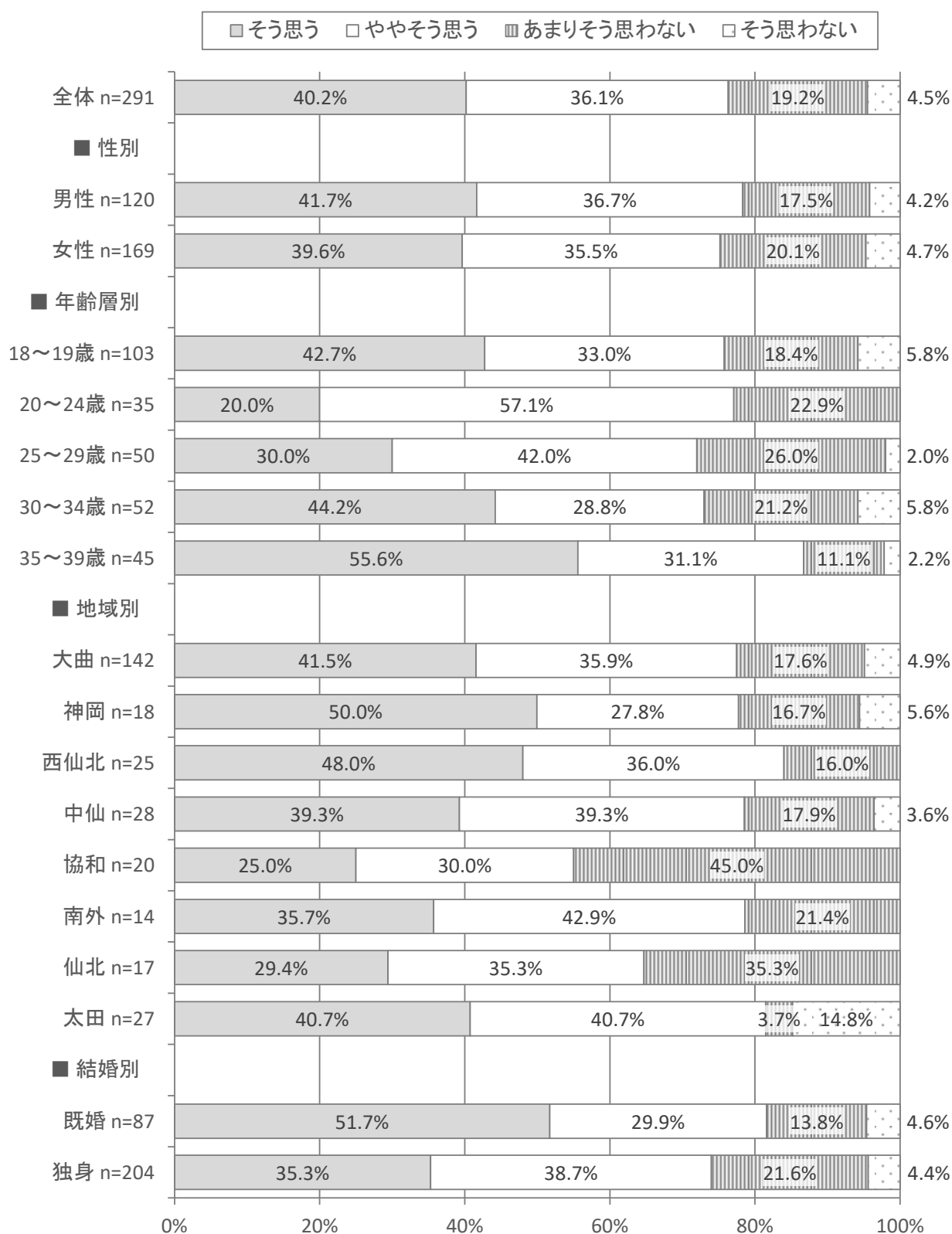
満足度、重要度の結果から相対的に今の日常生活で最も必要としている項目は「社会的地位や評価」となっている。



【問7】あなたは、今後も大仙市に住み続けたいと思いますか。

- 全体では、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は 76.3%となっており、8割近くの方が住み続けたいと回答している。
- 性別で見ると、全体と同様の傾向となっており、大きな差異は見られない。
- 年齢層別で見ると、「そう思う」の割合は、35～39歳が 55.6%で最も高くなっており、20～24歳までは年齢層が下がるにつれて減少しているが、18～19歳では大きく増加している。また、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、18～19歳から 30～34歳までは大きな差異はないが、35～39歳では大きく増加し、86.7%となっている。
- 地域別で見ると、「そう思う」の割合と、さらに「ややそう思う」を合わせた割合は、どちらも協和・仙北地域で低くなっている。協和・仙北地域以外については、「そう思う」の割合に多少の差異はあるが、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合には大きな差異は見られない。

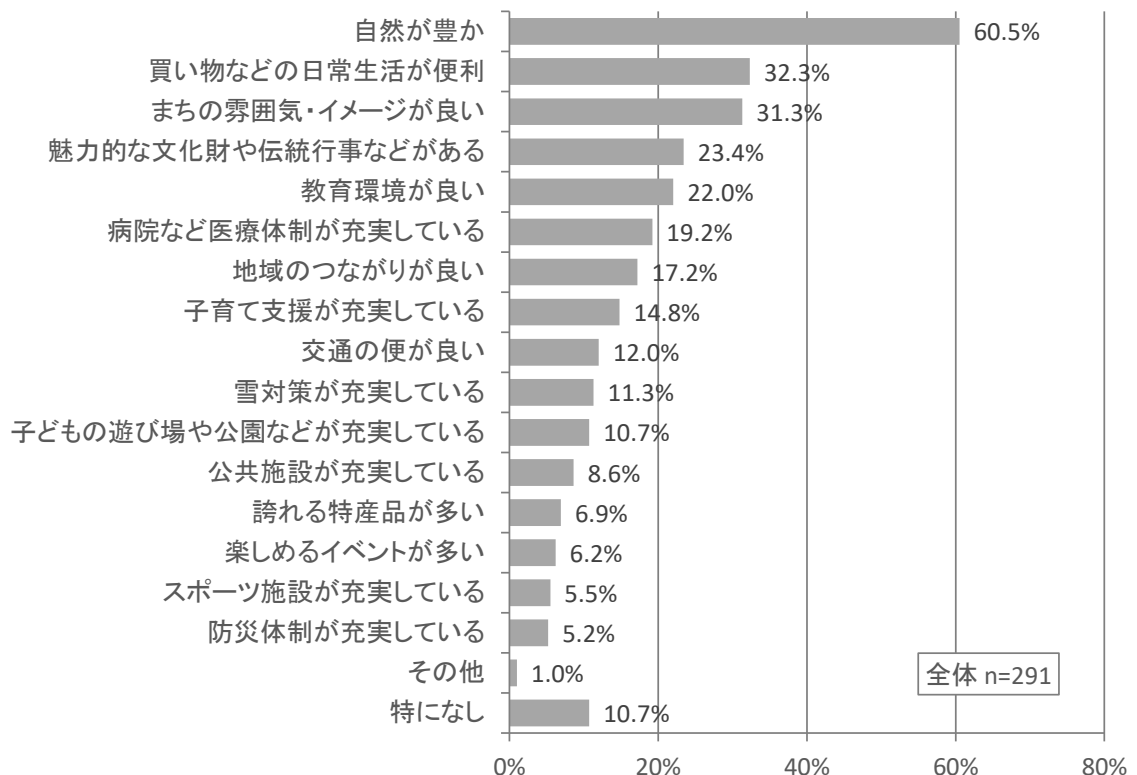
○ 結婚別で見ると、「そう思う」の割合と、さらに「ややそう思う」を合わせた割合は、どちらも既婚者が独身者より高いが、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は7.6ポイントの差であるのに対して、「そう思う」の割合は16.4ポイントの差があり、大きくなっている。



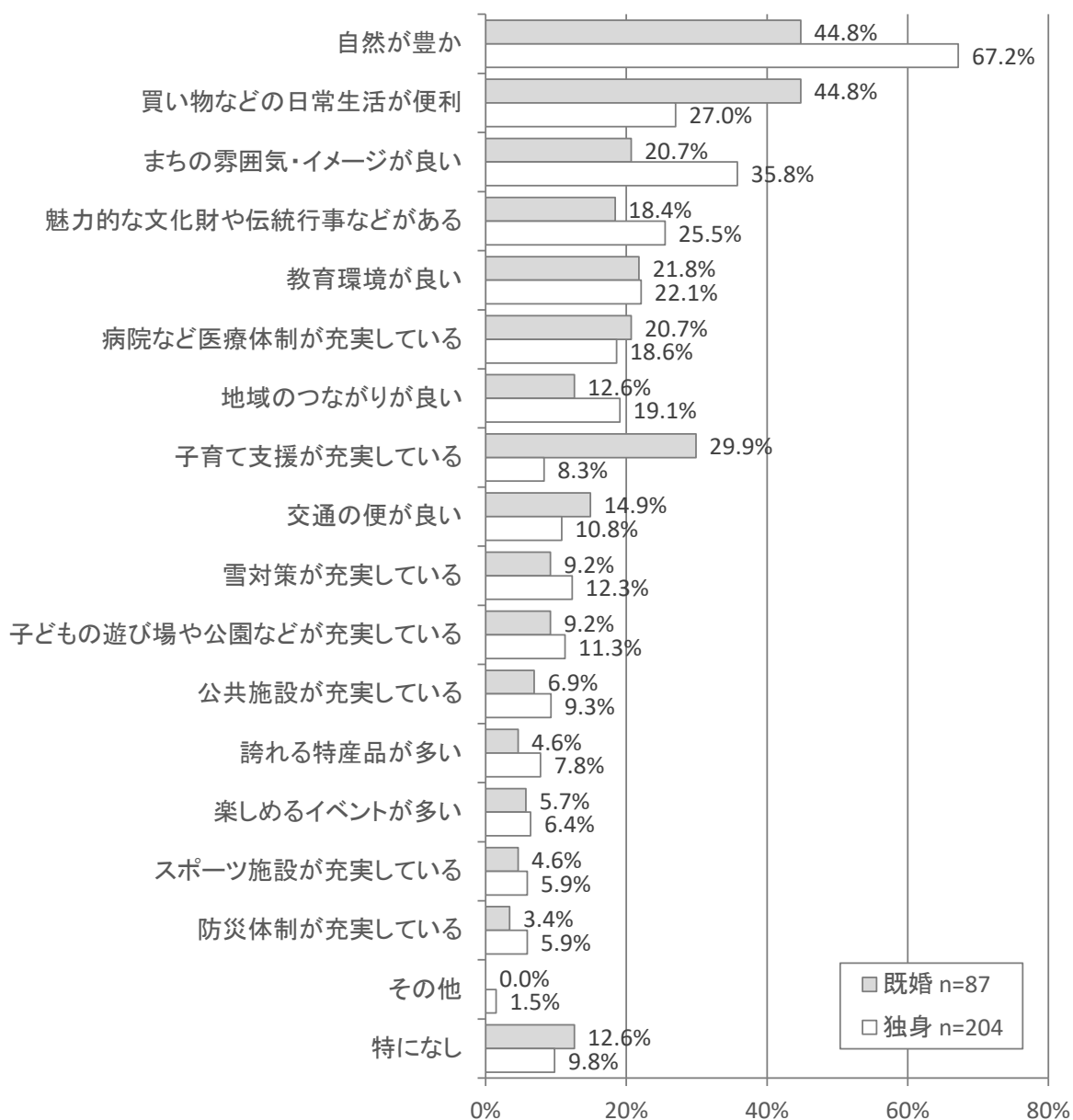
【問 8】あなたは、大仙市に住んでいてよかったと思うことがありますか。（複数選択可）

- 全体では、「自然が豊か」の割合が 60.5%で突出しており、次いで「買い物などの日常生活が便利」が 32.3%、「まちの雰囲気・イメージが良い」が 31.3%となっている。
- 結婚別で見ると、既婚者では「自然が豊か」と「買い物などの日常生活が便利」の割合が同率で最も高く、次いで「子育て支援が充実している」の割合が高くなっており、「買い物などの日常生活が便利」「子育て支援が充実している」は独身者との差が大きくなっている。
また、独身者では「自然が豊か」の割合が突出しており、次いで、「まちの雰囲気・イメージが良い」の割合が高く、どちらも既婚者との差が大きくなっている。
- 問 7 の住み続けたいかに対する回答別で見ると、「そう思わない」または「あまりそう思わない」と回答した方より「そう思う」または「ややそう思う」と回答した方が全体的に回答割合が高くなっており、「買い物などの日常生活が便利」「まちの雰囲気・イメージが良い」「子育て支援が充実している」「子どもの遊び場や公園などが充実している」「スポーツ施設が充実している」では特に差が大きくなっている。
また、「そう思わない」または「あまりそう思わない」と回答した方では、「誇れる特産品が多い」「防災体制が充実している」「特になし」の割合が「そう思う」または「ややそう思う」と回答した方より高くなっている。

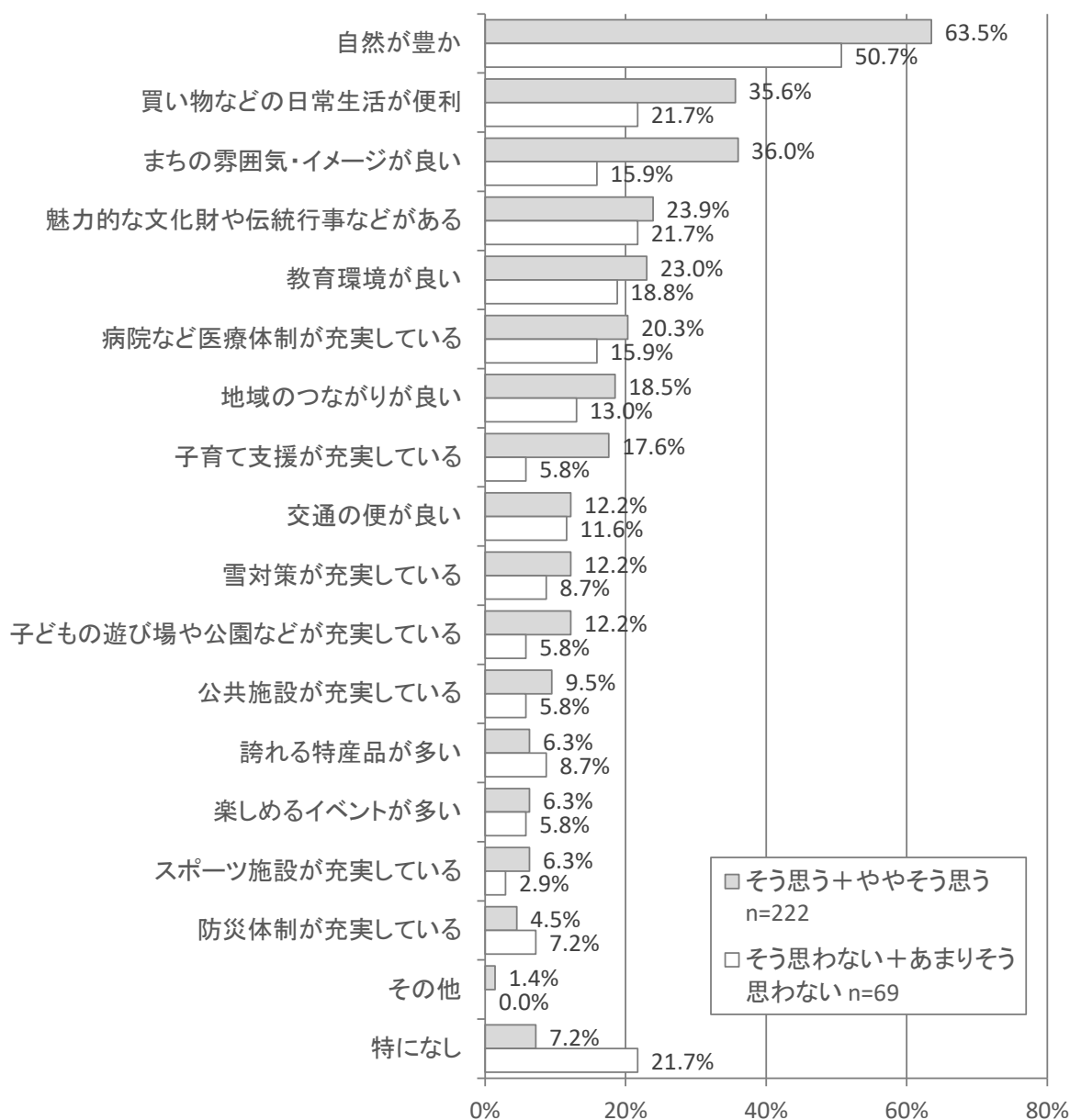
■全体



■結婚別



■問7（住み続けたいか）別



■その他の回答

- 自分が生まれた土地だから（10代／男性／太田）
- 18歳までの医療費負担がほぼなかったこと（10代／女性／協和）
- 実家がある（30代／女性／西仙北）

【問9】あなたは、大仙市に住んでいて困ったと思うこと（悪い点）がありますか。

（複数選択可）

○ 全体では、「交通の便が悪い」の割合が47.2%で最も高く、次いで「楽しめるイベントが少ない」が43.1%となっており、上位2項目の回答が突出している。

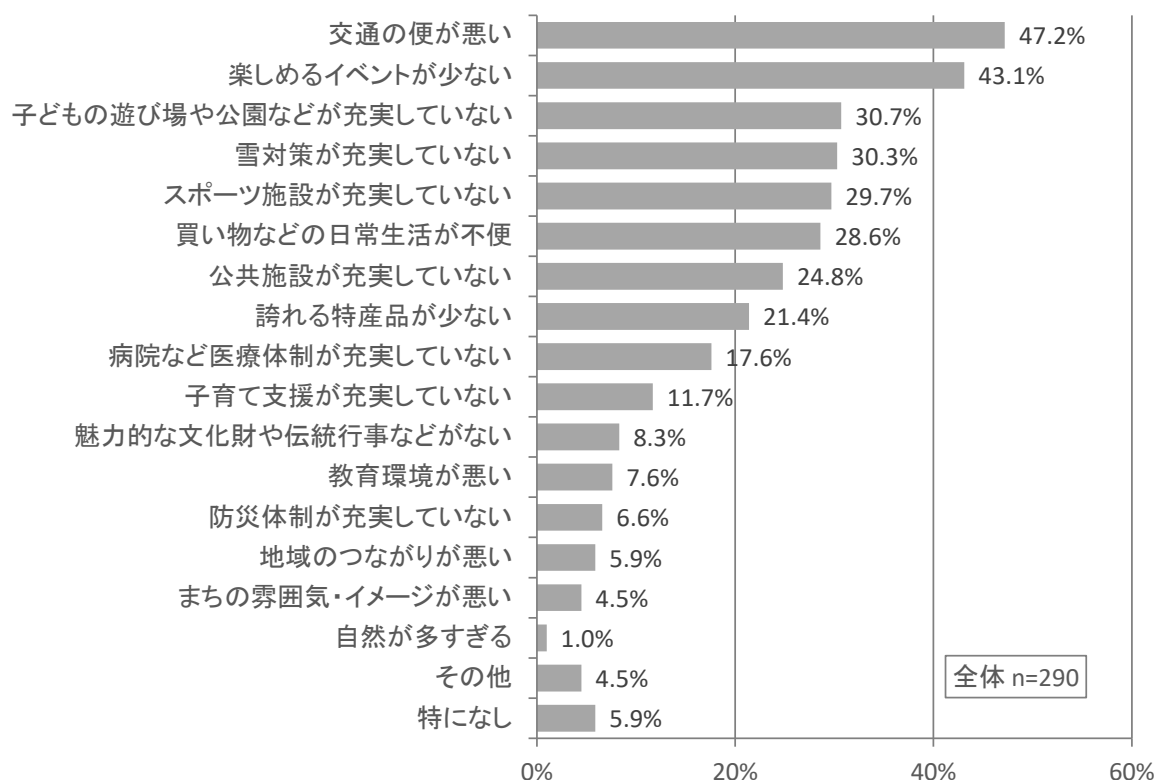
○ 結婚別で見ると、既婚者は「子どもの遊び場や公園などが充実していない」、独身者は「交通の便が悪い」の割合が最も高くなっている。既婚者は独身者より全体的に回答割合が高くなっており、「子どもの遊び場や公園などが充実していない」「子育て支援が充実していない」では、特に差が大きくなっている。

また、独身者では「交通の便が悪い」「買い物などの日常生活が不便」「特になし」の割合が、既婚者と比べて比較的高くなっている。

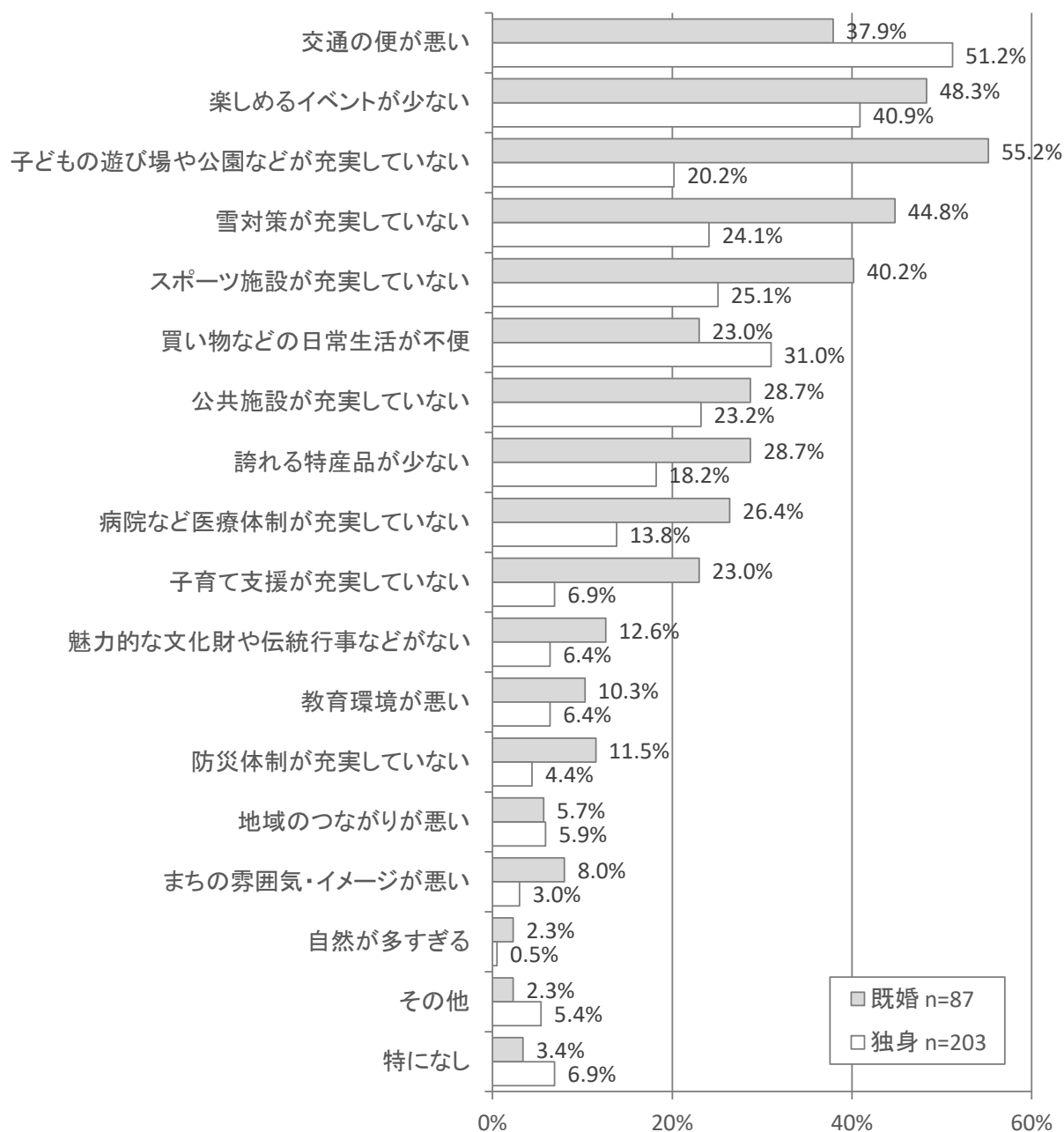
○ 問7の住み続けたいかに対する回答別で見ると、「そう思わない」または「あまりそう思わない」と回答した方は、「そう思う」または「ややそう思う」と回答した方より全体的に回答割合が高くなっており、「子育て支援が充実していない」「教育環境が悪い」は特に差が大きくなっている。

また、「そう思う」または「ややそう思う」と回答した方では、「防災体制が充実していない」「特になし」の割合が、「そう思わない」または「あまりそう思わない」と回答した方より高くなっている。

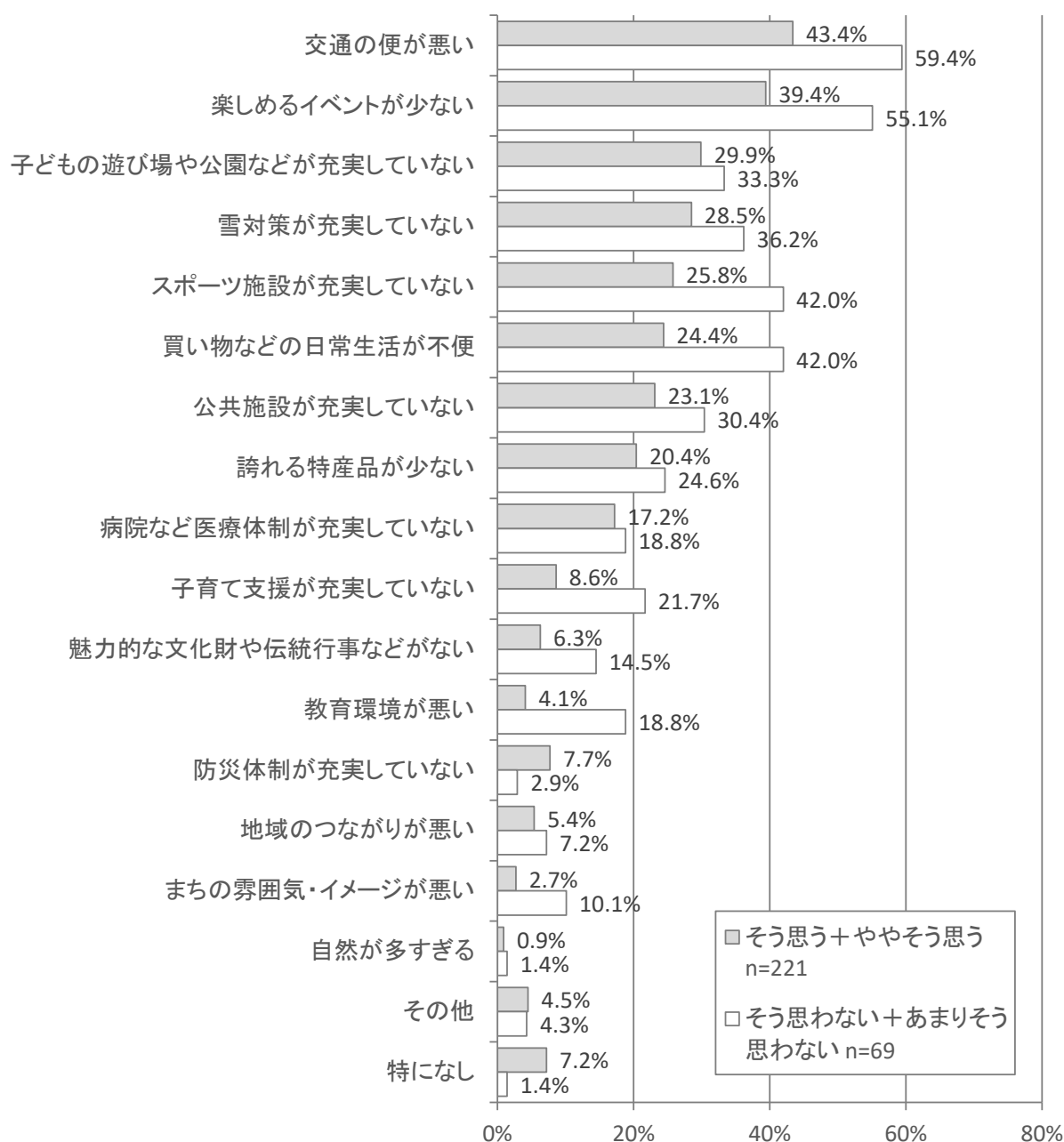
■全体



■結婚別



■問7（住み続けたいか）別



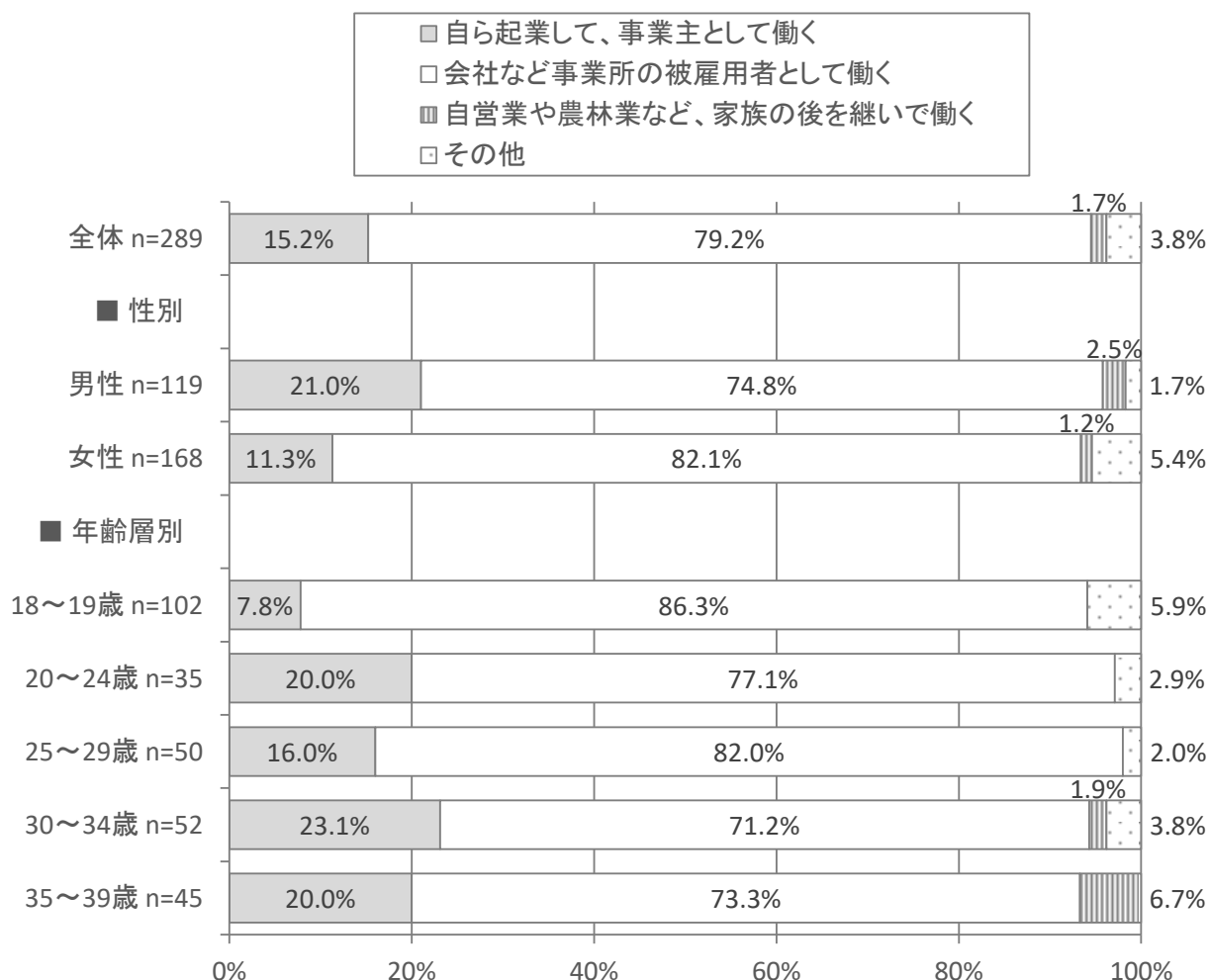
■その他の回答

- 大雨の浸水、ホワイトアウト（30代／女性／仙北）
- 感染対策に問題がある（10代／男性／大曲）
- 少数派の人に対する偏見を持っている人が多い（20代／男性／大曲）
- 大曲駅周辺がつまらない（10代／女性／神岡）
- 遊べる場所がない（10代／女性／大曲）
- 秋の丸子川の鮭捕獲用設備が景観を損ねる（10代／女性／大曲）
- 若者が遊ぶ場所が少ない（10代／女性／大曲）
- 公共交通機関の本数が少ない（10代／女性／中仙）

- 街灯がない所では夜の運転が怖い（10代／女性／協和）
- ゴミ袋が高いこと（20代／女性／中仙）
- 子育て世代への支援がない（30代／女性／太田）
- 旧大曲市はいろいろと充実しているが、それ以外の地域が大変そう（10代／女性／大曲）
- 魅力がある街づくりをしようとする努力してますか（30代／男性／大曲）

【問10】あなたが思う理想の就職方法は何ですか。

- 全体では、「会社など事業所の被雇用者として働く」の割合が79.2%で最も高く、次いで「自ら起業して、事業主として働く」が15.2%となっている。
- 性別で見ると、全体と概ね同様の傾向となっているが、「自ら起業して、事業主として働く」の割合は、男性が女性より高くなっている。
- 年齢層別で見ると、全体と概ね同様の傾向となっているが、「自ら起業して、事業主として働く」の割合は18～19歳で低くなっており、「自営業や農林業など、家族の後を継いで働く」の割合は35～39歳で高くなっている。



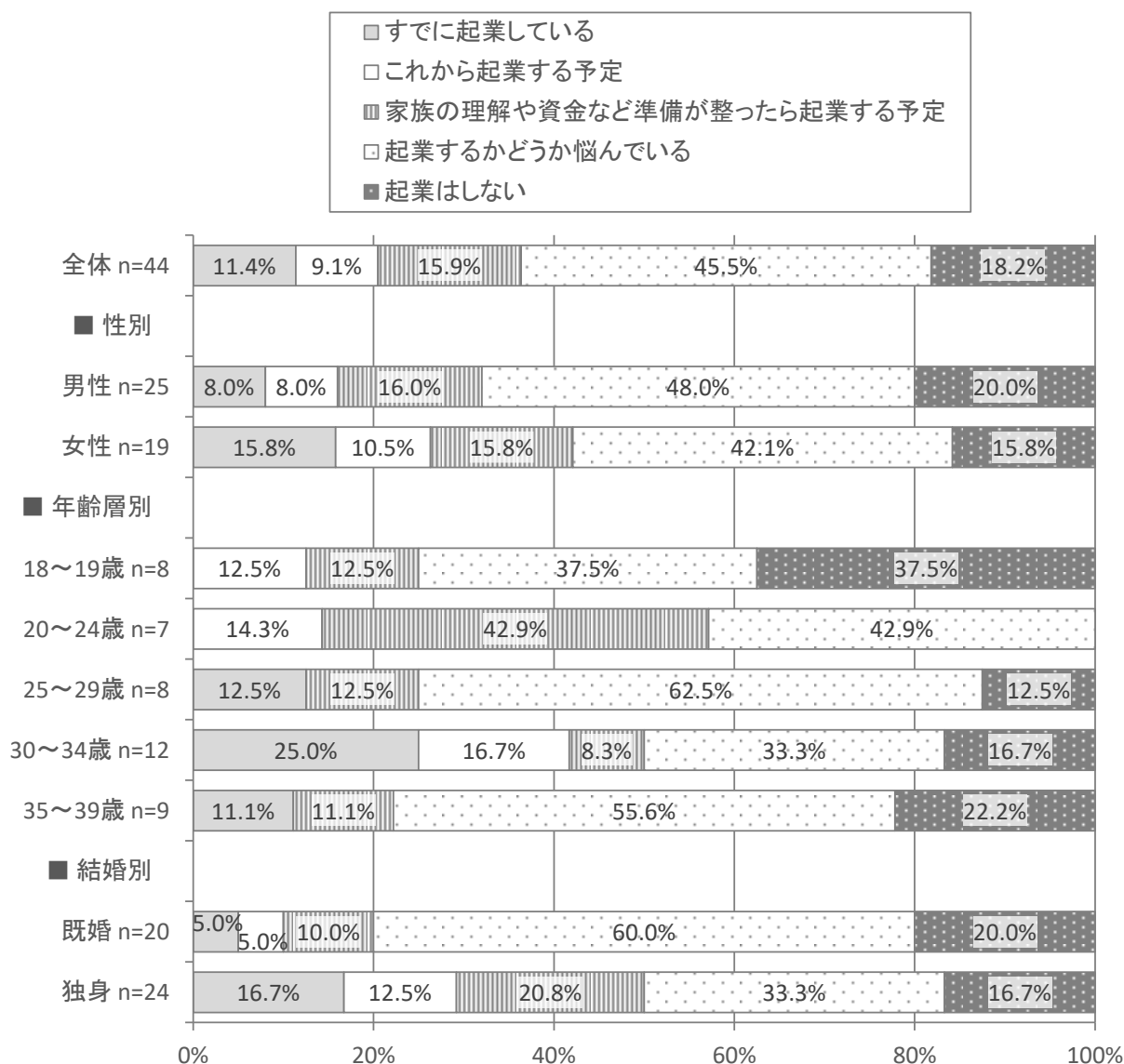
■その他の回答

- 資格を利用して働く（10代／女性／大曲）
- やりたいことであればどの形でも（20代／女性／大曲）
- 自分が納得のいくことをする（30代／男性／大曲）
- 病院の奨学金などによる、指定されたところに就職（10代／女性／大曲）

【問 11】 起業の実施状況について、お答えください。

（問 10 で「1. 自ら起業して、事業主として働く」と回答した方）

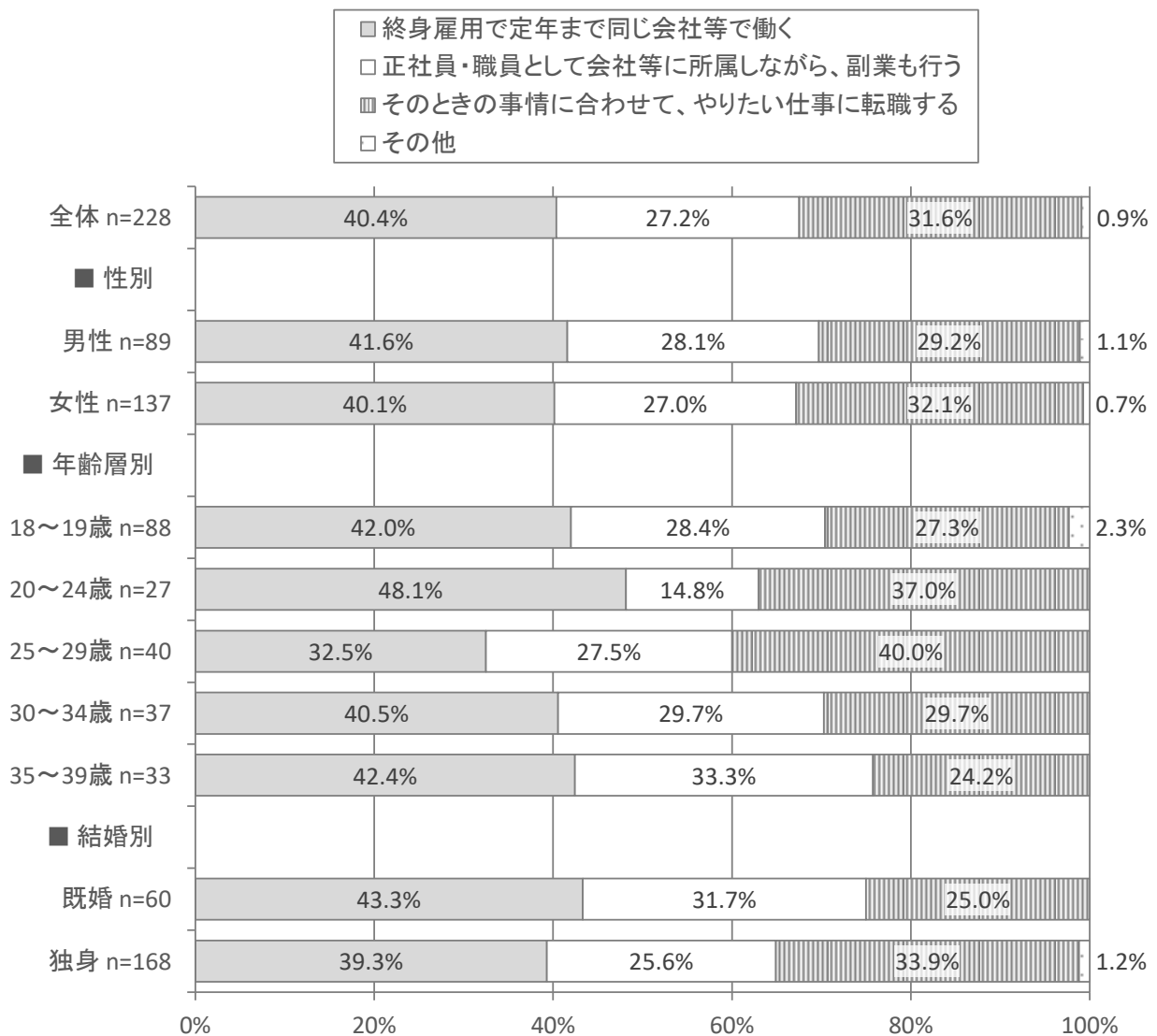
- 全体では、「起業するかどうか悩んでいる」の割合が 45.5% で最も高く、次いで「起業はしない」が 18.2%、「家族の理解や資金など準備が整ったら起業する予定」が 15.9% となっている。
- 性別で見ると、男性では「起業するかどうか悩んでいる」「起業はしない」の割合が高く、女性では「すでに起業している」の割合が高くなっている。
- 年齢層別で見ると、「すでに起業している」の割合は、25～29 歳以上では一定数あるが、20～24 歳以下では 0% となっている。「家族の理解や資金など準備が整ったら起業する予定」は 20～24 歳、「起業するかどうか悩んでいる」は 25～29 歳が他の年齢層より比較的高くなっている。また、「起業はしない」の割合は 18～19 歳が他の年齢層より比較的高くなっており、20～24 歳では 0%、25～29 歳以上の年齢層では、年齢層が上がるにつれて、増加している。
- 結婚別で見ると、既婚者では「起業するかどうか悩んでいる」の割合が 60.0% で大部分を占めているが、独身者では 3 割程度となっている。一方、独身者では、「すでに起業している」「これから起業する予定」「家族の理解や資金など準備が整ったら起業する予定」の割合が、いずれも既婚者より高くなっている。



【問１２】あなたが思う理想の雇用形態について、お答えください。

（問１０で「２．会社など事業所の被雇用者として働く」と回答した方）

- 全体では、「終身雇用で定年まで同じ会社等で働く」の割合が 40.4%で最も高く、次いで「そのときの事情に合わせて、やりたい仕事に転職する」が 31.6%、「正社員・職員として会社等に所属しながら、副業も行う」が 27.2%となっている。
- 性別で見ると、全体と同様の傾向となっており、大きな差異は見られない。
- 年齢層別で見ると、20～24 歳では「終身雇用で定年まで同じ会社等で働く」の割合が最も高く、「正社員・職員として会社等に所属しながら、副業も行う」の割合は最も低くなっている。また、「そのときの事情に合わせて、やりたい仕事に転職する」の割合は 25～29 歳で最も高くなっており、25～29 歳を境に年齢層が増加または減少するにつれて割合は減少している。
- 結婚別で見ると、独身者では「そのときの事情に合わせて、やりたい仕事に転職する」の割合が、比較的高くなっている。

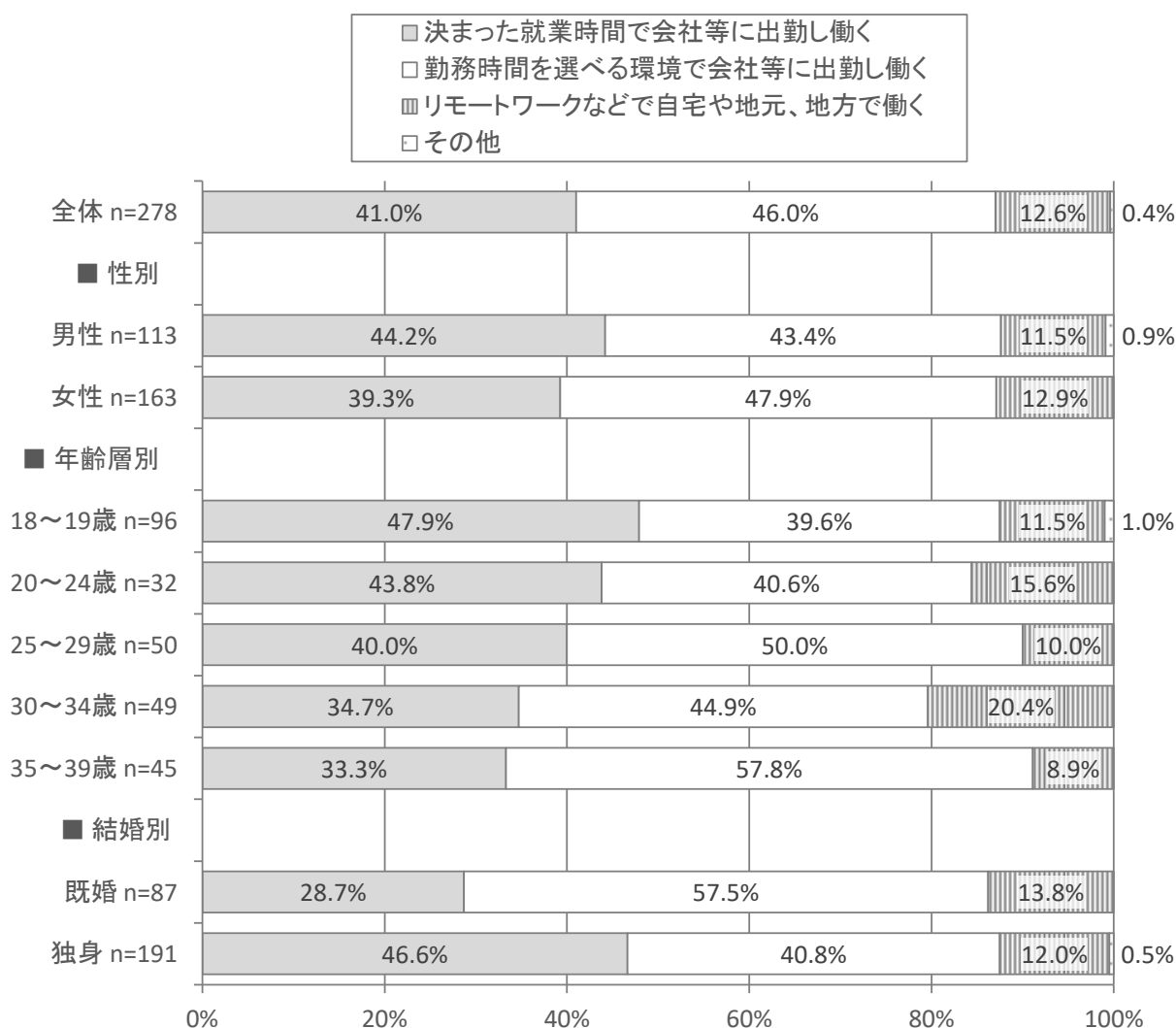


■その他の回答

- 定年まで働くこともできるし、そのときの事情に合わせて転職もできる雇用（10代／女性／西仙北）
- 基本的には定年まで働き、本当に我慢できないなら転職（10代／男性／神岡）

【問 1 3】あなたが思う理想の働き方について、お答えください。

- 全体では、「勤務時間を選べる環境で会社等に出勤し働く」の割合が46.0%で最も高く、次いで「決まった就業時間で会社等に出勤し働く」が41.0%となっており、同程度の割合となっている。
- 性別で見ると、全体と同様の傾向となっているが、男性では「決まった就業時間で会社等に出勤し働く」の割合が高く、女性では「勤務時間を選べる環境で会社等に出勤し働く」の割合が高くなっている。
- 年齢層別で見ると、「決まった就業時間で会社等に出勤し働く」の割合は年齢層が上がるにつれて減少し、「勤務時間を選べる環境で会社等に出勤し働く」の割合は年齢層が上がるにつれて増加する傾向となっている。
- 結婚別で見ると、独身者では「決まった就業時間で会社等に出勤し働く」の割合が高く、既婚者では「勤務時間を選べる環境で会社等に出勤し働く」の割合が高くなっており、それぞれ既婚者または独身者との差も大きくなっている。



【問 1 4】あなたは、市のまちづくりや地域の活動に関して意見を述べる機会や参加する機会があれば参加したいですか。

■意見を述べる機会

- 全体では、「あまり参加したくない」の割合が 56.7%で最も高く、「参加したくない」を合わせると 72.5%となっており、7割を超えている。
- 性別で見ると、男性では「積極的に参加したい」の割合が高くなっており、「あまり参加したくない」「参加したくない」の割合はやや低くなっている。
- 年齢層別で見ると、「すでに参加している」「積極的に参加したい」「参加したい」を合わせた割合は 30～34 歳までは年齢層が上がるにつれて減少しており、35～39 歳ではやや増加している。「あまり参加したくない」と「参加したくない」を合わせた割合は、20～24 歳以上で 7 割を超えており、25～29 歳、30～34 歳では「参加したくない」の割合が高く、2 割以上を占めている。
- 地域別で見ると、「すでに参加している」「積極的に参加したい」「参加したい」を合わせた割合は大曲・神岡・西仙北地域で高く、これ以外の地域では「あまり参加したくない」と「参加したくない」を合わせた割合が高くなっており、中仙地域では 89.3%となっている。また、「参加したくない」の割合は南外・仙北・太田地域で 2 割を超えており、太田地域では 33.3%となっている。

■まちづくり活動

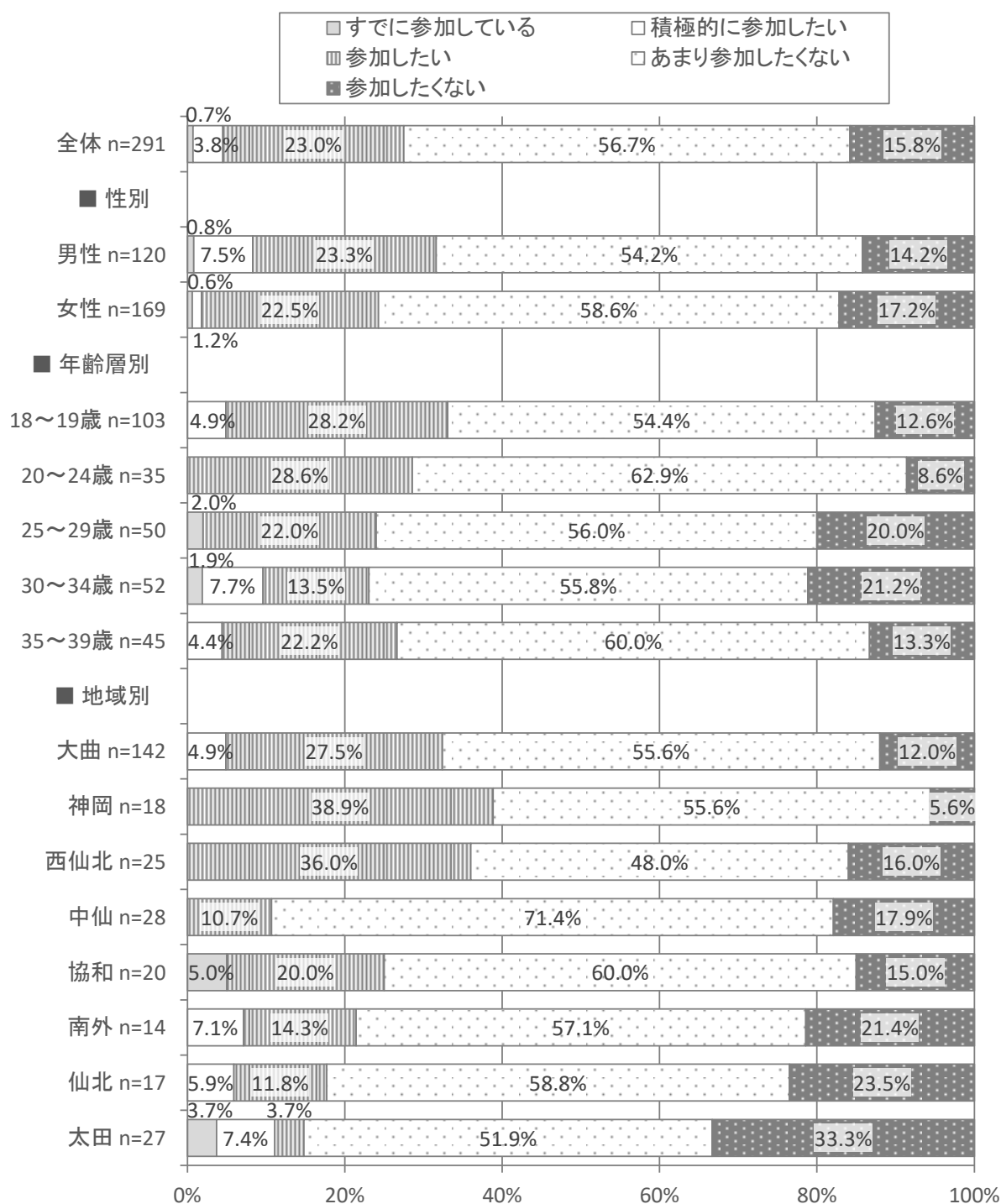
- 全体では、「あまり参加したくない」の割合が 43.1%で最も高く、「参加したくない」を合わせると 56.9%となっており、6割近くを占めている。
- 性別で見ると、男性では「積極的に参加したい」の割合が高くなっており、「参加したくない」の割合が低くなっている。
- 年齢層別で見ると、「すでに参加している」「積極的に参加したい」「参加したい」を合わせた割合は年齢層が上がるにつれて減少する傾向となっている。「あまり参加したくない」と「参加したくない」を合わせた割合は、25～29 歳以上で高くなっており、いずれも 6 割を超えている。
- 地域別で見ると、「すでに参加している」「積極的に参加したい」「参加したい」を合わせた割合は大曲・神岡地域で高く、これ以外の地域では「あまり参加したくない」と「参加したくない」を合わせた割合が高くなっており、仙北地域では 76.4%となっている。また、「参加したくない」の割合は協和・仙北・太田地域で高く、2 割以上を占めている。

■「意見を述べる機会」と「まちづくり活動」の比較

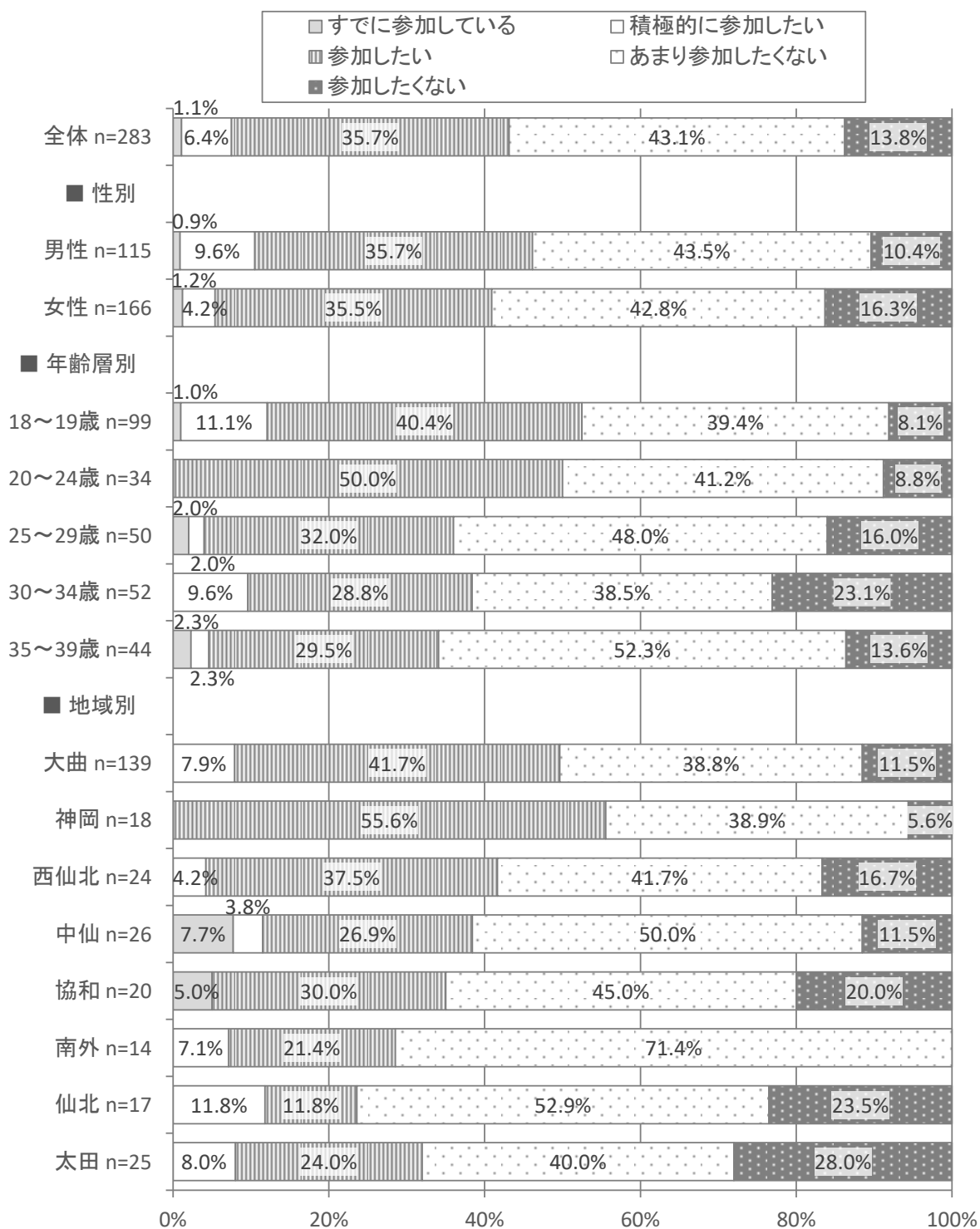
- 全体的に、「すでに参加している」「積極的に参加したい」「参加したくない」の割合は同程度となっているが、意見を述べる機会では「参加したい」の割合が低く、「あまり参加したくない」の割合は高くなっている。

- 属性別の各項目における回答割合の傾向は、概ね同様となっている。
 - 地域別で見ると、中仙地域の「あまり参加したくない」と「参加したくない」を合わせた割合は、意見を述べる機会では、89.3%で最も高いが、まちづくり活動では、61.5%で比較的低くなっている。
- また、南外地域の「参加したくない」の割合は、意見を述べる機会では、比較的高いが、まちづくり活動では、0%となっている。

■意見を述べる機会



■まちづくり活動

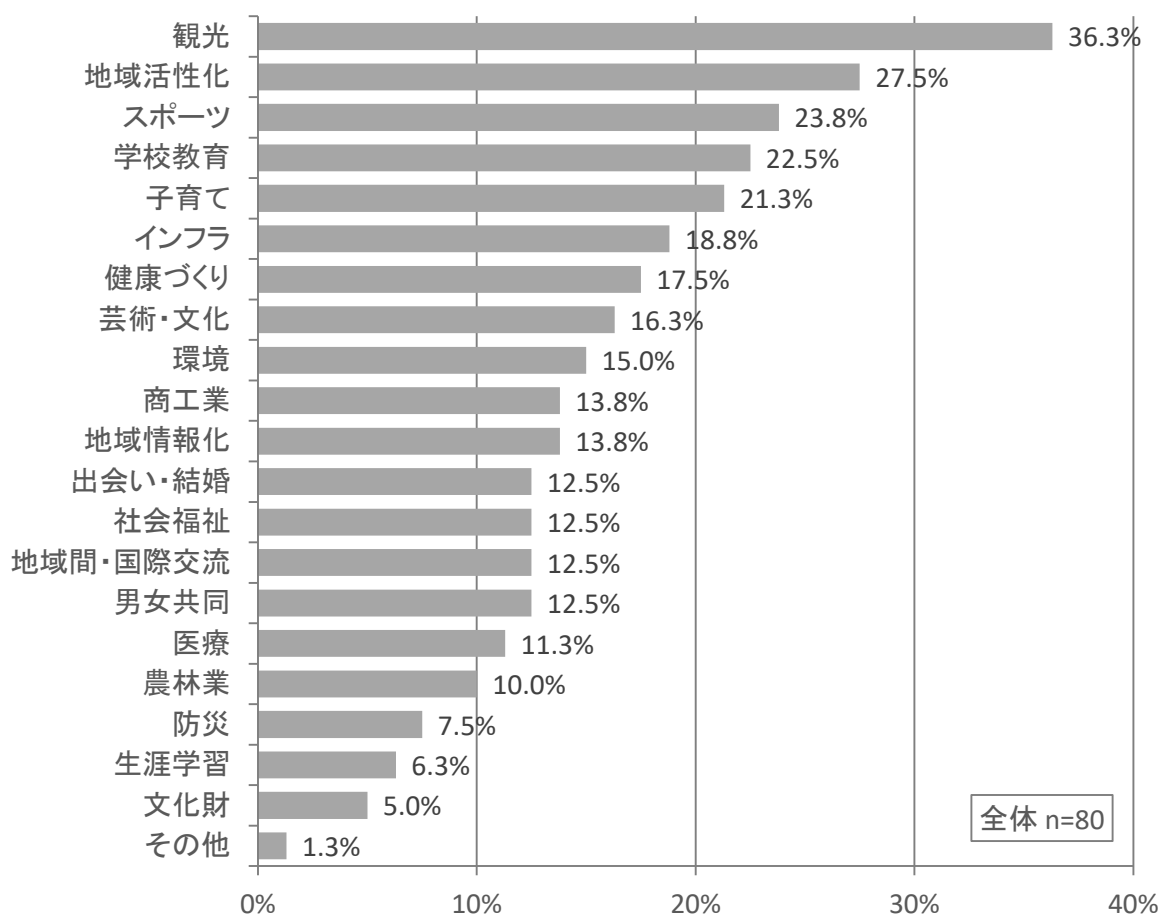


【問 15】具体的にどのような分野で参加していますか。または、参加したいと思いますか。

(問 14 で「1. すでに参加している」～「3. 参加したい」と回答した方)

- 意見を述べる機会、まちづくり活動ともに上位3項目が同じであり、どちらも「観光」が突出し、次いで「地域活性化」「スポーツ」となっている。
- 意見を述べる機会では、「学校教育」「インフラ」「地域情報化」がまちづくり活動と比較して上位に挙がっており、まちづくり活動では、「芸術・文化」「社会福祉」「医療」「農林業」が意見を述べる機会と比較して上位に挙がっている。
- まちづくり活動では、上位5番目から「子育て」「健康づくり」「社会福祉」「医療」「出会い・結婚」と続き、出会い・結婚・子育てや健康・福祉関係の項目が上位となっており、意見を述べる機会と比較しても上位に挙がっている。

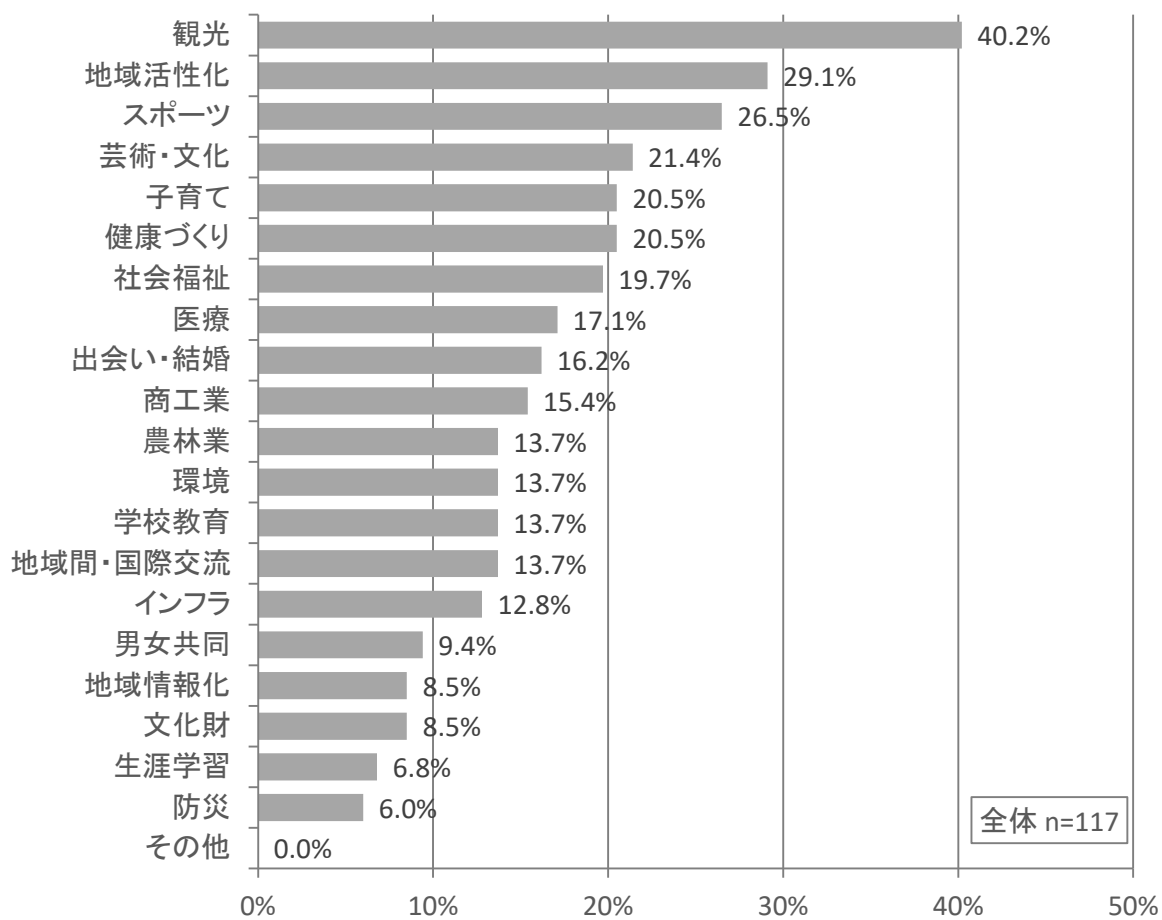
■意見を述べる機会



■その他の回答

- 経済（10代／男性／大曲）

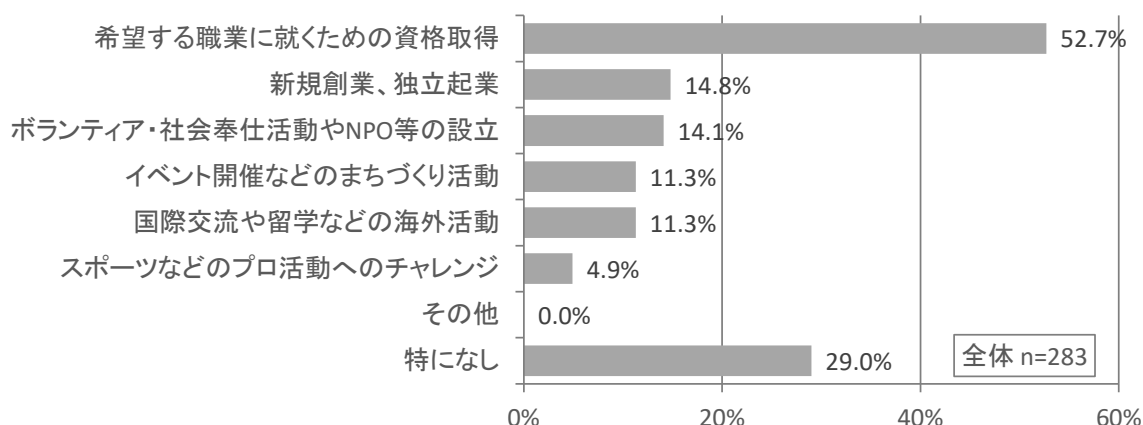
■まちづくり活動



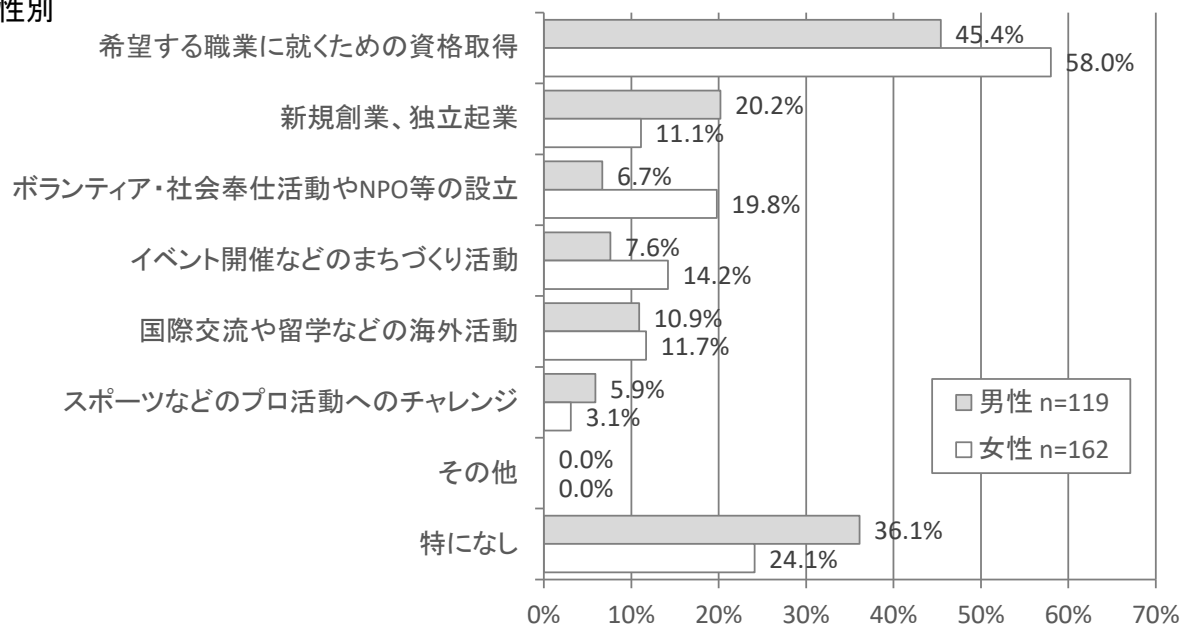
【問 16】あなたが今後チャレンジしてみたい、または新たに始めてみたいと思うことはどのようなことですか。（複数回答可）

- 全体では、「希望する職業に就くための資格取得」の割合が 52.7%で突出し、次いで「特になし」が 29.0%となっており、「新規創業、独立起業」が 14.8%、「ボランティア・社会奉仕活動や NPO 等の設立」が 14.1%と続いている。
- 性別で見ると、全体と概ね同様の傾向となっているが、男性では「新規創業、独立起業」、女性では「ボランティア・社会奉仕活動や NPO 等の設立」の割合が、「特になし」を除くと 2 番目に高くなっており、異性との差も比較的大きくなっている。
- 年齢層別で見ると、「希望する職業に就くための資格取得」の割合は年齢層が下がるにつれて、「特になし」は年齢層が上がるにつれて増加しており、25～29 歳以下では、「希望する職業に就くための資格取得」の割合が最も高くなっているが、35～39 歳では「特になし」の割合が最も高くなっている。30～34 歳では「希望する職業に就くための資格取得」と「特になし」が同率で最も高くなっている。
「新規創業、独立起業」の割合は、20～24 歳以上では 2 割前後となっているが、18～19 歳では 6.9%で低くなっている。また、「国際交流や留学などの海外活動」「スポーツなどのプロ活動へのチャレンジ」の割合は 20～24 歳以下で高くなっている。
- 結婚別で見ると、既婚者では「特になし」、独身者では「希望する職業に就くための資格取得」の割合が最も高くなっている。また、既婚者は独身者より「新規創業、独立起業」「特になし」の割合が高くなっている。

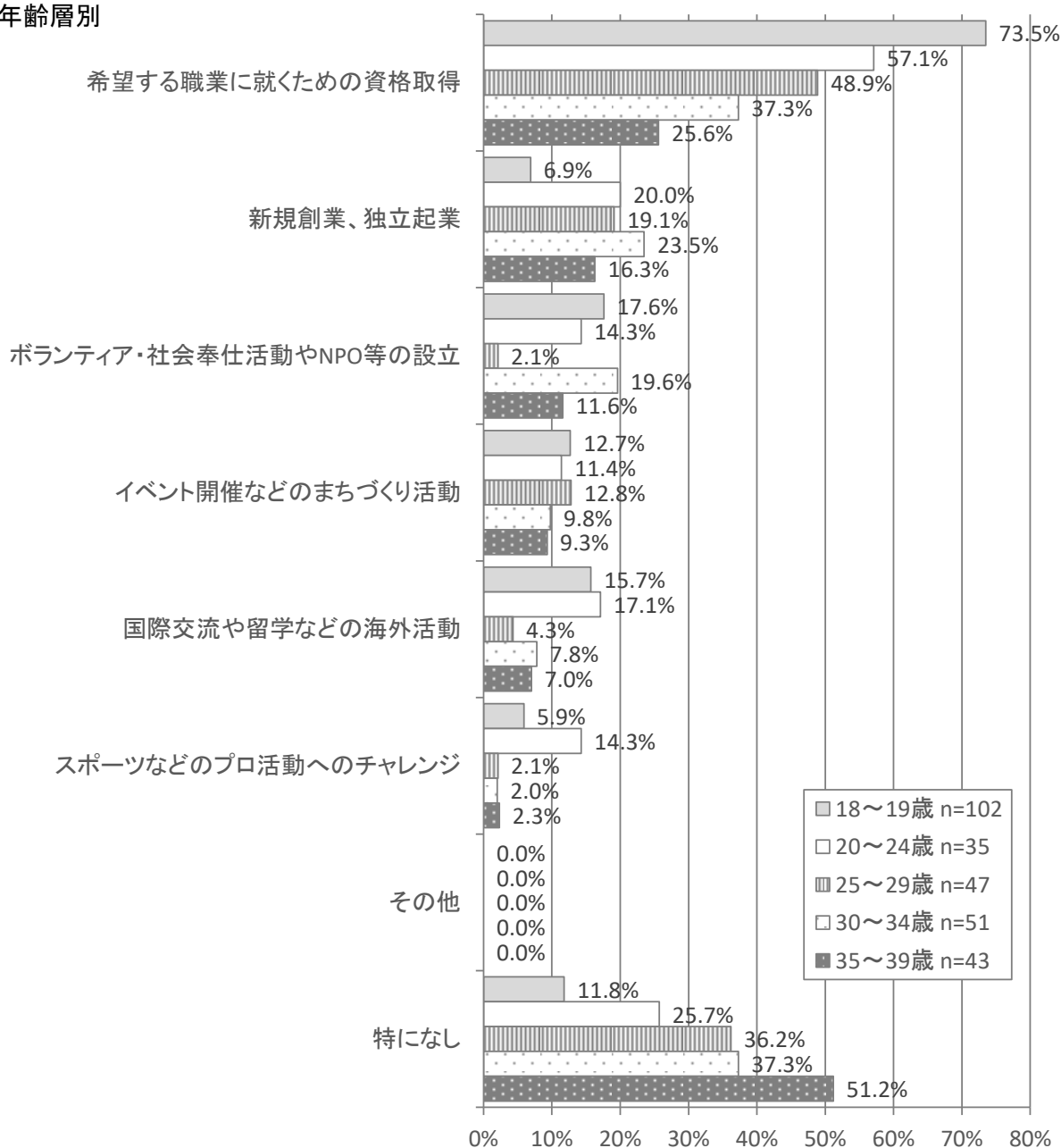
■全体



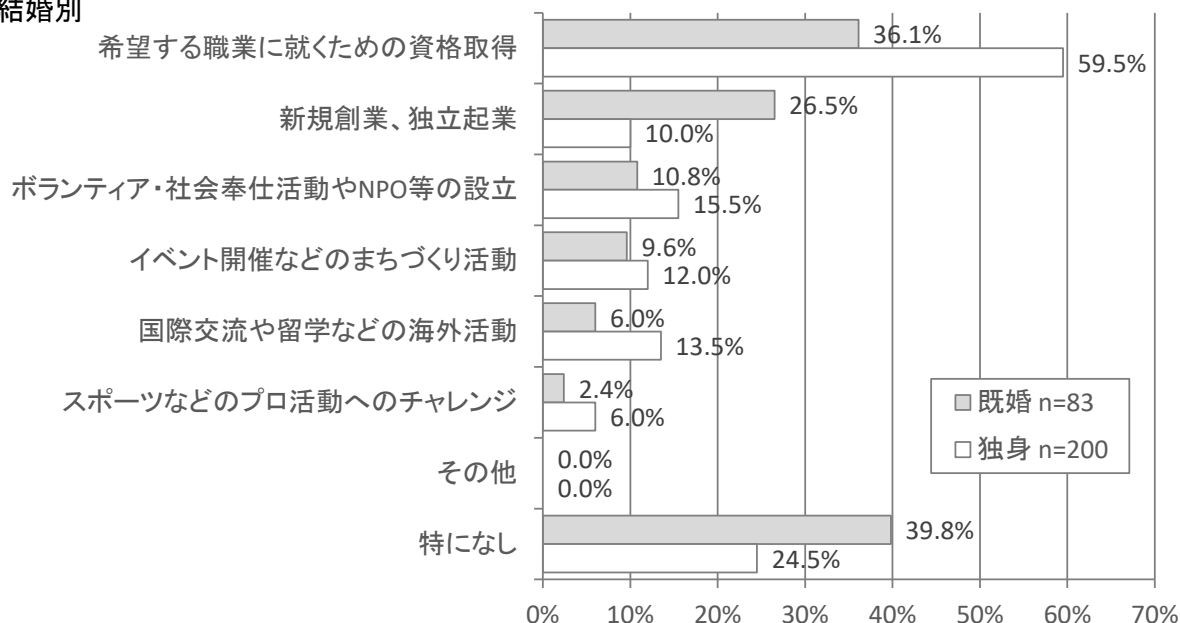
■性別



■年齢層別



■結婚別

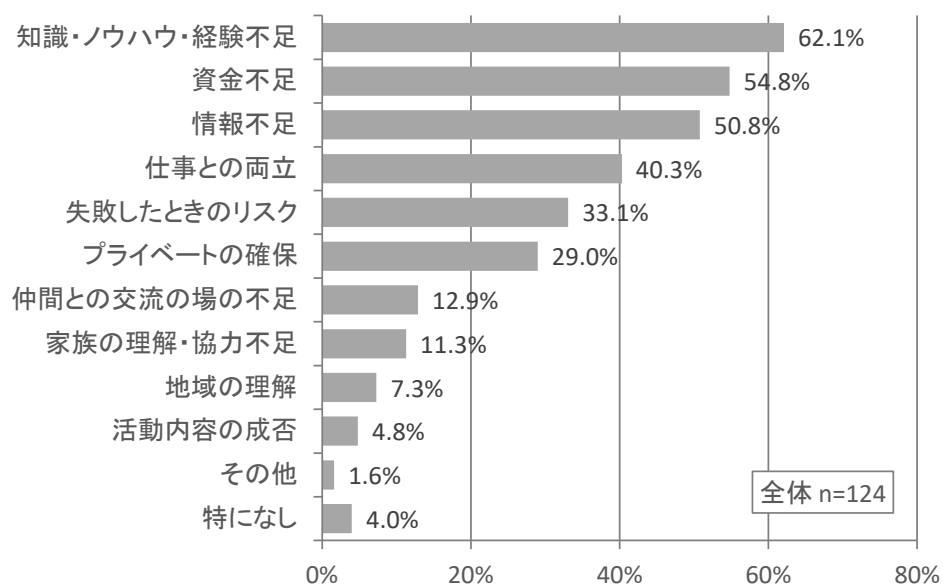


【問 17】 問 16 のチャレンジや新たなことを始めるにあたり、不安なことや障壁となると考えられるものはどのようなことですか。

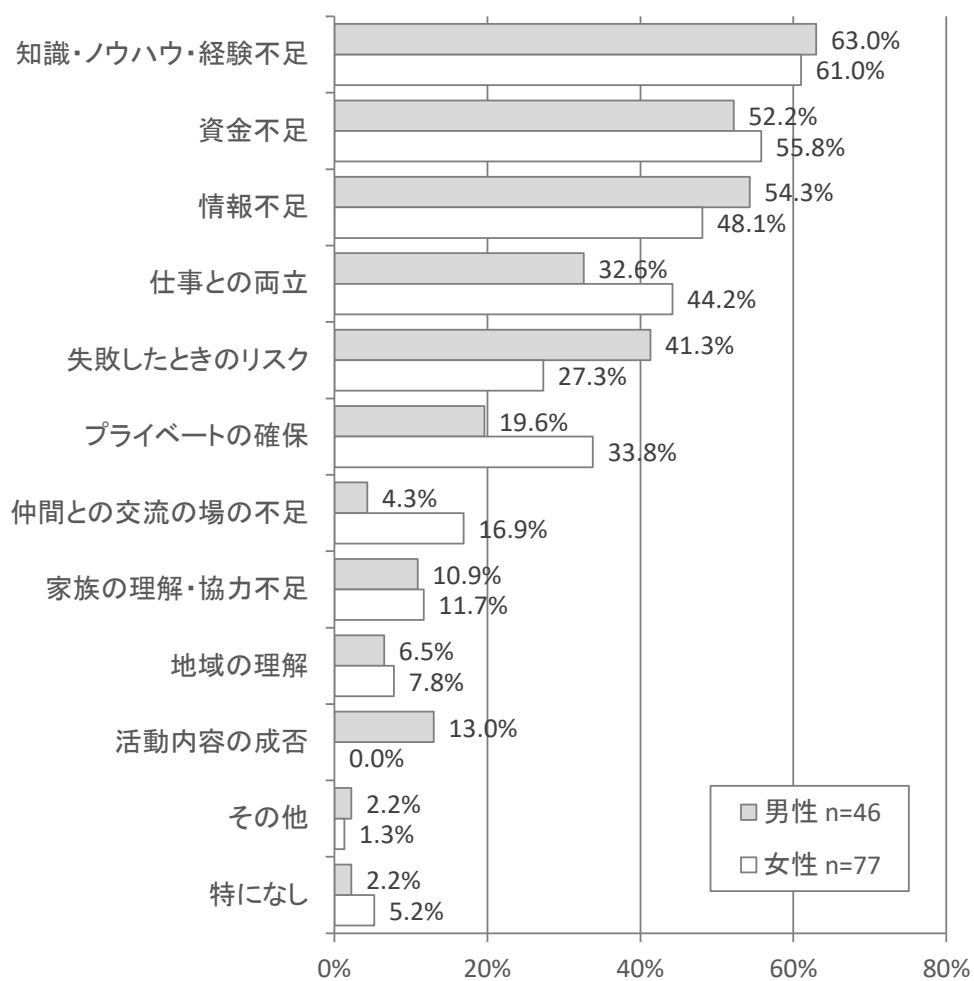
(問 16 で「8. 特になし」以外を選択した方)

- 全体では、「知識・ノウハウ・経験不足」の割合が 62.1% で最も高く、次いで「資金不足」が 54.8%、「情報不足」が 50.8% となっている。
- 性別で見ると、全体と概ね同様の傾向となっており、男女とも「知識・ノウハウ・経験不足」の割合が最も高くなっている。また、男性では「失敗したときのリスク」「活動内容の成否」、女性では「仕事との両立」「プライベートの確保」「仲間との交流の場の不足」の割合が高く、異性との差が大きくなっている。
- 年齢層別で見ると、「知識・ノウハウ・経験不足」「プライベートの確保」「仲間との交流の場の不足」「家族の理解・協力不足」の割合は、30～34 歳以上で高くなっている。また、「仕事との両立」「失敗したときのリスク」の割合は、30～34 歳までは年齢層が上がるにつれて増加しており、35～39 歳では大きく減少している。
- 結婚別で見ると、既婚者では「資金不足」、独身者では「知識・ノウハウ・経験不足」の割合が最も高くなっている。また、「資金不足」「仕事との両立」「失敗したときのリスク」「家族の理解・協力不足」の割合は既婚者が高く、独身者との差が比較的大きくなっている。

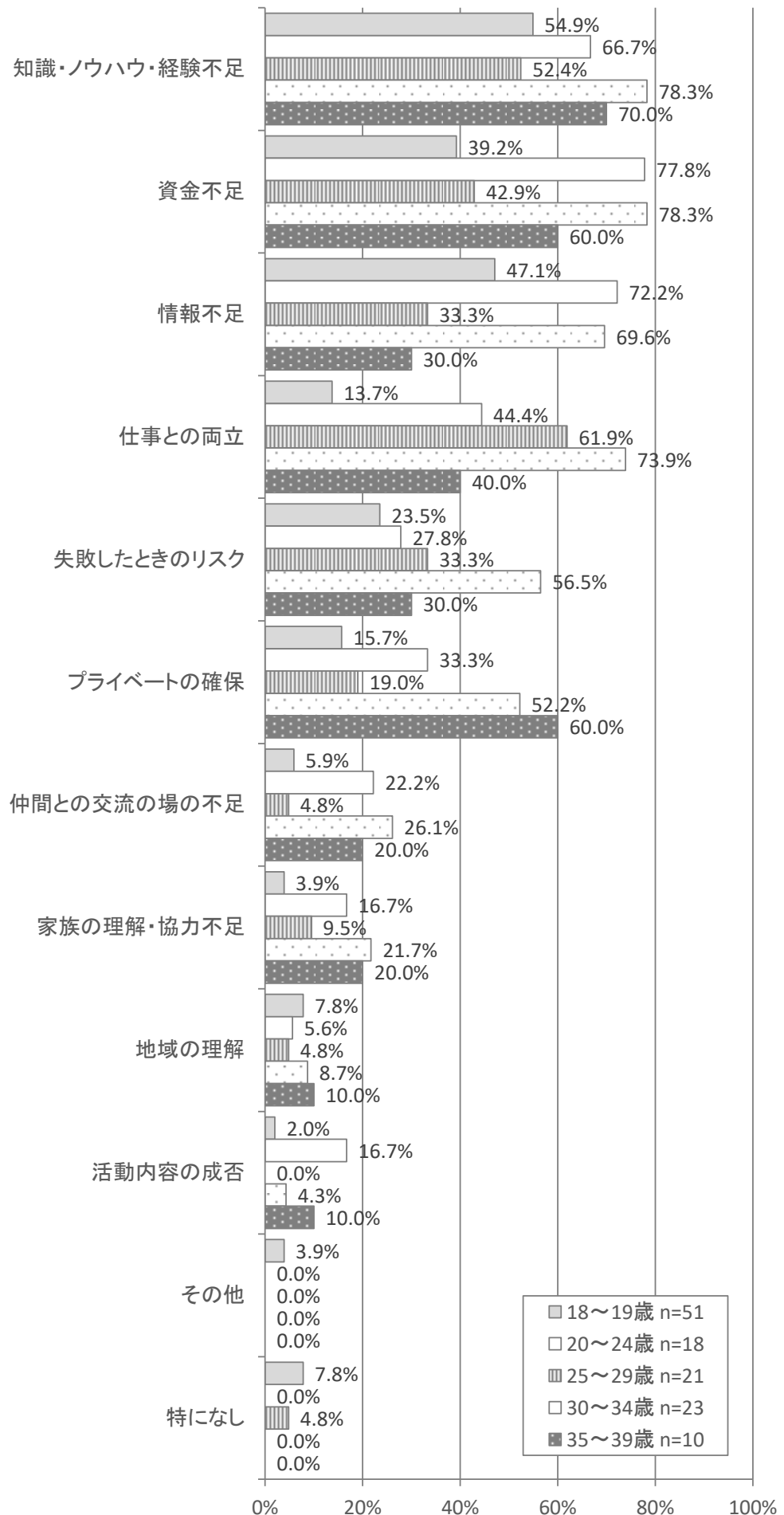
■全体



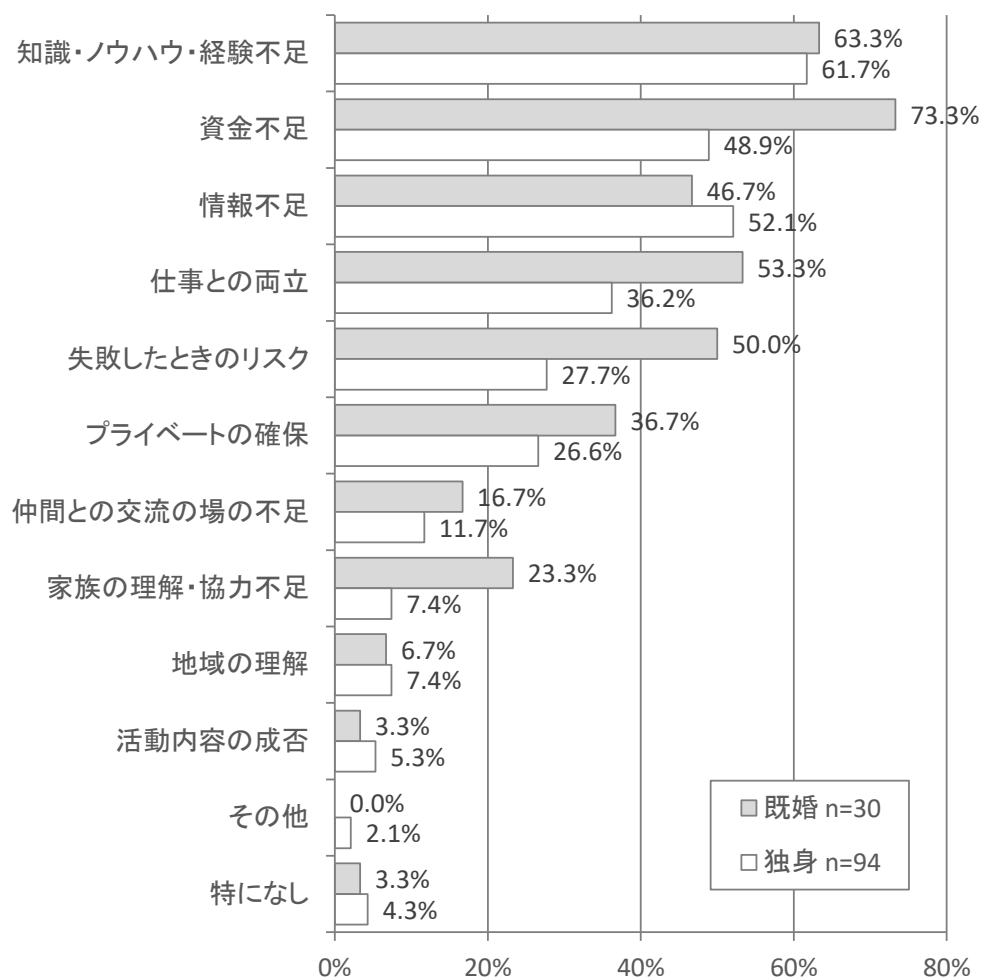
■性別



■年齢層別



■結婚別



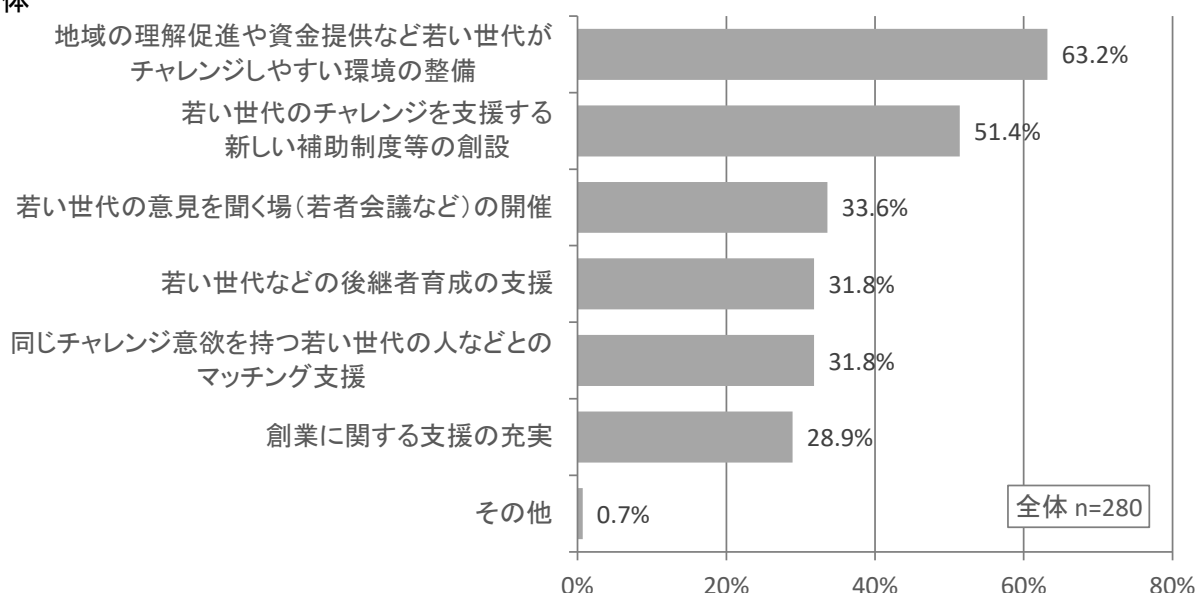
■その他の回答

- 資格取得のための試験会場不足（10代／男性／大曲）
- 時間（10代／女性／西仙北）

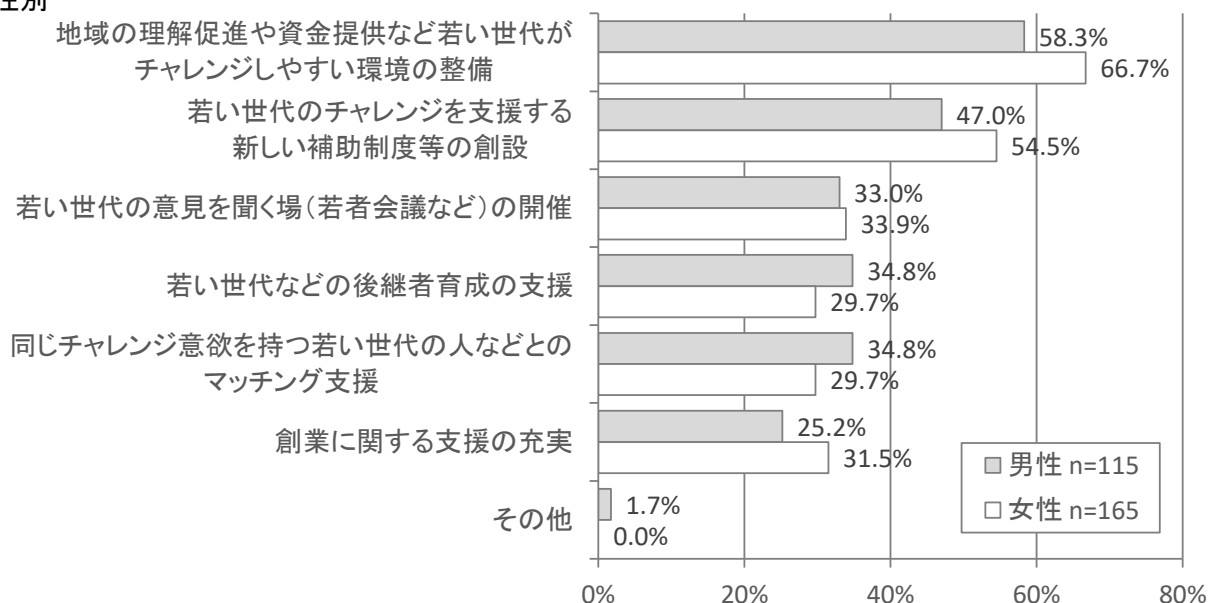
【問 18】若い世代のチャレンジを応援するための支援や取組としてどのようなものが必要だと思いますか。（3つまで）

- 全体では、「地域の理解促進や資金提供など若い世代がチャレンジしやすい環境の整備」の割合が 63.2%で最も高く、次いで「若い世代のチャレンジを支援する新しい補助制度等の創設」が 51.4%となっており、上位 2 項目の回答が突出している。
- 性別で見ると、全体と同様の傾向となっており、大きな差異は見られない。
- 年齢層別で見ると、「地域の理解促進や資金提供など若い世代がチャレンジしやすい環境の整備」「若い世代などの後継者育成の支援」の割合は、25～29 歳以上で高くなっている。また、「若い世代のチャレンジを支援する新しい補助制度等の創設」は 30～34 歳までは年齢層が上がるにつれて減少しているが、35～39 歳では大きく増加し、59.1%で最も高くなっている。

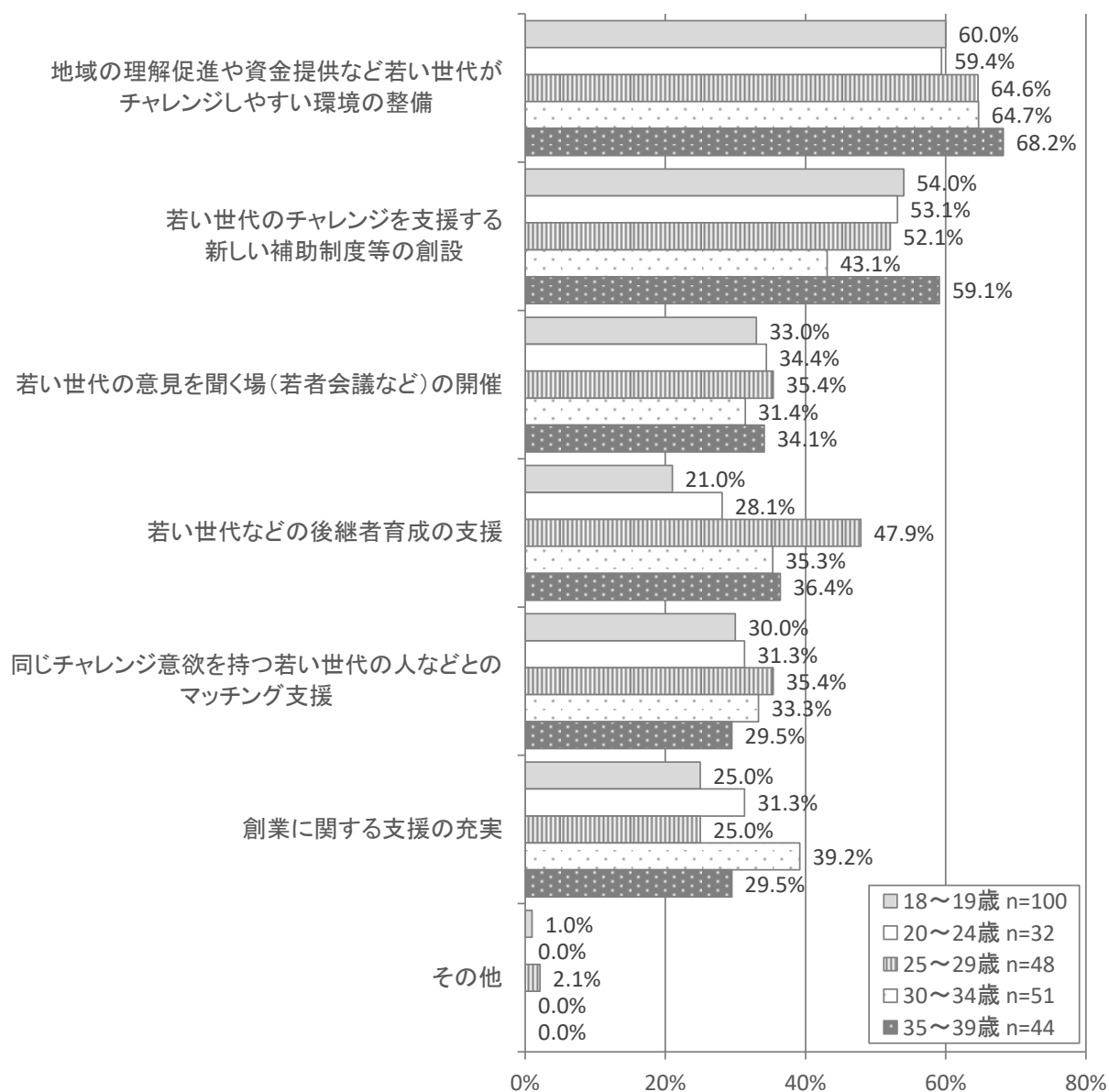
■全体



■性別



■年齢層別



■その他の回答

- 若い世代が他県に出ていかない取り組み (20代/男性/大曲)
- 医科大学を誘致する (10代/男性/大曲)

【問 19】若い世代のチャレンジへの支援についてご意見やご要望がありましたらご記入ください。（自由記述形式）

※主要な回答を抜粋しています

□商工業、雇用・就労関係について

- ・ どんどん新しい会社を起業してほしい。(30 代／女性／大曲／独身)
- ・ 支援を考えることは良いことだと思います。チャレンジしようと思う前に、大仙市を離れてしまう若い世代が多いのでは。賃金格差をなくすことや高卒での就職先の充実なども考えた方がよいと思います。(40 代／女性／大曲／既婚)
- ・ 自分は将来、PTとして地元就職をしたい。地元就職を希望する若者を支援してほしい。(10 代／女性／神岡／独身)
- ・ 大仙市のような町での起業を支えたい、観光業や商工業などを発展させたいと考えてる人は県内外に沢山いると思います。今大仙市に必要なのはそういった方々と市を繋げる場所、窓口のような施設だと思います。その施設の存在を発信することで若者の事業を支えることができます。(10 代／男性／仙北／独身)
- ・ 地方に就職する方や、地方で生活する方にも支援する必要があると思います。aターンuターンとは言われていますが、秋田には働きたい職業がない、できないから帰ってこない若者が多い気がします。私もその1人です。田んぼや畑を引き継ぐ人も段々減っていて殺風景になってきていると感じました。帰ってきたくるような策はありませんか。(10 代／女性／大曲／独身)
- ・ 後継者がおらず、廃業予定の社長と、その会社を引き継ぎながらも、自分で事業をしていきたい人をつなげるような機会を設けるというのはどうでしょうか。物件、設備、ノウハウを得ることで、若い人もチャレンジしやすいと思います。(30 代／女性／大曲／既婚)
- ・ ものづくりをしている人たちが市内外に商品を PR できる機会を増やす。商品をつくることだけではなく、経営や営業に関してもサポートや知識を得る機会を増やす。(20 代／女性／大曲／独身)
- ・ 起業した人の支援を充実させる。(10 代／男性／協和／独身)

□経済的支援について

- ・ 親の財政経済困難により第一志望の大学に行けなかった友達がいる。奨学金の支援を充実させることで若い人達の可能性を広げてほしい。(10 代／女性／西仙北／独身)
- ・ チャレンジがしやすいように資金の補助や環境を整えてほしい。また、周りの理解も必要だと思うから理解されるようにしてほしい。(10 代／女性／西仙北／独身)
- ・ 資金支援(30 代／女性／太田／独身)
- ・ 留学するときのお金の補助をしてほしいです。(10 代／女性／大曲／独身)

□その他

- ・ 未経験や知識が少ない人でも始められやすい支援を行ってほしい。(20 代／女性／大曲／独身)
- ・ 大学や専門学校を誘致することによって若い人が集まる街になり、地域の商業の活性化につながると考える。(10 代／女性／神岡／独身)
- ・ チャレンジ支援をうまくアピールして、若い世代の人口流失を減少させるようにしないと、どんどん若者がいなくなる一方だと思う。(30 代／女性／西仙北／既婚)
- ・ 秋田県のよい所を確認、再確認、発見をするためにも、秋田県に入りたいと思う人を(コロナ禍)すべて無料で PCR 検査してほしい。(10 代／女性／大曲／独身)

- ・ 大仙市から夢の為に市外や県外へ出て大学、専門学校に通う人への支援をお願いしたいです。若い人向けのプロジェクト等もあれば市外、県外へ出る人が減ると思います。(10代／女性／大曲／独身)
 - ・ 伝統にとらわれすぎない、自分らしくあれる街であれば人口は増えると思う。職業は自己選択できるよう、公的に、若者の意志の尊重をするべき。経済的には、高齢者ばかりではなく、若者へ支援をするべき。(20代／女性／大曲／既婚)
 - ・ お祭りなど伝統行事の継承や存続、そして若い世代の盛り上げようとする試みへの支援を出来るようにしてほしいです。(30代／女性／西仙北／独身)
 - ・ スポーツを頑張る若い世代が世界レベルで戦える環境を整えてあげたい。(30代／男性／大曲／既婚)
 - ・ クリエイティブな事業案が若者から届いて担当者が少しでも興味を持って動いたなら一蓮托生。最後まで見届けて貰いたい。やる気の有る若者の心を折ることの無い対応や心を鍛える叱咤激励をヨロシクお願いします。(30代／男性／西仙北／既婚)
 - ・ 若い世代が定着しないのは、将来に不安があるからではと思う。ただでさえ安い賃金に、遊ぶ場所もほとんどない。進学するにしても高校以降は市内から出ないといけない。この時点で最初から人口流出のきっかけを作っている。田舎だから、と諦めてしまう。せっかく起業しても成功するのはひとにぎりの印象。就農するにしても出来上がったコミュニティに入るのは気が引ける。など。どうも、若者に対しての支援がいまいちを感じる。支援がうわべだけになってはいけない。よく広報に若い世代のインタビューが載っているが、載せておわり、になっていないか。ぜひその後も取材してほしい。その後仕事を続けていても、やめていたとしても。何が原因でよかった、悪かったなど包み隠さず知る機会がほしい。後継者育成支援については、小中高の授業に組み込んでみるというのはどうか。小さいうちから触れさせることで、地元産業に興味を持つ機会になるのでは。お金がない、頼れる人がいない、場所がない、魅力がない、出会いがない、から楽しくない。思いつくだけでもこれだけ出てきた。この際進学、就職、結婚、子育ては市で全て保障する、ぐらいの気持ちでやってほしい。大仙市に住みたい残りたいと思う人が増えないかぎり、状況はずっと変わらない。(20代／女性／大曲／独身)
 - ・ 知識を付けるための研修やセミナー、ベテランの方々からのバックアップ体制、金銭的な補助(補助を受けるためには審査や経過報告を必要とするなど)が必要だと思う。(30代／男性／大曲／既婚)
 - ・ 若い方のチャレンジへの支援を積極的に行なっていただきたい(20代／男性／神岡／独身)
 - ・ 現代社会では、10代から60代もしくは70代の方も働く時代です。どうしても若い考えと、経験を積んできた年配の方々とは考え方が違います。会社も子育てもその時代に合った考え方をしなければうまくいかない世の中です。若い世代の意見交換や、若い世代と年配の世代を集めた意見交換会など多く設ければ何が足りないか、日頃若い社員、若者が言えない事も他の企業の若い世代から意見を聞くだけで、今現在経営者として頑張ってる年配の経営者も何か感じる事が出てくると思います。(30代／女性／大曲／既婚)
 - ・ 市政がなにをしているかが分からないのが多数だと思う。圧倒的に若者とのコミュニケーションと、PR力が足りない。広報とホームページに載せれば良いと思ってます？ほとんど見ません。(30代／男性／大曲／既婚)
 - ・ 支援策を立てたらその支援策のPR方法を積極的にしないと若者は気が付かないと思います。正直、市の広報を真面目に読んでいる人は私の両親世代でも少ないと思います。なので、SNSで広告を出したり、大仙市のYouTubeチャンネルで政策の紹介動画を投稿したりすれば良いと思います。推測ですが参考にしてみてください。(10代／女性／太田／独身)
- 意見を聞く場やマッチング支援などは、分野で分けて参加出来たらいいなと思います。開催する側も、同世代の方がいてくれると参加しやすいし、話しやすいと思います。(20代／女性／神岡／独身)

- 東京などの大都市部から県内の大学に進学してきた私の周囲の若者からは、「秋田はいいところで旅行したいが、住むつもりはない」という声が多く聞かれる。大卒者が県外に流出してしまうという傾向はこれまでもよく見られていたが、人口減少が極めて深刻化している近年では高卒者が良い就職先を求めて県外に流出し、地元に着定しなくなっていることを、行政は深刻な課題として捉えるべきではないか。この問題は、すなわち、「若い世代のチャレンジへの支援」以前にその支援の対象となる若い世代が急激に減っているということだ。これはまさに約 15 年の市政が十分な対策を講じて来れなかったことを反映している。若者が定着しない原因としてよく挙げられるのは、低賃金であることや、仕事の種類が少ないこと、大都市に比べ娯楽が少ないことなどだ。これらの指摘は全て正しいと思う。一方で、これらの問題に対処するには、市だけでできることはおそらく限られるだろう。そのため、周辺の市町村や県、国などとも連携して取り組んでいくことが必要だ。問題解決のためには創意工夫が必要だ。そこで提案だが、なぜ若者が定着しないのかをこれまで以上に深く探るために、大仙市から県外に出ていってしまった若者に対してもアンケート調査を行い、原因を根本的に問い直してみてもどうだろうか。調査結果から、大仙市が独自で創意工夫できる部分が発見できるのではないだろうか。さらに指摘しておきたいのは、若い世代がチャレンジしやすい環境をつくるためには、まずは大仙市がさまざまなことにチャレンジすべきだということだ。大仙市の財政は厳しい状況にある。しかし、大仙市が敢えて(税金を大切に使えるという指摘はあるだろうが)失敗を恐れずにさまざまな若者向けの事業を行っていくことが若い世代のチャレンジへのいちばんの支援になるだろう。私が具体的に大仙市がどのようなチャレンジをするべきか提案したいのは、まず、コンピュータ、サイバー関連に対して可能な限りの投資を行うことだ。国主導で学校でのデジタル化などが進められているが、それだけでは不十分だ。例えば、現在では、ビッグデータを分析して科学的に政策や事業の実行の是非を提言できるデータサイエンティストの育成、活用が求められている。こうした人材を育成できる場所を市が中心となって提供すべきではないか。そのためには大学や IT 関連会社との連携も必要だ。また、市自身もこうした人材を活用して、より科学的に政策評価を行うことで、より効率的に行政を運営できるようになるだろう。加えて、アマゾン・クラウド・サービス(AWS)などのクラウドサービスを活用して、行政の効率化に積極的に努めていくべきだ(行政の効率化は合理的に進めていくべきで、安易な人員削減、非正規化には強く反対する)。AWS については不信感を持つかもしれないが、日本政府も AWS を採用した基盤の導入を始めている。こうした先進的なデジタル化の取り組みを通じて、IT ベンチャーなどの企業誘致を進めるべきだ。インターネット環境さえ整っていればどこでも利用できるということと、コロナ禍で地方志向が強まっているという点で、まさに IT は最後のチャンスと言えるだろう。ただ待っているだけではこうした企業が大仙市に来ることは絶対にない。大仙市が思い切ったチャレンジを行うことで、大仙市は IT 先進自治体になることで、若者がチャレンジしやすい環境になるだろう。これを若い世代のチャレンジへの支援の一つとして提案したい。大仙市が IT に取り組むことは、ひいては、自動運転車の導入や、大曲の花火を VR(バーチャルリアリティ)化してアピールするなど、さまざまな事業にも役立つので全市民の利益になるだろう。もう一つの大仙市のチャレンジとして、エネルギー関連産業の振興を提案したい。残念ながら、大仙市は風力発電のポテンシャルは小さいものの、秋田県沿岸部ではその導入が大規模に進められている。そこで、大仙市に、風力発電関連の部品製造メーカーや、発電機の整備業者などを誘致することを提案したい。これは、将来性のある産業というだけではなく、若い世代の就職先の提供にも繋がる。こうした大仙市のチャレンジが若い世代に魅力を感じさせるものであり、彼らに、大仙市でチャレンジしたい、という気持ちを引き起こすものになるだろう。(20 代／男性／神岡／独身)
- 私は大仙市の中学生海外派遣事業でオーストラリアを訪れました。その時に学んだことをより深く学び、故郷に恩返ししたいと思い大学進学等の進路に大きな影響を与えました。中高生が海外に行くというのは進路や将来を考えるうえで多大な影響を与えるのではないかと思います。(10 代／女性／協和／独身)

- ・ ただでさえ財源がなく、医療費も圧迫してくるのに、若者へのチャレンジ支援が本当に実現できるのか。これならば市民復興税等を創設するしかない。というように、喧嘩を売るスタイルで市民に意見を募ればよいと思う。クレームが一番率直な意見だから。まずは市政側の目標と課題点を提示して、クレームせざるを得ないような挑発的な文章で意見を募る方が評判になるのでは。経済の状態と人口はリンクしているので、まずは経済を活性化させるのが大事。一番は企業誘致。秋田市よりかなり法人税・住民税を安くする。これは秋田市にある企業を奪うのが目的。もともと秋田に来ようと思っている企業を他市から奪うのもある。企業誘致に関しては大曲地区が一番効果がある。これと同時進行で大仙市内のガソリンスタンドに補助金を出し、「流通業者に限り」、ガソリン価格を常に他市より安くするのがよい。秋田が経済的に発展するためには秋田県民の足である車を優遇するのがよいと思う。上記の案で何か参考にできるものがあれば幸いです。
追記) 広告・宣伝というのはものすごく大事です。大仙市のふるさと納税の返礼品も、きちんとマーケティング会社に依頼して宣伝したほうが良いです。お米はすでに有名ですが、お酒に関しては知らない人がほとんどでは。ネット広告が一番手っ取り早いので、検討するのも大いにアリかと。(20代／男性／協和／独身)

◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

- 大仙市に住んでいてよかったと思うことを伺ったところ、「自然が豊か」の割合が最も高く、次いで「買い物などの日常生活が便利」となっており、自然との調和が図られた日常生活に便利なまちと認識されているものと思われる。また、結婚別で見ると、全体では8番目に回答割合の高い「子育て支援が充実している」が、既婚者では3番目に高くなっており、独身者と比較しても高い割合となっている。子育て関係の支援については、県内の自治体と比較の上、令和2年度からさらなる充実に努めており、その結果が現れているものと考えられる。

一方で、大仙市に住んでいて困ったと思うこと（悪い点）を伺ったところ、結婚別で見ると、既婚者では「子どもの遊び場や公園などが充実していない」の割合が最も高く、さらに、「子育て支援が充実していない」も含め、独身者と比べて割合が高くなっている。現状の子育てに関する支援については、満足してはいるものの、さらなる充実に望んでいることが伺える。子育てに関する支援は若い世代が最も重要視している分野の一つであることから、子育て世帯等のニーズを把握しながら、さらなる充実に向けた検討が必要である。

- 理想の就職方法について伺ったところ、「会社など事業所の被雇用者として働く」の割合が約8割で最も高くなっているが、「自ら起業して、事業主として働く」も一定数おり、その方に起業の実施状況を伺ったところ、「起業するかどうか悩んでいる」の割合が最も高くなっている。悩みについては、資金的な問題や周囲の理解など、様々な要因が考えられるが、商工団体と連携した伴走支援の充実や、現在実施している創業支援制度の周知を一層強化するとともに、所要の拡充についても検討を行う必要がある。
- 理想の雇用形態について伺ったところ、「正社員・職員として会社等に所属しながら、副業も行う」が27.2%となっているほか、理想の働き方では、「勤務時間を選べる環境で会社等に出勤し働く」が46.0%、「リモートワークなどで自宅や地元、地方で働く」が12.6%となっており、多様な雇用形態や働き方を理想的と考える方が多いことが伺える。働き方改革や新型コロナウイルス感染症の影響によるデジタル化の加速化に伴い、こうした雇用形態や

働き方が徐々に浸透してきていることも踏まえ、行政としても働きやすい職場環境の整備に向けた支援のあり方について検討が必要であると考えます。

- 市のまちづくりや地域の活動に関して意見を述べる機会や参加する機会があれば参加したいか伺ったところ、「すでに参加している」「積極的に参加したい」「参加したい」を合わせた割合は、意見を述べる機会では27.5%、まちづくり活動（参加する機会）では43.2%となっており、意見を述べる機会よりまちづくり活動へ参加したいと考えている方が多い結果となっている。

また、具体的にどのような分野で参加しているか、または参加したいか伺ったところ、どちらも「観光」が突出しており、次いで「地域活性化」「スポーツ」の順であった。まちづくりの主役であり主体である市民との協働のまちづくりを進めるため、様々な場面において、参加意欲のある市民の方が意見を述べる機会や、まちづくり活動へ参加する機会を創出していく必要がある。一方で、参加したくないと回答した方も含め、広く意見を伺い、市政へ反映させることも重要であり、このようなアンケート調査なども、より良い市政運営を行っていく上で重要な取組であると捉えている。

- 今後チャレンジしてみたい、または新たに始めてみたいと思うことについて伺ったところ、「希望する職業に就くための資格取得」の割合が突出して高い結果となっている。また、そのチャレンジや新たなことを始めるにあたり、不安なことや障壁となると考えられるものについて伺ったところ、「知識・ノウハウ・経験不足」に次いで、「資金不足」「情報不足」が続いている。現在実施している資格取得支援制度の周知を一層強化するとともに、所要の拡充についても検討が必要であり、資格取得に関する情報発信の強化も必要であると考えます。
- 若い世代のチャレンジを応援するための支援や取組としてどのようなものが必要か伺ったところ、「地域の理解促進や資金提供など若い世代がチャレンジしやすい環境の整備」「若い世代のチャレンジを支援する新しい補助制度等の創設」の順となっており、この2項目が突出していることから、既存の関連施策の見直しやチャレンジしやすい環境づくりに加え、必要に応じて新しい支援制度の創設なども検討していく必要がある。
- こうしたことを踏まえ、市民や企業の皆さんの理解と協力を得ながら、夢や希望、目標に向かってチャレンジする若い世代を「地域を挙げて応援する」環境づくりを進めるとともに、若い世代が特に必要としている子育てや起業等の支援の充実などに取り組み、若い世代が住み続けたいと思うような魅力あるまちづくりを進めていく。若い世代のチャレンジへ支援することは若い世代の地元定着につながるため、若い世代の声を市政に反映させながら、市が直面する人口減少や少子高齢化、地域の担い手不足、活力の衰退などの解決に向け、着実に取組を進めていく必要がある。

4 自由意見

4 自由意見

令和3年度「市民による市政評価」、令和3年度「市民による個別事業評価（若い世代のチャレンジについて）」の調査票に記述のあった、市政に関するご意見・ご提案などの自由意見について、主なものを分野別に掲載した。

産業分野

(1) 農林水産業について

- 農業女子を県外からたくさん呼んで、米・野菜など若い人のアイデアで加工食品も出来たら地域が楽しくなると思う。若者が活躍し、女性が活躍する市にすれば活性化する。(50代／女性／仙北)
- 大仙市は農業が主体の地域ですので、もっと農業を大切にして、広大な休耕地を活用し、リタイヤした人達が集まって、楽しく野菜等を作り、生きがいや健康を取り戻し、やがては少しばかりの収益を得られるような事ができないものかと考えています。(70代／女性／大曲)

(2) 商工業について

- プレミアム商品券は、毎年発行してほしい。(40代／男性／大曲)
- 昔ながらの体質が、まだまだ残っている感じがします。「今までやったことない」ではなく、やって。企業が新しく始めた事など、初めてしようとしている事に、もっと積極的に動いてほしい。せっかく、秋田や大仙市をアピールできるチャンスなので、県とも協力しながら力になって下さい。(50代／女性／協和)
- 若者が残れる企業誘致。横手、大館に遅れている。(60代／男性／南外)
- 秋田市や沿岸地域と比べると大企業の事業所が少ないと感じます。雇用創出の面で、小規模なスタートアップを支援することも重要ですが、まずは大企業を誘致して周辺企業の技術力向上を行ってからの方が効率的だと思います。(30代／男性／大曲)
- 働く場、特に魅力ある企業の誘致に力をいれてほしい。(40代／女性／大曲)
- 突然の花火の音に驚かされる事がたびたびあります。花火ばかりに頼らずもっと若年層が定住できる魅力ある企業誘致に力を入れてほしいです。(50代／女性／大曲)
- コロナの中での商品券や飲食券などがもっと欲しい。一人五千円分配するなど、自分で買いに行かなくてもよい制度にしてほしい。(20代／女性／大曲)
- 事業者に対してのコロナ支援が全くできていない。小規模事業者で飲食関係よりも業績悪化している業種がたくさんある事を周知していないのではないかな。他県や国が飲食関係ばかり支援する形になっているのを見てとりあえずやっている感がある。県も含め対策してほしい。(30代／男性／大曲)
- 横手市に比べ飲食店などが少なく新出店しても長続きしない。自分のように働きたい職場が隣の市だったりなぜ大仙市にはできないのかが気になる。花火ばかりを重視してもダメだと思う。全国のフランチャイズ店を出店できるように努力してほしい。そしたら市も活性化すると思う。大仙市より今は横手市の方がいいなと思うことが多い。そのような若い人を転出しないよう頑張ってもらいたい。(20代／女性／大曲)
- 企業を誘致して雇用促進を充実させてほしい(30代／男性／西仙北)

- 就職先や進学先の選択肢が少ない。秋田県に残りたいと思わない。もっと県外の企業を誘致して新たな産業を発展させるべき。(10代／男性／中仙)

(3) 花火産業構想について

- 大曲の花火で大仙市を盛り上げたいのは分かりますが、ここ数年そちらに肩入れしすぎではと思っております。正直、はなび・アムもまた新たに建設される花火絡みの建物は不要と思います。まずは今ある施設を有効活用もしくは建設するにしても無理やり大曲市内ではなく、西根やその他郊外にも場所はたくさんあります。無駄を省いて、健全な財政に出来ればと思っております。(30代／男性／仙北)
- 花火事業だけでなく他の事業の掘り起こしも必要。(70代／男性／仙北)
- コロナウイルスで気持ちが落ち込む中、大仙市ならではの花火は、とても元気が出た。しかし、毎週花火となると、どうかと思った。小さいこどもで花火の音が怖いと言っているこどももいた。(50代／女性／仙北)
- 花火大会について、もっと市民が栈敷席を確保できるようにして貰いたい。市民が楽しめる花火大会になっていない。(60代／男性／大曲)
- 今の太田市は、花火産業のみへの支援が多く、花火に関わっていない場合はどうなってもいいように感じている。市民を中心に考えていない。(50代／男性／大曲)
- コロナ禍での花火関連は全て中止にさせていただきたい。無理して行っても市民の反感を買うばかりだと思います。落ち着いてから派手にやりましょう。(40代／女性／西仙北)
- 大曲在住ですが、花火事業がどのように市の財政収益に関与しているのか、いつも不明です。花火事業者、関係者のみのメリットしか考えられません。もっと説明があっても良いのでは(50代／男性／大曲)
- 大仙市は大曲の花火で有名な場所であるが、あまりにも花火に執着しているように思える。なんでもかんでも花火、花火。経済効果もあるか分からないが、マンネリ化しているように思える。そう思うのは私だけでないような気がします。花火だけでなく他の産業にも力を入れてほしい。特に農業へ、高齢者へ。あちこち修繕はしてあるが、ほころびを縫っているような修繕です。大曲だけではなく、もっと他の地域にも、目を向けて下さい。また、もっと自分の力を発揮して下さい。コロナの為にも。(60代／女性／仙北)
- 今日、コロナが世界的に猛威を奮う中、毎週のように打ち上げられる花火にうんざりしています。笑顔で見られない。まずは直面している問題を棚上げせず取り組んでもらいたい。苦しいのは、花火屋さんだけではありません。宜しく願い致します。いつか笑顔で花火を見られるように。(30代／男性／大曲)
- 大曲の花火だけがクローズアップされていて、他地域が疲弊している感じがする。花火産業ばかりが潤っている行政指導が問題ではないのか。大仙市の未来は暗いし、老いている。(20代／性別不明／太田)
- 花火でまちおこしや観光に予算を付けるのは、この辺でやめても良いのでは。ほどほどにお願いいたします。はなび・アムをあのままでは、もったいない。何か他の行事や施設にも使用できませんか。(80代以上／女性／大曲)
- はなび・アムという立派な建物が出来ましたが、1回行けばいいかなと思ってしまう内容なので、コロナが落ち着いたら、子供向けの花火玉の講座を開くとか、花火の絵画・写真・書道コンクールを開くとか企画したらと思います。(40代／女性／大曲)
- はなび・アムの活用について、はなび・アムには3回ほど訪問しています。花火の歴史がわかりやすくまとめであり、とても良いと思います。ただ、それだけではリピートする人は増えないと思います。施設内にカフェなど飲食施設を導入するなど検討してはどうでしょうか。(20代／男性／大曲)

- 花火は大事だが傾向しすぎとを感じる時がある。大仙市民だけのお得なプランがあっても良いと思う。栈敷のエリア、価格等。(40代／男性／大曲)
- 「花火のまち」という地元に誇りを持っていますし、大変嬉しく思っていますがここ数年、花火の打ち上げの回数が多いように感じられます。年に1度だと淋しい感じですが、何十回も打ち上げられていると、花火の希少価値が薄らいでしまい「またかー」程度の認識になっています。花火に偏っている気持ちが強く、花火にばかり乗っからず、他の大仙市の良い所も前に出せるようになれば強く思います。他の地域の方からも「大仙市は花火ばかり打ち上げてるなー」という印象はある様です。素晴らしい花火なので。乱筆で申し訳ありません。(40代／女性／中仙)
- コロナで経済低下になり苦しい時期だと思いますが、花火や他交流などは今は自粛してほしい。「大曲の花火」を心待ちにしています。早くコロナが終息してきれいな花火を願っています。(40代／女性／大曲)

(4) 観光について

- 大曲には、これといった特産品やお土産がないのが課題だと考えます。出張などで県外に行くときに困ります。(40代／男性／大曲)
- 花火以外に売りになるものがあるとうれしい。県外の親戚に地元の品を送りたくても選択肢が少ないと思った。果物や肉類などがもっと充実してるといいなと思う。(20代／女性／大曲)
- 大仙市は遊園地等がありません。(60代／男性／大曲)
- 花火はとても大きな産業だと思います。けれど、イベントが開催できなくなる事態が今後も発生していく可能性はあると思います。そうなった時に、それでも花火で元気にと推し進めても、それ以前の食や伝統が維持できなくなってしまうのは、市として行き止まりになってしまうのではないかと感じています。もっと他に紹介できるような食文化などの充実を希望しています。(30代／女性／中仙)
- 大仙市(大曲)は、花火が全国的に有名ですが、1年を通じて自慢できるもの、例えば名物・名菓・名所などがもっとあればいいなと思います。(50代／女性／大曲)
- 夏場のファミリースキー場の有効活用。キャンプ場の活用。奥羽山荘のドックランの早期再開。花火ばかり重視せず、他のイベント、観光・文化財にも力を入れてほしい。(60代／女性／大曲)
- 大仙市の観光業は大曲の花火が最大の魅力であると思います。それを活かして最近注目されているグランピングを導入してみてもいいでしょうか。グランピング施設を設営し、毎月あがる花火をグランピングしながら楽しむというものです。グランピングならキャンプよりもハードルが低いので客を集めやすいと思います。グランピングにすることで花火大会の日だけでなく、数は減りますが毎月観光客を集めることが出来ると思います。(10代／男性／仙北)
- 大仙市に今後も住んでいたいと思うような観光やまちづくりに今後も力をいれていただきたい(20代／男性／神岡)

(5) 雇用・就労について

- 「大曲の花火」を全面に出し過ぎのように思えてならない。もっと他方面にも力を入れてほしい。例えば、大学卒業した若者が大仙市に仕事で戻ってきて、働いてくれるような事などに全力を尽くしてもらいたい。(40代／男性／中仙)
- 大学卒業してから、大学で勉強することを生かせる職業が少なすぎると思います。地元で就職したくても、なかなか難しくて県外に就職するような人も周りで多そうなので、もう少し職業の選択肢が増えて欲しいです。(10代／女性／中仙)
- 大学卒業後の就職支援に力を入れて欲しい。(10代／女性／太田)

- 私は大仙市に在住しておりますが、就職先は秋田市です。数年前に前職を退職し就職活動をするにあたって、大仙市の企業を色々と調べていたのですが、正直申し上げると、前職より条件の良い企業がなく、県外に就職しようかと考えておりました。たまたま秋田市の企業に再就職するに至りましたが、このままでは若い世代は県外に就職を求める状況は変わらないと思います。大企業の工場を誘致すれば地域の活性化などに繋がるとは思います、このコロナ禍の状況では難しいと思います。なので、今大仙市内にある企業のバックアップをしっかりと、若い世代の雇用の確保を第一優先とし、各企業と市でしっかりと育てていくことが大切だと思います。よろしくお願いします。(20代／男性／大曲)
- 大仙市に住みたいと思うが、自分がやりたい仕事が多くなく、離れざるを得ない。大学卒業後の就職先として、理系の会社の求人はあるが、文系は明らかに少ない。特に、司書や学芸員などの資格を活かせる職はほとんどないに見える。(20代／女性／中仙)
- 正社員でも資格や免許などの取得に助成してもらいたい。(30代／男性／中仙)
- 働ける場所が少なく、もっと働ける場を増やしてほしい。(30代／女性／大曲)

出会い・結婚・子育て分野

(1) 出会い・結婚について

- 結婚祝い金をもう少し増やしてほしい(1万円少ない)(30代／女性／大曲)
- 若い世代の夫婦に対するメリットが少なく、将来への不安を感じてしまう。住宅を新築した際の手当や、経済的な支援を手厚くしていかなければ、大仙市や秋田から人が離れていってしまうと思います。最低賃金も上げて下さい。(20代／男性／大曲)
- 異性との出会いの場が少ないので増やしてください(20代／男性／大曲)

(2) 子育てについて

- 由利本荘市から秋田市、大仙市と保育園未満児の子供と引っ越ししたが、世帯収入が高かったために、大仙市の保育料が最も高く、一番安かったのが由利本荘市だった。収入が高い家庭は、税金をたくさん支払ったほかに保育料も高い。仕事の専門性が高く、長時間労働の場合が多い等ある。短時間低賃金で税金が安く保育料も安い方が、幸せに見えてしまわないように税金や子育て支援を配慮してほしい。(40代／女性／西仙北)
- 大仙市は、子育てに力を注いでいると思う。しかし、一時預かり保育等を依頼したいが、保育士不足というより保育士数に余裕がないようだ。保育士の確保に関して、力を入れてほしい。(50代／女性／西仙北)
- 大仙市は子育て世代にとって、医療が充実していますが、共働きだけではなく、専業主婦層にも手厚いサービスをお願いしたいと思います。(40代／女性／大曲)
- 子どもと遊べる屋内外遊具施設が大曲市内にほとんどありません。道の駅二ツ井のような施設を作してほしい。(40代／男性／大曲)
- 子育てに関しては、保育園の時間を早めてほしい。冬の通勤時間を考えるとギリギリです。先生が大変なのも分かるが、考えてほしい。(30代／女性／神岡)
- 由利本荘市にある木のおもちゃ美術館のような古い建物を生かした子育て世代に役立つ施設があったらいいと思う。(40代／男性／大曲)
- 保育に携わる人たちの給料をあげてほしいです。(10代／性別不明／大曲)

- 子育て世代ですが、マル福や減免等していただいています、もう少し負担軽減をして欲しいです(住民税の減免、学校給食の減免等)。また、子供たちの遊べる公園や施設を増やしてもらったり、保育園によって遊具が新しい所と古い所があったり、充実していない所もあるので、格差をなくしてほしい。(30代/女性/大曲)
- 市外に比べ子育て支援が悪い。市外の保育所にあずけていたが、市内での支援サービス情報など知らせてもらうことがなかった。税金は払っているのにサービスが受けられない。(40代/女性/大曲)
- 子育て支援、母子家庭へ対する支援が少なく不満。(20代/男性/大曲)
- 現在の少子化対策が効果あるのか再検討してもらいたい。子供の医療費助成は不公平。自己負担0は、不要な受診、治療(薬)を助長していると思う。(40代/女性/大曲)
- 子育て世帯への臨時特別給付金をいただけたのは、すごく助かりました。ありがとうございます。(30代/女性/大曲)
- 子供の医療の面はマル福のおかげで、とても助かっています。子育てにもう少し力を入れていただかなければ、今後過疎化はもっと進んでしまうと思います。保育園から中学校までずっと一緒のお友達。少人数ならではの安心もありますが、これ以上合併は困りますので、どうにかしていただきたいです。(30代/女性/協和)
- 子育て世代への支援が少なすぎます。また、家族と同居している一人親への支援もなく、一人親の中でも差別されている感覚があります。同居しているからといって金銭的支援をしてもらっているわけではないのが現状です。一人親、子育て世代への支援が厚く、子育てしやすい市を目指してほしいと思っています。就業に関しては保育施設で働く方への理解、慰労がないと思われます。コロナ関連で介護士や、看護師等への慰労金や対応はあっても、保育施設はなし。感染力云々ではないと思います。保育施設では感染対応、通常に保育できる環境作りをしています。保育の現場、現状を把握してほしいです。子育てに強いまちづくりが、実現できることを願っています。(30代/女性/太田)

健康福祉、スポーツ分野

(1) 保健・医療について

- 協和地区はいろんなサービスが無くなっています。今は自分の車で行けるけれど、運転出来なくなった時不安です。去年、健康診断は協和地区でやっていないので、別の場所へ行けず受けなかった人が多数います。そのフォローもありませんでした。近くで受けられるようにお願いします。(60代/女性/協和)
- 行政の力を借りて、現在在住している所で暮らしています。高齢者にバランス配合した栄養のサプリメントなど配布して欲しいです。(70代/女性/大曲)
- 歯科検診の無料検診を実施して欲しい。(30代/女性/大曲)
- 妊婦に配布するタクシー券ですが、私のように不必要な人もいると思うので、使い方を限定するのではなく商品券にしてもらったほうがありがたいです。(30代/女性/中仙)

(2) 社会福祉について

- 高齢者の一人暮らしで災害等があったら心配に思う。家族の介護で、介助者の精神面や介護負担がまだまだある方もいる。それなりのサービスを受けると金銭面の負担も大きい。(40代/女性/大曲)

- 障害児を持つ親の会があると良い。特に乳幼児で不安が大きく分からない事を聞ける人が周囲にいない事がある為。(40代／女性／南外)
- 特に生活の困りごとの相談対応について
 - ・ワンストップで対応→相談者が不安なく相談に出向く事が出来るよう、その先へスムーズに繋いでもらえるような取り組みづくりを進めてほしい。
 - ・若年層に対しても相談場所の発信をもっと周知して欲しい。ほとんどの方が把握されていないようです。困難に立ち向かって幸せに生きていける支援が届くように、大仙市の取り組みを期待しています。(60代／女性／南外)

(3) 社会保障について

- 生活保護受給者の道楽話が聞かれます。そもそも世の中が厳しいので、道楽支援にならない様、適正な支援をお願いします。(20代／男性／太田)
- 今、介護保険料をきちんと支払っていますが、将来、自分がその立場になった時、ちゃんと審査も今以上に厳しくなったりせず、受けることができるのか、もの凄く不安です。(60代／女性／大曲)
- 低所得者の支援が無いのは残念です。(50代／男性／太田)
- 仕事をしているのに生活が大変な単身者の手厚い手当をお願いしたいです。(50代／女性／大曲)
- 生活保護制度は本当に必要な人に使わせてあげて下さい。良く調べて、惑わされず、民生委員だけに任せず、皆さんの目でしっかり見てください。(70代／男性／太田)

(4) スポーツについて

- 19時以降の中学生以下、体育施設使用禁止はスポーツを頑張りたい子供にとってかわいそう。(30代／男性／神岡)
- スポーツ施設(屋内外)の拡充と、若い人達が楽しめる娯楽施設の誘致などに取り組んで欲しい。(40代／女性／大曲)
- 大曲の野球場にナイター設備を設置したらどうでしょうか。(20代／女性／大曲)
- 若い世代が心置きなくスポーツに汗を流せる施設環境をお願いします。コロナ禍で十分にスポーツに熱中できない姿をみて心から思います。よろしく願いいたします。(30代／男性／大曲)

環境・安全分野

(1) 自然・環境衛生について

- 天ぷら等の残り油を支所まで運ぶのが大変なので部落の集積所に置いていただければ良いと思いますが、安全面では心配でしょうね。ほとんどの方が捨てているかもしれませんが、空の牛乳パックをバラして第四水曜日に出しております。いくらでも紙の再利用に役立ててもらうため、他の方はやっていないようですが。(80代以上／女性／仙北)
- ごみ袋は、他に比べて高価といわれていますが、もう少し安価になるよう願います。(70代／男性／中仙)

- 電気自動車充電スタンドを増やすべき。(20代／男性／大曲)
- 住みやすくよい街だと思っているのですが、残念ながら朝や夕方に、ゴミ焼きなのか、何かを燃やしているような臭いや煙い感じがして、空気が悪く残念です。(除草剤のにおいなども)朝・夕方にウォーキングや散歩をしたいのに、体に悪いのではと思っています。空気のきれいな街になるように、ゴミ焼きなどをやめて欲しいです。(40代／女性／仙北)

(2) 安全・安心体制について

- 支所の周辺の街灯が夜になっても点灯していない。夜中に少しスーパーなどに行きたいときに、明かりがないと不便です。(60代／女性／西仙北)
- 洪水が発生しやすい地域に住んでいます。毎年、梅雨の時期になると床上浸水しないかと心配です。治水工事を早く進めてほしいと思っています。(50代／女性／大曲)
- アンケート調査を通して家庭での災害に備えることが出来ていないので、普段から心掛けて準備したいと思います。(60代／女性／神岡)
- 土手のかさ上げが進まない為、水害が怖い。子供たちの通学路なのに、どうにかならないものでしょうか。(80代以上／女性／仙北)
- 数年前の豪雨災害以降、上流からの土砂で川の底が堆積し水面が高くなってきている。強い雨が降るたびに、川から水が溢れるのかと不安になる。実際、水害も多く発生している。川底の土砂をとってほしい。避難場所も水害で水没しそうな場所が多く、自宅にいる方が安全ではないかと思う。川の近くの避難所に逃げる事も考えさせられる。大仙市は全体的に浸水する面積が多く、大変だとは思いますが、避難所の再考をお願いしたい。(60代／男性／大曲)
- 横断歩道の白線が毎年4月に引かれておらず交通安全対策が徹底されておらず、新小学生が危険に晒されている。(60代／男性／大曲)
- 水害の多い地域は集団移転等も考えて別の地区へ移動させた方が良いと思う。(40代／男性／大曲)
- 水害には必死に取り組んで欲しいと思います。家の前も何回も水がついています。(30代／男性／大曲)
- 歩道の整備(草などが生い茂っている)歩道や役場、保育園などの柵が壊れたままになっているし、街灯も切れたままの所が多い。定期的に見回り補修してほしい。(50代／女性／西仙北)
- 市の防災に対して、備蓄状況等を知りたい。(50代／女性／大曲)
- 大仙警察署前の道路の渋滞をなんとかしてほしい。(30代／男性／大曲)
- 雪害等防災へ力を入れてもらいたい。(20代／女性／大曲)

(3) 雪対策について

- 雪の対策について、豪雪地帯ですが、冬期の移動が苦痛(国道は良いが市道がひどい)で流雪溝設置の有無などの問題点があると感じています。雪対策に力を入れて欲しいです。雪の対策もないのに住宅地ばかり増やしては、今後も除雪のクレームは増えると思います。(20代／男性／大曲)
- 大曲地域の除雪をもうちょっと頑張ってもらいたい。これには強い憤りを感じます。道路がボコボコしています。きっと融雪装置がある関係でそうなっているのかもしれませんが、あまりにも酷すぎます。歩道も背丈よりはるかに高くなっていて身の危険を感じます。改善をよろしくお願いします。太田はあぜ道1つありません。なぜ、こうも地域間で差ができるのでしょうか。全地域で同品質の除雪をお願いします。(10代／女性／太田)

- 冬の除雪作業はありがたいのですが、畑へ大量のアスファルト片を入れられたり、田んぼの用水路を壊されたりと毎年手間をかけさせられているのも事実です。なんとかありませんか。(40 代／女性／大曲)
- 冬期間の除雪はありがたいのですが、早朝2時頃の除雪で、それ以降の積雪が除雪前より多いのが殆どです。計画除雪でしょうが、もう少し時間を考慮してもらいたいです。せめて午前5時か6時頃にしてもらいたいです。(80 代以上／男性／西仙北)
- 市の為に尊いお働きを心から感謝いたします。大曲田町のイチョウ通り(緑、自然、鳥やカエルの鳴き声など)に家を建てさせていただき、住むこと15年になります。感謝しながら暮らせています。この冬の大雪、除雪山がもう少し低くければありがたいです。また、雪解けあとの道路の地割れがイチョウ道路一本道に目立ち、今年は無理だとしても来年の予算に入れていただき、直していただけたら感謝です。(50 代／女性／大曲)
- 娘には今回の大雪で道路の除雪状況を見て「住んでられない」と言われました。(50 代／女性／大曲)
- 一人暮らしの高齢者を冬の間だけでも一か所に集まってもらい、雪よせの心配をなくしたり、コミュニケーションをとれる場所があったらいいと思う。(10 代／女性／太田)
- 冬期の雪かきには苦勞しています。特に屋根の雪降ろしは、50～60代でも、自分たちは体力的に困難ですので何らかの援助があれば助かります。私事ですが、今年冬、雪かき中滑って転倒骨折し、とても大変でした。(50 代／女性／大曲)
- 冬期除雪について、郊外に住んでいる者ですが、市内の住宅地道路と郊外道路の条件が違います。地吹雪等があると郊外は、たちまち交通不能になります。吹き溜まりによる交通障害の発生もあることから、実態に即した除雪を要望します。(70 代／男性／仙北)
- 冬になって雪がたまると投げる場所がないので、流雪溝を整備してほしい。ここに書いたところで無駄だとは思いますが。(30 代／男性／大曲)
- 昨年度は稀にみる大雪でしたが、街中の道路状況がすごく悪かったと思いました。(30 代／女性／大曲)
- 毎年、雪道の除雪には感謝しているが綺麗に寄せているところと、そうでない場所の差がありすぎる。雪対策はいまいちな印象。(20 代／女性／大曲)

(4) 空き家対策について

- 隣の家が空き家になっており、動物やハチの巣などあり、また、古い大きな木があり、風が吹くと枝など飛んできて、とても危険な状態です。小さな子供もいるので、早く撤去してもらいたいです。(50 代／女性／仙北)
- 空き家の管理もなんとかして欲しいです。野生動物の巣になってきているので、そこから被害も増えてきている。見回りを強化して欲しいです。(30 代／男性／神岡)
- 空き家も法的に頑張らないと、雪害でまわりの家に被害が出てきて二次被害になります。また、放火や窃盗にもつながりかねません。(30 代／男性／大曲)
- 倒壊している空き家を片付けてほしいです。(50 代／女性／大曲)

都市基盤分野

(1) 公共交通について

- 公共交通機関について、丁寧に対応して下さりありがたく思っています。乗る人も少なく難しい事かもしれませんが、中仙地区の公共交通を高校生の帰る時間に、広域農道を走るものがあれば便利がいいと思っています。105 号線は、電車とバス、角六線もバスがありますが、どちらを利用してもその下りた場所から徒歩1時間程度、または料金が高くなります。下りる場所まで迎えに行くようにしていますが、広域農道を通る公共交通機関があれば便利で保護者負担も減ると思います。(50 代／女性／中仙)
- 高齢化による移動手段の確保、インフラの維持が課題。例として、JA の支所の統廃合により年金を窓口から手続きしていた老人たちは、キャッシュカードも持たずにおり大変不便を強いられることになった。特に一人暮らし。例として、町内会の役割が回ってくるが、回覧物等の配布をいくつも担当する事になったり、皆老人で誰も進んでやろうとしない(できない)。元気な老人が難儀している。(50 代／男性／大曲)
- 免許返納者(角間川在住)です。3月体調不良でめまいもあり、歩くことが出来ず、町内のかかりつけ医にと、タクシー2社に電話したら拒否されました。のりのりキップを使うことも出来ず、過疎(角間川)で生活者がいる事に善処してください。絵に描いたのりのりキップはいりません。(80 代以上／女性／大曲)
- 私が住んでいる集落はバス停まで遠く、20分以上歩きます。小中学生は、バス停まで送って行っているのですが、集落の中までバスが入ってくれば良いのになと思います。(60 代／女性／協和)
- 車が運転できるうちは多少不便でも何とかと思いますが、運転できなくなった時、買い物、通院などの手段がほとんどない地域が多数あると思います。旧大曲市はどうにでもなるとは思いますが、それ以外は本当に不便だと思います(実際不便です)。自分が車を手放したらと思うと、その時は、この大仙市からは出ると思っています。若者の定住と同じくらい高齢者や、運転できない人の生活も大事に考えてほしいです。せめて、タウンバスは全エリア運行を願います。(40 代／女性／協和)
- 高齢になった時は大変不安。自家用車を使用できなくなった時、買い物、病院にも行けない。人口減少対策。(60 代／男性／南外)
- 電車の本数と車両を増やしてほしいです。(10 代／性別不明／大曲)
- 乗る人が少ないからか、利用していた路線バスが土日運行しなくなった。唯一の交通の便が断たれ大変困っている。コミュニティバスの運行地域拡大を願う。(20 代／女性／大曲)

(2) 地域情報化について

- 毎朝 FM はなびを聞いています。大仙市の情報は、ここから得ています。ありがとうございます。(50 代／女性／中仙)
- 広報紙は毎日充実していて心待ちにしています。よりよい情報の発信を今後ともお願い致します。(50 代／女性／大曲)
- 他県に比べて良いものがたくさんあるのに宣伝の仕方が足りないため広まらない。せっかく良いまちなのに。(30 代／女性／大曲)
- ガラケーが終了していく中、両親や近所のお年寄りにガラホやスマホをすすめています。小規模集落に FreeWifi を拡充していただくと、おもしろいと思います。(50 代／女性／大曲)
- 市政の情報がほとんどない。目立たない市。(60 代／男性／南外)

- 市の広報は表紙の写真が、入賞するなど内容共に充実していると思います。今後尚一層の創意工夫を期待します。(70代／男性／中仙)
- いつもお世話になっております。新しい取り組みなど広報などで発信していただき、目にすることが増えました。しかし、HPが見づらく、調べたい答えに中々たどり着けません。もう少し分かりやすくしてもらえると助かります。(30代／女性／大曲)
- 大仙市はとても素晴らしい街だと思います。日本人だけでなく外国の方にも大仙市について知ってもらいたいため、ぜひ大仙市のホームページに英語版や中国語版を作ってみてはどうでしょうか。(10代／女性／大曲)

(3) 市街地について

- 駅周辺の駐車場整備について、ヒカリオの駐車場はよく利用しており、とても助かっています。ただ、駅前の駐車場は病院関係者の駐車場が多く市民の為のものが少ないです。駐車場の見直し・整備をお願いします。(20代／男性／大曲)
- もっと若者が集う場所を作っていけばいいと思う。大曲駅前のヒカリオも数年前に建てられたがイマイチどのような目的で建てられたのかが分からない。しかも閑散としている。(10代／男性／中仙)
- 大曲駅周辺の施設をもっと充実させるべき(10代／男性／大曲)

(4) 道路・河川について

- 窪みや白線がない等道路状態が悪い。(60代／男性／大曲)
- 当地域の雄物川の水害対策工事もだいぶ進んできましたが、中小河川への保全管理を希望します。大雨の都度、被害にあう事が決まっている。市道のでこぼこの状態が年々悪くなっています。地域協議会に過去に提案した事がありましたが、先送りされた事があります。(70代／男性／協和)
- 橋の修理を要望して2, 3年になるが修理されていない。非常に危険。(50代／男性／中仙)
- 県道の土手の木が大きくなってきて、整備してほしい。(30代／男性／神岡)
- 県外にいる友人を大曲に呼びたいが、交通が不便で、まっすぐ大曲へくる道や電車が欲しい。(10代／女性／大曲)
- 道路、橋を整備していただきたい。(10代／女性／大曲)
- 除雪が下手で通行がしにくいです。道路の白線が薄れている所が多く危険だと思います(10代／女性／大曲)

(5) 上・下水道について

- 当地区には下水道が来ていません。大仙市全体を巡回しますと、旧町村ほど下水道が進んでいるように見えます。浄化槽設置に補助金を出して、今後は下水道にする予定はないと聞いています。当家では土地の条件が狭いために、浄化槽は無理。何とか下水道を持ってきたきたい。(60代／男性／大曲)
- 水道料金が普段の10倍も高くなった月がありました。調べてもらった所、漏水の心配はなかったのですが、結局原因は分からず、高額な水道料金が発生しました。最後まで寄り添って原因を探していただきたかったと感じました。(20代／女性／大曲)

- 下水道が整備されているのにも関わらず利用されておらず、合併浄化槽の点検も怠っている家庭があり、不衛生な街である。下水道普及促進が必要。(60代／男性／大曲)
- 水道事業に関して提案
 - ①宇津台上水場に、滝ノ沢を水源に「小水力発電」の設置を。
 - ②雄物川を跨いで、バイパス管(連絡管)の設置を。
 - (i)南バイパス管
西根仁応寺→内小友仙北屋→大川橋→角間川愛宕町
 - (ii)北バイパス管
西根上野→大曲大橋→花館上町(80代以上／男性／大曲)

(6) 住環境、公園、緑地について

- 夏に水が出て水遊びできるような公園が一か所ほしい。猛暑対策の為に。(40代／女性／南外)
- ウオーキングをしたい気持ちは強いですが、トイレ休憩できる場所がなく、また夜は野生動物が恐いし、かと言って休日の日中に歩くとじろじろ見られます。すぐ噂が広まって嫌な気分になりました。いつどこを歩けばいいのですか。公園ありません。(40代／女性／大曲)
- 大曲の花火は大変に良いと思っています。ですが、大曲には公園なんかとか人の集まる場所がなく、なんとなく活気がないと思います。皆で食事する所も少ないと思います。(70代／女性／大曲)
- 地域にある公園は整備が行き届いていなくて、子供と一緒に遊ぶことができない。草がボウボウだったり、遊具も点検されているのか、不安である。(60代／女性／仙北)
- 春、公園に遊びに行ったが、汚れている所もあったので、子供が触っても大丈夫か心配だった。シートを外した時などに一度でもいいので、消毒洗浄してほしい。(30代／女性／大曲)
- 公園の整備点検をおこなって遊べるようにしてほしい。(20代／女性／協和)
- 小さい子供も乗れるブランコがある公園。西根地区に公園が欲しい。(30代／男性／大曲)
- 街の景観について、大曲の花火で観光客が沢山来ますが、駅から出て花火通りを見ても古い建物が多く空き店舗です。せめて花火会場までの景観は整備すべきだと思います。角館は道路・歩道も綺麗で電柱もなく景観に配慮されています。大仙市のイメージを廃れたものにするのか、活気があるものにするのかは見た目も非常に重要になります。また、除雪や雪の影響で歩道のタイルや柵などがボロボロです。設計をする際に雪を考慮した対策をした方が良いと感じました。駅周辺及び花火会場周辺を歩いていて楽しい街にして欲しいです。はなび・アム周辺の歩道整備は良いと思いました。丸子川周辺の除草や整備もした方が良いと思います。(20代／男性／大曲)
- 戸建ての市営住宅を駅近に建ててほしい。ひとり親世帯の生活も大変でしょうが、そうではない家庭も多くあり、二人親がいても、子供が大きくなって厳しいところがたくさんあります。公平な支援をお願いしたい。(50代／女性／大曲)

(1) 学校教育について

- 経済より教育が重要と考えている、義務教育の充実を、また社会教育も充実を。(70代／女性／中仙)
- 徒歩での通学を推奨しているが学校まで遠く1時間以上かかるので、バス通学を検討してほしい。通学路に歩道が無かったり、危険箇所が複数あると思う。長距離を徒歩で通学するのは不審者や事故の多い今の時代に合っていないと思う。(20代／女性／仙北)
- 孫が中学生になりましたが、大曲中学校は人数が多すぎる。遠すぎる。2か所に分かれてあればと思う。家から5キロ近く離れている。(60代／女性／大曲)
- 市政は市民のことを考えてやってくださっているが、市民の意識が低いと思います。選挙に行った人数を見ても分かります。意識を高めるためには、教育が大切だと思います。教育に掛けるお金の割合を高めていくことが市を良くすることにつながると思います。私達高齢者に掛けるお金を削ってでもです。(50代／女性／大曲)
- コロナ禍、子供たちに地元を愛する心、夢を育む心を大切にする教育的な時間を持ってもらいたい。(50代／女性／大曲)
- 2世代世帯なため、子の通学で不便さを感じる。仕事と両立できない。他地域では、通学バスがあったりするので取り入れてもらいたい。(40代／女性／大曲)
- 高齢者施設に勤務しています。今後、多死社会をむかえます。死を語るのは、現在はタブーですが、時代は変化していきます。住民の皆様の死生観を育む場が必要だと思います。また、子供たちにはいのちの授業等の場を提供して欲しいと思います。よろしくお願い致します。(50代／女性／中仙)
- 太田地域の児童数が減っているので学校の統合を進めてほしい。(30代／男性／太田)

(2) 生涯学習について

- 西仙北の大綱交流館の門の雄綱と雌綱のモチーフがださい。ステンドグラス部分も破損した場合、修繕費が高くなると思うので、その所も考えて、シンプルに造った方が良いと思う。大綱サロンも規模が小さすぎて活用できていないように思う。駐車場も無いので、何のために造ったのか分からない。(40代／女性／西仙北)
- 大曲図書館によく行くのですが、ボランティアの方がたくさんいます。ありがたいのですが、専門の司書の方を配置していただきたいです。仙北図書館のように利用しやすい図書館になってほしいです。(40代／女性／大曲)
- 長野地区の公民館が廃止されるようなことを聞きましたが、“ドンパル”があれば長野に二つもいらないというような意見があると聞きました。旧中仙町の時に各部落に会館が補助もされて建てられましたが横町、元町、六日町、栄町などは公民館を使うようにということで部落会館を立てられませんでした。なので、長野公民館がなくなることは、非常に困ることになります。建物もあちこち老朽化しています。予算を確保して今後とも使用できるようにお願いします。大曲地域だけではなく、郊外地区の取りこぼしなくして欲しいです。(60代／女性／中仙)
- 図書館での貸出延出がインターネットでできるようになって助かっている。IT化を色々進めてほしい。(30代／女性／大曲)
- 学生の勉強できる場所がありません。図書館などは、18、19時で閉館なので勉強する時間がない。横手のワイワイプラザは、22時までやっています。(30代／女性／大曲)

- 公共施設の充実について、市民が身近に集まれる場所が少ないと思います。市の中心に一箇所まとめて交流センター・図書館・公園を整備して欲しいです。人が集まれば自然にそこから賑わいが生まれ商業にもつながると思います。(20代／男性／大曲)

(3) 芸術・文化について

- 文化財保護協会は、市内の文化財の重要性を認識して活動しています。この組織が機能することにより、より良い状態での保持が可能と考えます。支援体制の強化をお願いします。(70代／男性／協和)
- 花火だけにかたよらず、他の文化財をもっとアピールしたほうがいいと思います。個人的には、星宮遺跡の土偶を生で見たいです。(40代／女性／大曲)
- 合併した旧町村への目配りが十分ではないと感じます。中心部だけが栄えて周辺が寂れていく印象を持たせるような行政では、合併してよかったという気分になりません。協和の人達の多くは、そのように思っているようです(私の知る限りですが)。荒川鉦山跡地の積極利用、アクセス道路の整備など文化財、文化遺産の活用という点からみても、もっと力をいれてもらいたいものです。(80代以上／女性／協和)

地域活性化・市民との協働・行政運営分野

(1) 地域活性化について

- もう少し若い人達が遊べるような施設を増やしてほしい。飲食店もいいが、気軽に入る事が出来ない為。(10代／女性／神岡)
- 7市町村の合併で市街地以外への気配りが足りない。(60代／男性／大曲)
- 大仙市に戻るまで、大潟村、北秋田市、大館市、鹿角市、小坂町、能代市に住んでいて、10年前に来たが、旧南外村には、スーパーどころかコンビニ1件もないのでせめて、道の駅のような何かを販売する施設を国道沿いなどにほしいところである。鹿角市や小坂町の奥よりかは利便性は良いが、車がないと何もできない。(40代／男性／南外)
- 合併して大仙市になったが、旧大曲市以外はあまりメリットが感じられない。大仙市が住みやすく、魅力的な市になるには、どうすれば良いか。課題はたくさんあると思う。住んで良かったと思われる大仙市になってほしい。(60代／男性／神岡)
- 大仙市の課題は、人口減少。その課題の取り組み強化。大仙市の人口を増やすという名目でのプロジェクト編成。市長を委員長。①若者が住みたい街にする。②企業の誘致(産業の街をつくる)メンバーとして、企業、メーカー、県の機関(食品研究所等)県関係部署、生産者、消費者。③地元、企業、特産品の育成。(60代／男性／大曲)
- 人口減少が著しく秋田県的にも、勿論大仙市も同様に、今後の若者に対しても支援の充実が必要と考えます。雇用の最低賃金に近い大仙市。県内の賃上げと居住の充実性が望めます。高齢化率だけが高くなり、市や県の財政も厳しくなるのみですので、若者が住みやすくなる、課税者が住みやすくなるよう努めていただきたいです。(20代／男性／太田)
- 県内の他の市町村(秋田市、横手市、由利本荘市、能代市)より商業施設、農業活性化されていない。(60代／男性／大曲)
- 花火だけに拘らず多角的な視点をもってほしい。これまでの常識を一掃し、新しいものを生み出すことに価値をもちたい。平等、公平に重きを置きすぎず。(30代／男性／大曲)

- 大曲の花火だけが太田市ではない。大曲地区の居住者が中心となっており、他の地域の整備が進んでいないと感じる。車がないと生活できない地域が多いので、地域資源をもっと充実させてほしい。(40代／女性／西仙北)
- 若者が住みたくなるような街づくり(雇用、施設や店舗の設営等)の推進。(20代／男性／太田)
- 花火もいい事ですが、太田市にはたくさんの食べ物、頭脳があります。若い世代の知恵を生かして、太田市をこんな世の中だからこそ、盛り上げて下さい。(70代／男性／太田)
- 若い人が住み続けたい、県外、市外に出たくないという街をつくってください。何も無い街と言われないように。(50代／女性／大曲)
- 旧大曲市内ばかりにお金をかけすぎ。周りの旧町村は、おいてけぼりです。(60代／女性／仙北)
- 太田市を含む秋田県では、若者が減っていくばかりです。学校も統合や廃校が多く市や県の未来に不安しかありません。家庭の事情で今の家に住んでいますが、県外に行く考えはいつもあります。少子化の問題、早急に対応していただきたいです。(20代／女性／協和)
- 太田市は花火に力を入れすぎていると思います。若者や子育て世代が秋田(太田市も含め)にずっと住みたいと思うような場所を作ってほしいと思います。(誘致工場を増やすとか)近い将来、ますます高齢化が進み秋田県がなくなるのは悲しいです。空き家がどんどん増えていく現状。不安だらけです。少しでも太田市が良い環境になってくれたらと願うばかりです。(50代／女性／神岡)
- いろいろな対策を頑張っていると思います。スポーツのみではなく、学びの場(大学や専門学校等)を作って若い人が集う街づくりに取り組んで欲しい。大学を創設するなら、近隣にない薬学部等がよいのではないかな。都会から来てもらえるような(入居)富裕層向けのシルバー타운を山や丘の上につくり、(工業団地としてつくった土地が空いている為)雇用を生み出し、地域の農産物を使った食事の提供等、地域資源を活用し、更に入居者に家族が会いに来るため、地域の商業も潤っていくのではないだろうか。※シルバー타운は介護施設ではなく、退職世代が豊かに暮らせる街。ゴルフや温泉等にも行ける。冬はスキー、夏はプールにも行ける。既存の施設を利用できる環境を整備する。(10代／女性／神岡)
- 大曲駅周辺の活性化が必要だと思う。正直、横手市の方が楽しいと思う。(10代／女性／神岡)
- 市町村合併後の太田市全体としての一体感があまり感じられないように思います。広すぎるので仕方がないのかもしれませんが。子育て関係やコロナに対する支援金には感謝しています。(40代／女性／大曲)

(2) 移住・定住について

- 空き家バンクの登録の家をネットで見たが、そこに入りたいと思う人がいないくらい酷い。移住者を募るのであれば、もっと真剣にネットを変える必要がある。魅力がない。(40代／女性／南外)
- 移住者にとっても、雪よせが一つの課題だと思うので、空き家を使ったシェアハウスや雪よせの支援などの強化をしたらいいと思う。(10代／女性／太田)
- 太田市は住みやすいまちと思うので、住み続けられるまちとして、住宅購入による定住や子育ての支援を強化してほしい。(20代／女性／大曲)
- 太田市の魅力を高校や中学校で出前授業みたいに市の職員がPR活動をして太田市の定住者を増やしたり別の市から移住してくる人を増やすなどの活動をしてみてはいかがでしょうか。(10代／男性／協和)

(3) 男女共同参画について

- 子育て支援、男女共同参画と言いますが、まだまだ働く女性(母親)が大変な環境であると思います。子連れ出勤等、企業にも周知していただいたり、児童手当の充実であったり、独り親家庭への支援だけではなく、両親がいる家庭への支援もしてほしいです。(30代/女性/太田)

(4) 行財政運営について

- 常に生の市民の意見を取り込む目安箱みたいな仕組みがあれば良いかと。(60代/男性/西仙北)
- まだまだ遅れていて、テコ入れ出来る所たくさんあると思う。コロナ禍ということもあるが、もう少し非接触で出来るシステムを確立し、効率を良くした方が良いのではないのでしょうか。(30代/女性/大曲)
- 常に考える事をやめないで、仕事に取り組んで頂きたいです。(30代/男性/大曲)
- ニュースで他の町村の取り組みでしたが、亡くなった後に行う手続きの窓口があり、死亡届、火葬許可申請書、世帯主の変更など係りの人が窓口に来てくれるシステムが出来た事を知りました。家族が少なくなっていること、時間がかかるなどの理由から、そのようなシステムがあれば助かるのではないかと思います。(60代/女性/神岡)
- 古く未使用の公共構造物の解体。(70代/男性/協和)
- 市政アンケートとありますが、必要でしょうか。私自身あまり評価しておりません。市の職員も多すぎではないですか。税金は適正に使われていますか。花火はそんなに必要ですか。コロナ禍生活で行き詰まる人も出ています。市役所の方々はリストラ等ないようですので、このようなアンケートを思いつくのでしょうか。教えてください。(50代/男性/太田)
- 民間人を取り入れた活力ある市政づくり。体制がゆるい、古臭い。(60代/男性/南外)
- 数年前に市外から移住してきたため、大仙市の行政について詳しく分かっていません。防災や避難所を考えると市役所が老朽化しており心配になります。市民や職員の方々のため、まちの活性化を目的として建て替えを検討しても良いのではないのでしょうか。(30代/男性/大曲)
- マイナンバーカードを奨励しているのにも関わらず、大仙市ではコンビニで住民票を取得できないのはどうなのでしょう。市政評価よりも、役場での窓口対応をもう少し良くしてほしい。時間がかかるし、すみませんと声をかけても、1人の職員以外は、パソコンに向きっぱなしで知らんぷり。担当があるかもしれないが、「少しお待ちください」の一言も言えないのか、と憤りを感じた。(50代/女性/西仙北)
- 市からの郵送の際、A4、1〜2枚程度であれば3つ折りにして定型郵便で送る等、細かい部分で削減できる所が沢山あるように思います。(30代/女性/大曲)
- 市職員の方は、市民にもっと向き合って仕事をしてほしい。(70代/男性/協和)
- 市役所(本庁)の移転・立替を希望します。他県から転居してきたものですが、これまで住んでいた街(3カ所)に比べて、市役所の老朽化に驚きました。(暗く、陰気、、、すみません。)市民サービスの向上、働きやすい環境づくりの為に新庁舎は必要かと思いました。良い市政にして、まずは良い環境から。いつもお疲れ様です。(40代/女性/大曲)
- 市職員の向上を希望します。効率的な運営をしてください。中心の大曲地区以外も、活性化できる活動を考えて下さい。選挙の投票券を個人一人一人に郵送されていますが、世帯ごとに郵送してはどうでしょうか。他市町村では行っています。郵送費は、減りませんか。このアンケート多すぎです。真剣に記入できる量を越えていると思います。(50代/女性/中仙)
- 議員の定数を減らしても良いと思う。陳情しても予算が無くて、なんともならない事がありました。(60代/男性/太田)

- 行政等に係る地域選出者について、少し慎重に考慮してはどうか。(70代／男性／南外)
- 公共施設の活用を時代に沿ったものにしてほしい。高齢者重視から若い世代(子供含む)に向けた利用へ。遊休施設などの利用促進。(60代／女性／大曲)
- マイナンバーカード等を利用して、コンビニエンスストア等で住民票など証明書を交付できるようにしてほしい。(10代／男性／大曲)
- 税収が減ったのなら公務員の給料も安くした方がいいと考える。みんな平等ではないから。(10代／女性／大曲)
- 大仙市は市民税高い。市民の血税を使ってるので、無駄な第三セクターの建設や利益率の低い第三セクターの運営はやめてほしい。やめて税金を安くしてほしい。(30代／男性／大曲)

その他

(1) 新型コロナウイルスについて

- 感染症が一日も早くなくなる事を祈るだけです。(60代／男性／太田)
- コロナ対策のため、大規模なイベントは控えてほしいです。(10代／女性／太田)
- 感染対策を第一優先に考え、慎重に判断して行動していただきたい。また、県外から人を呼び込むような感染対策を無視した危険極まりない行動はやめていただきたい。(10代／男性／大曲)
- コロナに対する情報発信等なさすぎる。(40代／女性／中仙)
- コロナの中傷は良くありませんが、“正しく恐れる”為に、より正確な情報提供して下さり、花火やイベントが開催される度に、クラスターにならないか心配です。ちなみに小生、飲みに行かなくなりましたし、会社で誘われても断っています。皆さんもこのぐらいの心構えが必要では。コロナはもらっても、うつしても迷惑です。市長の発信力が足りない。(50代／男性／大曲)
- 私は医療機関で働いていますが、直接毎日コロナ患者に携わる方と一緒に過ごす中で、SNS等を見る中で医療機関の全貌を知らない市民がたくさんいると感じ、また、何も知らないのに根も葉もないことを言われていてすごくショックでした。医療機関では他の市民よりも厳しい規律を設けていてさらに厳しい生活を強いられています。都心だけの話かとお思いでしょうが、正直残業したいと言えずにサービス残業ばかりで私以外にもちゃんと貰えてない人が大半だと思います。非正規雇用なのに正社員と同じか、またはそれ以上の仕事を任されて、さらにサービス残業なんてあり得ると思いますか。非正規雇用の人間に責任を取れと言えますか。他の市民より偉いなどとは言いませんが、もう少し正確な報道をしてもらい、正確な情報を市民に伝えてもらいたいです。そして、もっと市民に危機感を持ってもらえるような情報発信をしてください。市が病院に問い合わせるのではなく、保健所とももっと連携をとっていただかないと病院の負担がどんどん増えていきます。今の秋田県では市中感染などしません。病院に判断を委ねないでください。変わることを信じています。よろしくお願いします。(20代／女性／大曲)
- コロナ対策で汎用性の低く使いにくいクーポン券を配り、そのクーポン券の印刷や配布に無駄なお金をかけるよりなら、一律現金で支給してほしい。コロナで収入の減った人は家賃や光熱費、食料や日用品、ローンの返済など人によって支払いたいものが違います。地域振興券みたいに経済を回すための対策ではなく今何かしらの支払いに困ってる人々のために国と同じ現金支給という形にしてほしい。どんな状況でも毎月決まった給料がいただける議員や公務員の方の目線で考えているように感じました。今困っている市民の目線になって考えていただきたいです。(30代／男性／大曲)

- コロナ感染で誹謗中傷など無いようにと CM では言われていますが実際のところ誹謗中傷はあります。感染したから、来るなとかうつるとか間違った情報によって困ってる人がたくさんいます。上記の事があるので帰ってきたくないと思うのです。対策等、よろしくお願い致します。(10 代／女性／大曲)

(2) その他

- 市政に関わってらっしゃる皆様は、大変なご苦勞をされてらっしゃる事と思います。大仙市や地元は本当に住みやすいと感じています。いつもありがとうございます。(50 代／女性／中仙)
- 収入の少ない人に、灯油を買うお金を支給してもらいたい。そのようなサービスがあっても良いのではないか。(50 代／男性／協和)
- 案内文書の全ての文字をもっと大きく、読めるように書いて下さい。(80 代以上／男性／大曲)
- 行政の地域での当番になった時、市で色々取り組んでいただいている事を知り、役所には感謝しています。いつもありがとうございます。頑張ってください。(80 代以上／男性／中仙)
- お祭りなどの企画は良いが、平気で人前でタバコを吸っている大人が多く、子供を参加させたくない。流雪溝にタバコの吸い殻を捨てる人に注意して欲しい。(40 代／女性／西仙北)
- このアンケートによって大仙市の姿勢が少しわかったように思います。10年後に大仙市が「花火のまち」とだけ言われぬように、大曲地域中心ではなく「おおきなせなか」全体が活かされているように願います。(60 代／女性／太田)
- アンケート読んで当たり前のことが、こんなに大変だと思い知りました。人間誰でも、自分しか分からないから周りにこんなに考えていること知らされました。なかなか、世の中難しいものです。どここの家庭でも話合いが一番大切です。人を思いやり、やさしさ、笑顔。(70 代／女性／太田)
- 田舎の良さもありますがいつまでたっても田舎です。若い人は都会に憧れます。自分もそうでした。秋田新幹線で便利になったとはいえ、高い交通賃です。”お先に得だ値”というのがあります。もっと都会との往復が金銭面で楽になれば、若者の流出も防げるのでは、といつも思っています。(50 代／女性／中仙)
- 今まで仕事がメインの生活をしており、市役所にさえほとんど行った事のない状態でした。なので、市政への関心もなく、現状・現況を見て初めて「そうなのか」と思うくらいで回答しており、申し訳ありません。仕事も辞め、これから家中心の生活が始まります。住みよい(老人に)大仙市でありますように。「大仙市」のひとくくりではなく、居住地域を使用してほしいです。市はあまりに広範囲すぎ実感も親しみもありません。私事で申し訳ありません。(60 代／女性／仙北)
- 私は現在65歳になりましたが、子供たちは遠方におり今は元気で働くことができますが、老後のことを思うと心配です。子供が帰って働くことができる環境があれば、と思っております。市の方でもいろいろと考えているとは思いますが、私事で申し訳ありません。(60 代／女性／太田)
- 学生支援給付金を保護者と同居している人についても支給してほしい。(10 代／男性／大曲)
- 今回のようにスマホ一つで気軽に意見を出せるのはいいなと思いました。今後も SNS 等も活用し、このような機会を設けていただけると嬉しいです。(30 代／女性／大曲)
- 市は今いる人だけで無く、どのような考え方をする人が世の中にいるのか、情報収集し、対策すべきだと思います。(20 代／女性／大曲)
- 水道局の電話対応が非常に不愉快でした。水道料金の減免申請に関しての問い合わせの旨を伝えたにも関わらず、あたかも問い合わせ先を間違えているかのような対応をされました。仮に問い合わせ先が違っていたとしても、正しい問い合わせ先を教えてあげるなど親切な対応が行政には必要なのではないでしょうか。一部の職員の方だけかもしれませんが、問い合わせた側からはその人の対応が全てです。必要以上の対応は求めませんが、当たり前の電話対応ぐらいはして頂きたいものです。(30 代／男性／大曲)

- 今後必要とされていく職業に就職するための勉強が出来る専門学校なども作るべき。そうすれば県外からの移住者も必然的に増える。(10代／男性／中仙)
- 感染症の対応おつかれ様です。いつもありがとうございます。仕事で大仙市に来て住民票の登録のために市役所へ行きました。その受付の方がとても親切で「ここががんばっていけそうだ」と感じました。(20代／女性／大曲)
- 正直、勝手に選んで送りつけてきたアンケートを期限以内やって出せなんて迷惑だし、こっちの都合とかもあるわけでそう言うところ今後、考えて言ってほしいと思いました。(10代／男性／大曲)
- 良く言われる「お役所仕事」で「担当が違うので～の窓口へ行って下さい」を否定はしませんが、一旦聞いた話を～の窓口へ内線入れる時間って無いんでしょうか。一旦自分が受けた話を他の部署に任せる際に内線を一本入れて貰えるだけで助かります。(30代／男性／西仙北)
- 良くも悪くも、大仙市は「花火の街」というイメージが固定されてしまった。合併したわりには、今でも旧大曲市とその他町村の印象が強く、市全体をアピール出来ていないように思う。他地域を紹介するにしても、いつも似たような名所しかなく、真新しさが感じられない。かくいう私も、出身地域である大曲以外の歴史を知らない。自分の出身地域以外は興味が持てない。自慢できるものが少ないといえる。イベントも、とりあえず花火を出しておけばいい、という投げやり感が否めない。どんなに自然が豊かで花火が毎月上がっても、それだけでは何も繋ぎ止める力にはならない。ただでさえ少子化が進む中、今後さらに人が消えるのは胸が痛む。母校が統廃合でなくなるのもつらい。切れ目のない支援をと謳うなら、口だけではなく、市には本気で取り組んでもらいたい。少しでも人口が増えて、活気のある街に戻ってほしい。ふるさとを無くしたくない。定期的に市民の声を聴いてほしい。
- 私はボランティア活動に興味があります。仕事もあるので参加することは簡単ではないですが、機会があったら参加したいといつも思っております。介護福祉士と社会福祉士の資格を持っているので、資格も活かせるいいなと思います。一人暮らし高齢者や日常生活に困っている障害者と活動できることがあったらいいなと思います。(20代／女性／神岡)
- 大仙市に関わらず、秋田の交通の便を良くしてもらいたいです。(30代／男性／協和)
- 移住者を増やすための方策としては秋田市からの流入が一番手っ取り早いと思う。言うのは簡単だが目標は秋田県内で一番住みやすい市を目指すべき。レジャー施設(飲食店含む)に絞って書く。秋田市からの流入を考えると、秋田市の弱点を突いたものがあればよい。若者が遊べるようなレジャー施設や飲食店が秋田市には多くある。レジャー施設等に行くには多くが車で行くが、その割には駐車場が狭く、コインパーキングを利用するにも料金が高いところが多い。魅力がある店はいっぱいあるのに、秋田県民の足である車でアクセスがしづらいというのが秋田市の弱点と思う。ラウンドワンやイオン、こまち健康ランドなどの郊外型大型施設が生き残れるのは、秋田県民のほとんどが車を持っていて簡単にアクセスでき(駐車場も広い)、行く価値のある場所だと認識されているから。単純に秋田市の人口が多いからというのも大きい理由だが、それならば秋田市に近い場所にレジャー施設等の誘致を行えばよいのではないかと。協和地区であれば秋田市から車で40分程度。大仙市の店を利用すると優遇されるレンタカー店やタクシーがあればかなり良い。河辺地区(秋田市)と連携するのも悪くないと思う。秋田駅前の施設がことごとく郊外型大型施設に負けるのは車の利点を半ば殺してまで行く価値のある施設ではないから。まずは秋田市に一番近い協和・刈和野地区からレジャー施設・飲食店優遇を進めるのがよいと思う。個人的には、岩手県の「オガールプロジェクト」のような施設が大仙市にもあればと思う。また、秋田県は割とスポーツ好きな方が多いように見受けられるので、駐車場が広い郊外型のスポーツ施設も一考と思う。もちろんオガールのような官民連携で。ストリートバスケ、サッカー場、スケートボード施設もよい。最後に、単純に市民に意見を聞くのもよいが、逆に市政側ではどんな課題があるのかを提示してもらったほうが問題意識も沸く。そのほうがいろいろな意見が集まると思う。長文失礼しました。(20代／男性／協和)

- 今一度、大仙市が「おおきなせなかに」の8市町村の合併によって成立したことを振り返って市政を行ってほしい。大仙市は毎年数十万人の観光客が訪れ、多くの花火会社が存在する「花火の街」であることは事実で、これからもそれを盛り上げていくことは重要なことだ。しかし、大曲地域以外の7地域では、人口減少、地域経済の縮小が、特に急速に進行している。ましてや、これらの地域でも特に市街地から離れた集落や、山間部の集落などでは、人口の減少、高齢化が著しく、近い将来に少なくない集落が消滅してしまうのではないかと、強い危機感を抱いている。こうした地域では、空き家の数が増加し、耕作放棄地も今後増えてくるだろう。特に空き家の増加は、景観の悪化、台風や大雪による周辺への被害、治安面での懸念など、さまざまな問題がある。危険な空き家の解体、空き家のリノベーションなど、様々な手段を講じて、空き家対策をより積極的に行ってもらいたい。人口減少は短期的に解決できる問題ではないため、今後の課題はどのようにして住民生活の利便性を維持・向上させていくべきかということを第一に考える必要がある。そのために、私は、大仙市はコンパクトシティ化を基本的な路線として政策を進めるべきだと考える。とはいえ、大仙市は広く、人口も分散しているため、大曲地域一点にまとめるのは困難である。そこで、例えば神岡地域なら神宮寺、西仙北地域なら刈和野といったように、大仙市各地域の市街地を基点にコンパクトシティ化を進めるだけでも、十分に利便性が得られるだろう。また、それと同時に、農地の集約化も行うべきであると考え。農地の集約化について、賛否あるにせよ、望む望まないに関わらず、今後大仙市の農業の担い手は急速に減少していく。全国市町村第2位の米生産量を誇る大仙市であるからこそ、食糧基地としての大仙市の意義を忘れず、新たな地域の農業のかたちを模索していくべきだ。担い手不足による耕作放棄地の発生をそのままにすることなく、農業法人への土地の売却を支援したり、あるいは大仙市が公社を設立して、耕作放棄地の発生を防いでいく必要があるのではないかと。また、この過程でコメを生産すべきか、あるいはほかの作物を生産すべきかを再考して、稼げる農業、若い世代がチャレンジしたくなるような農業をつくっていく必要がある。この点においても、まずは大仙市自身が失敗を恐れずにチャレンジしていくことが必要だ。県内市町村初の取り組みである若者・貧困女性への生理用品の無償配布、東北の市町村で初となる大仙市のアーカイブズ設立については高く評価したい。アーカイブズについては、特に市政における情報公開の面でも非常に重要であるから、市が空き校舎を活用し、金銭を出して資料を保存していくことに意義を見いだしたことは評価できる。その点もあって、コロナ禍の現在の状況について市に求めたいのは、コロナウイルス感染症に関する情報公開についてより積極的に行うかたちで見直しを行ってほしいということだ。もちろん、感染者のプライバシーは最大限尊重されるべきであり(むしろ市は根も葉もない噂の流布についてもっと市民に注意喚起すべきであった)、また、市、県、国でそれぞれ所管が明確に違うものもあるだろう。一方で、大仙市は、もともと8市町村が合併した広い地域であり、「大仙保健所管内で集団感染が発生した」とだけ報道されても、市民としてはどの地域で発生しているのかが分からず、その点に注意を払うことができない問題がある。加えて、花火大会等のイベントとの関連性についても、市が積極的に情報発信しなければ市民に不信感を招きかねない。今後コロナ禍の中で花火大会を開催するのかわからないのかについても、市が早い段階から公表するべきだと考える。開催するならば、市・商工会議所の責任で、どのような対策を行った上で開催が可能なのか(感染拡大はイベントに伴う店での飲食でも発生する)について、説明する必要があるだろう。(20代／男性／神岡)
- お仕事お疲れ様です。大仙市の為に、様々な取り組みをしていただき、ありがとうございます。私は、5月で32歳になる女です。結婚はしておりません。結婚する気はありません。私には、やりたいことがあります。自宅をリフォームして、カフェを開くことです、今は、それに向けて日々メニューの研究を頑張っています。オープンした際は、ぜひおいで下さい。また、私には、6月で94歳になる祖母がおります。小さい頃から今でも、おばあちゃん子、おじいちゃんも大好きです。いつか、おばあちゃん、おじいちゃん達との交流(病院や買い物の付き添い、運転、話し相手、etc)の活動も立ち上げてみたいとも考えています。最後に、私は大曲が大好きです。(30代／女性／大曲)

- 大仙市で生まれ、大仙市で育ち、大仙市で結婚して現在に至ります。私が結婚、出産した当初に比べると、今は支援が充実してきているのを感じます。もっと早ければ私たちも結婚した時とか出産した時とを感じる事も多々ありますが、これはきっと、こうして欲しい、という意見を伝えている市民の皆さん、それを聞いてくださる市の職員さんたちのおかげなんだろうなと日々感じております。しかし、秋田県は日々人口減少、今回の資料でも大仙市の人口推移を見て、危機感を感じております。今の現状では、私も子供達が成人した時、大仙市で働いて欲しいという気持ちはありますが、現実的に難しいと考えてます。どうしても魅力的な企業も少なく、賃金も安い、雨の日に1日いっぱい子供たちを遊ばせられる施設もない、など不満があります。大仙市は他の都道府県、市町村にここは負けない、という政策をどうか作ってください。他の市町村と並んでても意味がないと思います。飛び抜けた政策をどうかお願いします。花火も大切かもしれませんが、市民の意見も大切にしてください。若い世代が大仙市を出て行かない、県外から戻ってきてもいいなあと思える大仙市ができるのを願っています。地区別でもいいので、意見交換の機会もぜひ作ってください。市民の声をたくさん聞いて欲しいです。住みやすい大仙市ができる日を楽しみにしています。(30代／女性／大曲)
- 老人目線で頑張ってください。消滅都市一直線です。(30代／男性／大曲)
- 調査内容から、大仙市では数多く多方面で市民の事を考え対応して下さっている事を知りました。ただ受け取る側の私のアンテナが低く分かっていない事が多く、現在事業に関わって下さっている方をがっかりさせてしまうのではないかと考えています。すみません。これらの事業等は、大仙市のHPに載っていますか。今度、拝見したいと思います。(50代／女性／中仙)
- 無記名形式となっているが、番号管理されているのではないか。封筒には、Noがあります。市長2期目でありますが、広報等いつも陰しい表情であります。私だけかもしれませんが、今まで笑った顔にお会いしておりません。笑えない設定の時もおありでしょうが、優しい表情は安心感があります。(50代／女性／大曲)
- 項目が多い。よく分からない面も多く、市政が良く分かっていないと感じた。(60代／男性／大曲)
- 18、19歳は、市政に関わっていないことがほとんどだと思いますので、アンケートは取らなくて良いと思う。(10代／男性／西仙北)

5 資料（調査票）

大仙市の将来のために
令和3年度市民による市政評価
ご協力のお願い

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願いいたします。

令和 3年 4月
大仙市長 老 松 博 行

- ◆ このアンケートは、市内にお住まいになっている18歳以上の方の中から無作為（性別、年齢、地域については考慮）に1,000人を抽出させていただき、無記名形式で行います。
- ◆ このアンケートは、原則として封筒の宛名にあるご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方（ただし、18歳以上の方）がお答えいただいても結構です。
- ◆ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。
- ◆ このアンケートの結果は、後日（秋頃を予定）市のホームページや広報にて公表します。

- ◆ ご回答は、この調査票に直接ご記入ください。
- ◆ ご記入いただく際は、黒の筆記用具でわかるようにはっきりとお書きください。
- ◆ ご回答は、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。また、「その他()」や記述形式の場合は、記述欄に具体的な内容をご記入ください。

(例) 5 4 3 2 1

(例)

1. 電車	2. バス
3. 自家用車	4. 徒歩
⑤. その他(友人の車での送迎)	

ご記入いただいたこの調査票は、**5月18日(火)まで**に、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は不要です。)

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班
電話:0187-63-1111(内線233) FAX:0187-63-1119
メール:sougou@city.daisen.lg.jp

1 施策の満足度と重要度について

あなたは、下表の設問項目について、大仙市の取組にどのくらい満足していますか。また、今後、大仙市のまちづくりにとってどのくらい重要であるとお考えですか。

下表の設問項目ごとに、「満足度」と「重要度」について、あなたの考えに一番近い番号をそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 いどちらないとも	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 いどちらないとも	2 ではあまり重要	1 重要ではない
	〈記入例〉	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
I 魅力ある産業のまちを創ります！ 産業振興・雇用など	① 【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤ 【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和3年4月1日現在】

新規就農者数	H27～R1の累計 113人
農業産出額	H26 183億8千万円 → H30 232億7千万円
製造品出荷額等	H26 6,469千万円 → R1 7,279千万円
新規雇用創出数※1	H27～R2の累計 578人
新規誘致企業数	H27～R2の累計 10社
創業者数	H27～R2の累計 74人
市内の煙火出荷額	H26 7億6百万円 → R1 9億99百万円
観光入込客数	H26 2,631千人 → R1 2,521千人
Aターン就職者数※2	H27～R1の累計 360人

※1 雇用助成金交付人数

※2 Aターン／秋田県へのUターン・Iターン・Jターンの総称

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
Ⅱ みんなの元気を応援します！ （出会い・結婚・子育て、健康・福祉など）	① 【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤ 【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥ 【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和3年4月1日現在】

結婚相談会や出会いイベントの提供数※1	H27～R1の累計	102件
不妊治療による出産数	H27～R1の累計	97件
子育てサポート会員登録者数	H27	81人 → R2 87人
放課後児童クラブ実施箇所数	H27	21箇所 → R2 32箇所
特定健康診査受診率	H27	39.1% → R1 40.8%
介護予防いきいき隊要請者累計数	H27	106人 → R2 113人
物忘れ相談プログラム体験者数	H27	340人 → R2 301人
全国500歳野球大会参加チーム数※1	R1	32チーム
スポーツ合宿実施数※1	H27	15団体 → R1 26団体

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、R2年度の実績はなし。

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちら もない	2 やや不 満	1 不 満	5 重 要	4 やや 重要	3 い ち ち ら い も	2 で あ ま り 重 要	1 重 要 で は な い
Ⅲ 住みよいまちを 安全・安心、都市整備 します！	①【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑦【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑧【上・下水道】 浄水場・水道施設や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑨【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和3年4月1日現在】

自主防災組織の組織率

H26 67.5% → R2 91.5%

地域公共交通利用状況

地域の実情に合わせて6システム 51路線を運行

R2実績 循環バス 11,277人 コミュニティバス 34,450人 乗合タクシー 13,129人

市ホームページ閲覧数

H26 64万9千人 → R2 242万7千人

都市計画道路整備率

H26 59.8% → R2 62.0%

住宅リフォーム支援制度利用件数

H28～R2の累計 2,096件

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
IV 豊かな心と想像力を育みます！ 教育、生涯学習、 芸術・文化など	① 【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和3年4月1日現在】

学校生活支援員の配置数	H27 56人 → R2 60人
ALT・CIRの配置数※1	H27 8人 → R2 8人
学校のトイレ洋式化改修率	H27 73.0% → R2 86.7%
異校種間連携実施率※2	H27 90.6% → R2 100.0%
生涯学習事業への参加延べ人数※3	H27 116,772人 → R2 38,565人
芸術文化協会の団体数	H27 245団体 → R2 218団体
国内友好交流都市との交流※3	H27 8回 → R2 1回
自治体間による交流団体数	R2現在 4団体（座間市、宮崎市、宮古市、韓国唐津市）

※1 ALT／外国語指導助手 CIR／国際交流員

※2 異校種間連携／幼保・小中学校・高校・支援学校・大学など異校種による連携。

※3 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施が困難だった取組。

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
V 時代に合った地域社会の維持・活性化、市民との協働、行財政運営など	① 【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤ 【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和3年4月1日現在】

地域枠予算（市民主導型）活用数※1	H27 73件 → R2 60件
地域おこし協力隊員数	H27 1人 → R2 5人
本市への移住者数※2	R2 405人
本市への移住相談件数	H28 42件 → R2 161件
市職員数	H27 992人 → R2 842人
ふるさと納税寄付額	H27 9,013千円 → R2 162,061千円
財政力指数※3	H27 0.342 → R2 0.354
将来負担比率※4	H27 136.9% → R1 127.5%
全会計市債現在高	H27 99,175百万円 → R1 89,920百万円

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施が困難だった取組。

※2 R2年度から移住者の定義を見直し。

移住者：大仙市への転入者の内、転入後5年以上大仙市へ住む意思のある定住希望者

※3 財政力指数／地方公共団体の財政力を示すもの。財政力指数が高いほど財政力が強いことを示す。

※4 将来負担比率／市が将来負担を予定する負債の大きさを示すもの。400%超で早期健全化団体に該当。

2 今後、さらに推進すべき取り組みについて

問1 あなたが「産業分野」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 農業の担い手確保、育成 | 2. 農業生産基盤の整備 |
| 3. 稲作・畑作等複合経営の推進 | 4. 農産物の6次産業化 |
| 5. 畜産業、林業、水産業の振興 | 6. 地域商業の活性化 |
| 7. 企業誘致の強化 | 8. 中小企業への支援 |
| 9. 若者の起業支援 | 10. 花火産業の振興 |
| 11. 特産品の振興 | 12. 魅力ある観光地づくり |
| 13. 雇用・就労への支援 | 14. 外国人を含む観光誘客の推進 |
| 15. その他() | |

問2 あなたが「出会い・結婚・子育て分野」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 結婚を応援する環境づくり | 2. 結婚相談会・出会いイベントの開催 |
| 3. 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 4. 検診相談等の母子保健事業の充実 |
| 5. 妊娠中から切れ目のない子育て支援 | 6. 子育て支援サービスの充実 |
| 7. 保育ニーズ量に対応した受入体制の整備 | 8. 夜間・休日保育の充実 |
| 9. 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 10. 放課後児童クラブ・子供教室の充実 |
| 11. 虐待防止対策の実施 | 12. ワーク・ライフ・バランスの推進 |
| 13. その他() | |

問3 あなたが「健康福祉・スポーツ分野」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. からだの健康づくりの推進 | 2. こころの健康づくりの推進 |
| 3. 地域医療体制の整備 | 4. 病気予防体制の充実 |
| 5. 地域住民による支え合い体制の構築 | 6. ひとり親家庭への福祉の充実 |
| 7. 地域包括ケアの推進 | 8. 生活支援サービスの充実 |
| 9. 介護サービス基盤等の整備 | 10. 障がい者福祉サービスの充実 |
| 11. 社会保障制度の周知 | 12. 生活保護制度の適正な実施 |
| 13. スポーツ活動への支援 | 14. スポーツ環境の整備 |
| 15. その他() | |

問4 あなたが「**環境・安全分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。
あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 自然環境の保全 | 2. 新エネルギー導入の推進 |
| 3. 交通安全、防犯体制の強化 | 4. 交通弱者への福祉施策の推進 |
| 5. 消費者トラブル対策 | 6. 消防団員の確保 |
| 7. 地域の防災体制の整備 | 8. 水害対策設備の整備 |
| 9. 除排雪体制の充実 | 10. 消融雪施設の整備 |
| 11. 空き家の管理と利活用の推進 | 12. 廃棄物の排出抑制・適正処理 |
| 13. 河川とその周辺環境の保全・整備 | 14. 公園・緑地の整備、緑化の推進 |
| 15. その他() | |

問5 あなたが「**都市基盤分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。
あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 主要道路網・幹線道路の整備促進 | 2. 生活道路の整備 |
| 3. 道路・橋りょうの維持管理 | 4. 駅舎、駐車場の整備・維持管理 |
| 5. 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 6. 計画的な市街地整備 |
| 7. 住宅環境の整備 | 8. 住宅耐震化率向上の推進 |
| 9. 市内の情報網、通信網の整備 | 10. 地域情報化の推進 |
| 11. 安全で安定した水道水の供給 | 12. 下水道施設の整備 |
| 13. 下水道未普及地区の解消 | 14. 水道事業の適正な実施 |
| 15. その他() | |

問6 あなたが「**教育・交流分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。
あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 生きる力を育む学校教育の推進 | 2. 学校と地域の交流・連携 |
| 3. 家庭教育の推進 | 4. 学校施設の整備 |
| 5. ふるさと教育の推進 | 6. 特別支援教育の充実 |
| 7. 生涯学習支援体制の充実 | 8. 学びを生かす生涯学習の推進 |
| 9. 生涯学習の機会拡大・情報発信 | 10. 芸術、文化活動の振興 |
| 11. 文化財の保護保全・整備と活用 | 12. 非核平和の啓発 |
| 13. 他自治体との連携・交流 | 14. 国際交流の促進 |
| 15. その他() | |

問7 あなたが「地域活性化・市民との協働・行政運営分野」で、さらに推進すべきであると考え
る取り組みはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 地域資源の掘り起こしと活用の推進 | 2. 地域活動の情報発信 |
| 3. 行政への市民参加の機会拡大 | 4. 自治組織づくり、自治会活動への支援 |
| 5. 地域独自の活性化への支援 | 6. 小規模集落・高齢化集落への支援 |
| 7. 移住・定住への支援 | 8. 若者が活躍できる環境づくり |
| 9. 男女共同参画社会の推進 | 10. 事務組織の見直しと職員資質の向上 |
| 11. 行政情報の提供と公開 | 12. 効果的・効率的な行政運営 |
| 13. 公共施設の見直し | 14. 公文書館の利用促進 |
| 15. その他() | |

3 あなたが思う大仙市について

問1 あなたが現在大仙市に住んでいる経緯はどれですか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 生まれてからずっと住んでいる |
| 2. 市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た |
| 3. 市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た |

問2 大仙市は、住みやすいまちだと思いますか。
あなたの考えに一番近い番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |

問3 これからも大仙市に住み続けたいと思いますか。
あなたの考えに一番近い番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 今の場所に住み続けたい | 2. 市内の別の場所へ移りたい |
| 3. 市外に移りたい | 4. 住み続けたいが、移らざるを得ない |

問4

あなたは、ここ1年間で仕事以外で社会活動や地域活動(自治体活動、PTAでの活動、花植え、草刈り、ゴミ拾いなどの環境保全活動、見守り活動など)に参加しましたか。
あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. 参加した
活動の内容(

2. 参加していない
)

問5

10年後、あなたが大仙市を市外の知人に紹介する場合、どのようなまちとして紹介したいですか。

「1つだけ選ぶとしたら」と考えたとき、あなたの考えに最も近い番号 1つ に○をつけてください。

1. 四季折々の豊かな自然があるまち
3. 花火のまち
5. 文化や歴史の豊かなまち
7. 高齢者が健康で楽しく暮らせるまち
9. 犯罪や自然災害の少ない安全なまち
11. みんなが地域のために活動しているまち
13. その他(

2. 美味しいお酒や食べ物があるまち
4. 面白いお祭りやイベントがあるまち
6. 教育が充実し学力水準が高いまち
8. 子どもが楽しく安全に暮らしているまち
10. 地域の人々の絆があるまち
12. 観光客や移住者を快く受け入れるまち
-)

次のページからは、市が行っている個別の事務事業に対して、市民の皆さまから評価・要望等をお伺いするアンケート調査です。

ご自身に直接関係がないと思われる設問もあるかもしれませんが、幅広い市民の皆さまのご意見をお伺いし、今後の事業の参考とさせていただきますので、可能な限りすべての設問にお答えくださいますようご協力をお願いいたします。

テーマ1 健幸まちづくりプロジェクトについて

市では、人生100年時代を迎えた今、市民の皆さんが自分らしくいきいきと活躍し、人と地域が元気になる新たな取組として、令和2年10月1日にタニタグループとの連携による「健幸まちづくりプロジェクト」をスタートしました。

このプロジェクトは、全市民及び市内に通勤する方を対象として、歩くことを基本に、無理なく楽しみながら取り組むことができるプログラムを通じ、市民の皆さんの健康づくりを応援するもので、令和3年4月20日現在の参加者は14,022人となっています。

この調査では、市民の皆さんからプロジェクトの参加・活動状況やご意見を伺い、より多くの方からご参加いただけるよう、参加の拡大と継続に資する取組を推進していくための参考とさせていただきます。

問1 あなたは、健康づくりに関心がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。
※健康づくりには「運動・休養・栄養」の3つのバランスが大切とされています。

1. ある 2. ややある 3. あまりない 4. ない

問2 あなたは、「健幸まちづくりプロジェクト」に参加していますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 参加している → 問3へ 2. 参加していない → 問7へ

問3 問2で「1.参加している」と答えた方にお聞きします。
活動量計(愛称:うおーくん)を継続的に携行していますか(携行時間は問いません)。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------------|------------|--------------|---------|
| 1. 毎日 | } → 問4, 5へ | 4. 月に数日程度 | } → 問6へ |
| 2. 週に4～5日程度 | | 5. ほぼ携行していない | |
| 3. 週に2～3日程度 | | 6. 携行していない | |

問4 問3で「1」～「3」と答えた方にお聞きします。
「健幸スポット」と「ロッピー」をどのくらい利用していますか。
あてはまる記号それぞれ1つに○をつけてください。

※健幸スポット : 体重や体脂肪率などを測定できる体組成計や血圧計が設置されている場所。市庁舎や公民館、郵便局など市内58か所に設置。

※ロッピー : ローソンにある決済端末。活動量計のデータ送信のみ可能。

		利用頻度		
健幸 ス ポ ッ ト	歩数の送信	1. ほぼ毎日 4. ほぼ利用していない	2. 週に2～3回程度 5. 利用したことがない	3. 月に数回程度
	体組成計	1. ほぼ毎日 4. ほぼ利用していない	2. 週に2～3回程度 5. 利用したことがない	3. 月に数回程度
	血圧計	1. ほぼ毎日 4. ほぼ利用していない	2. 週に2～3回程度 5. 利用したことがない	3. 月に数回程度
ロッピー		1. ほぼ毎日 4. ほぼ利用していない	2. 週に2～3回程度 5. 利用したことがない	3. 月に数回程度

→ 問5へ

問5 問3で「1」～「3」と答えた方にお聞きします。

「からだカルテ」を利用していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

※からだカルテ：(株)タニタヘルスリンクで提供している健康管理のためのウェブサイト。歩数や体重、血圧などを確認でき、健康状態の「見える化」により自身の健康管理に役立てることができます。

1. 日常的に利用している
2. 時々利用している
3. 利用方法がわからないため利用していない
4. スマートフォンやパソコンを持っていないため利用していない
5. からだカルテを知らなかったため利用していない
6. 利用していない、またはほとんど利用していない(選択肢3～5以外の理由)

→ 問8へ

問6 問3で「4」～「6」と答えた方にお聞きします。

活動量計(愛称:うおーくん)の携行頻度が低い理由は何ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 面倒だから
2. 忘れるから
3. 他の機器を使用しているから
4. 故障等で使用できないため
5. プロジェクトの内容に魅力を感じないから
6. 携行しても健康意識等に変化がないから
7. その他()

→ 問8へ

問7 問2で「2.参加していない」と答えた方にお聞きします。

健幸まちづくりプロジェクトに参加していない理由は何ですか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 活動量計を携行するのが面倒だから
2. プロジェクトの内容がわかりづらいから
3. プロジェクトの内容に魅力を感じないから
4. 活動量計等に個人情報登録したくないから
5. スマートフォンや他の機器で歩数を確認できているから
6. 病気等で運動制限があるから
7. 歩くこと以外の運動を行っているから
8. プロジェクトそのものを知らなかったから
9. その他()

問8 どのような取組があれば参加したいと思いますか。また、継続して参加したいと思いますか。

あてはまる番号3つまでに○をつけてください。(○は1～3つ)

1. インセンティブ(景品など)の充実
2. 健幸ポイント付与対象項目の充実
3. 健幸スポットの増設
4. 運動教室やウォーキングイベントなどの実施
5. 市で実施している他事業との連携
6. ウォーキングコースの整備
7. 健康食に関する取組
8. 参加者の取組状況などの周知
9. その他()

テーマ2 市の文化財について

市には、県内唯一の国宝である「線刻千手観音等鏡像」や国指定重要文化財「古四王神社本殿」、国指定史跡「払田柵跡」、国指定名勝「旧池田氏庭園」など、数多くの指定文化財や貴重な文化遺産が伝承されており、一部は教育や観光などの分野で活用されています。

一方で、こうした文化財(※)は、担い手不足や価値の理解不足などにより散逸や消失の危機にさらされており、保護・保存の取組に加え、観光や地域活性化へのさらなる活用による価値や魅力の発信を通じ、伝承につなげていくサイクルの形成が重要となっています。

この調査では、市民の皆さんから文化財への関心などについてご意見を伺い、今後の文化財の維持や保存、さらなる活用に向けた取組の参考とさせていただきます。

※文化財には、有形・無形のほか国などから指定されている文化財に加え、指定はされていないものの、歴史的に価値のあるものも多数あります。ここでは、こうした歴史的資産をまとめて「文化財」と表記します。

【大仙市の指定文化財の状況】

令和3年3月31日現在

分類	国指定・登録	県指定	市指定	計
有形・無形文化財	18	31	104	153
○有形文化財とは、建造物、美術工芸品、歴史・考古資料等です。 ○無形文化財とは、芸能、工芸技術です。				
有形・無形民俗文化財	2	3	27	32
○有形民俗文化財とは、昔の人が着ていた衣装や使っていた道具など、当時の生活の様子を伝えるものです。 ○無形民俗文化財とは、衣食住や生業、年中行事等にちなみ伝承されてきた唄や踊り、習わしなどです。				
記念物	2	8	45	55
○記念物とは、史跡、名勝、天然記念物です。				
計	22	42	176	240

問1

あなたは、次の指定文化財を知っていますか。また、過去3年以内に見学したことがありますか。あてはまる記号それぞれ1つずつに○をつけてください。

指定文化財	知っていますか	見学したことがありますか
1. 線刻千手観音等鏡像	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
2. 古四王神社本殿	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
3. 刈和野の大綱引き	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
4. 払田柵跡	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
5. 旧池田氏庭園	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
6. 旧池田家住宅洋館	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
7. 強首樅峰苑(旧小山田家住宅)	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
8. 秋田県立農業科学館曲屋	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
9. 奥田酒造店店舗兼主屋	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
10. 旧本郷家住宅	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
11. 鈴木酒造店事務所兼主屋など	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
12. 秋田南外の仕事着	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
13. 唐松神社(奥殿・スギ並木)	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
14. 星宮遺跡出土土偶(遮光器土偶)	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
15. 鈴木空如筆法隆寺金堂壁画模写	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ

問2 あなたは、文化財に関心がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. ある
2. ややある } → 問4へ

3. あまりない
4. ない } → 問3へ

問3 問2で「3.あまりない」、「4.ない」と答えた方にお聞きます。
関心がない理由は何ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 歴史をよく知らないから | 2. どのような価値があるのかわからないから |
| 3. 魅力を感じないから | 4. 自分の生活に関わりがないから |
| 5. その他() | |

問4 文化財を保存し、活用する取り組みについてどう思いますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 重要である | 2. どちらかと言えば重要である |
| 3. どちらかと言えば重要ではない | 4. 重要ではない |

問5 文化財に関連するイベント等の中で、参加してみたいと思うものは何ですか。
あてはまる番号3つまで○をつけてください。(○は1～3つ)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 文化財を巡るガイドツアー | 2. 文化財のパネル展示 |
| 3. 文化財に関する講座 | 4. 文化財で行われる音楽会等のイベント |
| 5. 文化財について話し合う討論会やセミナー | 6. 文化財を題材にした写真等のコンテスト |
| 7. 土器づくりなどのワークショップ | 8. 伝統芸能などの発表会 |
| 9. その他() | |
| 10. 特になし | |

問6 文化財を保存・活用することについて、課題だと思うことは何ですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | |
|------------------------------|
| 1. 文化財を守る、または活用する担い手の確保 |
| 2. 文化財を守る、または活用するための労力と経費の確保 |
| 3. 文化財を守る、または活用するという市民意識の向上 |
| 4. 文化財の価値や魅力の発信 |
| 5. その他() |
| 6. 特になし |

テーマ3 市民のデジタル活用について

スマートフォンの普及や情報通信技術の向上、インターネットサービスの充実などによる近年のデジタル化の進展に加え、このたびの新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、移動しなくても会議を行えるオンライン会議や、自宅に居ても働けるテレワークなど、デジタルを活用した新しい生活スタイルが急速に普及しています。

こうした中、市では、人口減少社会にあっても質の高い行政サービスを継続するため、「行かなくて済む『市役所』」の実現を目指し、行政事務の効率化を図りながら、行政手続きのデジタル化などＩＣＴ（情報通信技術）の効果的な導入を推進・検討しています。

一方で、パソコンやインターネット等の利用の有無により発生する情報格差が課題となっており、全ての市民の皆さんが等しくデジタル化の恩恵を受けられる「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」の実現に向けた対策が必要となっています。

この調査では、市民の皆さんのインターネットの活用状況や今後の利用の意向を伺い、市のデジタル化を推進していく上での参考とさせていただきます。

問 1

あなたは、仕事以外の生活の中でインターネットを利用していますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 自宅のパソコンで利用している
2. タブレット端末で利用している
3. スマートフォンで利用している
4. フィーチャーフォン(ガラケー)で利用している
5. 図書館など公共施設の端末で利用している
6. 必要な時には家族にやってもらっている
7. 利用していない → 問3へ
8. その他(

→ 1つでも選択した場合は
問2-1, 2-2へ

問2-1

問1で「1」～「6」を1つでも選択した方にお聞きします。

現在、どのような目的で利用していますか。

あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。(○はいくつでも)

1. メールやSNS (LINE、Twitter、Facebookなど) での人とのコミュニケーション
2. 情報の検索 (googleやYahooなどでの調べもの)
3. ニュースや市のお知らせなどの情報受信
4. 地図情報提供サービスの利用 (道案内や地図上での場所確認など)
5. 生活に関する手続きや申込み (電子申告、オンライン申請など)
6. ネットショッピングやオークション
7. 音楽・動画配信サービスの利用 (Youtubeなど)
8. 店頭でのポイント受領やキャッシュレス決済
9. その他 (

問2-2 問1で「1」～「6」を1つでも選択した方にお聞きます。

どの程度の頻度で利用していますか。あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 毎日 | 2. ほぼ毎日 |
| 3. 週に2、3回程度 | 4. 週に1回程度 |
| 5. 月に数回程度 | 6. 年に数回以下 |

問3 インターネットを「利用している方」は今後新たに利用してみたいことは何ですか。
「利用していない方」は今後どのようなことに利用してみたいですか。

あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

1. メールやSNS (LINE、Twitter、Facebookなど) での人とのコミュニケーション
2. 情報の検索 (googleやYahooなどでの調べもの)
3. ニュースや市のお知らせなどの情報受信
4. 地図情報提供サービスの利用 (道案内や地図上での場所確認など)
5. 生活に関する手続きや申込み (電子申告、オンライン申請など)
6. ネットショッピングやオークション
7. 音楽・動画配信サービスの利用 (Youtubeなど)
8. 店頭でのポイント受領やキャッシュレス決済
9. その他 ()
10. 特に利用したいと思わない

問4 インターネットを「利用していない方」はその理由は何ですか。
「利用している方」は利用していて不安や不満なことはありますか。

あてはまる番号**3つまでに**○をつけてください。(○は1～3つ)

1. 利用料金や利用するための機器などが高いこと
2. 契約プランや手続きなどがわかりにくいこと
3. パソコンなどの機器の操作が難しいこと
4. 利用方法などを教えてくれる人が近くにいないこと
5. 利用したいサービスや必要な情報がないこと
6. 個人情報の流出や詐欺などの犯罪被害への不安
7. ウイルス感染への不安
8. 違法・有害情報が氾濫していること
9. 情報の信ぴょう性への不安
10. 誹謗中傷やコミュニケーション相手とのトラブルの不安
11. その他 ()
12. 必要なときは家族に頼めるので問題ない
13. 特になし

テーマ4 家庭での災害への備えについて

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から10年が経過し、市民の皆さんの防災意識は、震災当時と比べると大きく高まっていますが、一方で、時の経過とともに記憶が風化し、防災意識が低下していくことが懸念されています。

また、大震災以降も全国各地で自然災害が頻発しており、いつ発生するかわからない災害に対して、自身や家族の身を守っていくためには、日頃の各家庭や地域における防災対策の重要性が認識されています。

この調査では、市民の皆さんが各家庭で行っている防災対策や備蓄の状況等について伺い、防災意識の向上を図っていくための参考とさせていただきます。

問1 生活の中で心配に思う災害は何ですか。

あてはまる番号に**3つまで**○をつけてください。(○は1～3つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 地震 | 2. 水害(大雨による洪水など) |
| 3. 土砂災害(崖崩れなど) | 4. 強風 |
| 5. 大規模火災 | 6. 大雪 |
| 7. 猛暑 | 8. 感染症 |
| 9. その他() | 10. 特になし |

問2 災害に対して各家庭で何か備えていることはありますか。

あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

- | | | | |
|----------|-------|-----------|-------|
| 1. 備えている | → 問3へ | 2. 備えていない | → 問7へ |
|----------|-------|-----------|-------|

問3 問2で「1.備えている」と答えた方にお聞きします。

具体的にどのような備えをしていますか。

あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------------------|---|---------------------------------|
| 1. 災害に備えた備蓄(非常食、生活必需品など) | → | { 選択した場合は問4,5へ
選択しなかった場合は問6へ |
| 2. 避難場所・避難ルートの確認 | | |
| 3. 災害情報入手方法の確認(スマホ、ラジオなど) | | |
| 4. 安否確認方法、連絡方法の確認 | | |
| 5. 地震保険等の加入 | | |
| 6. 預金通帳などの貴重品の持ち出し準備 | | |
| 7. 家具などの固定や整理 | | |
| 8. 消火器など消火設備の設置 | | |
| 9. お風呂などでの水のため置き(生活用水の確保) | | |
| 10. はしごやロープなど避難用具の準備 | | |
| 11. 家屋や塀などの補強、改修 | | |
| 12. ヘルメットや防災ずきんの準備 | | |
| 13. その他() | | |

問4 問3で「1.災害に備えた備蓄」を選択した方にお聞きします。

備蓄品はどのような品目を準備していますか。

あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | | |
|--------------------|--------------------|--------------|
| 1. 飲料水 | 2. 主食(レトルトご飯、パンなど) | 3. 副食(缶詰など) |
| 4. 栄養補助食品や菓子類 | 5. 医薬品 | 6. トイレトペーパー |
| 7. 救急用品(絆創膏、包帯など) | 8. 携帯トイレ | 9. 生理用品 |
| 10. 消毒用アルコール | 11. マスク | 12. オムツ |
| 13. 離乳食、ミルク | 14. 懐中電灯 | 15. マッチ、ライター |
| 16. カセットコンロ | 17. ラジオ | 18. 電池 |
| 19. 携帯電話の予備バッテリー | 20. 衣類 | 21. 発電機 |
| 22. 防寒用品(毛布やカイロなど) | 23. 石油ストーブ | 24. 燃料(灯油など) |
| 25. その他(| |) |

問5 問3で「1.災害に備えた備蓄」を選択した方にお聞きします。

備蓄品は何日分準備していますか。あてはまる番号**それぞれ1つに**○をつけてください。

※ 災害時には救援物資が被災地に届くまで時間を要することから、最低でも3日分、できれば1週間程度、各家庭における食料品や生活必需品を備蓄することが推奨されています。

食料品類	1. 1日分 4. 4～6日分	2. 2日分 5. 1週間分以上	3. 3日分
生活必需品類	1. 1日分 4. 4～6日分	2. 2日分 5. 1週間分以上	3. 3日分

→ 18ページへ

問6 問3で「1.災害に備えた備蓄」を選択しなかった方にお聞きします。

災害に備えた備蓄をしていない理由は何ですか。

あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 何をどの程度備えればよいかわからないから |
| 2. 備蓄品を置く場所がないから |
| 3. 手間がかかり面倒だから |
| 4. 備蓄品を購入する経済的な余裕がないから |
| 5. 忙しく時間がないから |
| 6. 停電・断水等が数日続くような災害は来ないと思うから |
| 7. 自治体が必要な備蓄をしているから |
| 8. 被災していない自治体や個人などから救援物資が届くから |
| 9. 地域等で共同備蓄をしているから |
| 10. その他(|
|) |

→ 18ページへ

問7 問2で「2.備えていない」と答えた方にお聞きします。

災害への備えをしていない理由は何ですか。

あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. どのようなことを行えばよいかわからないから | 2. 何から始めればよいかわからないから |
| 3. 市や消防、地域の人などが助けてくれると思うから | 4. 面倒だから |
| 5. お金がかかるから | 6. 時間がなく、つい先延ばしにしてしまうから |
| 7. 大きな災害は起こらないと思っているから | 8. やっても意味がないから |
| 9. その他(|) |

■あなたご自身のことについてお伺いします。

- ・あなたの性別を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 男性	2. 女性	3. 無回答
-------	-------	--------

- ・あなたの年齢を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 18・19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
5. 50～59歳	6. 60～64歳	7. 65～69歳	8. 70～74歳
9. 75～79歳	10. 80歳以上		

- ・あなたの居住地域を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 大曲地域	2. 神岡地域	3. 西仙北地域	4. 中仙地域
5. 協和地域	6. 南外地域	7. 仙北地域	8. 太田地域

- ・あなたの同居の家族構成を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 単身世帯	2. 夫婦世帯	3. 二世世代世帯(親と同居)
4. 二世世代世帯(子と同居)	5. 三世世代以上の世帯	6. その他()

- ・あなたは現在結婚していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 結婚している(事実婚等を含む)	2. 独身(離婚・死別含む)
--------------------	----------------

■自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見やご提案などがありましたら、ご記入ください。

.....

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**5月18日(火)まで**に、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。

大仙市の将来のために 令和3年度市民による個別事業評価 ご協力のお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政の推進に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、市政運営の基礎資料とさせていただくための「市政評価」に加え、個別の事業や施策を対象とする「個別事業評価」を毎年実施しています。

この「個別事業評価」は、市が実施している個別の事業等に対して、市民の皆さまから評価やご意見をお伺いするもので、皆さまからいただいたご回答は、事業等の推進や見直し、新たな施策の立案に向けた大切な基礎資料とさせていただきます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願いいたします。

令和3年4月

大仙市長 老松博行

回答にあたって

- ◆このアンケートは、市内にお住まいになっている18歳以上40歳未満（令和3年4月1日現在）の方の中から無作為（性別、年齢、地域については考慮）に800人を抽出させていただき、無記名形式で行います。
- ◆このアンケートは、原則として封筒の宛名にあるご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方（ただし、18歳以上の方で、可能であれば40歳未満の方）がお答えいただいても結構です。
- ◆ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。
- ◆このアンケートの結果は、後日（秋頃を予定）市のホームページや広報にて公表します。

回答方法について

次のどちらかの方法により、**5月18日（火）まで**に、ご回答いただきますようお願いいたします。

1. 調査票による回答

同封している調査票に直接ご記入いただき返信用封筒に入れてご投函ください。

2. インターネットによる回答

次のURLを直接入力いただくか、二次元バーコードを読み込んでいただき、アンケートフォームからご回答ください。

回答方法の詳細は別紙「インターネット回答方法」をご覧ください。

◆ URL

https://s-kantan.jp/city-daisen-akita-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=1573

◆ 二次元

バーコード



【お問い合わせ先】

企画部総合政策課政策調整班

電話：0187-63-1111（内線233） FAX：0187-63-1119

メール：sougou@city.daisen.lg.jp

大仙市の将来のために 令和3年度市民による個別事業評価 ご協力のお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政の推進に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、市政運営の基礎資料とさせていただくための「市政評価」に加え、個別の事業や施策を対象とする「個別事業評価」を毎年実施しています。

この「個別事業評価」は、市が実施している個別の事業等に対して、市民の皆さまから評価やご意見をお伺いするもので、皆さまからいただいたご回答は、事業等の推進や見直し、新たな施策の立案に向けた大切な基礎資料とさせていただきます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願いいたします。

令和3年4月

大仙市長 老松博行

回答にあたって-----

- ◆このアンケートは、市内にお住まいになっている18歳以上40歳未満（令和3年4月1日現在）の方の中から無作為（性別、年齢、地域については考慮）に800人を抽出させていただき、無記名形式で行います。
- ◆このアンケートは、原則として封筒の宛名にあるご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方（ただし、18歳以上の方で、可能であれば40歳未満の方）がお答えいただいても結構です。
- ◆ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。
- ◆このアンケートの結果は、後日（秋頃を予定）市のホームページや広報にて公表します。

回答方法について-----

5月18日（火）までに、インターネットでご回答いただきますようお願いいたします。

次のURLを直接入力いただくか、二次元バーコードを読み込んでいただき、アンケートフォームからご回答ください。

インターネットによる回答方法の詳細は、別紙「インターネット回答方法」をご覧ください。

◆ URL

https://s-kantan.jp/city-daisen-akita-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=1574

◆ 二次元バーコード



【お問い合わせ先】

企画部総合政策課政策調整班

電話：0187-63-1111（内線233） FAX：0187-63-1119

メール：sougou@city.daisen.lg.jp

大仙市の将来のために 令和3年度市民による個別事業評価 調査票

《ご記入の方法》

- ◆ ご回答は、この調査票に直接ご記入ください。
- ◆ ご記入いただく際は、黒の筆記用具でわかるようにはっきりとお書きください。
- ◆ ご回答は、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。また、「その他()」や記述形式の場合は、記述欄に具体的な内容をご記入ください。

(例)

- | | |
|--------------------|-------|
| 1. 電車 | 2. バス |
| 3. 自家用車 | 4. 徒歩 |
| ⑤. その他(友人の車での送迎) | |

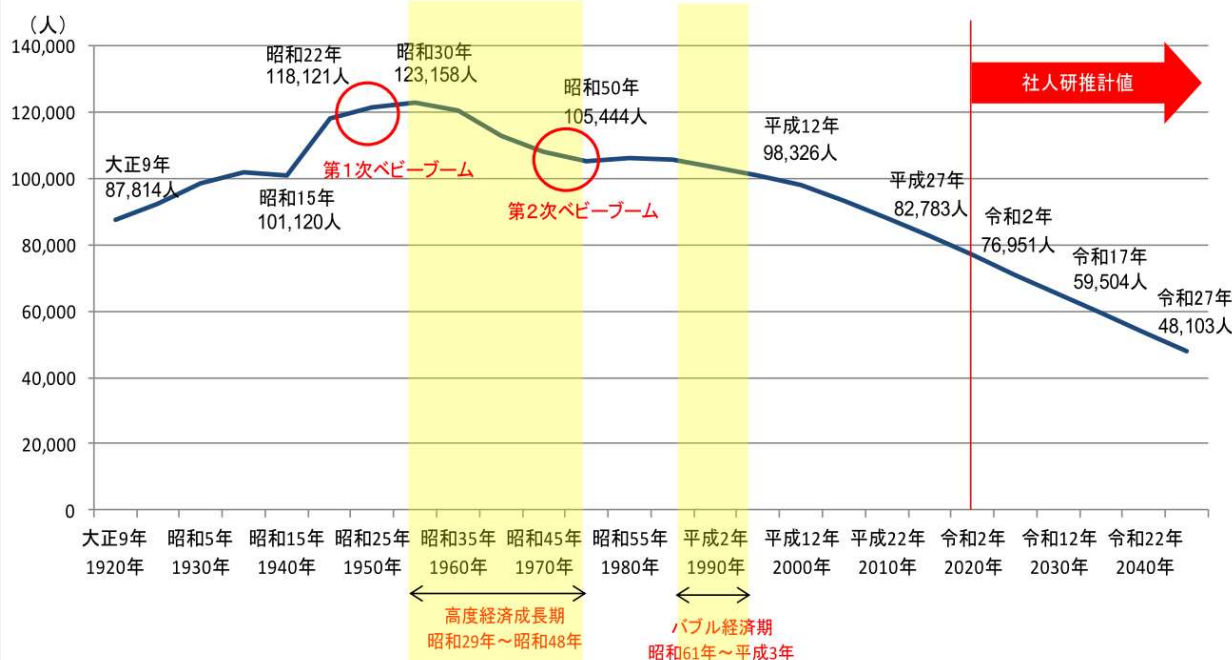
若い世代のチャレンジについて

大仙市の人口は、昭和30年の約12万3千人をピークに年間約1千人のペースで減少しています。国立社会保障・人口問題研究所が行った将来人口の推計では、令和27年には4万8千人になるものと推計されており、人口減少に伴い産業や地域経済の衰退、地域コミュニティの維持が困難となるなど、多方面への影響が懸念されています。

こうした状況を踏まえ、市では令和2年3月に「第2期大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「人口減少の抑制」と「地方創生の実現」に向け様々な施策に取り組んでいます。その施策のひとつとして、「若者がチャレンジできる環境づくり」を進めており、若い世代の夢を叶える創業支援の推進や新規就農者の育成、雇用促進等を図るとともに、地域の課題解決や活性化に向けた市民活動を応援する地域枠予算の確保、出会い・結婚・出産・子育てまで切れ目のない一貫した支援体制の構築などに取り組んでいます。

この調査では、夢や希望の実現に向けてチャレンジする若い世代の皆さんを応援する具体的な方法を検討するため、皆さんからご意見をお伺いします。

【大仙市の人口推移】



(資料)総務省「国勢調査」、社人研「日本の地域別将来推計人口」

■ 属性について

問1 あなたの性別について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 無回答 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢(令和3年4月1日現在)について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～19歳 | 2. 20～24歳 | 3. 25～29歳 |
| 4. 30～34歳 | 5. 35～39歳 | 6. 40歳以上 |

問3 あなたのお住まいの地域について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 大曲地域 | 2. 神岡地域 |
| 3. 西仙北地域 | 4. 中仙地域 |
| 5. 協和地域 | 6. 南外地域 |
| 7. 仙北地域 | 8. 太田地域 |

問4 あなたの職業について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------|----------------------|
| 1. 正規社員・職員 | 2. パート・アルバイト |
| 3. 派遣・契約社員 | 4. 自営業主・家族従業者(農林業含む) |
| 5. 専業主婦・主夫 | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. その他() |

問5 あなたは現在結婚していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 結婚している(事実婚等を含む) | 2. 独身(離別・死別含む) |
|--------------------|----------------|

■ あなたの日常生活の現状とあなたが思う大仙市について

問6

あなたは、次の項目について、日常生活でどのくらい満足していますか。また、どのくらい大切(重要)であるとお考えですか。「満足度」と「重要度」について、あなたの考えに一番近い番号をそれぞれ1つずつに○をつけてください。

設問項目	満足度					重要度				
	5 満足	4 まあ満足	3 いどちらないとも	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 いどちらないとも	2 ではあまり重要	1 重要ではない
家族とのふれあい	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
経済的な豊かさ	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
スポーツ・健康づくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
趣味などの余暇の時間	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
身近な人との付き合い	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
夢や目標の実現	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
社会(地域)貢献活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
社会的地位や評価	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
仕事や勉強	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問7

あなたは、今後も大仙市に住み続けたいと思いますか。
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う |
| 3. あまりそう思わない | 4. そう思わない |

問8

あなたは、大仙市に住んでいてよかったと思うことがありますか。
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 買い物などの日常生活が便利 | 2. 教育環境が良い |
| 3. 子育て支援が充実している | 4. 交通の便が良い |
| 5. 子どもの遊び場や公園などが充実している | 6. スポーツ施設が充実している |
| 7. 病院など医療体制が充実している | 8. 自然が豊か |
| 9. まちの雰囲気・イメージが良い | 10. 公共施設が充実している |
| 11. 地域のつながりが良い | 12. 楽しめるイベントが多い |
| 13. 誇れる特産品が多い | 14. 魅力的な文化財や伝統行事などがある |
| 15. 雪対策が充実している | 16. 防災体制が充実している |
| 17. その他() | 18. 特になし |

問9

あなたは、大仙市に住んでいて困ったと思うこと(悪い点)がありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 買い物などの日常生活が不便 | 2. 教育環境が悪い |
| 3. 子育て支援が充実していない | 4. 交通の便が悪い |
| 5. 子どもの遊び場や公園などが充実していない | 6. スポーツ施設が充実していない |
| 7. 病院など医療体制が充実していない | 8. 自然が多すぎる |
| 9. まちの雰囲気・イメージが悪い | 10. 公共施設が充実していない |
| 11. 地域のつながりが悪い | 12. 楽しめるイベントが少ない |
| 13. 誇れる特産品が少ない | 14. 魅力的な文化財や伝統行事などがない |
| 15. 雪対策が充実していない | 16. 防災体制が充実していない |
| 17. その他() | 18. 特になし |

■ 仕事に関する内容について

問10

あなたが思う理想の就職方法について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|----------|
| 1. 自ら起業して、事業主として働く | → 問11へ |
| 2. 会社など事業所の被雇用者として働く | → 問12へ |
| 3. 自営業や農林業など、家族の後を継いで働く | } → 問13へ |
| 4. その他() | |

問11

問10で「1.自ら起業して、事業主として働く」と答えた方にお聞きします。

起業の実施状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|----------------------------|
| 1. すでに起業している |
| 2. これから起業する予定 |
| 3. 家族の理解や資金など準備が整ったら起業する予定 |
| 4. 起業するかどうか悩んでいる |
| 5. 起業はしない |
| 6. 起業したが、現在は別の事業所等で勤務している |
| 7. その他() |

問12

問10で「2.会社など事業所の被雇用者として働く」と答えた方にお聞きします。

あなたが思う理想の雇用形態について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|------------------------------|
| 1. 終身雇用で定年まで同じ会社等で働く |
| 2. 正社員・職員として会社等に所属しながら、副業も行う |
| 3. そのときの事情に合わせて、やりたい仕事に転職する |
| 4. その他() |

問13 あなたが思う理想の働き方について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 決まった就業時間で会社等に出勤し働く
2. 勤務時間を選べる環境で会社等に出勤し働く
3. リモートワークなどで自宅や地元、地方で働く
4. その他()

■ まちづくりへの参加について

問14 あなたは、市のまちづくりや地域の活動に関して意見を述べる機会や参加する機会があれば参加したいですか。あてはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

意見を述べる機会	1. すでに参加している 2. 積極的に参加したい 3. 参加したい	4. あまり参加したくない 5. 参加したくない	} 問15へ } 問16へ
まちづくり活動	1. すでに参加している 2. 積極的に参加したい 3. 参加したい	4. あまり参加したくない 5. 参加したくない	} 問15へ } 問16へ

問15 問14で「1」～「3」と答えた方にお聞きします。
 具体的にどのような分野で参加していますか。または、参加したいと思いますか。
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

意見を述べる機会	1. 農林業 4. 出会い・結婚 7. 医療 10. 環境 13. インフラ 16. 芸術・文化 19. 地域活性化	2. 商工業 5. 子育て 8. 社会福祉 11. 防災 14. 学校教育 17. 文化財 20. 男女共同	3. 観光 6. 健康づくり 9. スポーツ 12. 地域情報化 15. 生涯学習 18. 地域間・国際交流 21. その他()
まちづくり活動	1. 農林業 4. 出会い・結婚 7. 医療 10. 環境 13. インフラ 16. 芸術・文化 19. 地域活性化	2. 商工業 5. 子育て 8. 社会福祉 11. 防災 14. 学校教育 17. 文化財 20. 男女共同	3. 観光 6. 健康づくり 9. スポーツ 12. 地域情報化 15. 生涯学習 18. 地域間・国際交流 21. その他()

■ 今後チャレンジしたいことについて

問16 あなたが今後チャレンジしてみたい、または新たに始めてみたいと思うことはどのようなことですか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 新規創業、独立起業 | 2. 希望する職業に就くための資格取得 |
| 3. スポーツなどのプロ活動へのチャレンジ | 4. イベント開催などのまちづくり活動 |
| 5. ボランティア・社会奉仕活動やNPO等の設立 | 6. 国際交流や留学などの海外活動 |
| 7. その他 () | |
| 8. 特になし → 問18へ | |

問17 問16で「8.特になし」以外を選択した方にお聞きします。

問16のチャレンジや新たなことを始めるにあたり、不安なことや障壁となると考えられるものはどのようなことですか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 資金不足 | 2. 知識・ノウハウ・経験不足 |
| 3. 情報不足 | 4. 仲間との交流の場の不足 |
| 5. 家族の理解・協力不足 | 6. 仕事との両立 |
| 7. プライベートの確保 | 8. 地域の理解 |
| 9. 活動内容の成否 | 10. 失敗したときのリスク |
| 11. その他 () | 12. 特になし |

■ 若い世代のチャレンジへの支援について

問18 若い世代のチャレンジを応援するための支援や取組としてどのようなものが必要だと思いませんか。あてはまる番号に**3つまで**○をつけてください。(○は1～3つ)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 創業に関する支援の充実 |
| 2. 若い世代の意見を聞く場(若者会議など)の開催 |
| 3. 地域の理解促進や資金提供など若い世代がチャレンジしやすい環境の整備 |
| 4. 若い世代などの後継者育成の支援 |
| 5. 同じチャレンジ意欲を持つ若い世代の人などとのマッチング支援 |
| 6. 若い世代のチャレンジを支援する新しい補助制度等の創設 |
| 7. その他 () |

問19 若い世代のチャレンジへの支援についてご意見やご要望がありましたらご記入ください。

■ 自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見やご提案などがありましたら、ご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**5月18日(火)まで**に、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。